

miratap

Novum

ノウム

戸建て用

取付設置説明書 バスルーム 【本体編】



- 取付設置業者の安全と使用者の安全確保のために、この説明書をよくお読みください。特に「安全上のご注意」(7～11 ページ)は取付設置前に必ずお読みいただき、安全で正しく取付設置を行ってください。
- この商品には「保証書」「取扱説明書」を添付しています。「保証書」には販売店名、または工事店名、お引き渡し日を記入し、取付設置説明書の最後のチェックリストは必要事項を記入のうえ、「取扱説明書」と共に必ずお施主様または建築工事責任者にお渡しください。
- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。
- 混合水栓やその他の機器に添付の「取扱説明書」も紛失しないよう大切に保管し、取付設置完了後、お施主様または建築工事責任者にお渡しください。
- カウンター・機能商品などの取付設置説明書は、分冊になっていますので、それぞれの分冊をお読みのうえ安全で正しく取付設置を行ってください。
- この取付設置説明書に記載されていない方法で取付設置され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

もくじ

大切なお知らせ

●安全上のご注意	7
●取り付けの手順	12
●バスルームの取付設置工事区分	14
●構成図	15
●使用工具類	16

図面集

●追焚釜接続位置図	17
●ドア納まり図	17
●排水管・床支持・専用架台基準位置図	17
●浴槽デッキ水栓用穴開口位置図	20
●壁パネル展開図	21
●アクセントパネルの位置と壁パネルの色柄について	
●シーリング材の色について	
●壁目地について	
●器具取り付け穴開口位置図	26
●鋼板用樹脂アンカー(白)(GVR Y238)を使用した部材の取り付け方法	
●クリーンスクエアサーモ水栓(ホワイト・ブラック)・メタルスクエアサーモ水栓	
●メタルワイドスクエアサーモ水栓・壁付水栓	
●浴槽側壁付水栓・兼用壁付水栓	
●タオル掛け A・B・C・ホワイト・メタル調	
●サークル LED 照明	
●物干しバー受け	
●ガラス調収納棚	
●握りバー兼用スライドバー	
●シャワースライドバー	
●シャワーフック	
●風呂フタフック	
●オートルーバー暖房換気乾燥機 リモコン	
●握りバー取り付け位置	35

取付設置のしかた

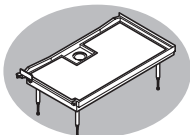
1. 取付設置前の準備 …36

- 部材の搬入
- 部材のチェック
- 床パンの仮置き
- 天井パネルの仮置き
- 墨出し

2. 床の設置

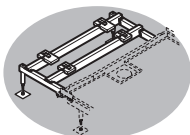
1 洗い場床パンの据え付け ……39

- 床保温シート(オプション)のはり付け
- 床支持バーとアジャスターボルトの組み立て
- 床支持金具とアジャスターボルトの取り付け
- アジャスター受けプレートの設置
- 洗い場床パンの据え付け
- 専用架台の取り付けおよび洗い場床パンの据え付け
- トラップ断熱材の取り付け(オプション)
- 排水トラップの取り付け
- 雑排水管の接続
- 雑排水管の固定
- 裏配管 A の準備



2 連結フレームの据え付け ……52

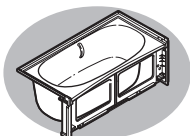
- 床支持バーとアジャスターボルトの取り付け
- アジャスターボルトの取り付け
- 連結フレームの取り付け
- 浴槽受けフレームの取り付け
- 浴槽支持ブロックとスライドプレート of 取り付け
- 床固定用スチロールスペーサーの取り付け



3. 浴槽の設置

1 浴槽の据え付け ……60

- 内エプロン支持ブロックの取り付け
- 床パンせき止水ピースの取り付け
- 配管接続穴の開口



- 断熱材のはり付け
- 追い焚き受け皿用部品・水受けトレイ用部品の取り付け
- マスキングテープのはり付け
- 内エプロン上部へのパッキンはり付け
- 壁裏配管の仮置き
- 浴槽デッキ混合水栓の取り付けと追い焚き穴加工
- 浴槽排水管の取り付け
- 浴槽の仮置き
- 洗い場床パンへのパッキンはり付け
- 浴槽の本設置
- 内エプロンの確認
- 浴槽固定用スチロールスペーサーの取り付け
- 排水管の接続
- 浴槽側壁下パッキンのはり付け
- 壁パネル横パッキンのはり付け

2 水張り試験 ……80

- 水張り試験の実施

4. 壁の組み立て

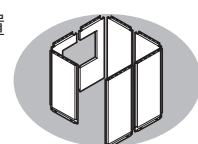
1 壁パネルの前加工 ……81

- 補強合板のはり付け
- 壁パネルの穴開口
- 壁パネルの開口
- 補強合板の取り付け
- 補強なしジョイナーの切断
- 水栓固定金具・裏配管 A の取り付け
- 壁裏配管の取り付け
- 器具取り付け用の前加工
- 壁掛けハンガーの取り付け



2 壁パネルの建て込み ……93

- コーナー下ブロックと平下ブロックの配置
- ジョイナー取り付け位置の確認
- 建て込み順序の確認
- コーナー下ブロックの取り付け
- 内エプロンへのシーリング材充てん
- 最初の壁パネルの建て込み

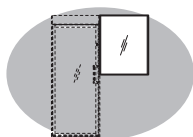


- コーナー部で隣り合う壁パネルの建て込み
- 段違い部の組み立て
- 平部で隣り合う壁パネルの建て込み
- ジョイナー底上げピースの取り付け
- 現場開口した壁パネルの建て込み(オプション)
- ドア平ジョイナーの取り付け
- ドアコーナージョイナーの取り付け

5. FIX 窓の設置

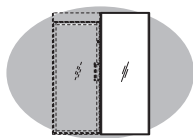
1 腰壁 FIX 窓の取り付け 110

- 方立ての取り付け
- FIX 窓下壁パネルの建て込み
- FIX 窓本体の取り付け
- ドアコーナージョイナーの取り付け



2 フル FIX 窓(W600)の取り付け... 114

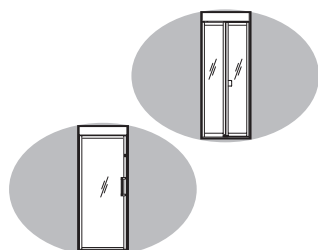
- フル FIX 窓の仮置き
- 方立ての取り付け
- FIX 窓 W200 壁パネルの建て込み
- ジョイナーの取り付けと FIX 窓の建て込み
- ドアコーナージョイナーの取り付け



6. ドア枠の取り付け

1 2 枚折りドア・スイングドア... 118

- ドア本体の取り外し
- ドア枠のレベル出し
- ドア下のシーリング材充てん
- ドア枠の取り付け
- 縦枠の固定
- ドア下枠前カバーの取り付け
- ドア横小壁の取り付け
- FIX 窓との固定



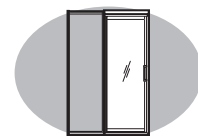
2 3 枚引き戸..... 127

- ドア枠の組み立て
- ドア下のシーリング材充てん
- ドア下枠のパッキンはり付けとドア枠の取り付け
- 縦枠の固定
- 下枠レールの取り付け



3 片引き戸..... 130

- ドア枠の組み立て
- 戸袋固定金具・戸尻側縦枠開き防止金具の取り付け
- ドア枠のレベル出し
- ドア下のシーリング材充てん
- ドア下枠のパッキンはり付けとドア枠の取り付け
- 縦枠の固定
- 戸尻側の固定
- 下枠レール・下枠前カバーの取り付け



4 2 枚引き込戸..... 140

- ドア枠の組み立て
- ドア枠のレベル出し
- ドア下のシーリング材充てん
- ドア下枠のパッキンはり付けとドア枠の取り付け
- 縦枠の固定
- 下枠レール・下枠前カバーの取り付け



5 ドア上小壁の取り付け..... 147

- 部材・部品リスト
- ジョイナーの切断とパッキンのはり付け
- ドア上小壁の取り付け
- 天井の組み立てとドア上小壁の固定

7. 天井の設置

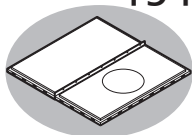
1 天井組み立て前の作業..... 149

- 換気扇の取り付け
- 暖房換気乾燥機(電気式)の取り付け
- オートルーバー暖房換気乾燥機の取り付け
- ダウンライトの取り付け

- 電気器具類の取り付け準備
- ジョイントボックスの取り付け前の準備

2 フラット天井の組み立て 154

- 天井パネルの接続
- ジョイントボックスの取り付け



3 壁パネル・ドア枠と天井の接続... 155

- 壁パネル・ドア枠と天井の接続
- ドア枠鉛直度の調整

4 壁と天井の仕上げ 156

- 壁パネルの目地打ち込み
- 天井回し縁の取り付けとシーリング材充てん

8. 混合水栓の取り付け

1 混合水栓の取り付け 164

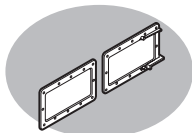
- 壁付水栓(洗い場側・浴槽側)の取り付け
- 浴槽デッキ水栓の取り付け



9. 浴槽周辺部材の取り付け

1 点検口ふたの取り付け 166

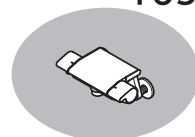
- 追い焚き受け皿用ホース(オプション)の接続
- 内エプロン点検口ふたの取り付け
- エプロン支持具の取り付け
- 小エプロンスライドガイドの取り付け



10. 水栓の取り付け

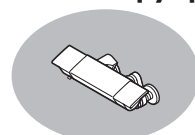
1 クリーンスクエアサーモ水栓 (ホワイト・ブラック)、 メタルスクエアサーモ水栓の 取り付け 169

- 水栓本体の組み立て



2 メタルワイドスクエアサーモ水栓の 取り付け 174

- メタルワイドスクエアサーモ水栓の取り付け



11. ドアの取り付け

1 2枚折りドア 175

- ドア本体の取り付け
- 引き手の取り付け
- 可動ラッチの調整



2 スイングドア 178

- ドア本体の取り付け
- ハンドルの取り付け
- サムターンとコインロックの取り付け
- 枠の取り付け確認
- ラッチ受けの調整
- ローラーの調整
- ピボットヒンジの調整
- アームストッパーの調整
- 開閉の確認



3 3枚引き戸 184

- 中間障子のローラー位置の交換
- 取っ手・サムターンの取り付け
- 障子のつり込み
- 建て付け調整
- 障子の固定



4 片引き戸 187

- 戸袋パネルの取り付け
- 取っ手・サムターンの取り付け
- 障子のつり込み
- 建て付け調整



5 2枚引き込戸 189

- 戸袋パネルの取り付け
- 取っ手・サムターンの取り付け
- 障子のつり込み
- 建て付け調整



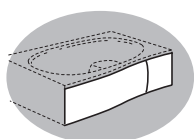
6 ドア外タオル掛けの取り付け ... 192

- ドア外タオル掛けの取り付け

12. エプロン・排水口の取り付け

1 化粧エプロン・排水口部品の取り付け 193

- エプロン下端スペーサー・ブラッシュクリップの取り付け
- 化粧エプロンの取り付け
- 化粧エプロンの高さ調整
- 排水口部品の取り付け



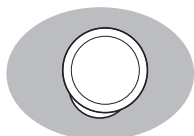
13. 器具の取り付け

1 ミラー・スライドバー・収納棚... 198

- ガラス調収納棚
- 握りバー兼用スライドバー
- シャワースライドバー
- シャワーフック

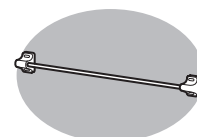
2 天井周辺器具 202

- 照明用カバー
- 物干しバー
- 天井点検口ふた



3 その他器具 203

- タオル掛け A・B
- タオル掛け B【2024年10月2日発売以降仕様】
- タオル掛け Cタイプ
- 組みフタフック
- 3点フック



14. 仕上げ・清掃・検査

1 最終仕上げ 207

- ラベル類のはり付け
- シーリング材充てん
- 社名ラベルのはり付け

2 最終チェック 209

3 清掃と後片付け 209

15. 付録

● 天井回し縁の取り外し方 210

● 目地の取り外し方 211

● 取付設置後のチェック 212

● 取付設置業者様へのお願い・ 設備業者様へのお願い 裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

■誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

  してはいけない内容です。

  実行しなければならない内容です。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

全体的なこと



アース線接続

- ・アース工事は、電気設備技術基準に関連する法令・規制などに従って、必ず「電気工事士」によるD種（第三種）接地工事を行い、漏電ブレーカを設置する
誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電する原因となります。



禁止

- ・電気機器の配線に付属部品の固定ねじで傷を付けない
傷が付くと、火災や漏電の原因となります。



分解禁止

- ・商品の改造や仕様変更は絶対にしない
商品の改造や仕様変更は事故の原因となります。



必ず守る

- ・本説明書は、バスルームの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、配管（給排水）工事、建具工事などを区別して説明しています。
建設工事は、関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。
流通業者（販売店）を通して「本体の取付・設置」を行う場合は、「建設工事部分」と「バスルームの本体取付・設置」を区別して行ってください。
- ・電気工事・水道工事は、関連する法令・規制に従って、必ず「有資格者」が行う
火災、感電、水漏れの原因となります。
- ・開口部のバリ取りは確実に行う
バリ取りをしないとけがや水漏れの原因となります。

- ・暖房換気乾燥機・換気扇・照明器具・ミラー・握りバー・混合水栓などの付属部品は、取付設置説明書に従い、指定位置に確実に取り付ける
思わぬ事故や故障の原因となります。
- ・電気機器は、その機器の定格電圧で使用する
定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
- ・電気接続の際は、使用電線のサイズ、本数と圧着部のサイズとが適切な組み合わせになっていることを確認する
また、そのサイズに合った専用工具で締める
適切な組み合わせになっていなかったり、専用工具以外で締め付けると、火災の原因となります。
- ・結線は緩みのないように確実に接続する
過熱・火災の原因となります。

壁



必ず守る

- ・壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う
飛び散った切りくずが目に入ってけがをすることがあります。

照明器具



必ず守る

- ・グロメットは確実に取り付ける
確実に取り付けないと、火災や感電の原因となります。
- ・電球を覆っている保護カバーは、器具取り付け時に必ず外す
保護カバーを付けたまま点灯させると、火災の原因となります。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

全体的なこと



禁止

- ・重量物は一人で運ばない
一人で運ぶと、けがをするおそれがあります。
- ・ねじの締め付け後は、空回りさせない
パッキンがねじ切れたり、ねじ山が破損し、締め付け不良や水漏れの原因となります。

- ・清掃時に、溶剤（シンナーなど）は使用しない
変色・変形やひび割れによる水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・運搬や取付設置は必ず手袋をはめ、長袖などの作業に適した服装で行う
守らないと、けがをするおそれがあります。
- ・シーリング材充填は指定個所に確実に行う
確実にシーリング材充填しないと、水漏れの原因となったり、補強合板が十分に固定されません。

- ・工事に使う溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品類は、容器などに記載の注意表示に従って正しく使う
誤った使いかたをすると、人体に影響が出たり、部品の損傷や劣化の原因となります。
- ・ねじはまっすぐ垂直に締め付ける
斜めに締め付けると最後まで締め付けられず、水漏れの原因となります。

エプロン



禁止

- ・メンテナンスカバーを踏まない
メンテナンスカバーが破損して、水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・内エプロンのメンテナンスカバーのねじは、必ず手回しドライバーで固定する
電動ドライバーでねじを固定するとねじが空回りして確実に取り付けができなくなり、水漏れの原因となります。

FIX 窓



必ず守る

- ・FIX窓の取り扱いは必ず2人で行う
一人で行うと、けがの原因となります。
- ・FIX窓の表面の梱包用段ボールは、建て込み後に外す
建て込み前に外すと、中のガラスが抜けて、けがの原因となります。
- ・FIX窓の仮置きの際は、正しい向きで立て掛ける
誤った向きに立て掛けると、パッキンが破損して水漏れの原因となります。

浴槽



禁止

- ・パッキンは重ねばりしない
重ねばりすると、パッキンの間にすき間が生じ、水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・浴槽を据え付ける際に、ポップアップ排水栓のリリースや排水管を破損しないように注意する
破損すると、水漏れの原因となります。

床・浴槽



禁止

- ・床や浴槽の端には乗らない
バランスを崩して転倒し、けがをするおそれがあります。



必ず守る

- ・壁下パッキンは、水返しに合わせて、正しい位置にはり付ける
守らないと、水漏れの原因となります。

浴槽・カウンター



禁止

- ・浴槽やカウンターなどに乗って作業をしない
足を滑らせ、けがをするおそれがあります。

壁・天井



必ず守る

- ・壁パネル・天井パネルの搬入、取付設置は必ず耐切割手袋をはめ、長袖を着用して行う
壁パネル・天井パネルの鋼板エッジでけがをするおそれがあります。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

壁



禁止

- ・目地の再利用は絶対にしない
破損や潤滑剤の付着などにより、水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・シリコンバックアップ材の取り付けを確実に行う
水漏れの原因となります。
- ・パネルに開口がある場合は必ず裏補強する
- ・開口が2枚のパネルに渡るときは、2枚のパネルとも裏補強する
裏補強を行わないと、窓枠が十分に固定されず、水漏れのおそれがあります。
- ・平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む
すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。
- ・床ブロックは必ず所定の位置に取り付ける
必要な個所にブロックを取り付けなかったり、誤って取り付けると、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。
- ・コーナージョイナーを取り付けるまで、壁パネルは自立しないので、壁パネルを手で支えておく
壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。
- ・コーナー上ブロックは確実にはめる
コーナーブロックが外れると、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。
- ・壁パネルとジョイナーは、しっかり支えてブロックを取り付ける
しっかり支えないと、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。
- ・鋼板用樹脂アンカー（白）を使用して取り付ける
確実に行わないと、落下事故の原因となります。
- ・目地を取り外した後、新しい目地を挿入する場合は、壁パネルに付着した潤滑剤を、十分にふき取る
目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損し、水漏れのおそれがあります。

天井



禁止

- ・天井パネルへのパッキンは取り付け後は、パッキンを下にして置かない
パッキンが破損して、水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・シーリング材充填は天井パネル連結部に合わせて確実に行う
確実に施されていないと、水漏れの原因となります。
- ・天井パネルの外周部を、壁パネルの立ち上がり部の外側にかぶせるように載せ、ねじにて仮固定する
落下し、けがや破損のおそれがあります。

ミラー



禁止

- ・ミラーの落下防止金具の解体は絶対にしない
落下して、けがをするおそれがあります。



必ず守る

- ・ミラー裏面の両面テープのはく離紙は、必ずはがす
はがさないと、ミラーが落下してけがをするおそれがあります。
- ・ミラー受け具は確実に固定する
ずれていたり曲がっていると、ミラーが落下してけがをするおそれがあります。

壁・床



必ず守る

- ・壁・床などのシーリング材充填は、シーリング材で確実に行う
水漏れにより家財を汚したり腐らせる原因となります。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

排水トラップ



禁止

- **排水トラップを締め付ける際にトラップ締付工具の下端でトラップ底を傷付けない**
トラップが割れると、水漏れの原因となります。



必ず守る

- **排水トラップのUパッキンは、正しい向きで取り付ける**
守らないと、水漏れするおそれがあります。
- **トラップ取り付けの際、Uパッキン（2箇所）を、確実に取り付ける**
Uパッキンを確実に取り付けないと、水漏れの原因となります。
- **トラップのねじ部およびUパッキンには、シーリング材を塗布しない**
トラップやUパッキンが変形し、水漏れの原因になります。

- **必ず浴槽側の締付リングの増し締めを行ってから、洗い場側を固定する**
洗い場側から先に締め付けを行うと、締付不良による水漏れの原因となります。
- **必ず浴槽の中に入って増し締め作業をする**
浴槽の中に入らないと十分な力が加わらず、締付不良による水漏れの原因となります。

配管・混合水栓



禁止

- **配管は急角度に曲げない**
配管に亀裂が入って、水漏れの原因となります。

- **放り投げなど、外面に変形を起こすような取り扱いはいしない**
- **継ぎ手は絶対に分解しない**



必ず守る

- **継ぎ手部分での無理な曲げ配管をしない**
配管に亀裂が入って、水漏れの原因となります。
- **継ぎ手内部に異物が入らないように保管する**
また、直射日光が当たる場所や有機溶剤を扱う場所で保管しない
- **雑排水管の差し込み部は、根元までしっかり差し込む**
しっかり差し込まずに接着すると、水漏れの原因となります。
- **排水管の接続は、排水トラップと浴槽排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む**
守らないと、水漏れの原因となります。
- **締め付けリングのねじ固定は水平の位置で固定する**
水平位置で固定をしないと、キリ加工時に配管を傷つけ、水漏れの原因となります。

- **排水管の接続は、浴槽側と排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む**
守らないと、水漏れの原因となります。
- **給水・給湯管、排水管、混合水栓は確実に接続する**
確実に接続しないと、水漏れの原因となります。
- **パッキン類がよじれないようにナットを締め付ける**
パッキン類がよじれると、水漏れの原因となります。
- **水栓固定金具や裏配管の取り付けは、必ず専用工具を使用する**
専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。
- **締め付けリングはドリリング皿タッピンねじで確実に固定する**
ねじ固定をしないと、緩みにより水漏れしたり、落下してけがをするおそれがあります。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

混合水栓



必ず守る

- ・混合水栓は、ニップルにシールテープを7～8回巻いてねじ接続する
シールテープを巻かないと、水漏れの原因となります。

床パン



必ず守る

- ・パッキンは洗い場床パンの指定位置に合わせて、確実にはり付ける
確実にはり付けないと、水漏れの原因となります。

ドア



禁止

- ・ターンナットは重量物を固定しない
落下によるけがの原因となります。

- ・下枠パッキンが、正しく取り付けられていることを確認する
パッキンが外れていると、水漏れの原因となります。
- ・外したドアは、上下逆さにして縦置きする
ドアの下部・縦部のエアタイト材（パッキン）が損傷すると、水漏れの原因となります。
- ・ドア下枠と床パンとの間にすき間ができないよう、押し込んで確実に取り付け
すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。
- ・ドア横小壁は、床パンとの間にすき間ができないよう、押し込んで確実に取り付け
すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。
- ・引き戸の枠組み時、シーラーの厚みが半分程度になるまで締め付け固定する
締め付けが弱いと枠と枠とに生じたすき間から、水漏れの原因となります。
- ・引き戸の下枠防水パッキンに傷を付けたり、切らないようにする
また、パッキンの両端が縦枠に確実に接するようにする
切れ目や縦枠に生じたすき間から、水漏れの原因となります。



必ず守る

- ・引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける
すき間があると、ドア枠のシーリング材が切れたときに、水漏れの原因となります。
- ・ドアの下枠は必ず水平になるよう取り付け
傾きがあると、水漏れや走行不良の原因となります。
- ・片引き戸のドアの下枠（戸袋側）は必ず0～1mm方立て部より高くなるよう取り付け
高くしないと、水がたまって水漏れの原因となります。
- ・3枚引き戸はガラリが外れる側が、必ず浴室側になるよう取り付け
通気口よりの、水漏れの原因となります。
- ・穴隠しキャップはドア枠ねじ穴に確実にめめる
取り付け忘れや不備があると、水漏れの原因となります。
- ・ラッチの確認・調整は必ず行う
ラッチがずれたまま使用すると、水漏れの原因となります。

照明器具



必ず守る

- ・照明カバーは確実に取り付け
守らないと落下し、けがをするおそれがあります。

握りバー

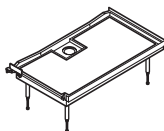
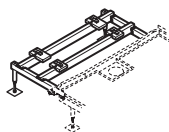
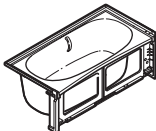
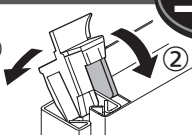
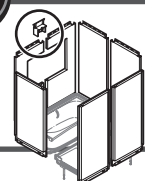
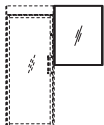
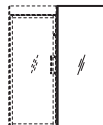


必ず守る

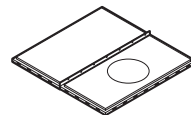
- ・握りバーの裏補強は確実に行う
確実に行わないと、落下事故の原因となります。
- ・握りバーの取付座は正しい向きに取り付ける
握りバーが外れて、けがの原因となります。
- ・握りバーの受け具は正しい向きに取り付ける
握りバーが外れて、けがの原因となります。

※商品を開梱したら外観に損傷がないことをご確認ください。
(取り付け済商品の損傷は、保証対象外となりますので、取り付け前に必ずご確認ください。)

取り付けの手順

1	取付設置前の準備		36 ページ
2-1	洗い場床パンの据え付け		39 ページ
2-2	連結フレームの据え付け		52 ページ
3	浴槽の設置		60 ページ
● ● 水張り試験 ● ●			
4-1	壁パネルの前加工	☒ チェック P.26 図面集	81 ページ
4-2	壁パネルの建て込み	☒ チェック P.104 ① 平上ブロック取り付け  	93 ページ
オプション			
5	FIX窓の設置	 	110 ページ
6	ドア枠の取り付け	  取り付けの後に...	118 ページ

7 天井の設置



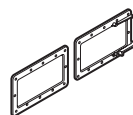
149
ページ

8 混合水栓の取り付け



164
ページ

9 浴槽周辺部材の取り付け



166
ページ

10 水栓の取り付け



169
ページ

11 ドアの取り付け



175
ページ

12/13 エプロン・排水口の取り付け 器具の取り付け

193
ページ

14 仕上げ・清掃・検査

207
ページ

バスルームの取付設置工事区分

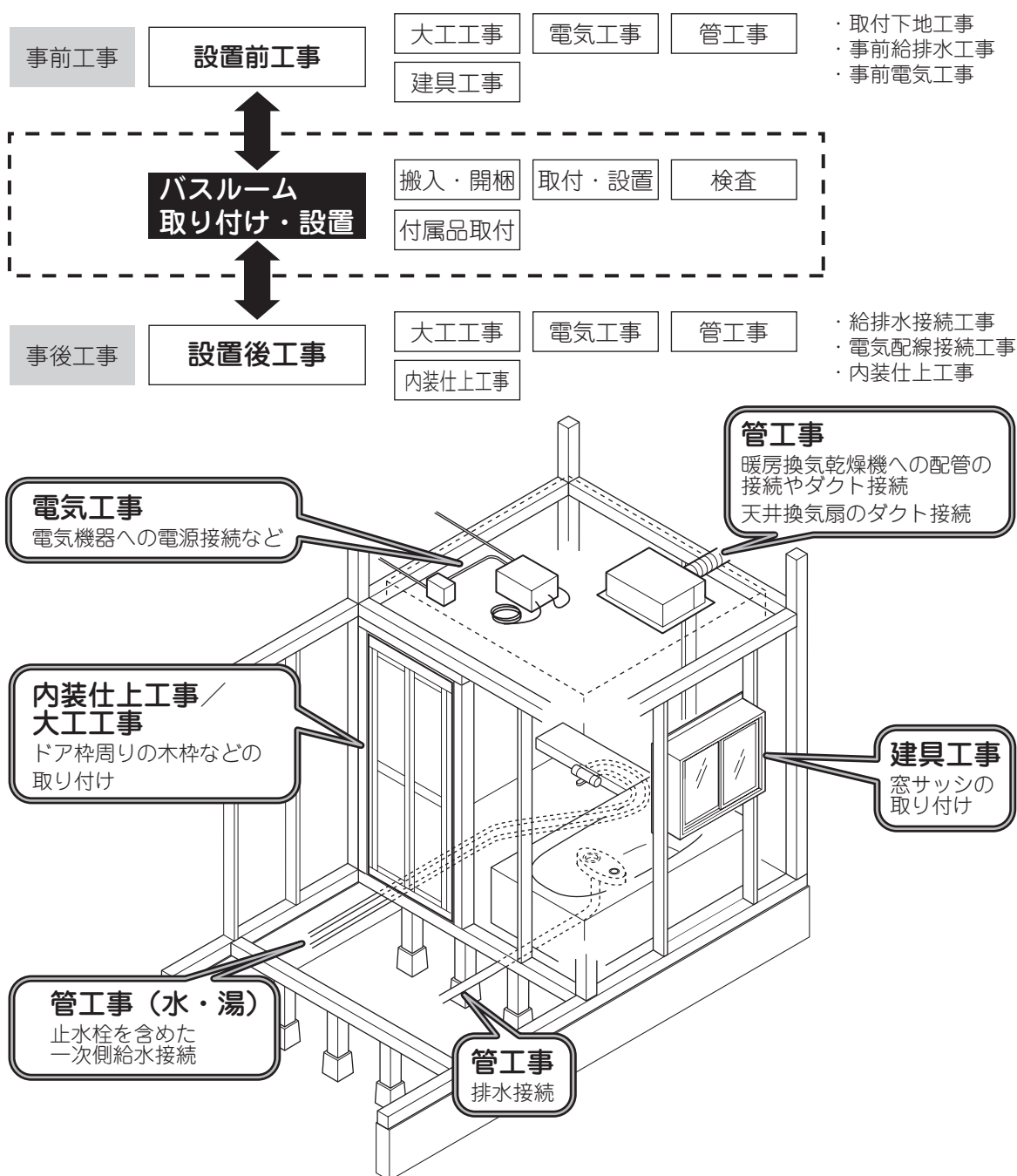
警告



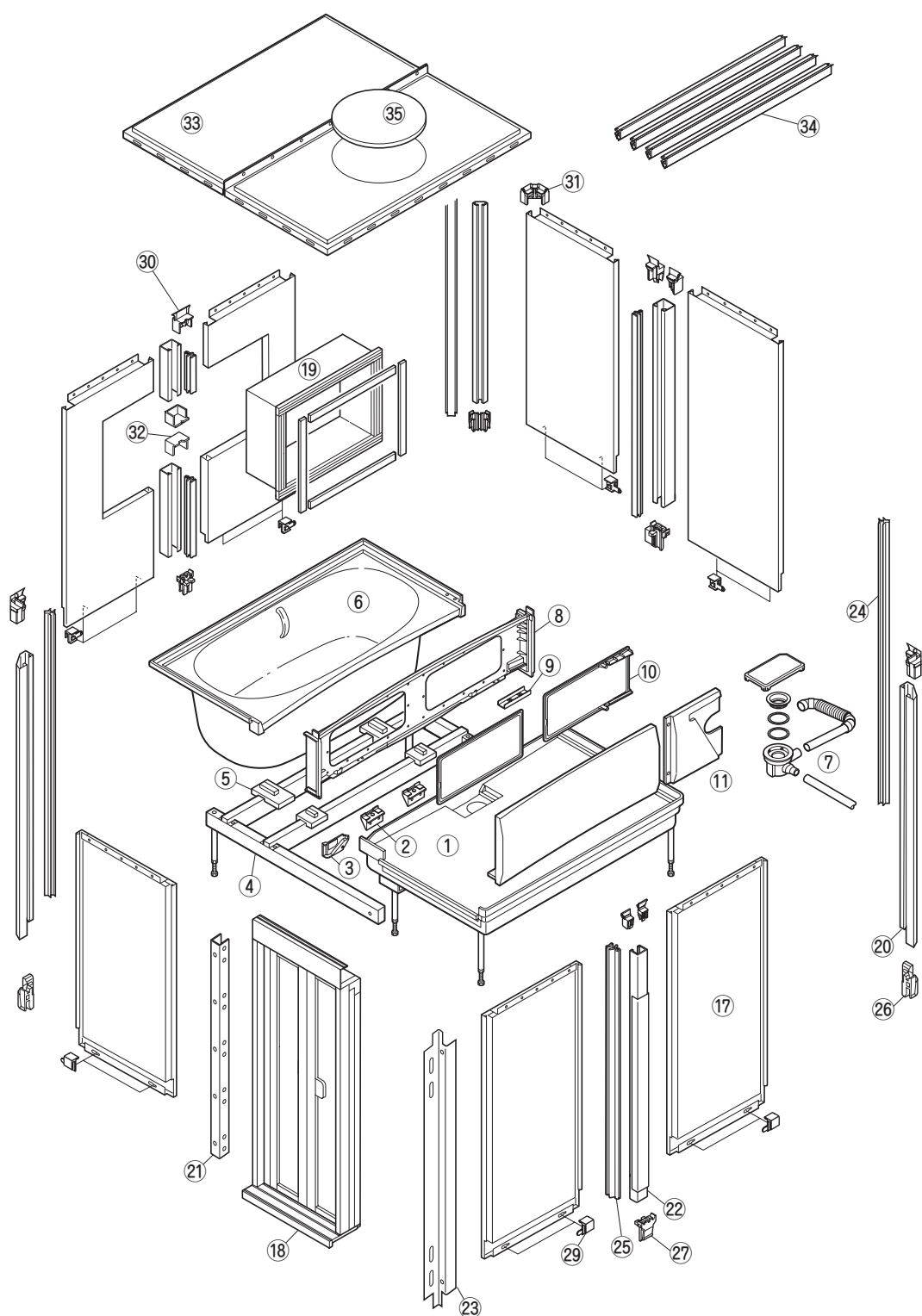
必ず守る

- 本説明書は、バスルームの本体取付・設置と関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、ガス配管工事、配管（給排水）工事、建具工事などを区別して説明しています
（建設工事は、関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。流通業者（販売店）を通して「本体の取付・設置」を行う場合は、「建設工事部分」と「バスルームの本体取付・設置」を区別して行ってください。）

■「バスルームの取り付け設置」と工事区分



構成図

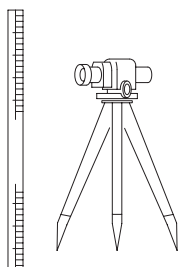
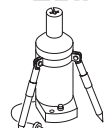
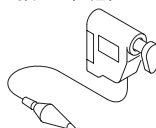
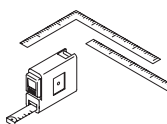
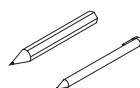
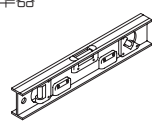
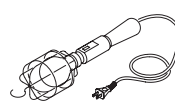
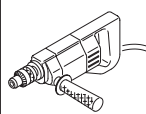
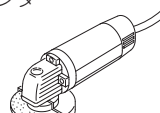
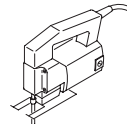
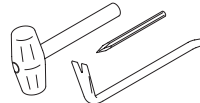
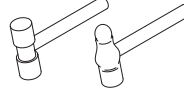
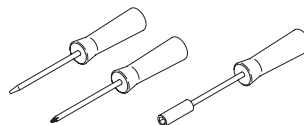
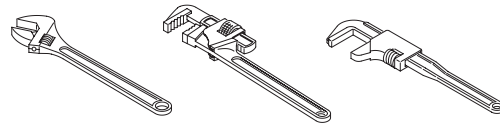
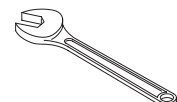
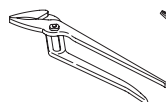
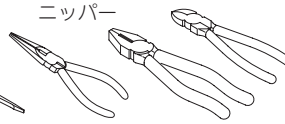
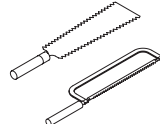
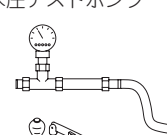
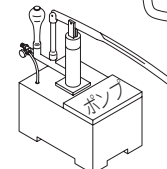
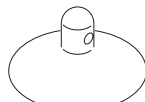


①	洗い場床パン
②	内エプロン支持ブロック
③	床パンせき止水ピース
④	連結フレーム
⑤	浴槽支持ブロック
⑥	浴槽
⑦	排水トラップ
⑧	内エプロン
⑨	小エプロンスライドガイド
⑩	メンテナンスカバー
⑪	化粧エプロン
⑫	アジャスターボルト
⑬	床支持バー
⑭	床支持金具
⑮	浴槽排水管
⑯	専用架台
⑰	壁パネル
⑱	ドア本体
⑲	窓枠
⑳	コーナージョイナー
㉑	ドア平ジョイナー
㉒	平ジョイナー
㉓	ドアコーナージョイナー
㉔	目地（コーナー用）
㉕	目地（平用）
㉖	コーナー下ブロック
㉗	平下ブロック
㉘	段違い平下ブロック
㉙	壁掛けハンガー
㉚	天井ブロック（平用）
㉛	天井ブロック（コーナー用）
㉜	窓開口接続ピース
㉝	天井パネル
㉞	天井回し縁
㉟	天井点検口ふた

※この構成図は一例です。プランによって構成部材やサイズは異なります。

使用工具類

※  印の治工具については、当社営業所へ別途ご注文ください。

目地打ち込み治具  (品番：GVR7107)	平目地打ち込み治具  (品番：GRYGD9111)	仮固定目地  (品番：GVP3269)	トラップ 締め付け工具  (品番：GRYGVR7106)	水栓固定金具 締め付け工具  (品番：GRYGR818188)	
水準器 	レーザー墨出器 	下げ振り (2個) 	コンベックス・鋼尺 	ケガキ (鉛筆・油性ペンなど)・ 先細ペン 	墨つぼ・墨さし 
水準器 	コードリール 	作業灯 	電気ドリル 	キリ φ2.8 φ4 φ5 φ8 φ10 	ホールソー φ15 φ25 φ30 φ32 
充電ドライバー・ ドリルビット 	サンダー 	ジグソー (鉄鋼用) 	天井回し・目地用 カッター (ハサミ) 	カッターナイフ (大・小)・ 塩ビカッター 	ヤスリ (中目・細目) 
チス・ハツリハンマー パール (1.5m) 	プラスチックハンマー ・片手ハンマー 	ドライバー・ボックスレンチ 	モンキーレンチ・パイプレンチ・モーターレンチ 		
スパナ (17mm) 	水栓用L型レンチ 	ウォーターポンプ プライヤー 	ラジオペンチ・ペンチ・ ニッパー 	のこぎり・金ノコ 	水圧テストポンプ 
バケツ・スポンジ ・ウェス 	脚立 	シーリング材ガン 	ほうき・ちりとり・掃除機 		
事前準備物 ※事前にご用意 ください。	青色塩ビ接着剤 	リグロイン (清掃用溶剤) 	シールテープ 	吸盤 (耐荷重2kg以上) 	

シーリング材(白) は、壁ジョイント小物セットに付属しています。

※正面パネルが濃色系パネルの場合は、壁ジョイント小物セットには、シーリング材(白) に代わり
 シーリング材(黒) が付属しています。



追焚釜接続位置図

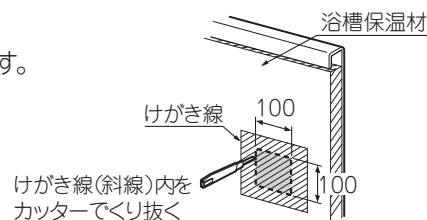
単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

■保温浴槽に釜穴を開ける場合は、下記の手順で行ってください。

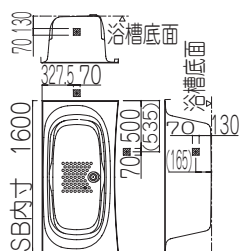
- ・保温材(発泡スチロール)に釜穴取り付け位置を示すけがき線(斜線)があります。
- ・けがき線内の100mm×100mmをカッターなどで切り取ってください。
- ・保温材を切り取った後、穴開け作業を行ってください。

※保温材が循環器具や配管と干渉する場合は、干渉部分をカッターなどで切り欠いてください。ただし、切り欠く量は、最小限にとどめてください。



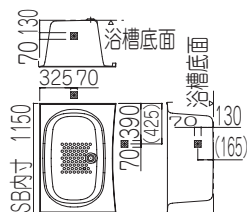
【現場加工の場合】

〈1621・1616サイズ〉

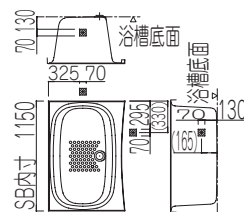


〈1216サイズ〉

・クリーン浴槽



・FRP浴槽

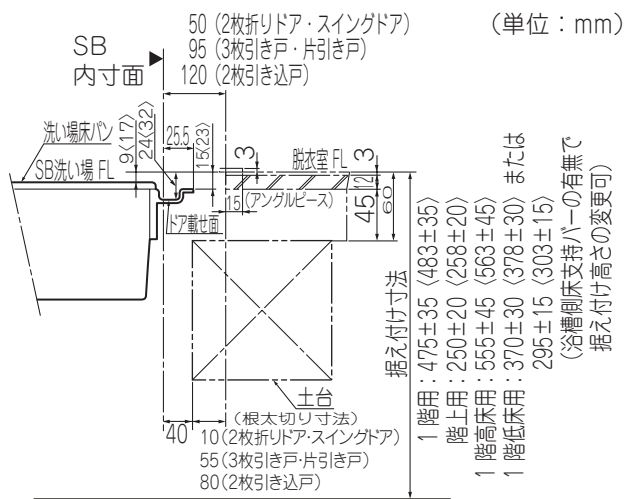


- ※システムバス設置後は穴開口ができませんので、事前に打ち合わせてください。
- ※穴開け可能範囲は図の斜線部分です。
- ※追焚釜の穴開けは、必ず浴槽据え付け前に行ってください。
- ※自然循環釜(2穴開口)は設置できません。
- ※追焚釜の穴開け後の切り粉は、水ふきなどできれいにふき取ってください。

ドア納まり図

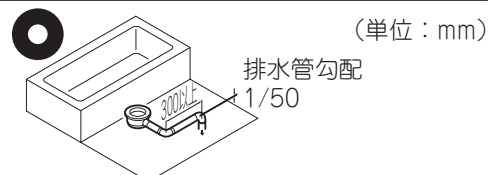
■ドアの納まり

・〈 〉内寸法は、3枚引き戸・片引き戸・2枚引き込戸の場合です。

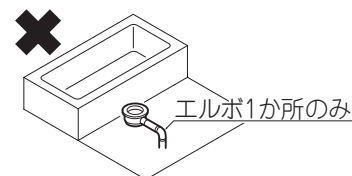


排水管・床支持・専用架台基準位置図

排水管床下接続の注意事項



※必ず、排水管を横に300mm以上振ってから床下に落とし、かつ2段落としにならないように配管してください。



※図のように、排水管を横に振らずに床下に落とすと、排水音が大きくなるトラブルの原因となります。

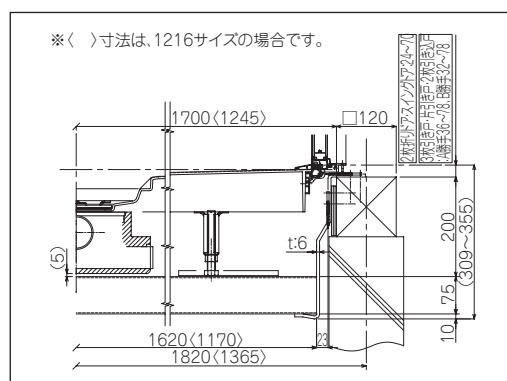
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

専用架台設置詳細納まり

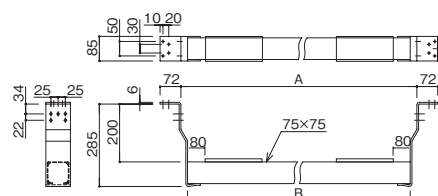
●土台（梁天端）～脱衣室 FL 寸法については、下表を確認してください。

	土台（梁天端）～脱衣室FL寸法	
	A勝手	B勝手
2枚折りドア・スイングドア	24～70	
3枚引き戸・片引き戸・2枚引き込戸	36～78	32～78

●最終的に、SBFL と脱衣室 FL の高さ調整は、アジャスターボルトの高さを調整することによって行います。



【架台詳細図】

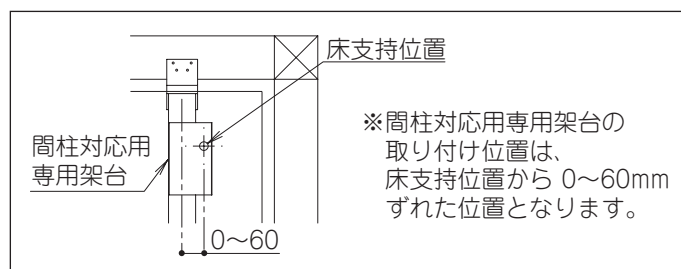


	1621・1616サイズ*	1216サイズ*
A寸法	1666	1216
B寸法	1620	1170

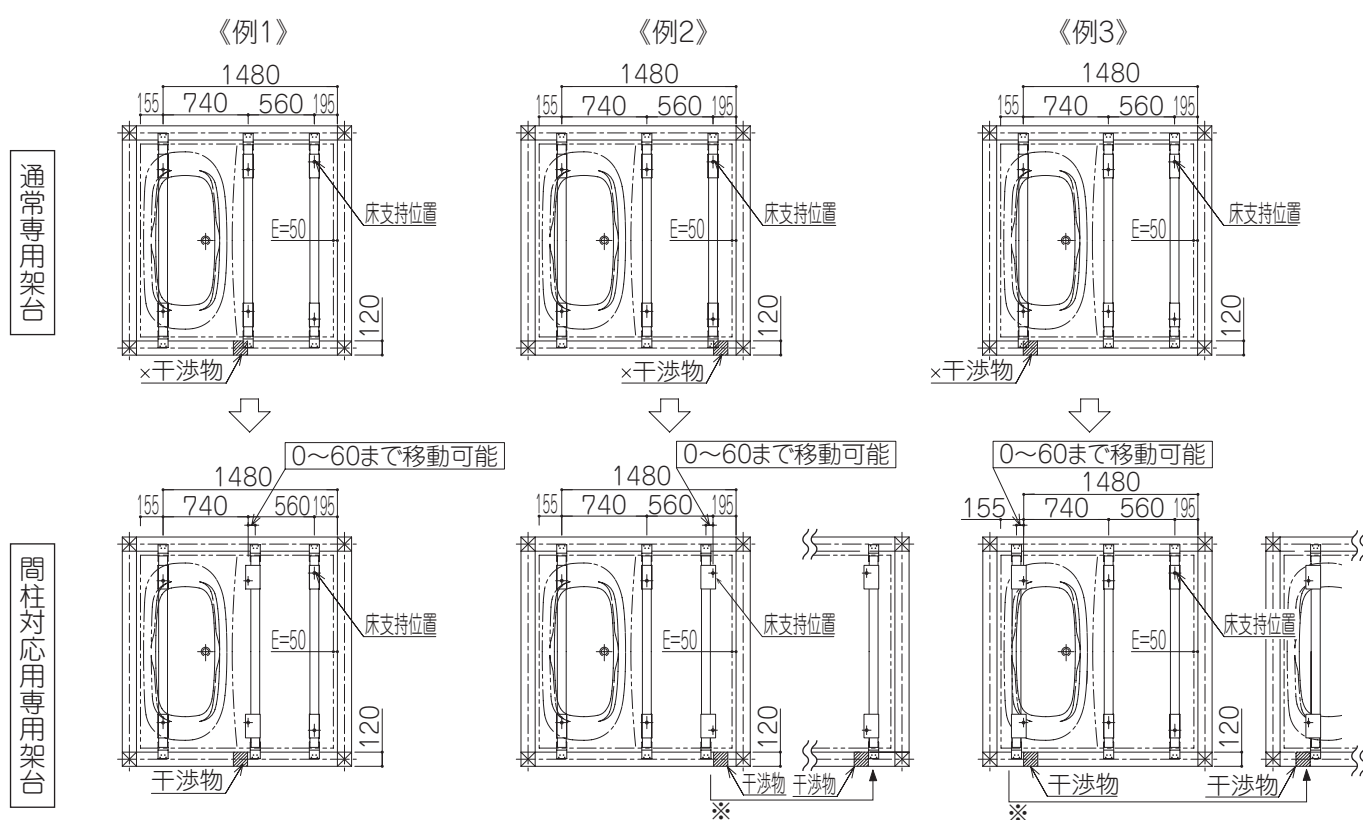
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

間柱対応用専用架台セット

- 専用架台の掛け位置付近に干渉物（アンカーボルトや間柱など）があり、専用架台を20mm移動しても干渉物を避けられない場合に使用してください。
- 間柱対応用専用架台セットを使用すると、専用架台を0mm～60mm移動することができます。
（間柱対応用専用架台セットには、60mm移動用の専用架台が1本付属します。）



〔使用例（1616 サイズの場合）〕



※必要に応じて、専用架台を180度回転させて、取り付けることができます。

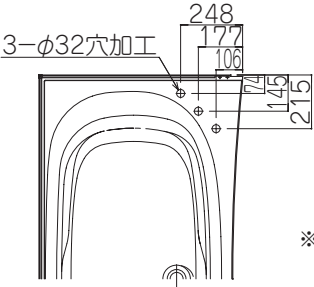
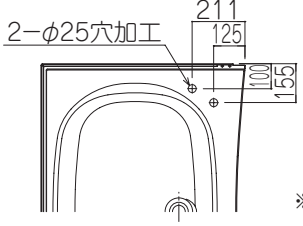
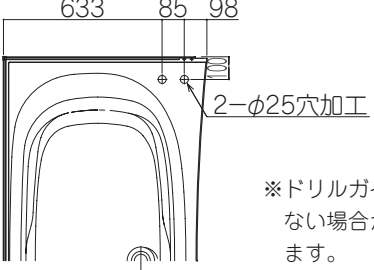
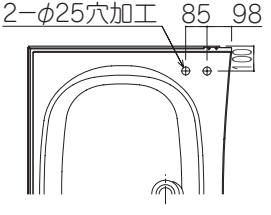
※芯々寸法以外の寸法は土台（梁）内面からの寸法であり、土台（梁）内面～SB内寸がE=50mmの場合の参考値です。

浴槽デッキ水栓用穴開口位置図

単位：mm

- ・ 本図はR勝手の場合を表します。L勝手は本図と対称になります。
- ・ 穴開け後の切り粉は、水ふきなどできれいにふき取ってください。
- ・ 浴槽の裏面にドリルガイドがあります。下記図面に該当する個所に合わせて、加工してください。

※一部の浴槽には、兼用浴槽デッキ水栓用のドリルガイドがない場合があります。下図の寸法でけがき、加工してください。

浴槽デッキ水栓	〈1621・1616サイズ〉  ※ドリルガイドがあります。	〈1216サイズ〉 ・ クリーン浴槽のみ  ※ドリルガイドがあります。
兼用浴槽デッキ水栓	〈1621・1616サイズ〉  ※ドリルガイドがない場合があります。	〈1216サイズ〉 ・ クリーン浴槽のみ  ※ドリルガイドがあります。

壁パネル展開図

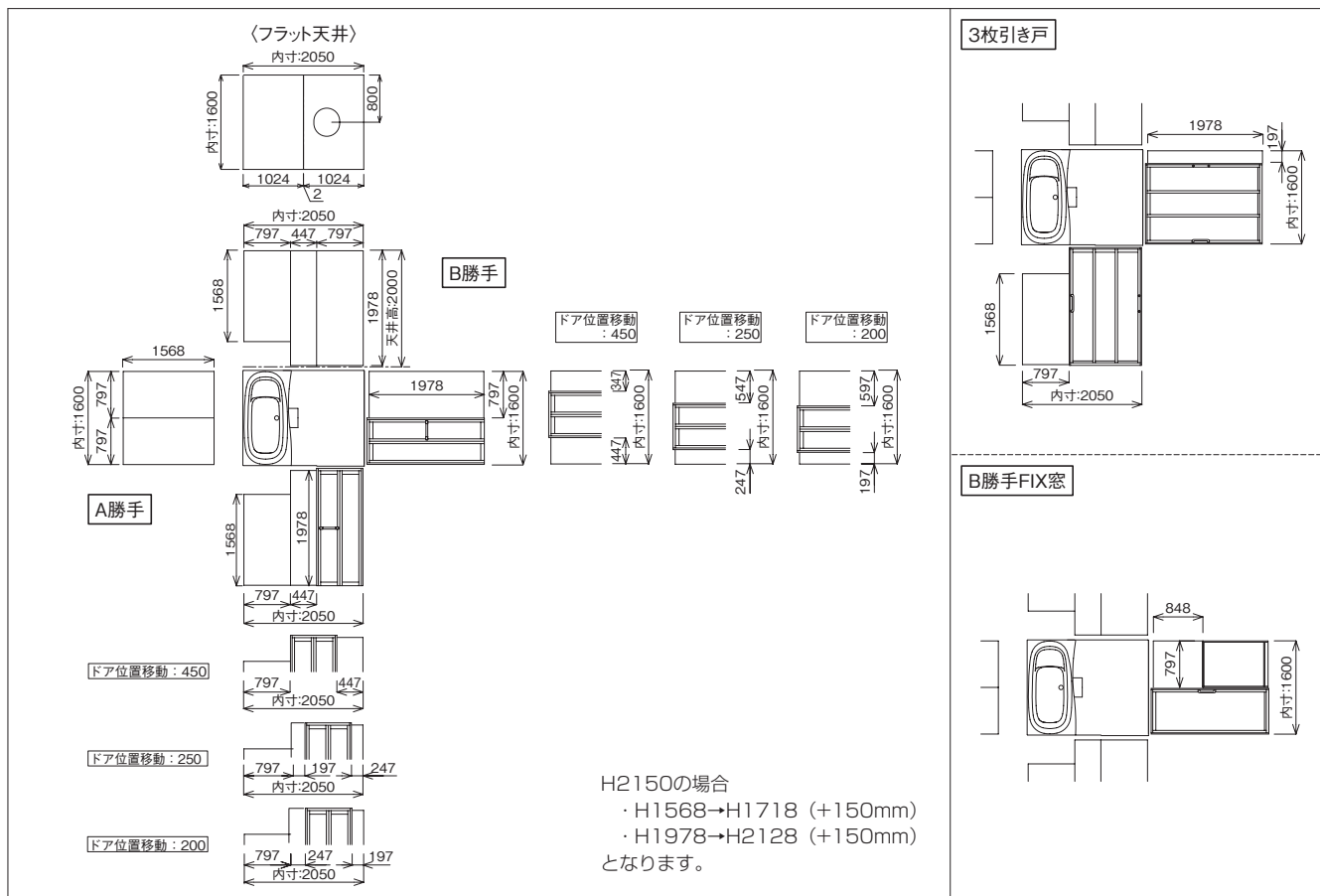
●壁パネルについて
パネル高さは、下記のとおりとなります。(本図は、H2000 の場合です。)

天井高さ	長尺パネル (高さサイズ)	短尺パネル (高さサイズ)
H2000	H1978	H1568
H2150	H2128	H1718
H1900	H1878	H1468

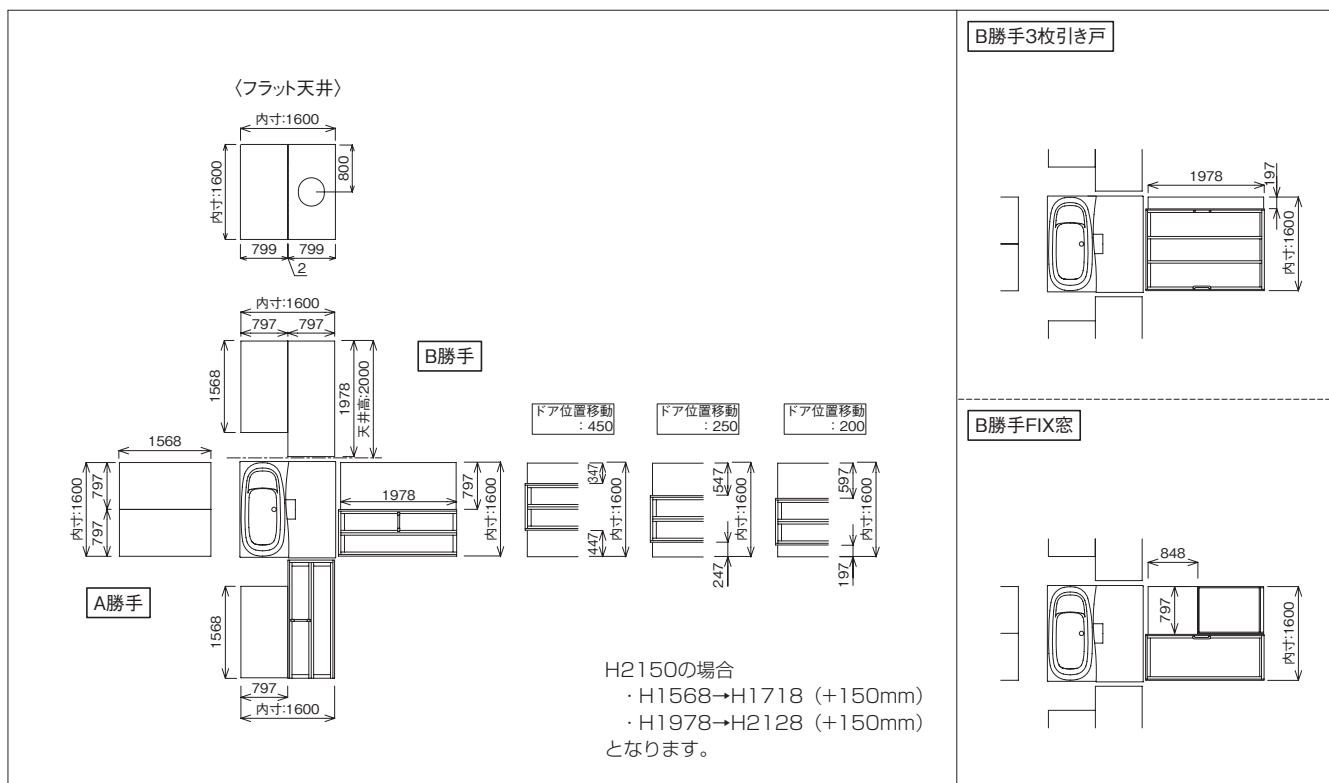
単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1621サイズ



1616サイズ



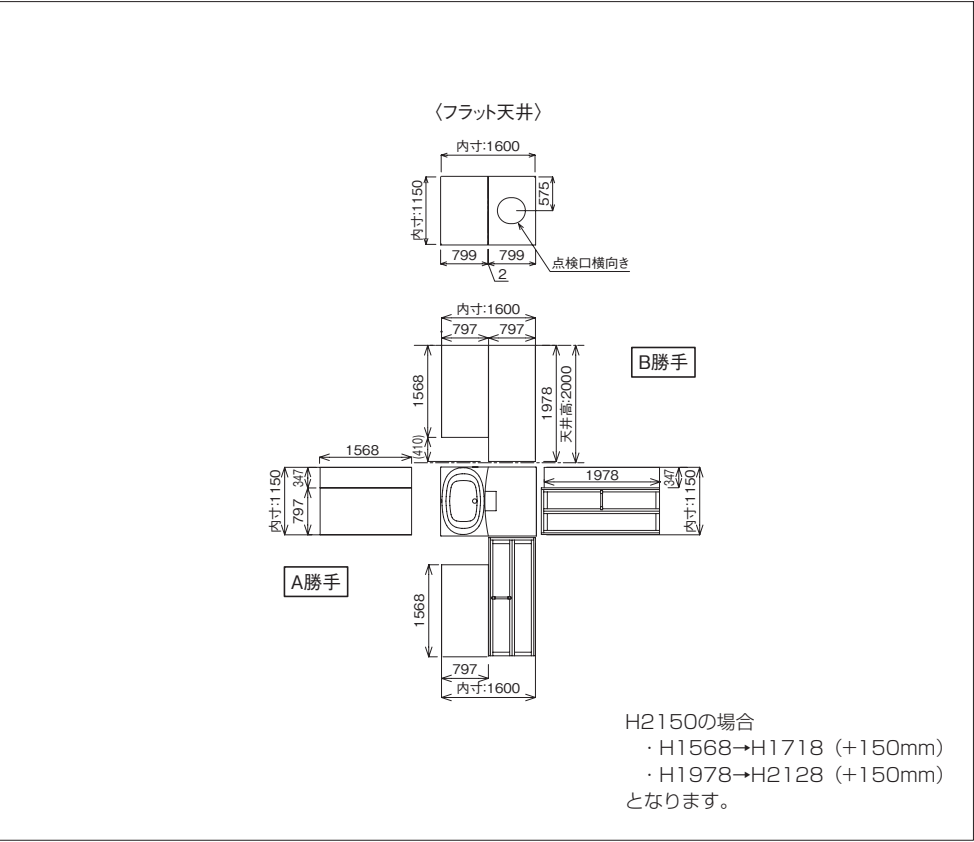
●壁パネルについて
パネル高さは、下記のとおりとなります。(本図は、H2000 の場合です。)

天井高さ	長尺パネル (高さサイズ)	短尺パネル (高さサイズ)
H2000	H1978	H1568
H2150	H2128	H1718
H1900	H1878	H1468

単位：mm

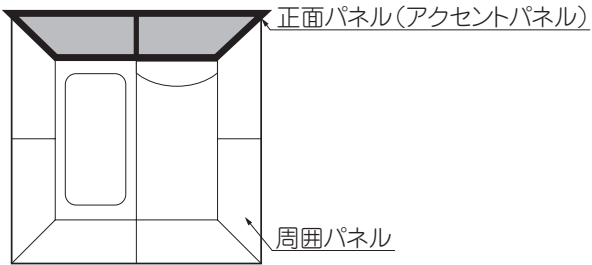
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1216サイズ



アクセントパネルの位置と壁パネルの色柄について

アクセントパネル建て込み位置は、カウンター取り付け面（正面）になります。

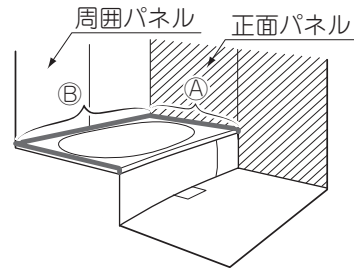


柄	シーリング分類	壁目地
ロウライト	薄色系	ホワイト
ロウグレイ	濃色系	グレイ
墨モルタル	濃色系	ディープグレイ
トラバーチンクラシコ	薄色系	ホワイト
グレイスホワイト	薄色系	ホワイト

シーリング材の色について

〈浴槽まわりのシーリング材充てん〉

・A部とB部のシーリング材の色は、同色となります。

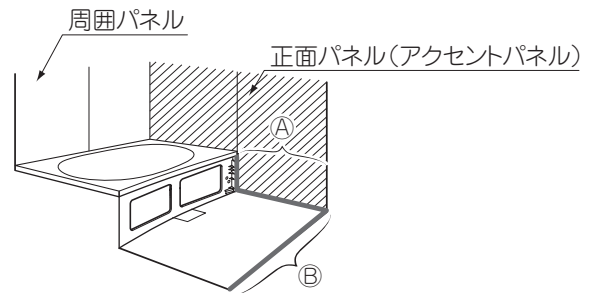


浴槽色		壁柄（正面パネル色）		シーリング材色
パールブラック以外	+	全壁柄	⇒	ホワイト
パールブラック	+	薄色系	⇒	ホワイト
	+	濃色系	⇒	ブラック

〈床パンのシーリング材充てん〉

【パターン①】

・A部とB部のシーリング材の色は、同色となります。



床色・エプロン色		壁柄（正面パネル色）		シーリング材色
ミディアムホワイト	+	全壁柄	⇒	ホワイト
ミディアムグレー	+	薄色系	⇒	ホワイト
	+	濃色系	⇒	ブラック

【パターン②】

・A部とB部のシーリング材の色は、異なります。

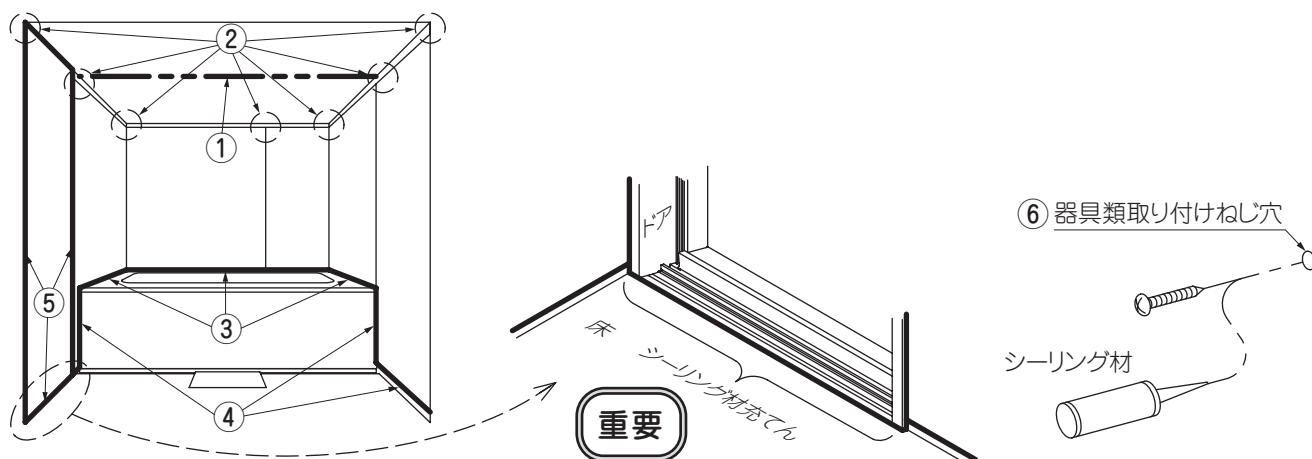
床色		壁柄		シーリング材色
ミディアムグレー	+	アクセントパネル：濃色系 周囲パネル：薄色系	⇒	A部：ブラック B部：ホワイト
	+	アクセントパネル：薄色系 周囲パネル：濃色系	⇒	A部：ホワイト B部：ブラック

〈シーリング材の充てん指定箇所〉

番号	部 位	壁	
		薄色	濃色
①	天井ジョイント部	○	○
②	天井回し縁～壁目地接合部	○	○
③	浴槽～壁取り合い部	前ページ参照	
④	床～壁取り合い部	前ページ参照	
⑤	ドア枠回り	○	●
⑥	器具類取り付けねじ穴	○	○

○：シーリング材（ホワイト）

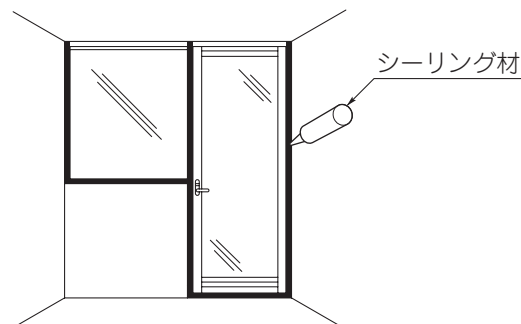
●：シーリング材（ブラック）



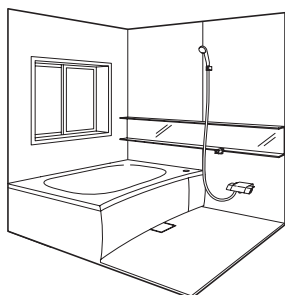
〈FIX窓がある場合〉

ドア枠、FIX窓の周囲にシーリング材を塗布する。

FIX窓の色		シーリング材色
ホワイト シルバー	⇒	ホワイト
ブラック	⇒	ブラック



〈その他の注意事項〉



※ブラック色の窓枠へのシーリング材の充填は、同梱の「**ブラック（窓枠用）シーリング材**」をご使用ください。色味が異なります。

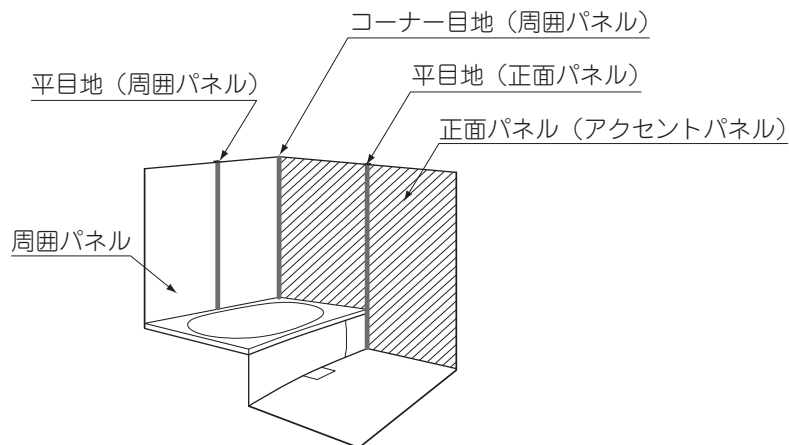
※ご選定のプランにより、ブラック色のシーリング材が不要となる場合があります。

※「ジョイント小物シリコンセット」にブラックのシーリング材が同梱の場合、壁断熱材および壁裏補強の貼り付けの際は、**ブラックのシーリング材**を優先的に使用してください。ホワイトを使用すると不足する場合があります。

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

壁目地について

アクセントパネル仕様の場合のみ、正面パネルと周囲パネルの平目地の色が異なるパターンがあります。
下記を参照ください。



壁柄	⇒	目地色
墨モルタル	⇒	ディープグレー
ロウライト トラバーチンクラシコ グレイスホワイト	⇒	ホワイト
ロウグレイ	⇒	グレー

器具取り付け穴開口位置図

単位：mm

■器具取り付け方法一覧表

部位	商品名称	下穴	直打 固定	樹脂 アンカー	補強 合板	補強 鉄板	備考
ミラー	ミラーシェルフ	φ4.0	-	-	-	-	ミラーシェルフ用 補強プレート固定
タオル 掛け	タオル掛けA	φ2.8	○	-	-	-	
	タオル掛けB	φ2.8	○	-	-	-	
	タオル掛け(ホワイト)	φ2.8	○	-	-	-	
	タオル掛け(メタル調)	φ2.8	○	-	-	-	
	タオル掛けC	φ5.0	-	○	-	-	
照明	サークルLED照明	φ30 φ2.8	○	-	-	-	
収納棚	ガラス調収納棚	φ2.8	-	-	○	-	補強合板は 製品に付属
スライド バー	ミラーシェルフ用 シャワーバー	φ4.0	-	-	-	-	補強プレート固定 (ミラーシェルフ用 補強セットに付属)
	シャワースライドバー	φ2.8	-	-	○	-	補強合板は 製品に付属
	握りバー兼用 スライドバー	φ10	-	-	-	○	補強鉄板は 製品に付属
シャワー フック	シャワーフック	φ5.0	-	○	-	-	樹脂アンカーは 製品に付属

部位	商品名称	下穴	直打 固定	樹脂 アンカー	補強 合板	補強 鉄板	備考
風呂 フタ フック	巻きフタ用	φ2.8	○	-	-	-	
	組みフタ用	φ2.8	-	-	○	-	補強合板は 製品に付属
	3点フック	φ2.8	-	-	○	-	補強合板は 製品に付属
物干し バー	物干しバー受け	φ2.8	○	-	-	-	
壁付水栓 (洗い 場側)	クリースクエアサーモ水栓 (ホワイト・ブラック)・ メタルスクエアサーモ水栓	φ30 φ2.8	-	-	-	-	水栓固定金具+ 配管回り止 プレート固定
	メタルワイドスクエア サーモ水栓	φ30	-	-	-	-	
	壁付水栓	φ30	-	-	-	-	
	2ハンドル壁付水栓	φ30	-	-	-	-	
壁付水栓 (浴槽 側)	定量止水壁付水栓	φ30	-	-	-	-	
	兼用壁付水栓	φ30	-	-	-	-	
	各種握りバー	φ10	-	-	-	○	補強プレート固定 (製品に付属)

※補強はり付け方法については、81ページを参照ください。

※ミラーシェルフ・シャワーバーは部品同梱の取付設置説明書を参照ください。

■プレ穴加工対象品について

※事前に他のパネルに穴を開けてしまわないように、プレ穴加工対象品のパネルを確認してください。

- ・発注時に、工場プレ穴加工を選択している商品は、工場にて正面壁パネル面に器具位置がけがされています。壁パネル鋼板表面にφ2.8の下穴が加工されています。ただし、ミラーなしプランの場合、収納棚・スライドバーのみスタンプ表示となります。
- ・壁付照明は対象外です。

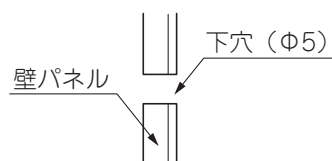
鋼板用樹脂アンカー（白）（GVRY238）を使用した部材の取り付け方法

取付設置上のお願い

- ねじを締め込みすぎると、ねじが空回りして、取り付けできなくなるおそれがあります。
以下のように注意してください。
〈電動ドライバーの場合〉
弱めにクラッチ目盛りを合わせて、最後まで強い力で締め込まないようにしてください。
（クラッチの目安：パナソニック（株）製充電ドライバー品番：EZ6402Nにてクラッチ21段階の2～3レベル）
〈インパクトドライバーの場合〉
手順③に示すよう締め終わりに注意してください。

①下穴（Φ5）を開ける。

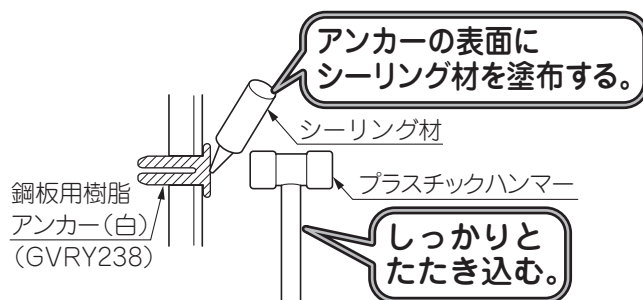
- ・壁パネル表面にバリが出ないように注意してください。



②プラスチックハンマーで鋼板用樹脂アンカーをしっ かりとたたき込み、表面にシーリング材を塗布する。

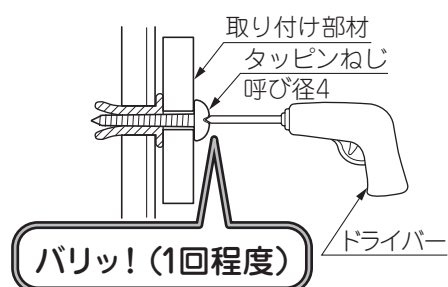
取付設置上のお願い

- しっかりとたたき込まないと、部材が浮いて
しまうおそれがあります。



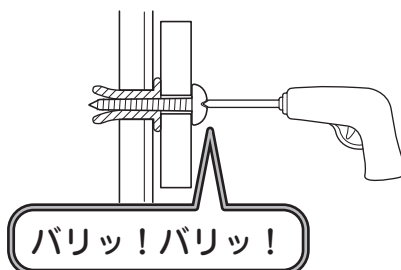
③取り付け部材を固定する。

- ・締め終わりと同時に、ドライバーをねじから離して
ください。



④軽く増し締めする。

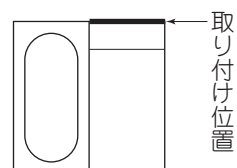
- ・締め込みすぎないように注意してください。



クリーンスクエアサーモ水栓（ホワイト・ブラック）・メタルスクエアサーモ水栓

※ ⊗ 印の穴を $\phi 30$ で開口してください。

※ × 印の穴は現物合わせにて $\phi 2.8$ で開口してください。



R勝手用



L勝手用

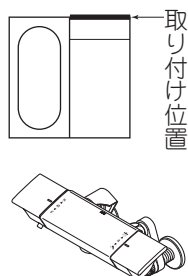


R勝手用 サイズ	A寸法	B寸法
1621	797	589.5
1616・1216	797	395

L勝手用 サイズ	A寸法	B寸法
1621	797	560.5
1616・1216	797	366

メタルワイドスクエアサーモ水栓・壁付水栓

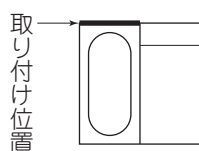
※ 下図はR勝手の場合です。L勝手は本図と対称になります。



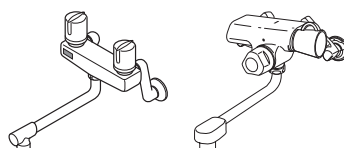
サイズ	A寸法	B寸法
1621	797	526.5
1616・1216	797	332

浴槽側壁付水栓・兼用壁付水栓

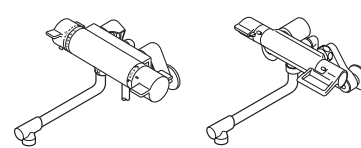
※ 下図はR勝手の場合です。L勝手の場合は本図と対称になります。



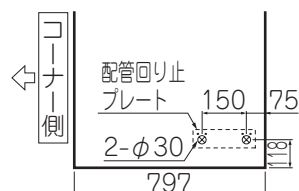
〈浴槽側壁付水栓〉



〈兼用壁付水栓〉



〈1621・1616・1216サイズ〉



タオル掛け A・B・C

・バスルームのサイズと仕様により、取り付け位置が異なります。該当する仕様を下表に当てはめ、下図にて取り付け位置を、下図にて穴開口位置をそれぞれご確認ください。

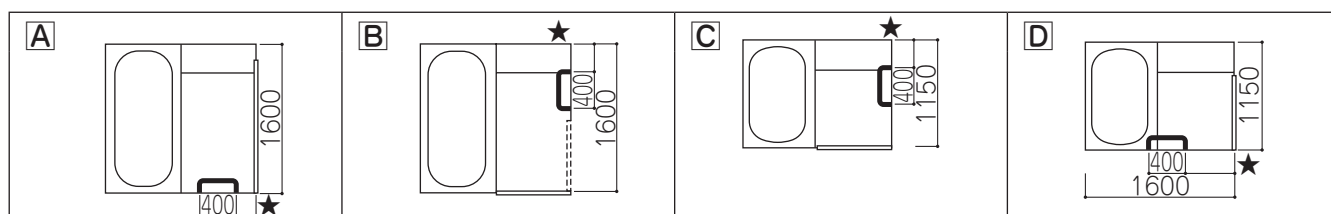
サイズ	仕 様	取付位置	穴開口位置
1621	B勝手3枚引き戸・B勝手ドア 位置移動 (200/250/450)	A	①
	B勝手FIX窓	A	②
	上記以外	B	③

サイズ	仕 様	取付位置	穴開口位置
1616	B勝手3枚引き戸・B勝手ドア 位置移動 (200/250/450)	A	①
	B勝手FIX窓	A	④
	上記以外	B	③
1216	A勝手	C	⑤
	B勝手	D	④

■取り付け位置図

(図中の寸法はSB内寸です。★印は下記の穴開口位置図に対応しています。)

・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。



■取り付け穴開口位置図

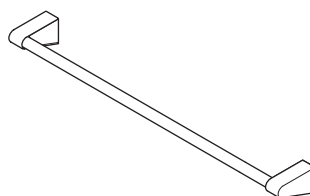
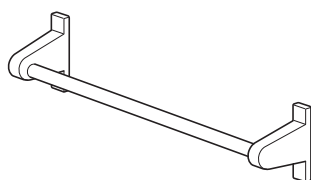
〈タオル掛け A・Bの場合〉

・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

・〈 〉内寸法は、【2024年10月2日発売以降仕様】タオル掛けBの場合です。

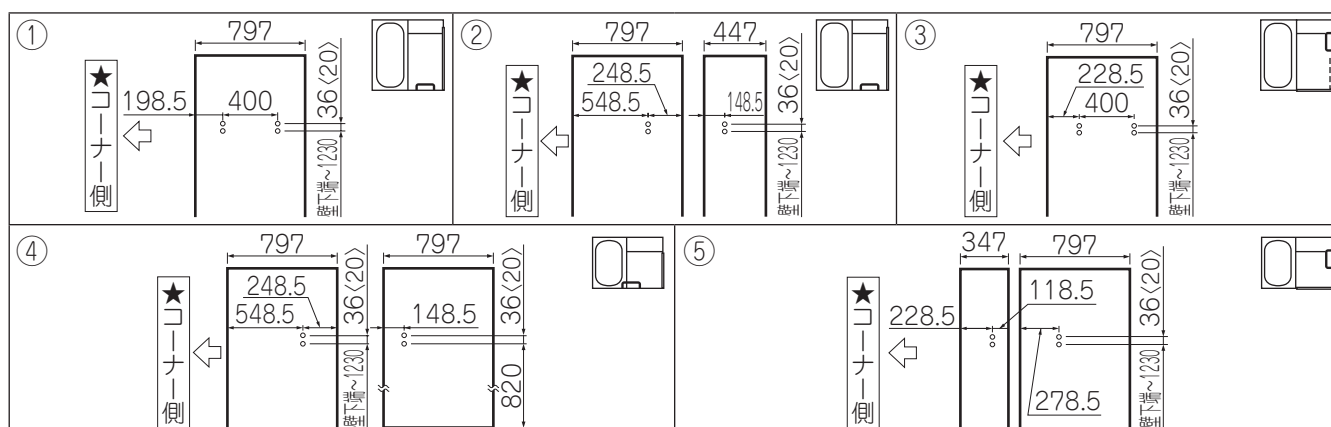
〈タオル掛けA・【従来仕様】タオル掛けB〉

〈【2024年10月2日発売以降仕様】タオル掛けB〉



■取り付け穴加工寸法一覧表

タオル掛け	下穴	鋼板用樹脂アンカー(白)
A・Bタイプ	φ2.8	必要なし

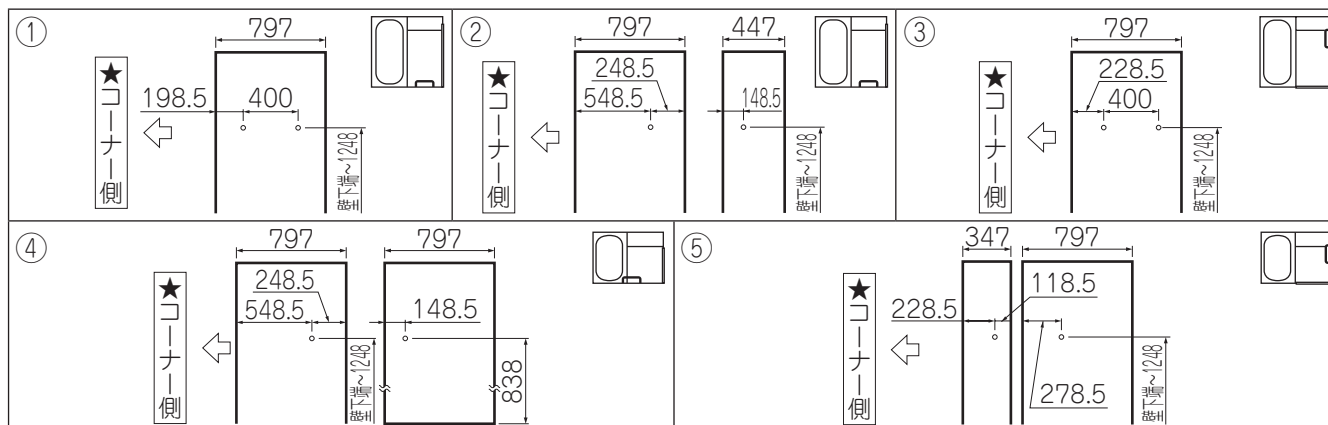


〈タオル掛けCの場合〉

- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。

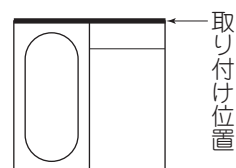
■取り付け穴加工寸法一覧表

タオル掛け	下穴	鋼板用樹脂アンカー(白)
Cタイプ	φ5.0	必要あり

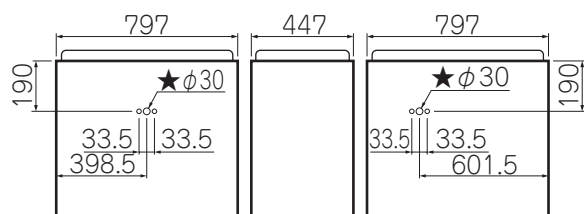


サークルLED照明

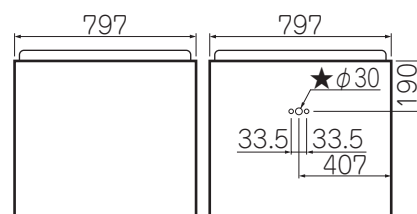
- ・★印の穴（照明器具のコード）を除き、下穴サイズはすべてφ2.8です。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。



〈1621サイズ〉

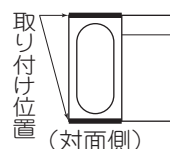


〈1616・1216サイズ〉



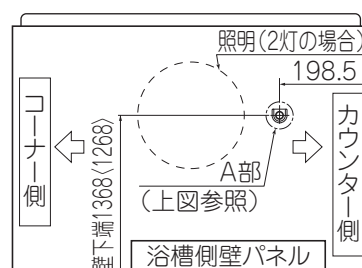
物干しバー受け

- ・下穴サイズはすべてφ2.8です。
- ・本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。また、対面側の壁パネル穴開口も、本図と対称になります。

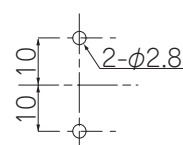


- ※ 〈 〉 寸法は、全高100mmカットの場合です。
- ※ 物干しバーを2本付ける場合で、やむを得ず位置をずらす場合は、天井面より最低200以上上下げて取り付けください。
- 物干しバー受けの取り付け推奨範囲は、暖房換気乾燥機付属の説明書を参照ください。

●サークルLED照明（2灯）を併設の場合



〈A部詳細〉



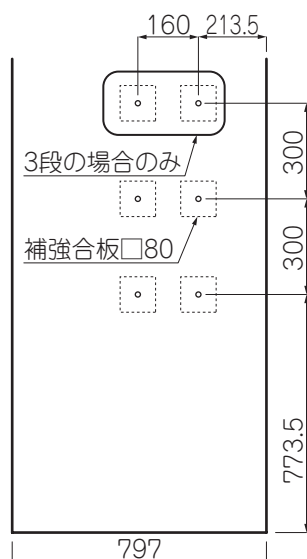
ガラス調収納棚

- ・ 本図はR勝手です。L勝手は対称となります。

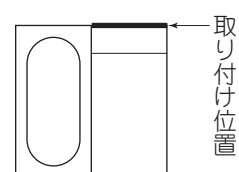
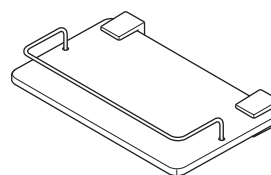
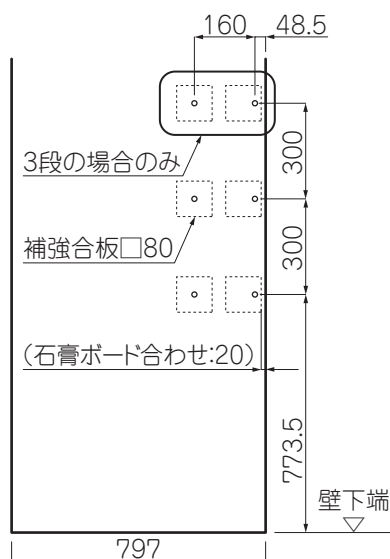
下穴サイズ

○：φ2.8

〈1621サイズ〉

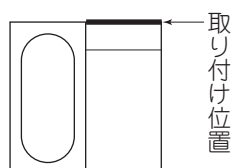


〈1216・1616サイズ〉

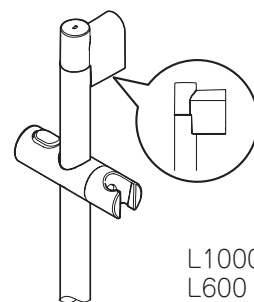


握りバー兼用スライドバー

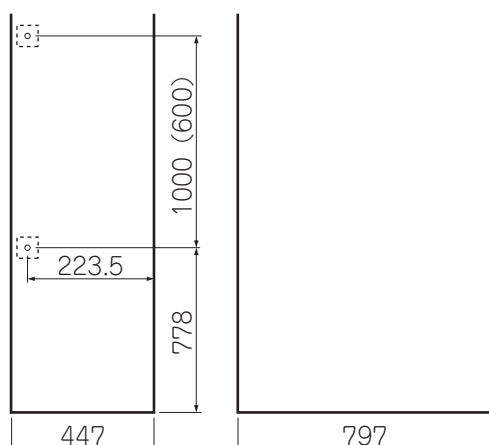
- ・ 下穴サイズはすべてφ10です。
- ・ 裏側から補強プレート(製品に付属)を両面テープとシーリング材ではり付けてください。
- ・ 本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。



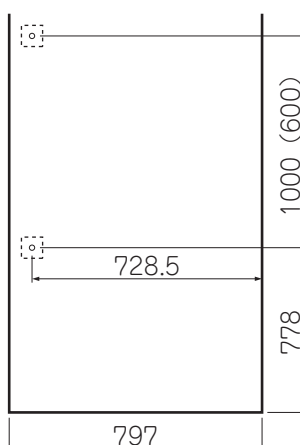
〈部材形状〉



〈1621サイズ〉



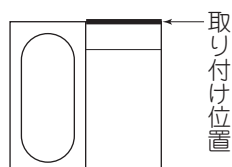
〈1616・1216サイズ〉



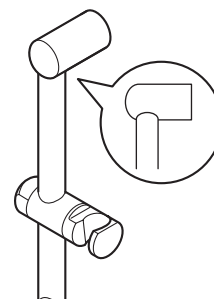
※ () 内寸法は
L600の場合です。

シャワースライドバー

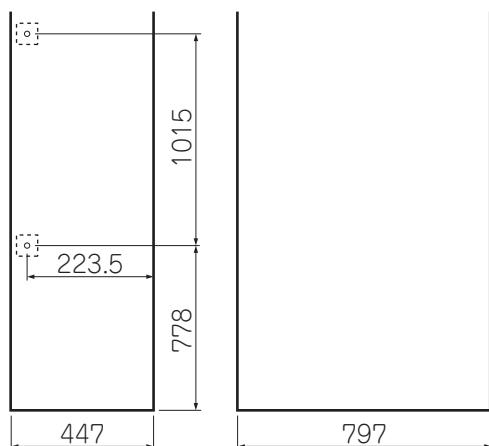
- ・ 下穴サイズはすべてφ2.8です。
- ・ 裏側から補強合板製品に付属）を両面テープとシーリング材ではり付けてください。
- ・ 本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。



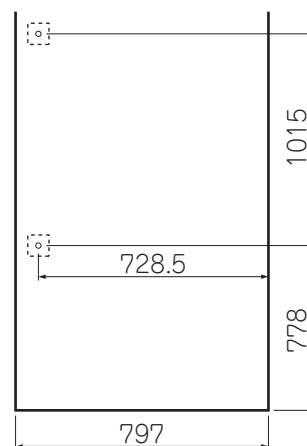
〈部材形状〉



〈1621サイズ〉

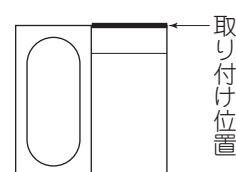


〈1616・1216サイズ〉

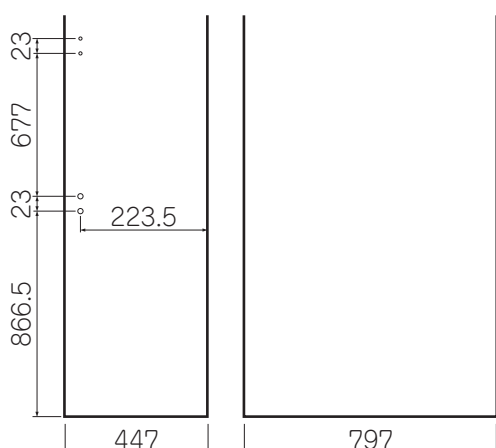


シャワーフック

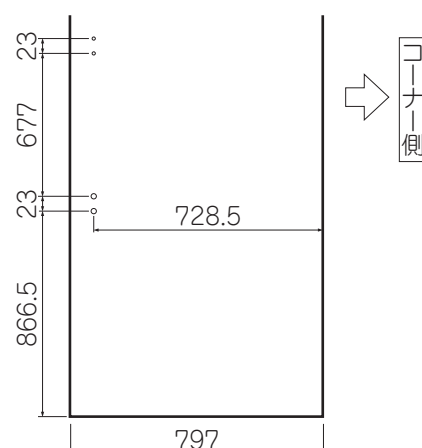
- ・ 下穴サイズはすべてφ5.0です。
- ・ 鋼板用樹脂アンカー（白）を使用してください。
- ・ 本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。



〈1621サイズ〉



〈1616・1216サイズ〉



風呂フタフック

- 風呂フタフックの下穴開口は、フック取り付け時に行います。取付設置方法は本体編205、206ページを参照ください。
 - 下穴サイズはすべてφ2.8です。あらかじめ補強合板のはり付けが必要です。
 - 本図はR勝手の場合を表します。L勝手の場合は本図と対称になります。
- ※ 〈 〉 内寸法は、クリーン浴槽の場合です。
- ※ 〈1621・1616サイズ〉で、握りバーを組みフタ設置側へ縦付けした場合、風呂フタは洗い場側設置となります。



〈組みフタフック〉

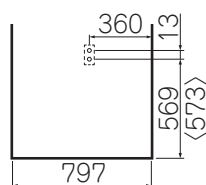
【横置きの場合（標準取り付け位置）】

- 断熱組みフタも同寸法

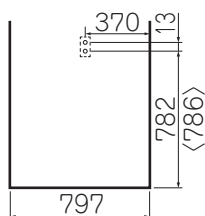
【縦置きの場合（設置面に縦付け握りバーがある場合）】

- 断熱組みフタも同寸法

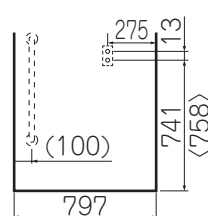
〈1216サイズ〉



〈1621・1616サイズ〉



〈1216サイズ〉

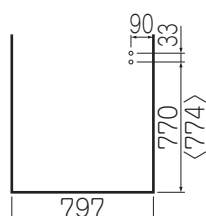


〈巻きフタフック〉

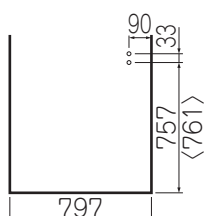
・ 〈 〉 寸法はクリーン浴槽の場合です。

〈1216サイズ〉

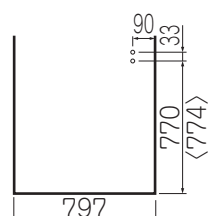
浴槽デッキ水栓・兼用
デッキ水栓の場合



浴槽水栓なしの場合



〈1621・1616サイズ〉

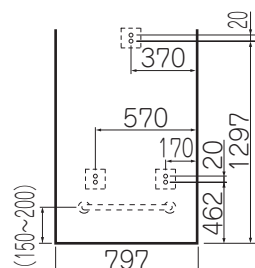


〈3点フックの場合〉 推奨位置

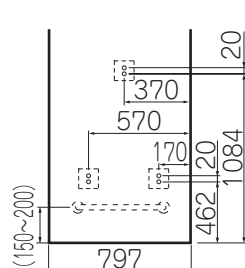
- 断熱組みフタも同寸法

2枚組みフタ

〈1621・1616サイズ〉



〈1216サイズ〉

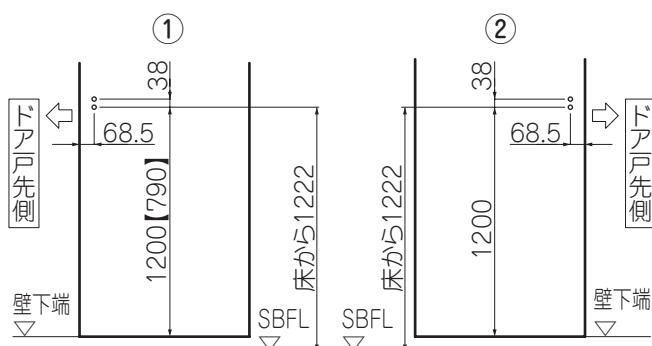


オートルーパー暖房換気乾燥機 リモコン

- ・オートルーパー暖房換気乾燥機のリモコンの標準取り付け位置は、ドアの戸先側から寄り70mm（壁端部から68.5mm）、床から高さ1222mm（長尺パネルの壁下端から1200mm、短尺パネルの壁下端から790mm）です。
- ・右表の通り、サイズ・勝手・ドア種類により、ドアの左右どちら側に付くか異なります。
- ・下穴サイズはすべてφ2.8です。

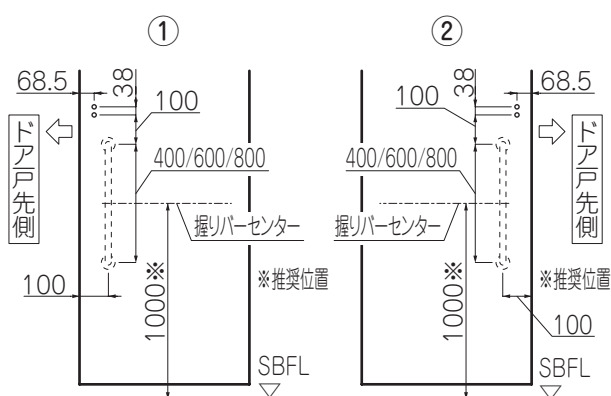
●標準取り付け位置

- ・【 】内寸法は短尺パネルの場合です。

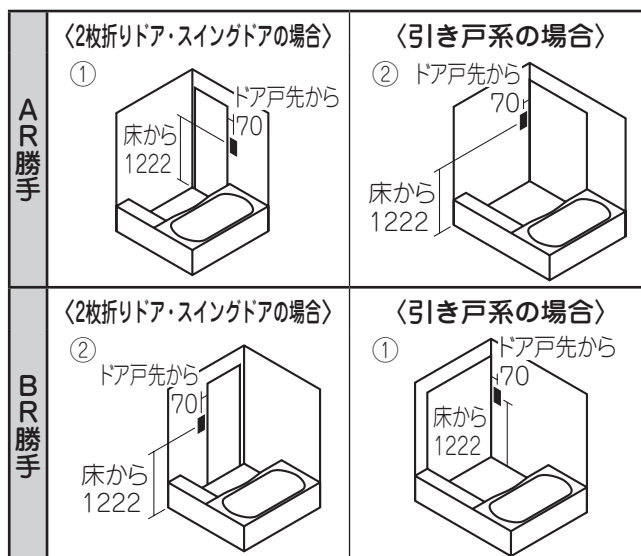


●2枚折りドア・スイングドア選定時に縦握りバーと干渉する場合

- ・握りバーの固定部芯から100mmの高さとしてください。



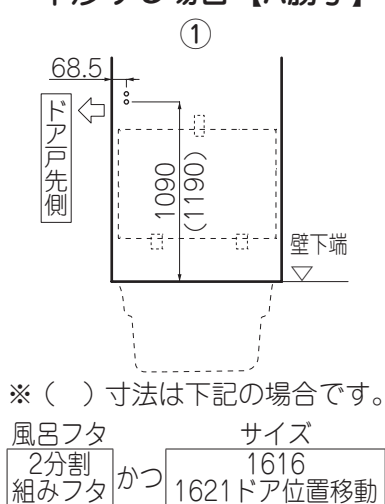
■取り付け位置図



※引き戸系は、3枚引き戸・片引き戸・2枚引き込戸のいずれかの場合を示します。

※AL勝手、BL勝手の場合は、それぞれ対称位置となります。

●3点フックの風呂フタと干渉する場合【A勝手】

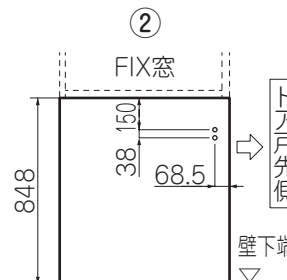


※（ ）寸法は下記の場合です。

風呂フタ	サイズ
2分割	1616
組みフタ	1621

●取り付け位置が腰壁FIX窓の場合【B勝手】

- ・腰壁パネルの壁上端から150mmの高さとしてください。

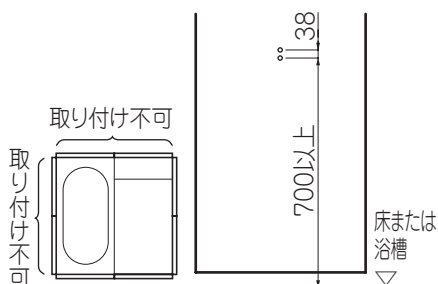


※取り付け位置が全高FIX窓の場合【B勝手】は、お客様と相談のうえ、取り付け位置を決めてください。

指定位置以外に取り付ける場合

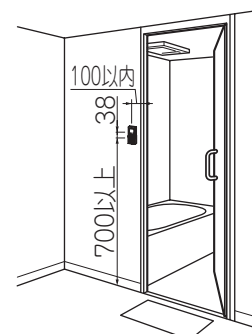
【浴室内】

- ・正面には取り付けないでください。
- ・浴槽長手面には取り付けないでください。
- ・床または浴槽から700mm以上高くしてください。



【浴室外（脱衣室）】

- ・浴室のドアを開け機器本体に向けて無理なく操作できる、ドアの戸先付近に取り付けてください。
- ・床から700mm以上高くしてください。



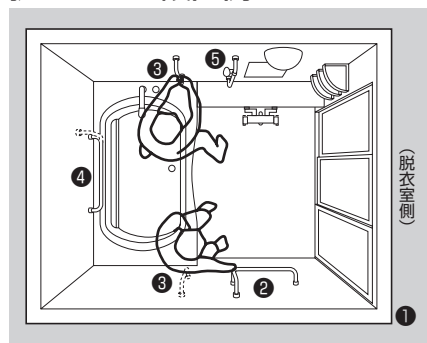
握りバー取り付け位置

単位：mm

取り付け位置と使い方

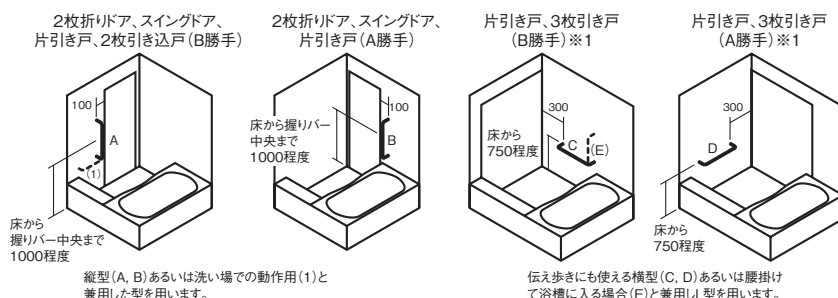
※下記は、各融資基準を満たすための、一般的な設置位置です。使用者個々の身体に合わせて設置するのが望ましいと言えます。
また、他の器具（風呂フタ・リモコンなど）や壁パネル接合部・壁パネル裏フレームと干渉するおそれがあります。
都度、取り扱いについてはご確認ください。

握りバーの設置例



① 浴室への出入り（身体を支える場合）

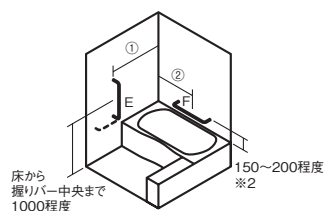
バランスを崩しやすい出入りの際、身体を支える縦握りバーをドア付近に設置します。
ドア横に設置します。



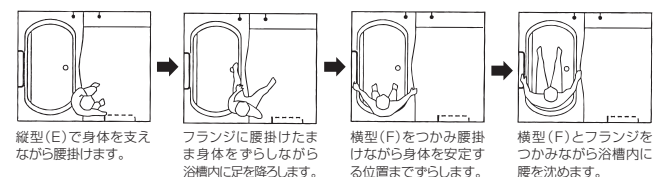
② 浴槽への出入り（腰掛けて浴槽に入る場合）

滑りやすい浴室内での移動用に横握りバーを設置します。

腰掛けた時、手が届く位置に設置します。



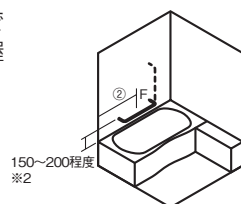
浴室のサイズ	1621	1616	1216
①の寸法	900mm	900mm (ドア B 勝手の場合)	
②の寸法	800mm		650mm



④ 浴槽内での身体の保持

浴槽での立ち座りおよび、浴槽での姿勢保持用に、浴槽横の壁に握りバーを設置します。

浴槽から手の届く位置に設置します。



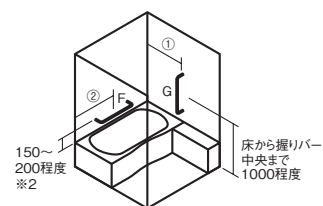
浴室のサイズ	1621	1616	1216
②の寸法	800mm		650mm

③ 浴槽への出入り（立って浴槽に入る場合）

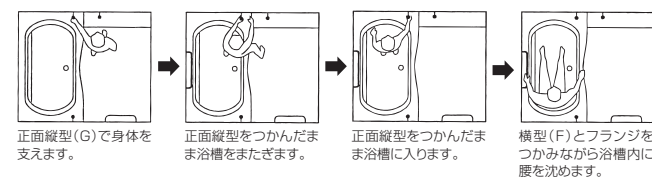
浴槽に立って入る場合は、浴槽出入り用の縦握りバーをいずれかに設置します。

浴槽をまたぐ時に手の届く位置に設置します。

(図と同じ、もしくは反対側に握りバーを設置します。)



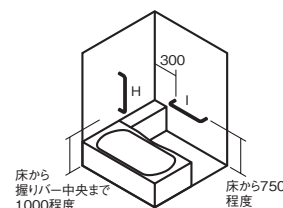
浴室のサイズ	1621	1616	1216
①の寸法	700mm ※ 1		
②の寸法	800mm		650mm



⑤ 洗い場での動作（腰を下ろしたり、立ち上がったたりする場合）

洗い場での動作を補助するための縦握りバーまたは、横握りバーを設置します。

洗い場から手の届く位置に設置します。



- ※ 1 片引き戸の場合でも折れ戸、スイングドアと同じ位置に設置することは可能です。
- ※ 2 巻きフタをご利用の場合は、200mm 程度の高さに取り付けることをお勧めします。
- ※ 握りバーの優先設置により、風呂フタの設置場所が洗い場側になることがあります。(背面側の場合)

1. 取付設置前の準備

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

次章以降の作業では、1616サイズAR勝手1階設置（SB設置面～脱衣室FL=475）
の場合を例にとって説明していきます。

1階設置、階上設置、専用架台の作業が異なる場合のみ、それぞれ分けて説明します。

1 部材の搬入

①部材を搬入し、安全な場所に仮置きする。

⚠ 注意



禁 止

- 重量物は1人で運ばない
(1人で運ぶと、けがをするおそれがあります。)



必ず守る

- 壁パネル・天井パネルの搬入、取付設置は必ず耐切削手袋をはめ、長袖を着用して行う
(壁パネル・天井パネルの鋼板エッジでけがをするおそれがあります。)

帽子・手袋は必ず着用する。

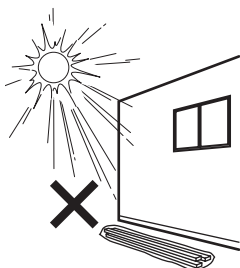
壁パネルなどは垂直に起こして運ぶ。



角当てに注意する。

取付設置上のお願い

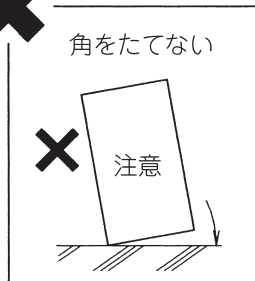
- 壁目地は、直射日光の当たる場所や、高温になる場所（車の中など）に仮置きしないでください。
壁目地が縮んだり変形するおそれがあります。



角をたてない



注意



2 部材のチェック

①部材を開梱し、欠品や傷がないか確認する。

・養生シートがはられているものは、一部をはがして外観に異常がないか確認後、再度はり直してください。

取付設置上のお願い

- 壁パネルを開梱から取り出す際、ずらしたり、滑らせたりしないでください。
(壁パネルをずらしたり、滑らせたりすると、すり傷などの原因となります。)
- 床パンの養生シートは、取付設置完了まではがさないでください。
- 壁パネルの養生シートは、建て込み時まではがさないでください。
下穴開口などを行う際も、必要部分のみ養生シートをはがし、作業後にはり直してください。
(守らないと、床パンや壁パネルに傷が付く原因となります。)



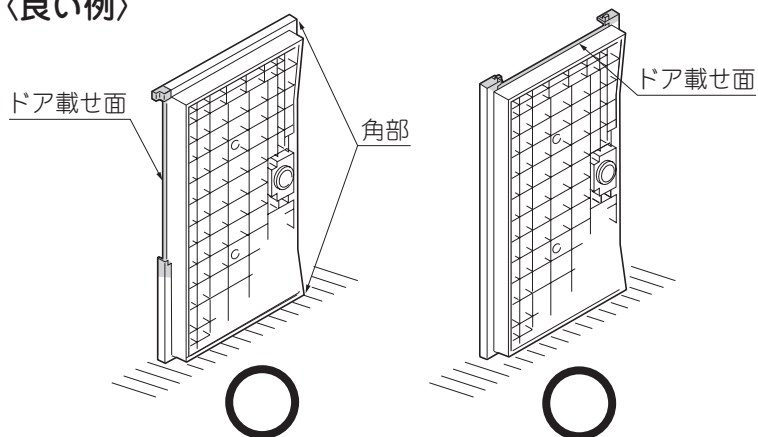
傷がないか確認後、はり直す。

養生シート

3 床パンの仮置き

①床支持バー、床支持金具、アジャスターボルトを取り付けるために、床パンを仮置きする。

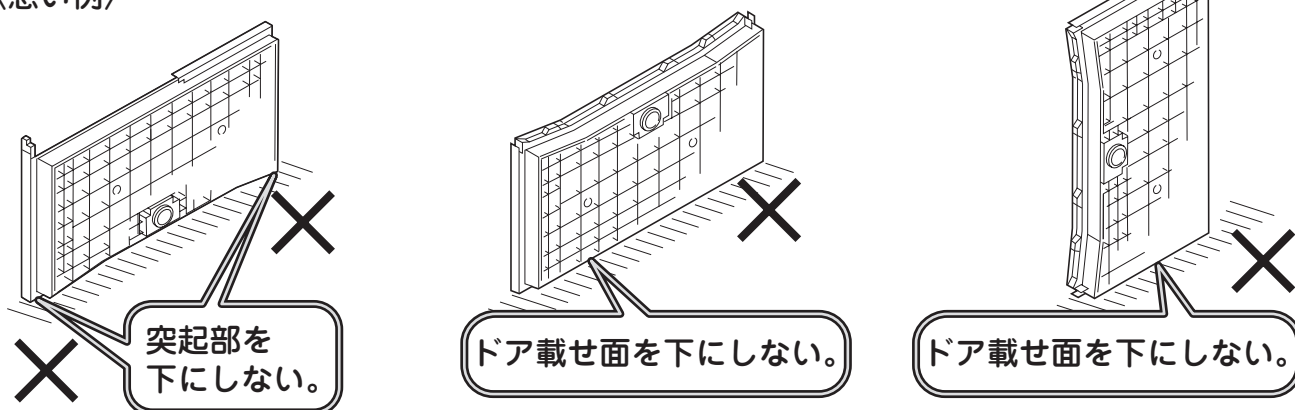
〈良い例〉



取付設置上のお願

- 床パンを持ち上げるときは、ドア載せ面を持ったり、無理な力を加えないでください。
(ドア載せ面が曲がったり、破損するおそれがあります。)
- 床パンを立て掛けるときは、下の「良い例」のように置いてください。
(「悪い例」のように立て掛けると、角部、ドア受け部が破損するおそれがあります。)

〈悪い例〉



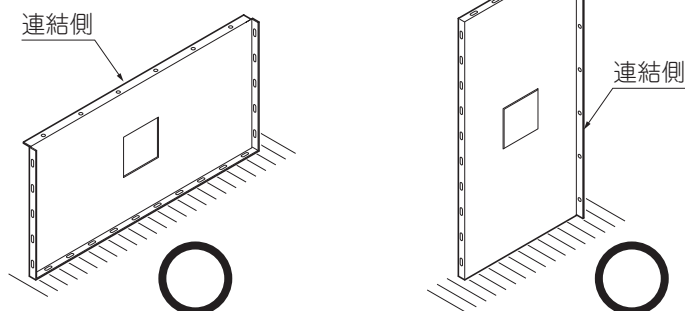
4 天井パネルの仮置き

①天井パネルの連結側を上または横にして仮置きする。

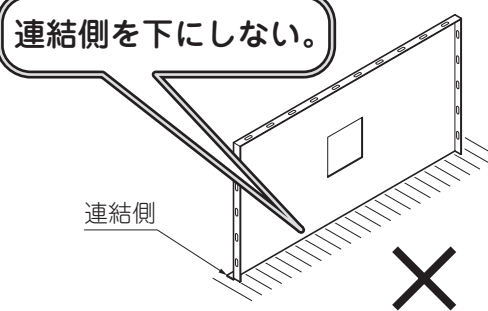
取付設置上のお願

- 天井パネルを立て掛けるときは、下の「良い例」のように置いてください。
(「悪い例」のように立て掛けると、角部、連結部が変形するおそれがあります。)

〈良い例〉



〈悪い例〉

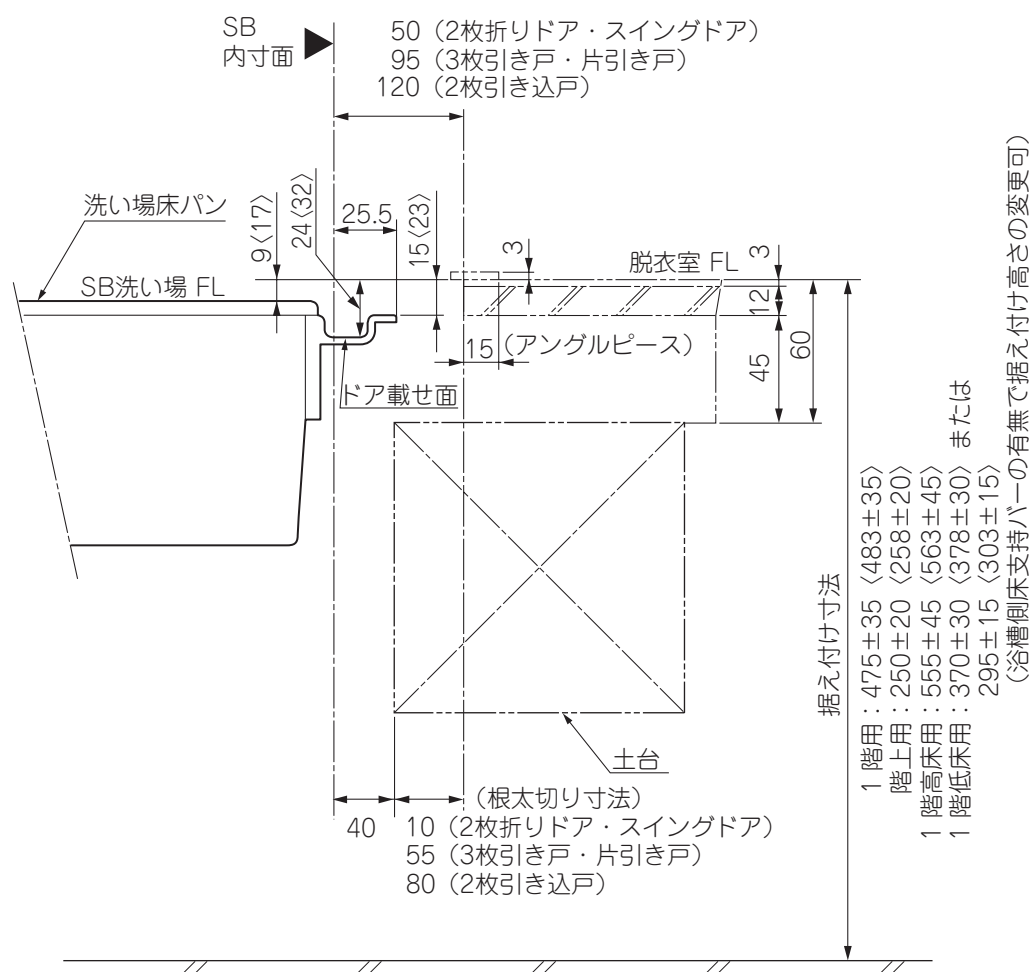


5 墨出し

①墨出しを行う。

- ・バスルームの内寸および外寸については、平面図を参照ください。
- ・〈 〉 内寸法は、3枚引き戸・片引き戸・2枚引き込戸の場合です。

(単位：mm)



2. 床の設置

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 洗い場床パンの据え付け

1 床保温シート（オプション）のはり付け

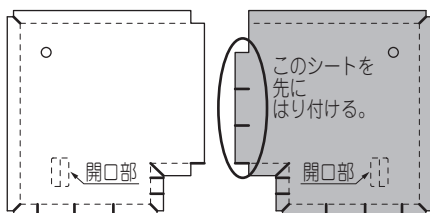
- ①床パンに、ホコリ・汚れ・水の付着がある場合は
はり付け部を充分に拭き取る。
- ②開口部を切り取り、床保温シートのはく離紙をはがす。
- ③  色の床保温シートを先にはり付ける。
・床保温シートのミシン目の位置を、床パンの外周
リップに合わせてはり付けてください。

取付設置上のお願ひ

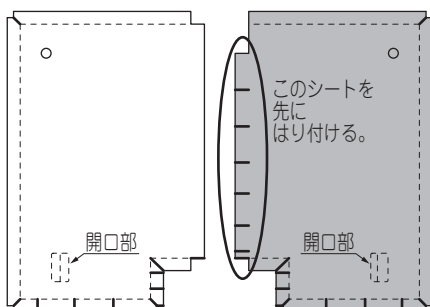
- 切り取った床保温シートの開口部は、
トラップ断熱材の固定に使用するので、
必ずとっておいてください。

〈床保温シート配置図〉

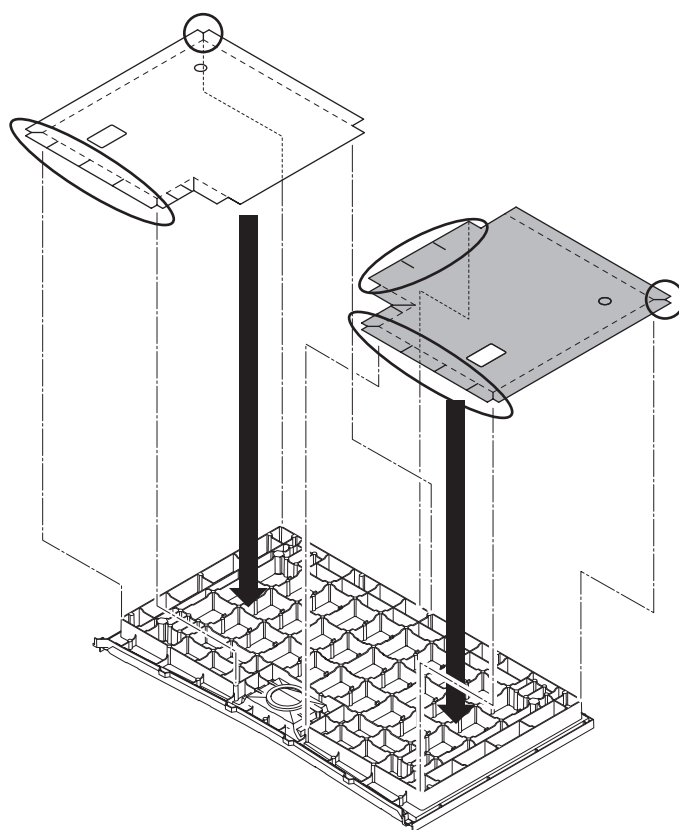
●1616・1216 サイズ



●1621 サイズ

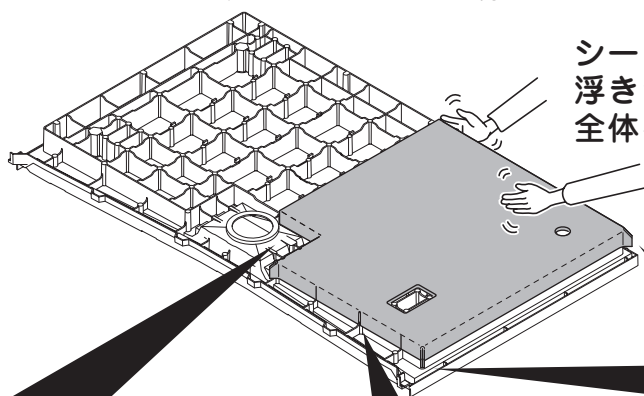


—— 切り込み ミシン目



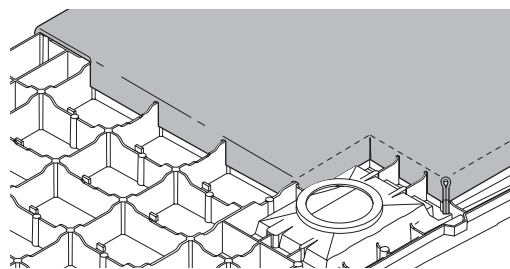
床保温シートがある場合

- ④床保温シートをミシン目に沿って折り曲げ、リブにはり付ける。

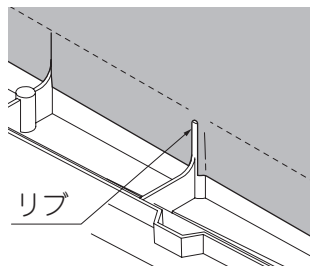


シートにはがれや
浮きがないように、
全体をしっかり押さえる。

床パン中央部・排水口周囲は、
シートの切り込みをリブに合わせ
て折り返してはり付ける。

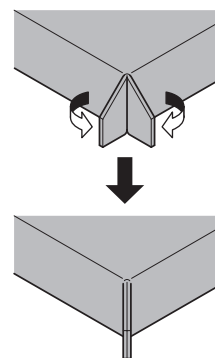


【新仕様】
リブ部は切り込み部分
を合わせてはり付ける。



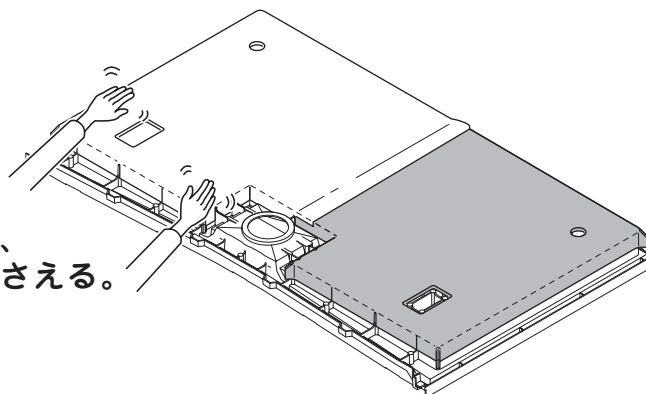
リブ

【新仕様】
コーナー部は、床
保温シートの角を
はり合わせる。



- ⑤反対側の床保温シートを、
同様の手順ではり付ける。

シートにはがれや
浮きがないように、
全体をしっかり押さえる。



2 床支持バーとアジャスターボルトの組み立て

取付設置上のお願い

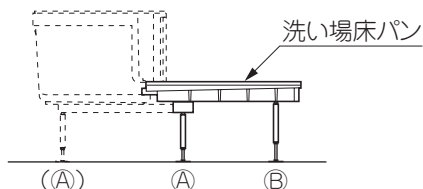
- 設置条件により、床支持バーとアジャスターボルトを以下のように使い分けてください。
- 床支持バーを併用しても長さが足りない場合は、穴埋めしたコンクリートブロックを設置してください。

※洗い場床パン用アジャスターボルトは2種類あり、長さが違います。
間違えて取り付けないようにご注意ください。

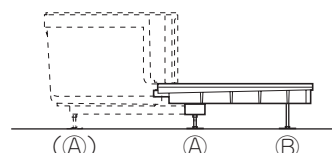
①長さ130mm

②長さ200mm

〈1階設置・1階高床設置・1階低床設置の場合〉
床支持バー＋アジャスターボルト

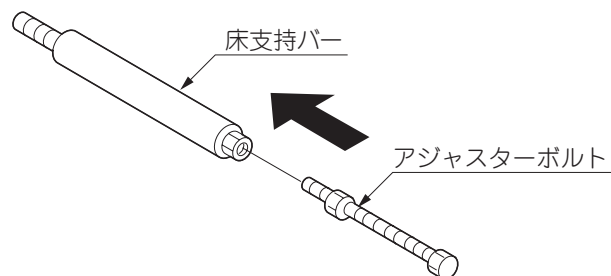


〈階上設置・専用架台設置の場合〉
アジャスターボルトのみ
(床支持バーは不要)



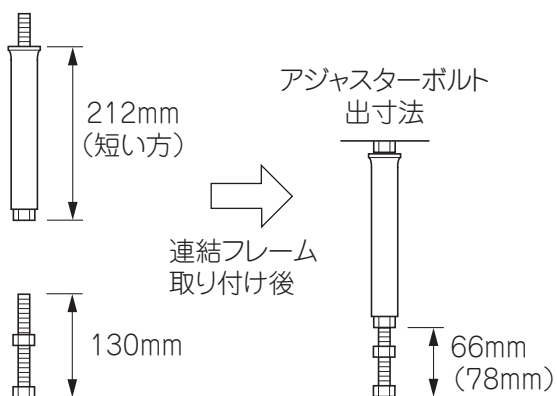
・1階設置の場合は下図を、1階高床設置の場合は次ページを参照のうえ、指定の寸法どおりに取り付けてください。

①床支持バーにアジャスターボルトを取り付ける。

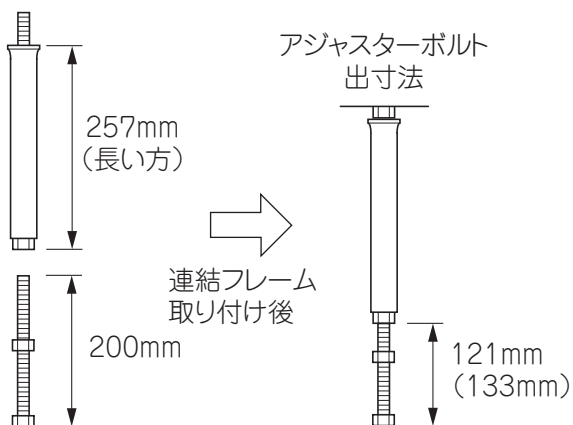


- ・床支持バーは長短2種類あります。
- ・目安として、それぞれ以下の寸法になるよう取り付けてください。

〈①の場合〉



〈②の場合〉



() 内寸法は1216サイズの場合

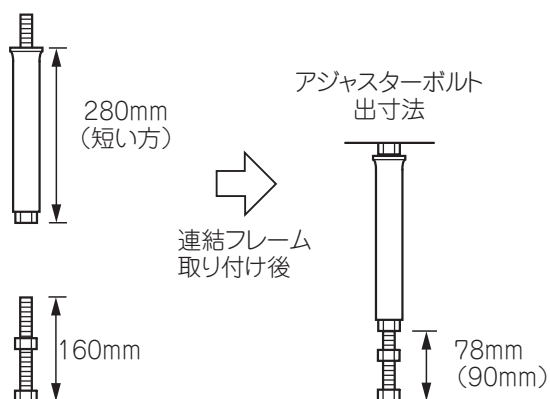
※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面＝475mm (2枚折りドア、スイングドア)

483mm (3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸) の場合

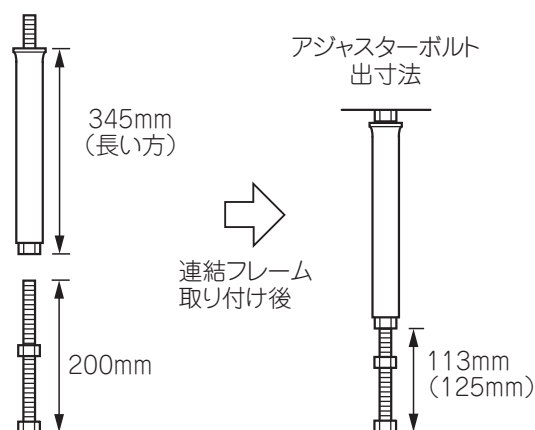
※床支持バーを抜いても階上設置・専用架台設置仕様にはなりません。

- ・床支持バーは長短2種類あります。
- ・目安として、それぞれ以下の寸法になるよう取り付けてください。

〈Aの場合〉



〈Bの場合〉



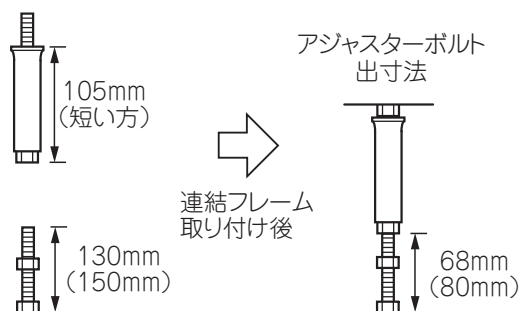
() 内寸法は1216サイズの場合

※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面＝555mm (2枚折りドア、スイングドア)
563mm (3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸) の場合

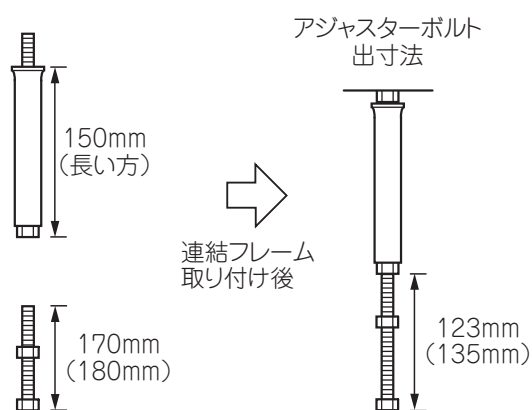
〈SBFL～SB設置面＝361の場合〉

- ・床支持バーは長短2種類あります。
- ・目安として、それぞれ以下の寸法になるよう取り付けてください。

〈Aの場合〉



〈Bの場合〉



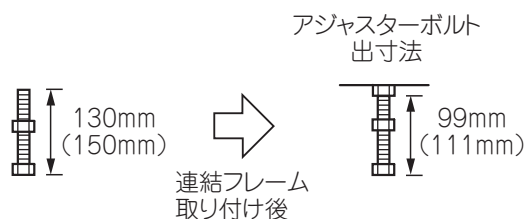
() 内寸法は1216サイズの場合

※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面＝370mm (2枚折りドア、スイングドア)
378mm (3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸) の場合

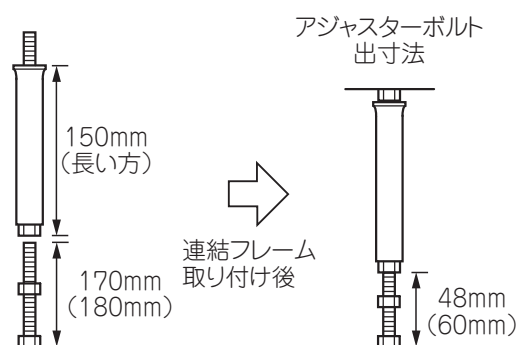
〈SBFL～SB設置面＝286の場合〉

- ・ 浴槽側には、床支持バーを取り付けません。
- ・ 目安として、それぞれ以下の寸法になるよう取り付けてください。

〈Aの場合〉



〈Bの場合〉



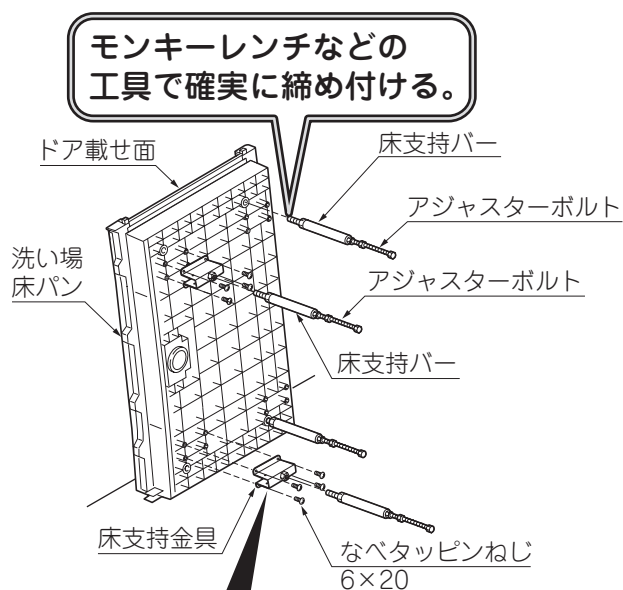
() 内寸法は1216サイズの場合

※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面＝295mm (2枚折りドア、スイングドア)
303mm (3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸) の場合

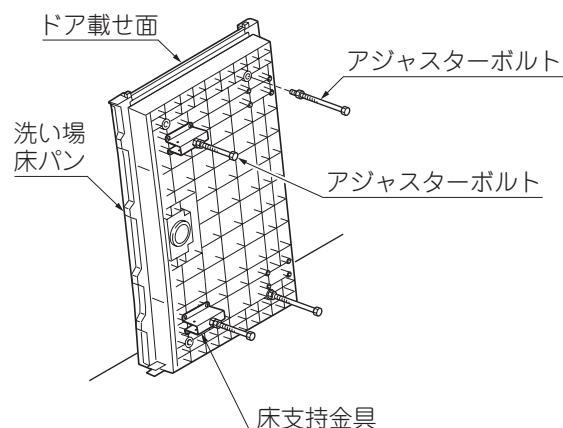
3 床支持金具とアジャスターボルトの取り付け

①洗い場床パンに床支持金具（2か所）とアジャスターボルト（4か所）を取り付ける。

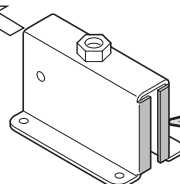
〈1 階設置・1 階高床設置・1 階低床設置の場合〉



〈階上設置・専用架台設置の場合〉



浴槽側



この部分が
浴槽の反対側
に向くよう
取り付ける。

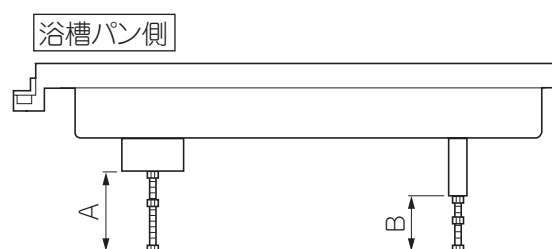
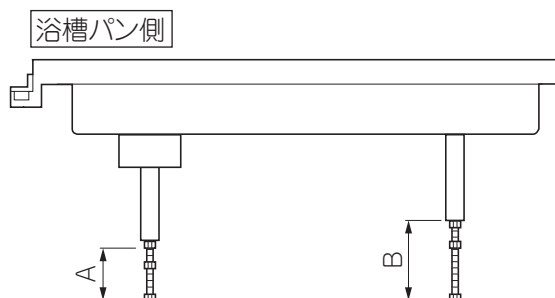
②アジャスターボルトの高さを調節する。

- ・高さの微調整は、連結フレーム連結の際、アジャスターボルトの出寸法で調節します。

取付設置上のお願ひ

- アジャスターボルトは正確に採寸してください。
(ボルト調整可能範囲内より短く調整すると、洗い場床パンを破損するおそれがあります。)

〈1階設置・1階高床設置・1階低床設置の場合〉

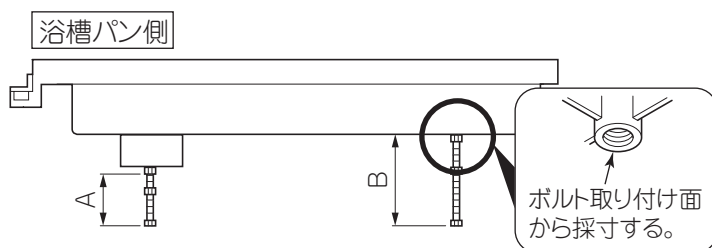


(単位：mm)

	1階設置 ※脱衣室FL～SB設置面=475mm (2枚折りドア、スイングドア) 483mm (3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸) の場合		1階低床設置			
	1621・1616サイズ	1216サイズ	設置高さ361mmの場合 ※脱衣室FL～SB設置面=370mm (2枚折りドア、スイングドア) 378mm (3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸) の場合	設置高さ286mmの場合 ※脱衣室FL～SB設置面=295mm (2枚折りドア、スイングドア) 303mm (3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸) の場合	1621・1616サイズ	1216サイズ
A寸法	66 (78)	78 (90)	68	80	99	111
B寸法	121 (113)	133 (125)	123	135	48	60

※ () 内寸法は高床設置の場合

〈階上設置・専用架台設置の場合〉

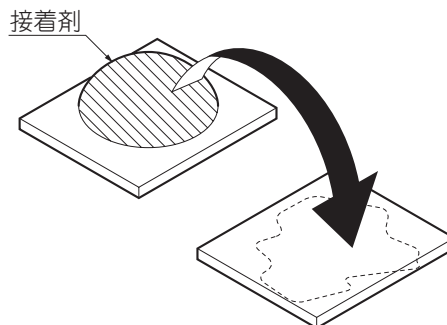
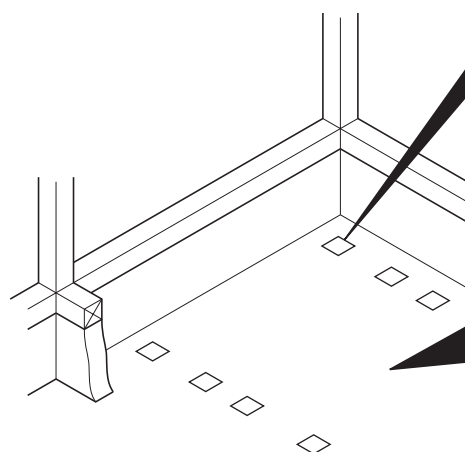


(単位：mm)

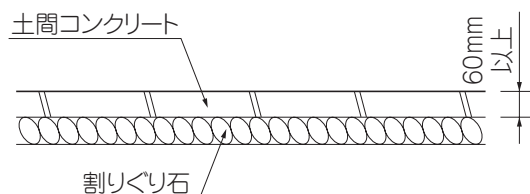
	階上設置 ※脱衣室FL～SB設置面=250mm (2枚折りドア、スイングドア) 258mm (3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸) の場合		専用架台設置 ※土台(梁天端)～脱衣室FL=60mm (2枚折りドア、スイングドア) 68mm (3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸) の場合	
	1621・1616サイズ	1216サイズ	1621・1616サイズ	1216サイズ
A寸法	54	66	64	76
B寸法	154	166	164	176

4 アジャスター受けプレートの設置

①アジャスター受けプレートを床面にはり付ける。

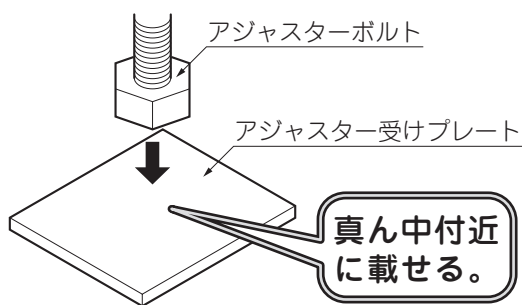


★バスルームを設置する土間には、必ず割りぐり石を敷設したうえで土間コンクリート打ち(厚さ最低60mm以上)をお願いしてください。

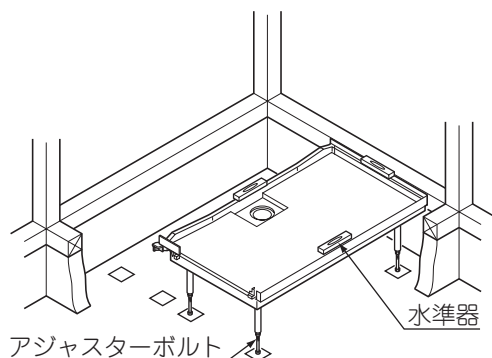


5 洗い場床パンの据え付け

①洗い場床パンを据え付ける。



②アジャスターボルトを回して、レベル調整を行う。

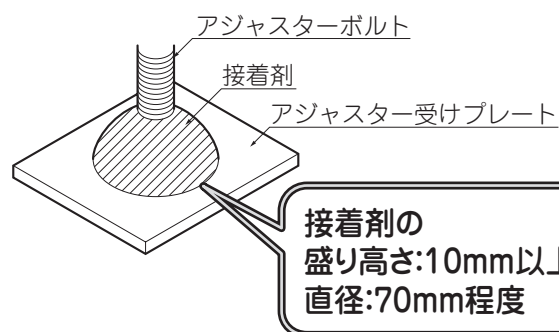


③アジャスターボルトのロックナットを締める。

取付設置上のお願い

- アジャスターボルトのロックナットは確実に締めてください。
(締め忘れったり、締め付けが緩いと、床鳴りの原因となります。)

④アジャスターボルトを接着剤で確実に固定する。



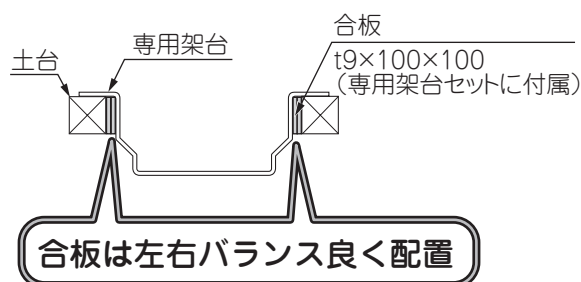
6 専用架台の取り付けおよび洗い場床パンの据え付け

①専用架台を土台に置く。

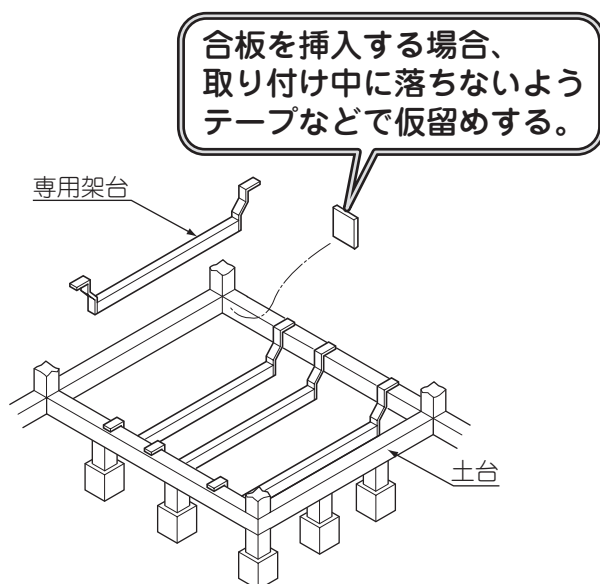
- ・浴室サイズ・浴槽により、専用架台の取り付け位置や本数が異なります。
- 19ページの「間柱対応専用架台セット」を参照ください。

取付設置上のお願い

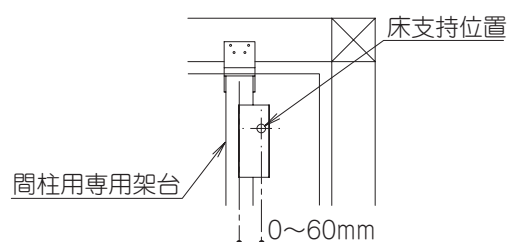
- 付属のパッキンは、ドア枠取り付け時にドア下枠の両端にはり付けます。
- 土台と専用架台の間にすき間がある場合は、合板を増減して位置を調整してください。
- すき間が9mm以下の場合は、すき間をなくすようにねじ留めしてください。



(片側だけ3枚挿入などすると、専用架台のねじ固定ができなくなる場合があります。)

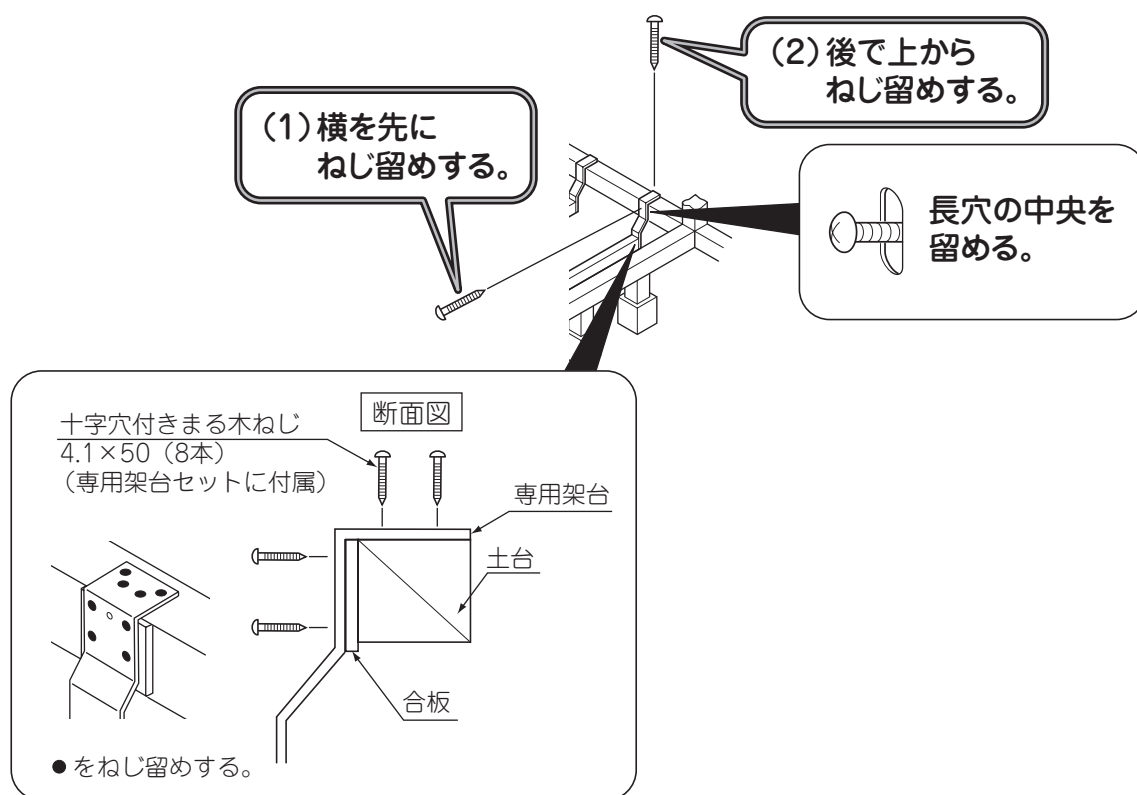


- 間柱用専用架台セットを使用すると、専用架台を0mm～60mm移動することができます。(間柱用専用架台セットには、60mm移動用の専用架台が1本付属します。)



※間柱用専用架台の取り付け位置は、床支持位置から0～60mmずれた位置となります。

②専用架台を土台に固定する。



③洗い場床パンを専用架台に据え付ける。

・高さはアジャスターボルトで調整してください。

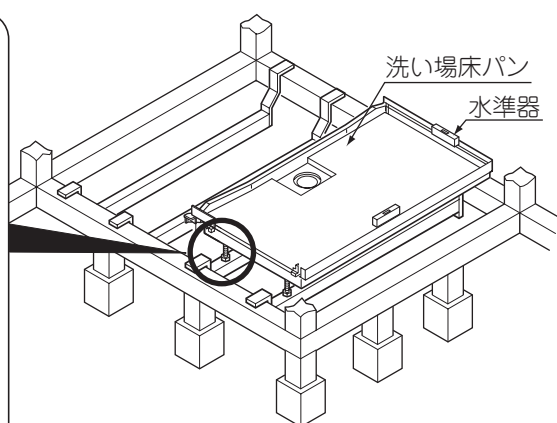
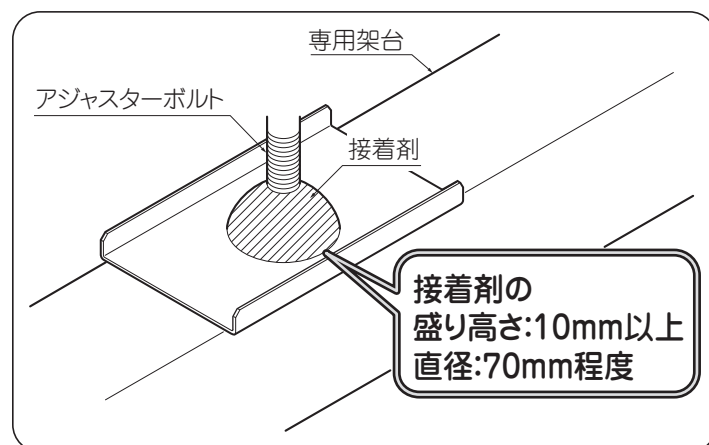
④アジャスターボルトを回して、レベル調整を行う。

⑤アジャスターボルトのロックナットを締める。

⑥アジャスターボルトを接着剤で確実に固定する。

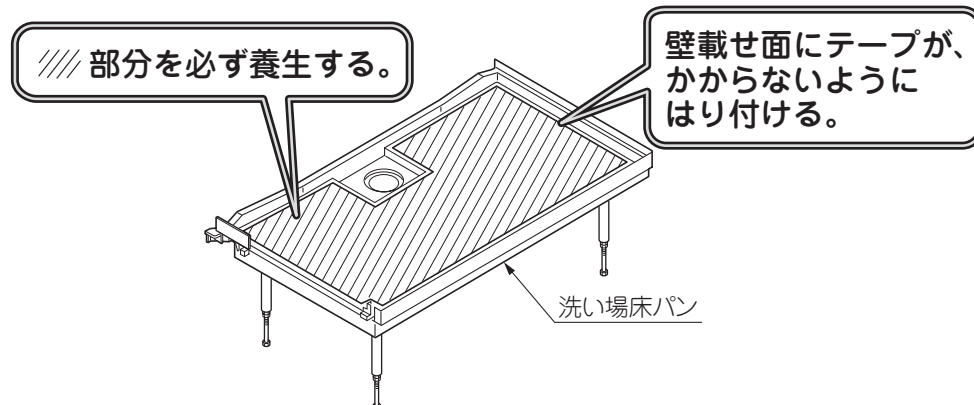
取付設置上のお願い

- 専用架台に洗い場床パンを据え付けるときは、必ず2人で作業してください。
- アジャスターボルトのロックナットは確実に締めてください。
(締め忘れたり、締め付けが緩いと、床鳴りの原因となります。)



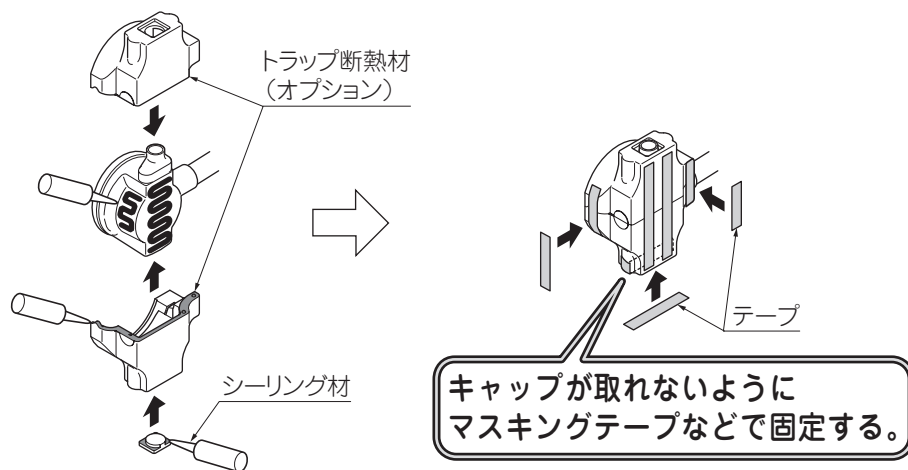
取付設置上のお願い

- 洗い場床パンの洗い場部分で作業する前に、必ず養生してください。



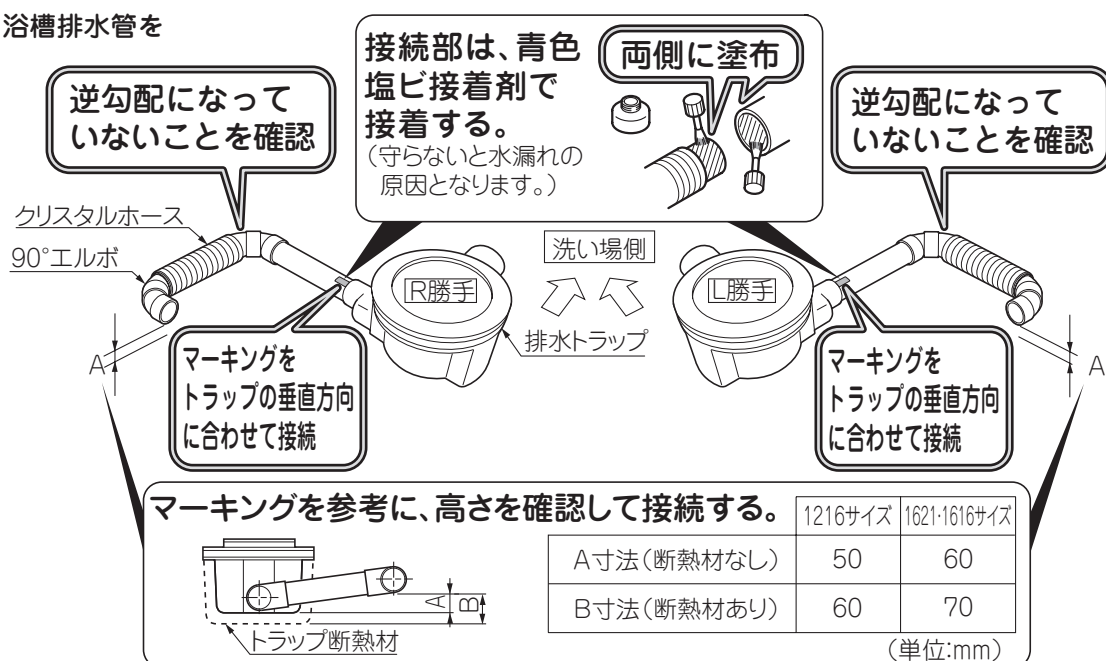
7 トラップ断熱材の取り付け（オプション）

- ① トラップにトラップ断熱材をシーリング材ではり付ける。
- ② マスキングテープなどで、トラップ断熱材を固定する。



8 排水トラップの取り付け

- ①排水トラップに浴槽排水管を接続する。



⚠ 注意



必ず守る

- 排水管の接続は、排水トラップと浴槽排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む
(守らないと、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願

- 浴槽排水管にはR勝手、L勝手のマーキングがあるので、注意してください。

- ②洗い場床パンに排水トラップを取り付ける。
- ・コの字スペーサーを3個所程度挟んで締め付けてください。

取り付け向きに注意する。

突起

突起が下(トラップ本体側)

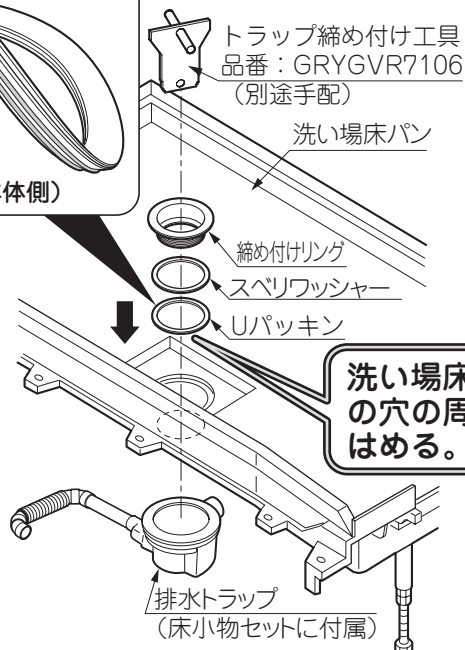
封水筒、ヘアキャッチは後で取り付けるので、(197ページ参照)紛失したり破損しないよう保管すること。

⚠ 注意



必ず守る

- 排水トラップのUパッキンは、正しい向きで取り付ける
(守らないと、水漏れするおそれがあります。)

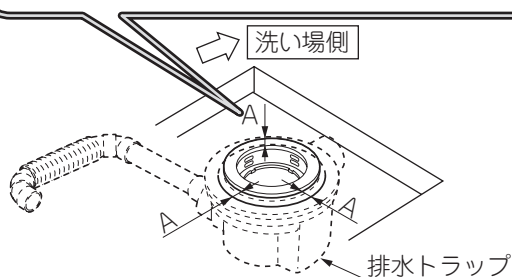


③ 洗い場側排水トラップに締め付け完了シールをはる。

取付設置上のお願い

- 締め付け完了シールは、必ずはってください。

すき間Aが均一になるように調整して締め付ける。



⚠ 注意

- 排水トラップを締め付ける際にトラップ締め付け工具の下端でトラップ底を傷付けない
(トラップが割れると、水漏れの原因となります。)



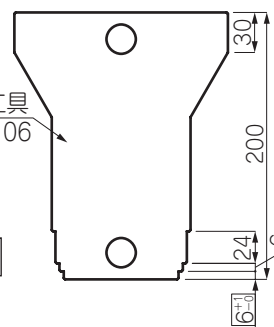
必ず守る

トラップ締め付け工具
品番：GRYGVR7106



下側

(単位：mm)



9 雑排水管の接続

① 雑排水管の接続部分をウエスなどで清掃する。

- ・ 雑排水管は洗い場床パンに付属しています。

② 排水トラップの差し込み口と雑排水管の接続部分の全周に青色塩ビ接着剤を塗布する。

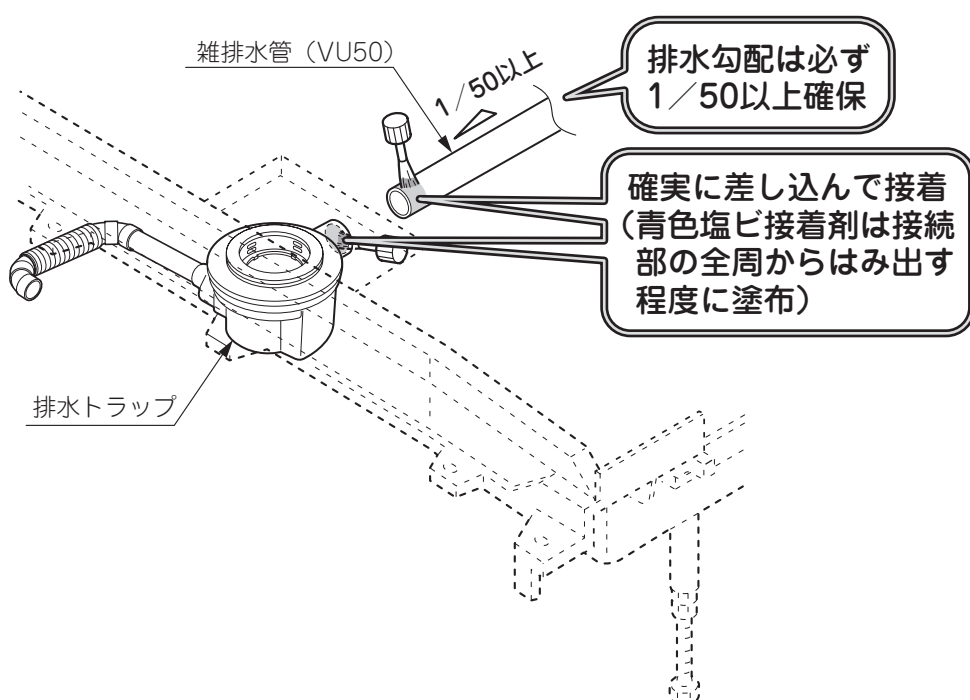
③ 雑排水管を排水トラップに接続する。

⚠ 注意



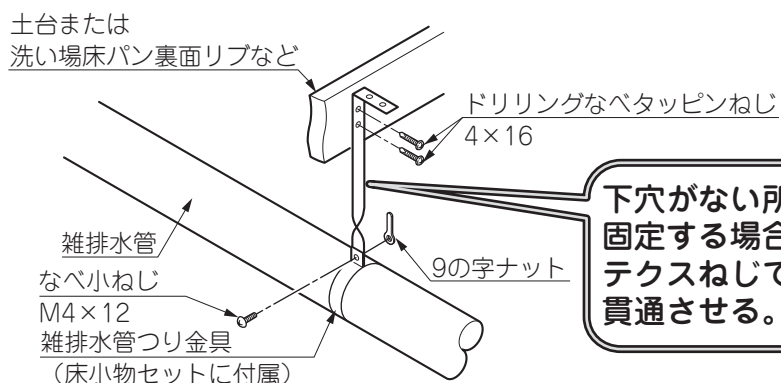
必ず守る

- 雑排水管の差し込み部は、根元までしっかり差し込む
(しっかり差し込まずに接着すると、水漏れの原因となります。)



10 雑排水管の固定

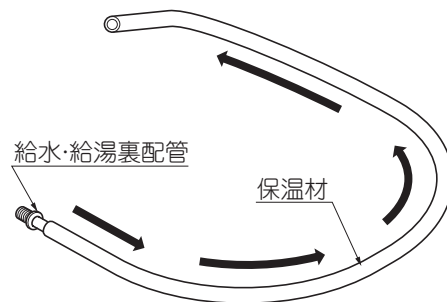
- ① 雑排水管つり金具を雑排水管に通し、土台または洗い場床パンの裏面リブなどに固定する。



11 裏配管Aの準備

- ・ 裏配管には、給湯管と給水管の2本あります。
- ・ 赤い保温材が給湯管、青い保温材が給水管です。

- ① 配管の保温材をいったん取り外す。

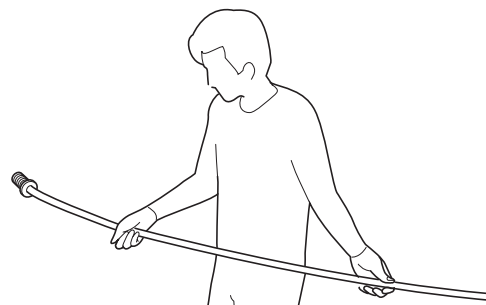


- ② 配管を腹部にあてて、胴でまっすぐに伸ばす。

⚠ 注意

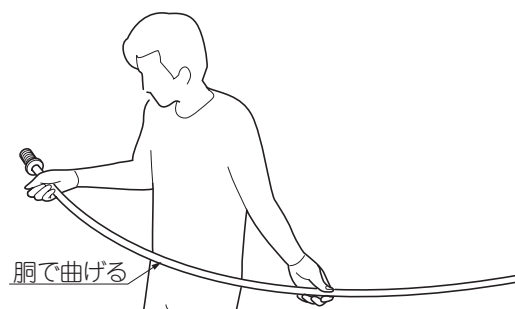
禁 止

● 配管は急角度に曲げない
(配管に亀裂が入って、水漏れの原因となります。)



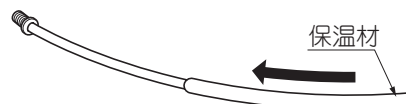
給水・給湯床下配管：胴で伸ばす

- ③ 配管を取り出し方向に合わせて曲げる。



胴で曲げる

- ④ 保温材を取り付ける。



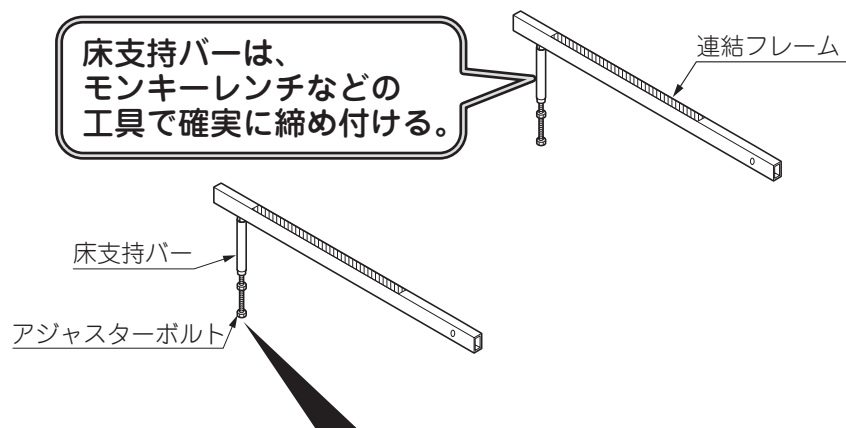
保温材

2 連結フレームの据え付け

1 床支持バーとアジャスターボルトの取り付け

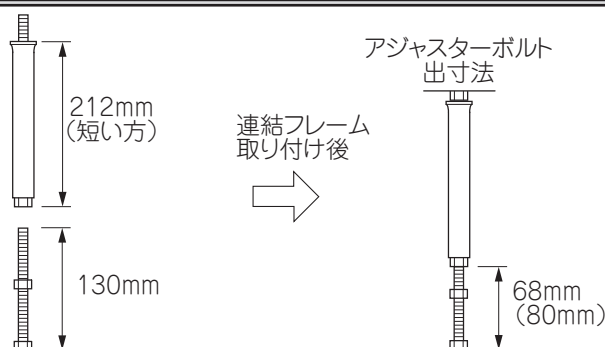
①連結フレームに床支持バーとアジャスターボルトを取り付ける。

- ・1階設置・1階高床設置の場合は下図を、階上設置・専用架台設置の場合は次ページを参照のうえ、指定の寸法どおりに取り付けてください。



〈1階設置の場合〉

床支持バー + アジャスターボルトを取り付け

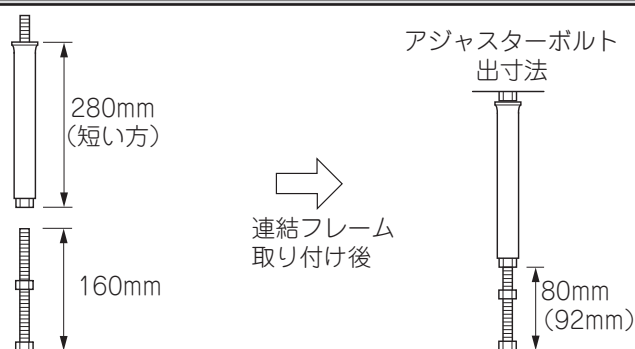


()内寸法は1216サイズの場合

※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面=475mm(2枚折りドア、スイングドア)
483mm(3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸)の場合

〈1階高床設置の場合〉

床支持バー + アジャスターボルトを取り付け

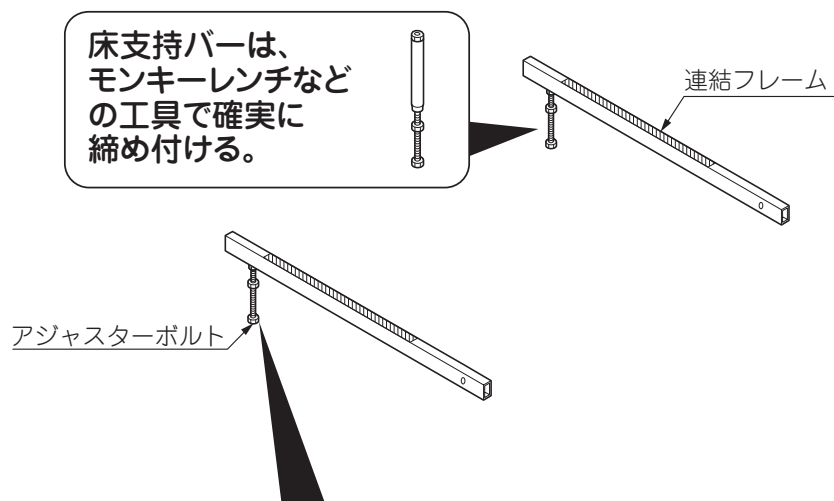


()内寸法は1216サイズの場合

※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面=555mm(2枚折りドア、スイングドア)
563mm(3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸)の場合

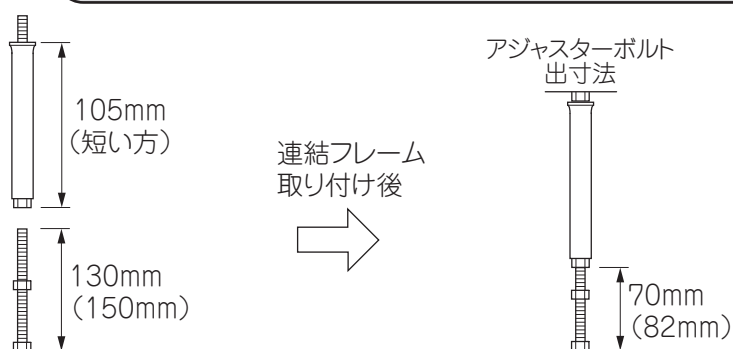
2 アジャスターボルトの取り付け

・下図を参照のうえ、指定の寸法どおりに取り付けてください。



〈SBFL～SB設置面=361の場合〉

床支持バー + アジャスターボルトを取り付け

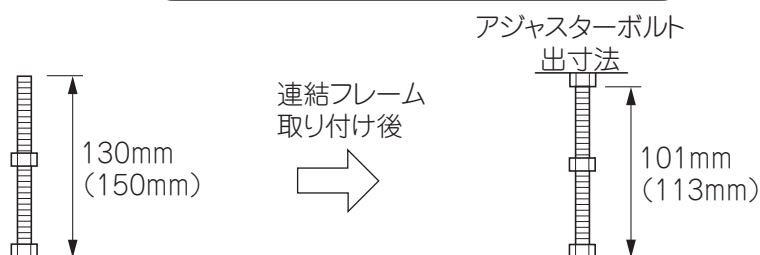


()内寸法は1216サイズの場合

※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面=307mm(2枚折りドア、スイングドア)
378mm(3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸)の場合

〈SBFL～SB設置面=286の場合〉

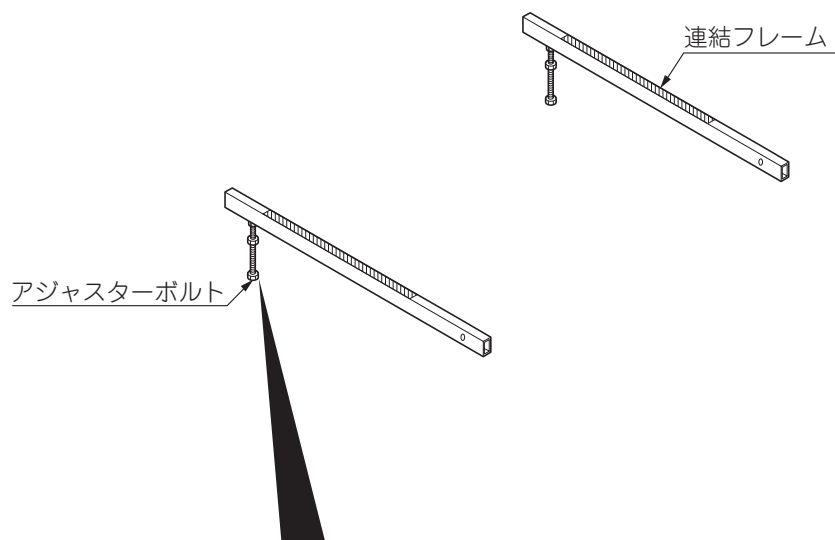
アジャスターボルトのみ取り付け



()内寸法は1216サイズの場合

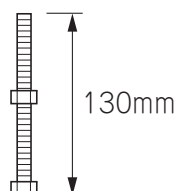
※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面=295mm(2枚折りドア、スイングドア)
303mm(3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸)の場合

・階上設置・専用架台設置の場合は、アジャスターボルトのみ取り付けてください。

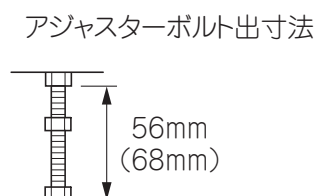


〈階上設置の場合〉

アジャスターボルトのみ取り付け



連結フレーム
取り付け後

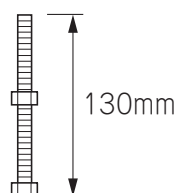


() 内寸法は1216サイズの場合

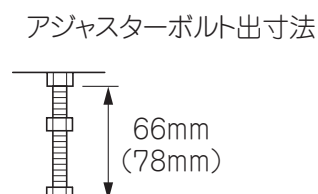
※上記寸法は脱衣室FL～SB設置面=250mm (2枚折りドア、スイングドア)
258mm (3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸) の場合

〈専用架台設置の場合〉

アジャスターボルトのみ取り付け



連結フレーム
取り付け後



() 内寸法は1216サイズの場合

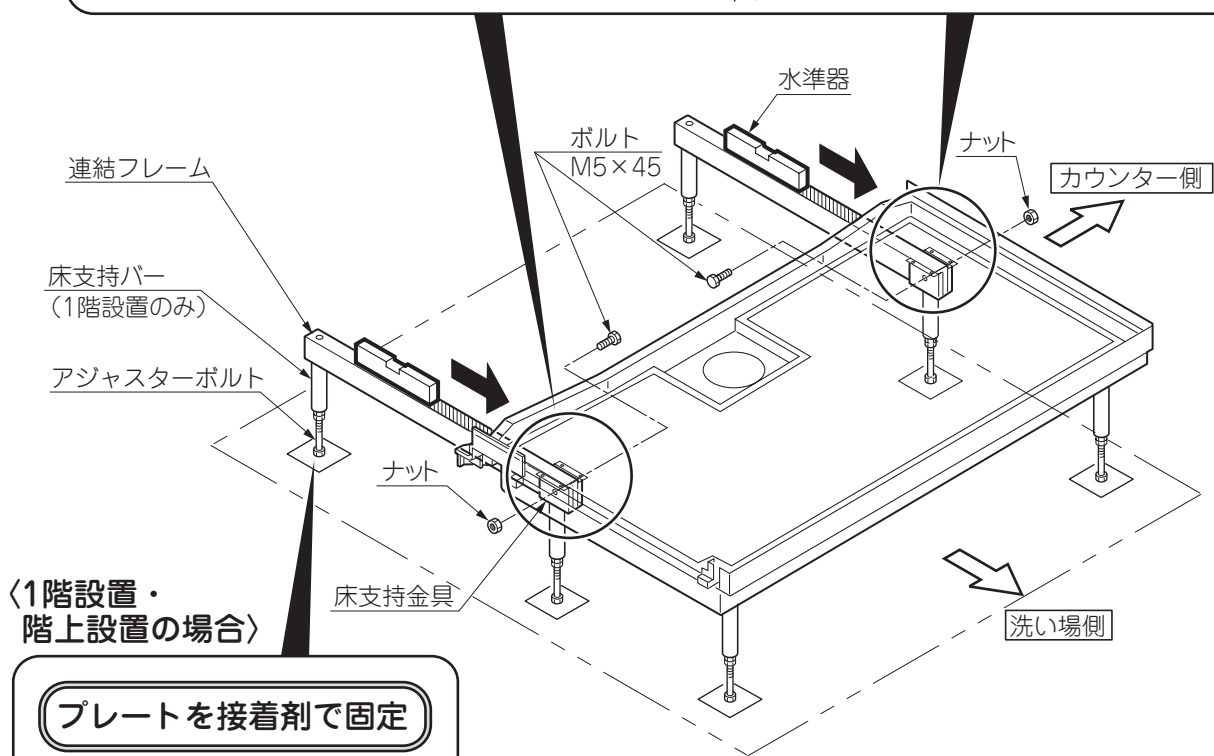
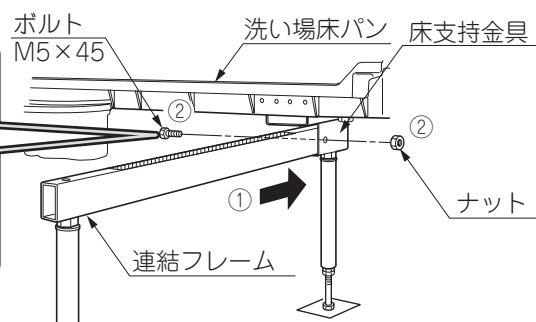
※上記寸法は土台（梁天端）～脱衣室FL=60mm (2枚折りドア、スイングドア)
68mm (3枚引き戸、片引き戸、2枚引き込戸) の場合

3 連結フレームの取り付け

- ①床支持金具に連結フレームを差し込む。
- ②レベルを出し、連結フレームをボルトとナットで固定する。

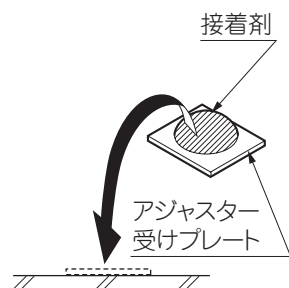
充電ドリルドライバーはドリルビットの短いものを使用すると、ねじ留めしやすい。

(1216サイズの場合、ドリルビットの長いものを使用すると、浴槽排水管にドライバーが当たるおそれがあります。)

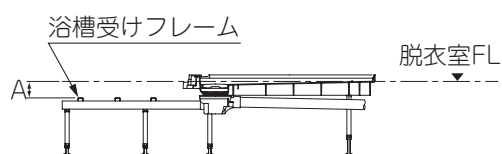
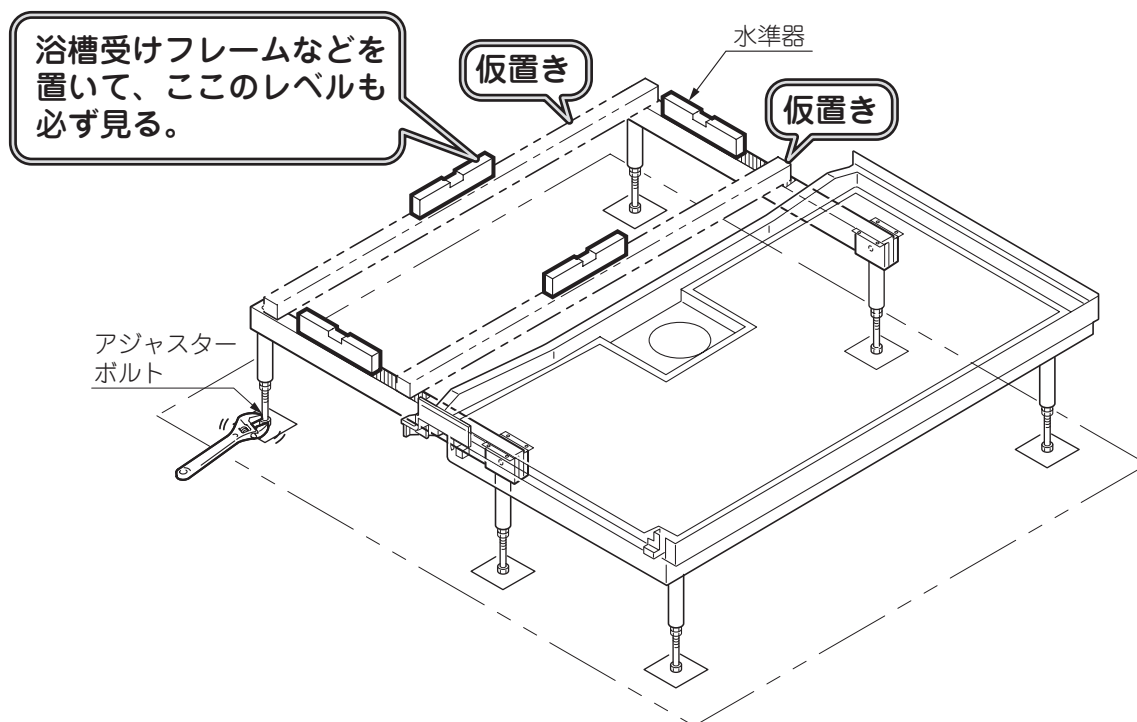


〈1階設置・
階上設置の場合〉

プレートを接着剤で固定



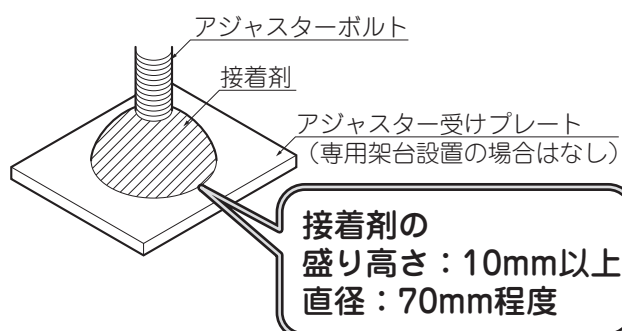
③連結フレームのレベルを出す。



(単位：mm)

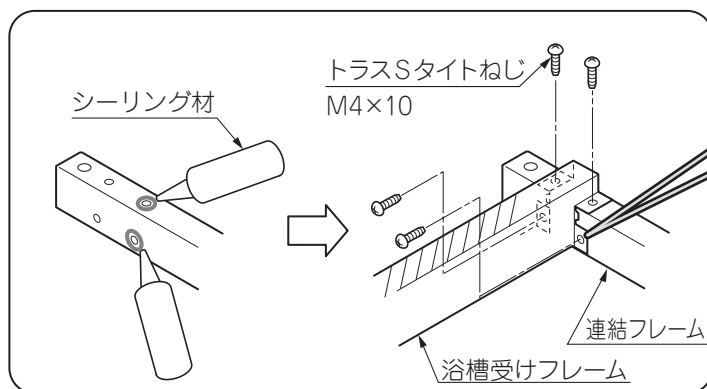
	A寸法	
	2枚折りドア・スイングドア	3枚引き戸・片引き戸・2枚引き込戸
1216サイズ*	99	107
1621・1616サイズ	111	119

④アジャスターボルトを確実に固定する。

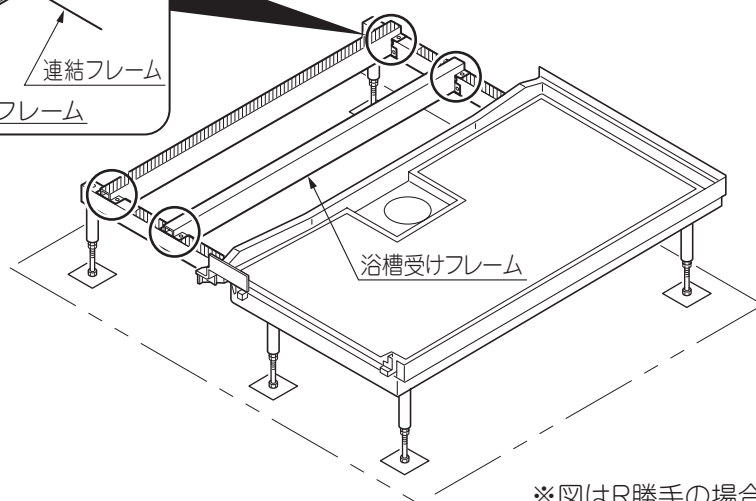


4 浴槽受けフレームの取り付け

- ① 連結フレームのねじ穴の周囲にシーリング材を塗布する。
- ② 連結フレームに浴槽受けフレームを取り付ける。



充電ドリルドライバーは、
ドリルビットの長いもの
を使用すると、ねじ留め
しやすい。



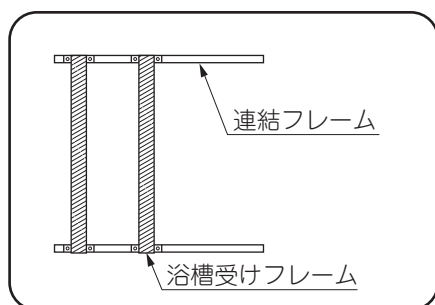
※図はR勝手の場合

⚠ 注意



必ず守る

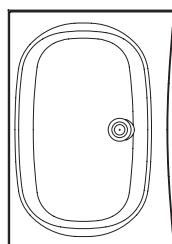
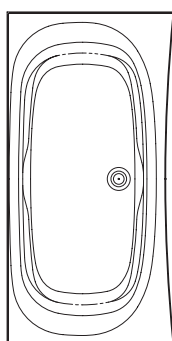
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、音鳴りの原因となります。)



〈浴槽の種類〉

1600浴槽

1150浴槽

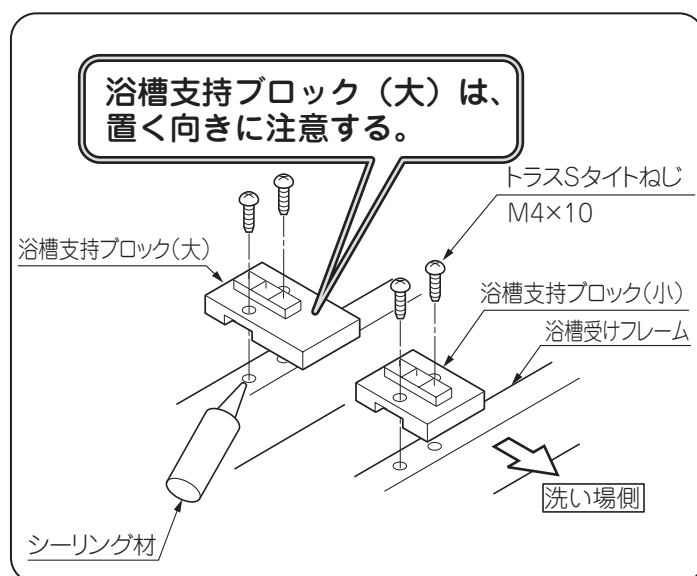


5 浴槽支持ブロックとスライドプレートの取り付け

①ねじ穴にシーリング材を塗布する。

②浴槽受けフレームに浴槽支持ブロックとスライドプレートを取り付ける。

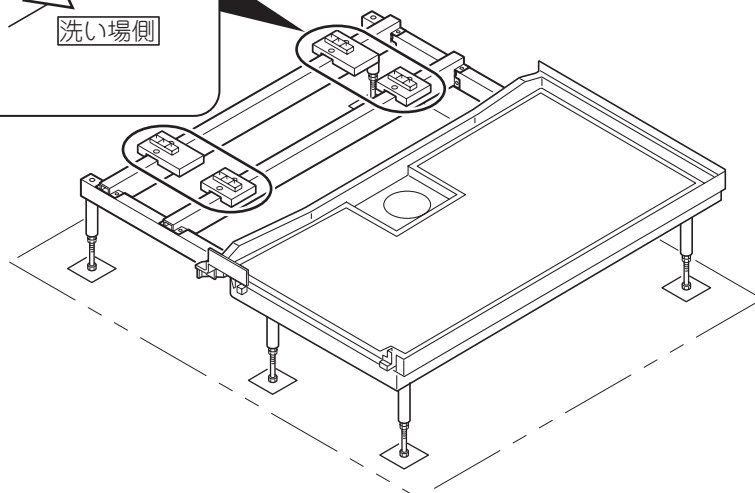
・浴槽によって、使用する部材の種類や、浴槽受けフレームへの取り付け位置が異なります。



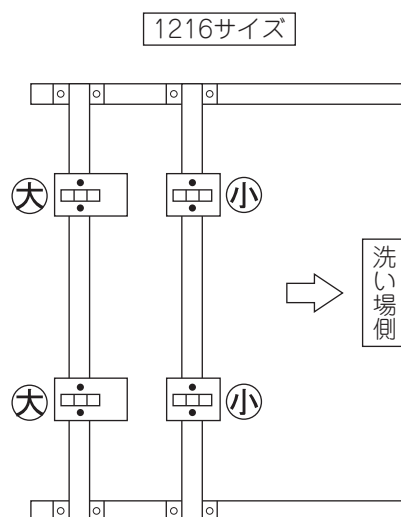
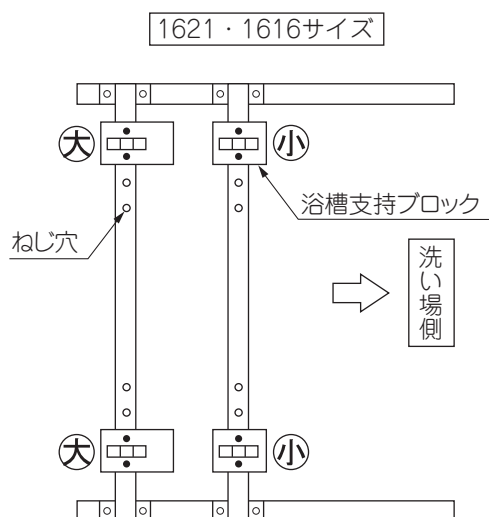
⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、音鳴りの原因となります。)

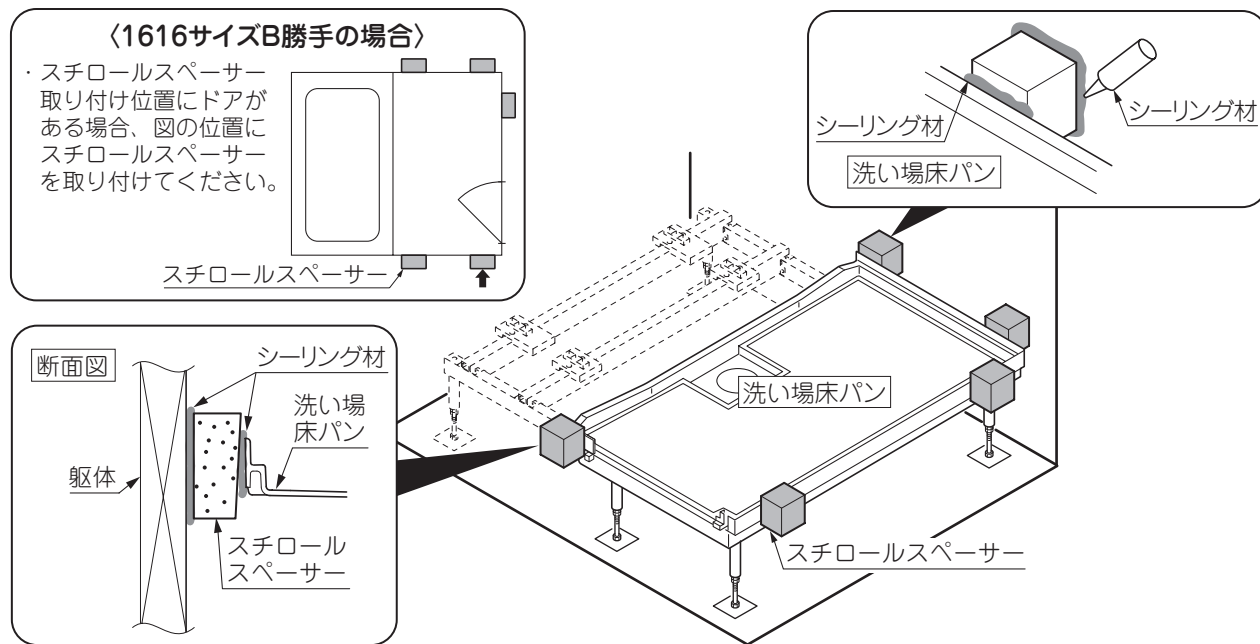


・の個所をねじ留めしてください。



6 床固定用スチロールスペーサーの取り付け

- ① 洗い場床パンと躯体の寸法に合わせてスチロールスペーサーをカットする。
 - ② スチロールスペーサーにシーリング材を塗布する。
 - ③ 洗い場床パンと躯体の間にスチロールスペーサーを挟み込む。(5個所)
 - ④ 挟み込んだスチロールスペーサーをシーリング材で固定する。
- ・ 壁掛けハンガーを取り付ける位置には、スチロールスペーサーを取り付けないでください。



3. 浴槽の設置

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

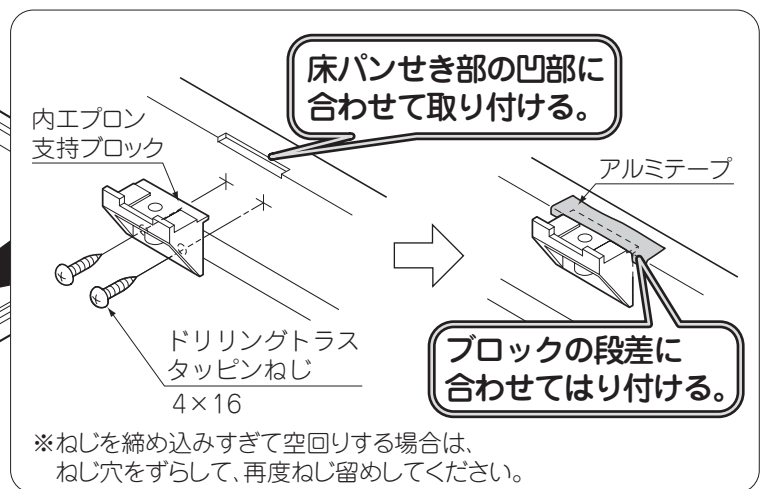
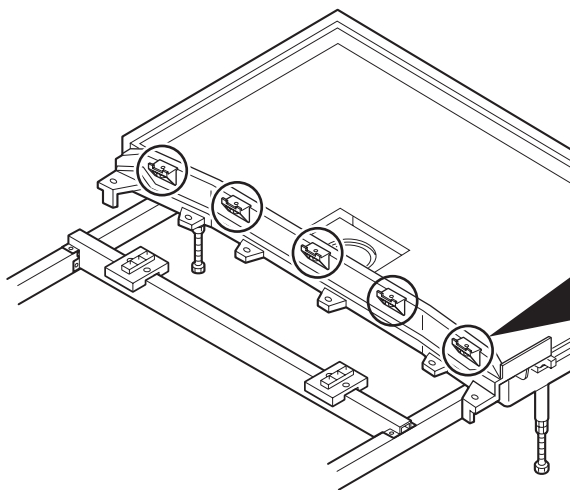
1 浴槽の据え付け

1 内エプロン支持ブロックの取り付け

①床パンせき部側面に、内エプロン支持ブロックを取り付ける。

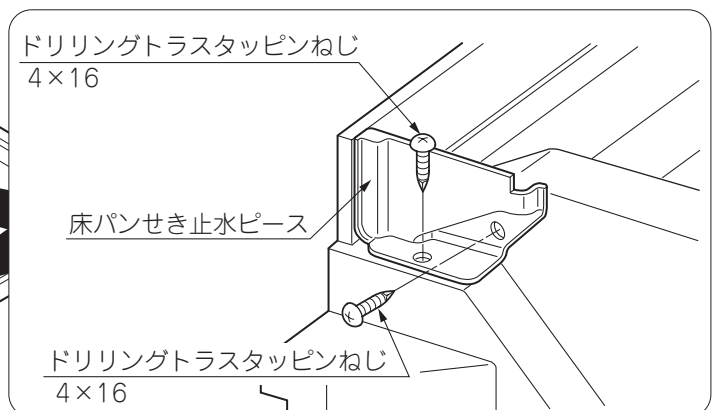
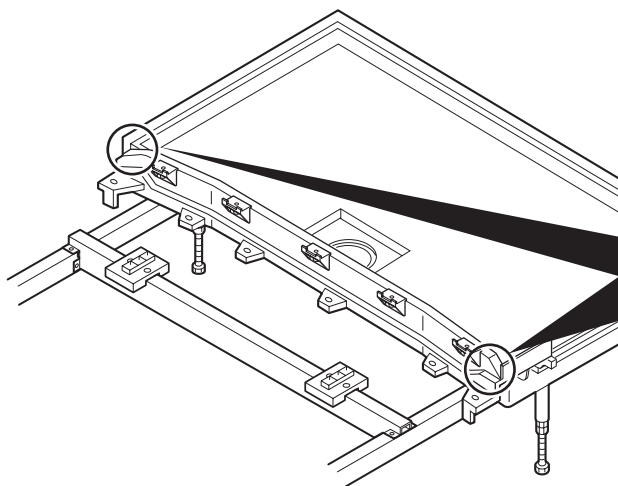
- ・ 1621・1616サイズは5か所、
1216サイズは4か所取り付けてください。

②内エプロン支持ブロックと床パンせき部との溝に
アルミテープ（13mm×70mm）をはる。



2 床パンせき止水ピースの取り付け

①床パンせき止水ピースを取り付ける（2か所）。



3 配管接続穴の開口

取付設置上のお願い

- 内エプロンの穴開口は、内エプロンの表面と裏面の両側からホールソーやドリル、またはキリを用いて行ってください。
（内エプロンの片面のみから貫通させようとすると、内エプロンを傷めるおそれがあります。）

①内エプロンに配管取り付け用の穴を開口する。

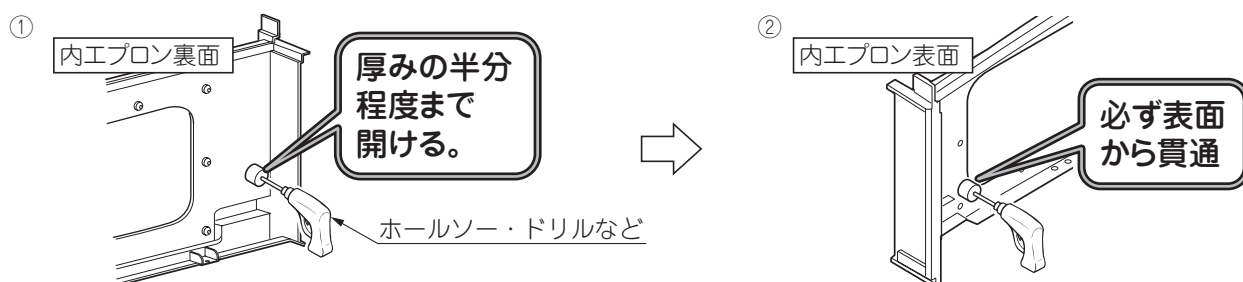
- ・給水管・給湯管用の開口サイズはφ30（2か所）です。
- ・〈オプション〉追い焚き受け皿ホース用・水受けトレイ用の開口サイズはφ25（1か所）です。
- ・カウンター側のドリルガイドを目安に開口してください。
- ・ホールソーやドリル、またはキリを使用して、内エプロン裏面から厚みの半分程度まで開けてください。
- ・穴貫通は内エプロンの表面から行います。

⚠ 注意

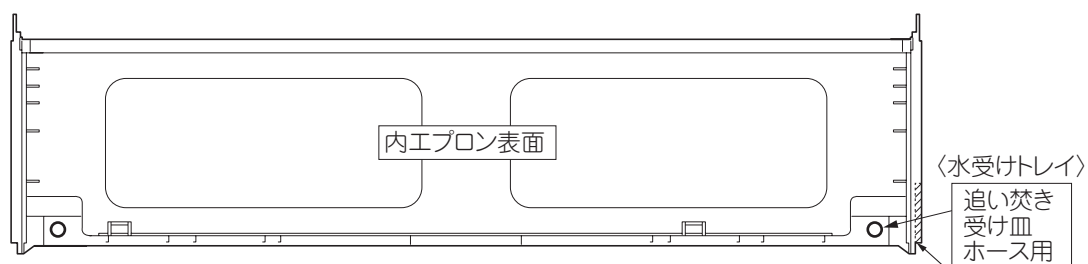


- 開口部のバリ取りは確実に行う
（バリ取りをしないとけがや水漏れの原因となります。）

②残りの厚み半分以上を表面から貫通させる。

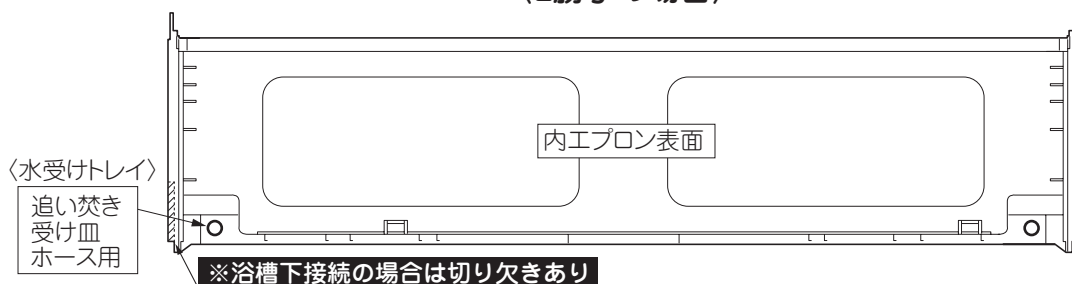


〈R勝手の場合〉



※浴槽下接続の場合は切り欠きあり

〈L勝手の場合〉



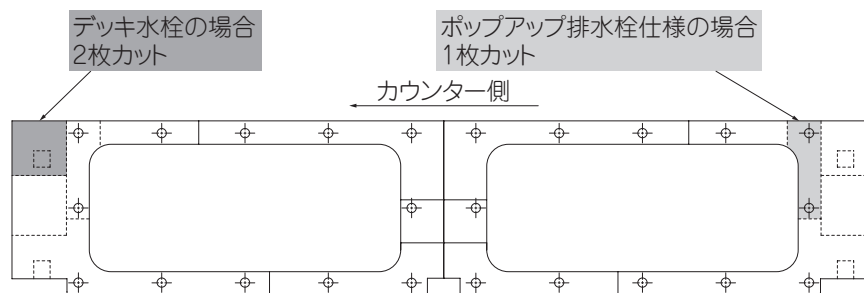
※浴槽下接続の場合は切り欠きあり

4 断熱材のはり付け

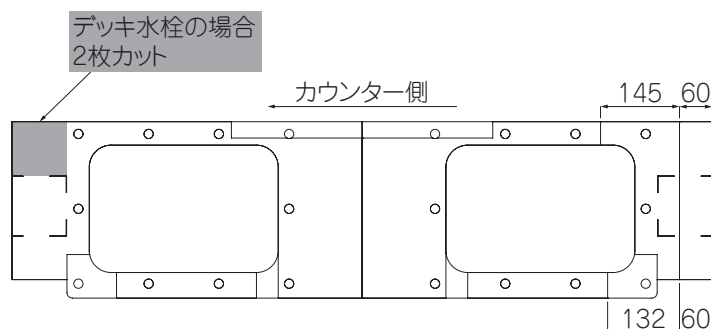
- ①〈ポップアップ排水栓仕様の場合〉断熱材を切り欠く。
・内エプロン裏面の断熱材を図のように切り欠いてください。

- ②ミシン目に沿って断熱材をカットする。
・取り付け部材の左右位置をよく確認してから、カットしてください。

1621・1616サイズ



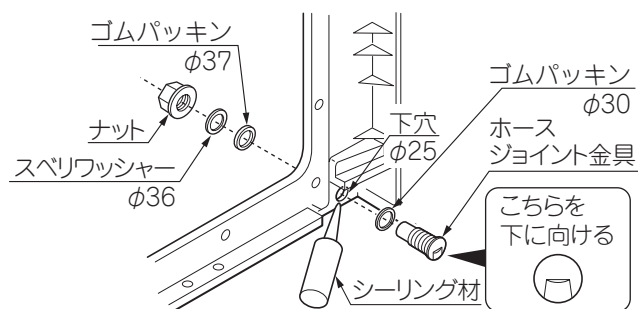
1216サイズ



- ③断熱材を内エプロンにはり付ける。

5 追い焚き受け皿用部品・水受けトレイ用部品の取り付け

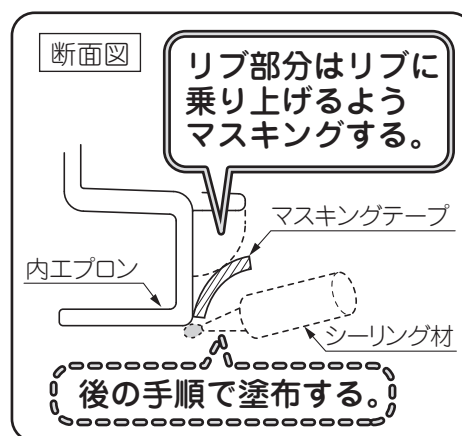
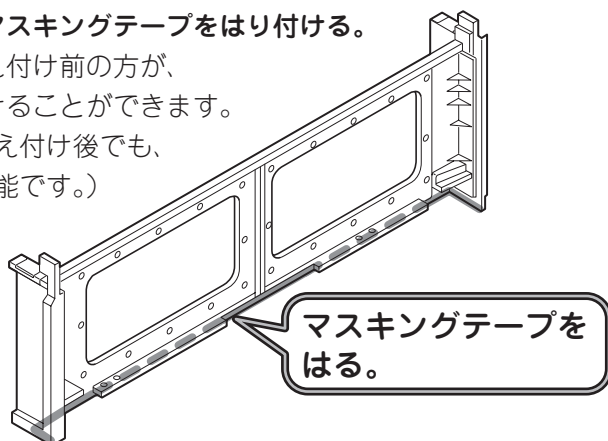
- ①〈オプション〉追い焚き受け皿用部品（浴槽に付属）・水受けトレイ用部品を内エプロンに取り付ける。



6 マスキングテープのはり付け

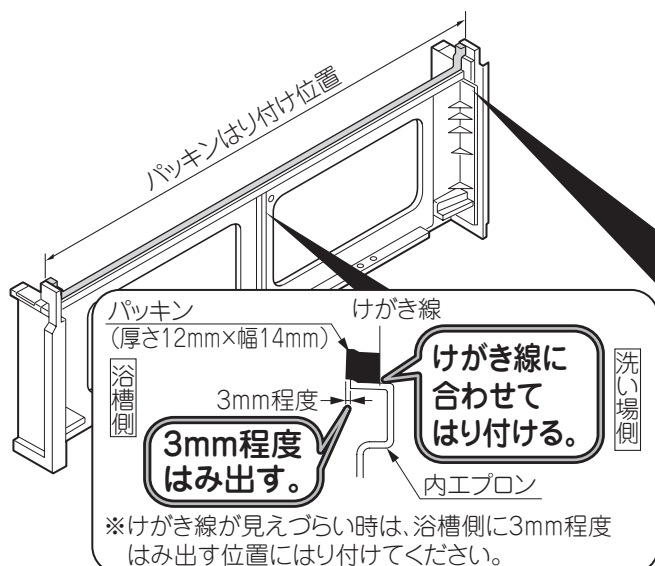
- ①内エプロンにマスキングテープをはり付ける。

・内エプロン据え付け前の方が、簡単にはり付けることができます。（内エプロン据え付け後でも、はり付けは可能です。）



7 内エプロン上部へのパッキンはり付け

- ①内エプロン上部にパッキン（厚さ12mm×幅14mm）をはり付ける。

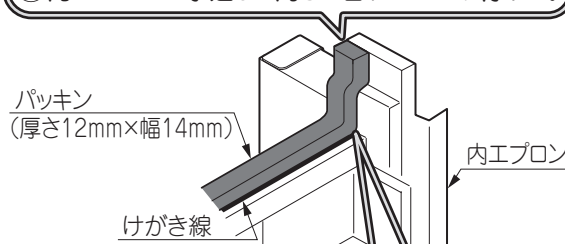


使用するパッキン



※パッキンが切れた場合は、突き付けではり、突き付け部にシーリング材を塗布してください。

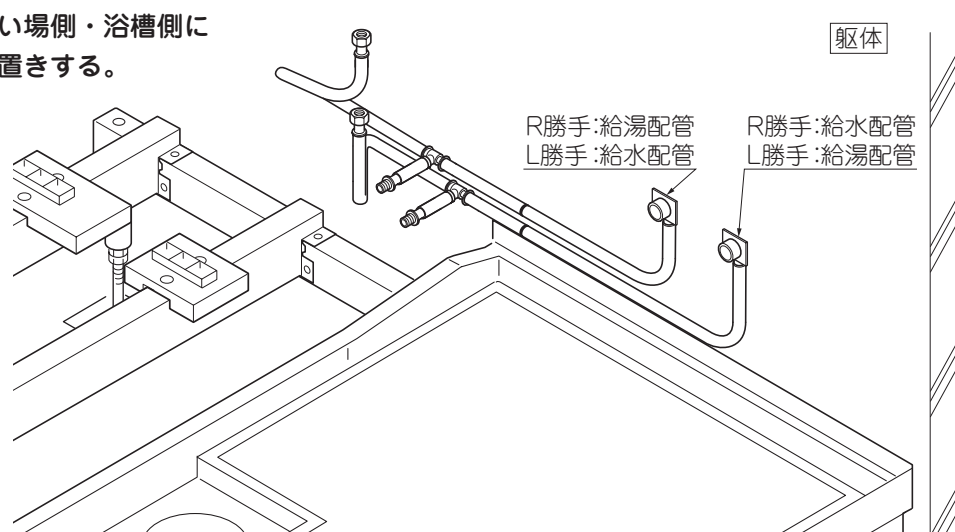
- ②内エプロンの水返しに高さを合わせてはり付ける。



- ①入り隅部に三角すき間ができないよう、確実にはり付ける。

8 壁裏配管の仮置き

- ①給水・給湯管を洗い場側・浴槽側に
またがるように仮置きする。

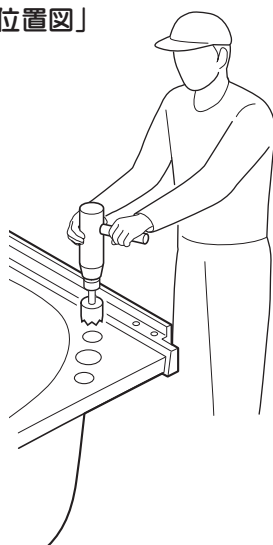


9 浴槽デッキ混合水栓の取り付けと追い焚き穴加工

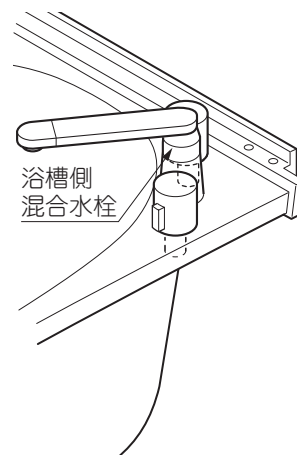
- ①20ページの「浴槽デッキ水栓用穴開口位置図」
を参照して、穴開口を行う。

取付設置上のお願い

- 浴槽の穴開口は、浴槽表面と裏面の両側からホールソーを用いて行ってください。
(浴槽の片面のみから貫通させようとすると、浴槽を傷めるおそれがあります。)



- ②混合水栓を
取り付ける。
・詳しくは混合
水栓に付属の
取付設置
説明書を参照
ください。



- ③17ページの「追い焚き釜接続位置図」を参照
して、浴槽に釜穴を開ける。

10 浴槽排水管の取り付け

①排水管を浴槽に取り付ける。

⚠ 注意

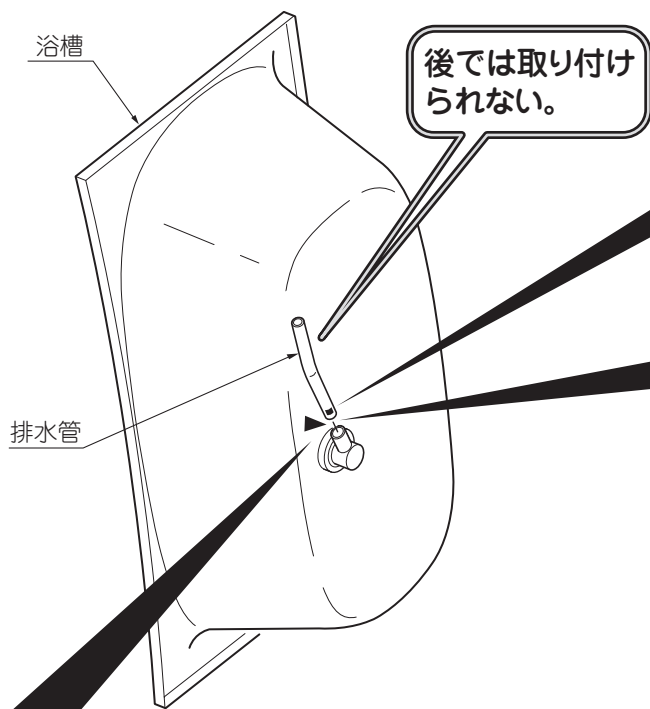
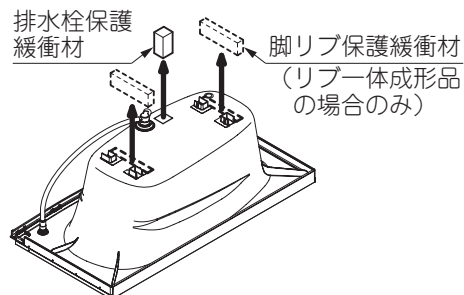


必ず守る

- 排水管の接続は、浴槽側と排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む
(守らないと、水漏れの原因となります。)

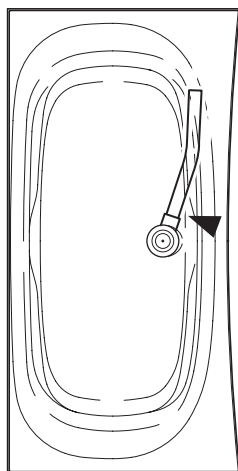
取付設置上のお願い

- 浴槽を裏返しにして置く際は、フランジ面に傷が付かないよう、確実に養生してください。
- 浴槽本体裏面の緩衝材を取り外して取付設置してください。



識別マークがある方を浴槽側に接続する。

接続部(▲印)は青色塩ビ接着剤で接着する。
(守らないと水漏れの原因となります。)



同一面上で接続する。

浴槽

浴槽底面とほぼ平行に取り付ける。

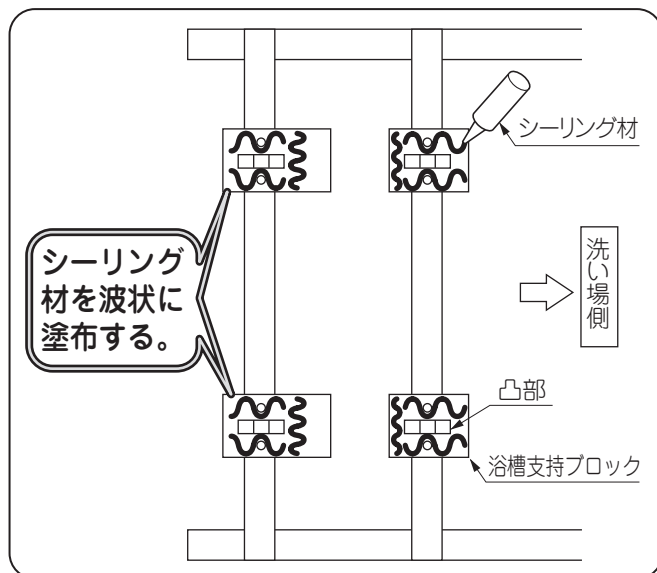


浴槽

11 浴槽の仮置き

①浴槽支持ブロックにシーリング材を塗布する。

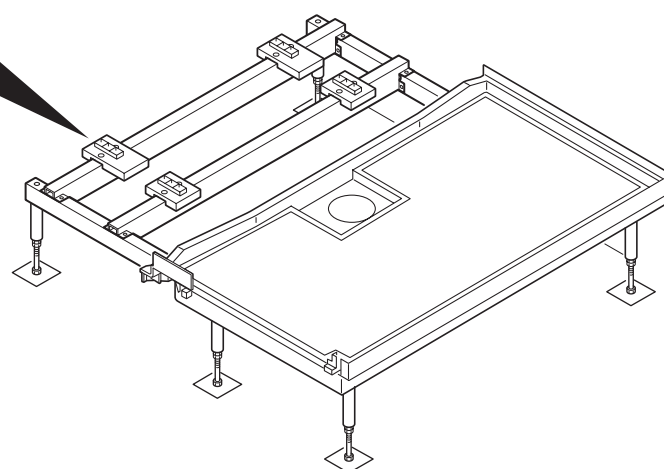
- ・シーリング材を塗布した後は、時間を空けずに浴槽を本設置してください。



⚠ 注意



- ・シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、音鳴りの原因となります。)



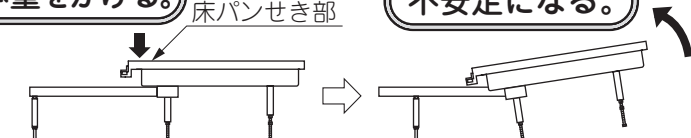
取付設置上のお願い

- ・スチロールスペーサーをカットし、洗い場床パンと連結フレームの間に挟み込んでください (2か所)。
(床パンせき部に体重をかけると、洗い場床パンが不安定になるおそれがあります。)

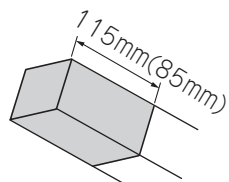
ここに体重をかける。

床パンせき部

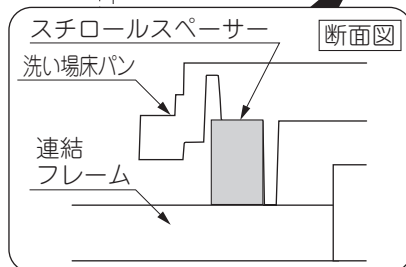
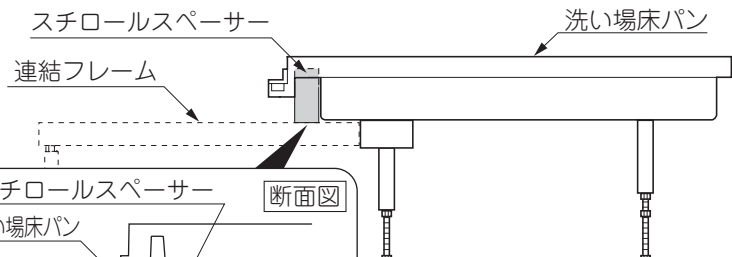
不安定になる。



スチロールスペーサーのカット寸法



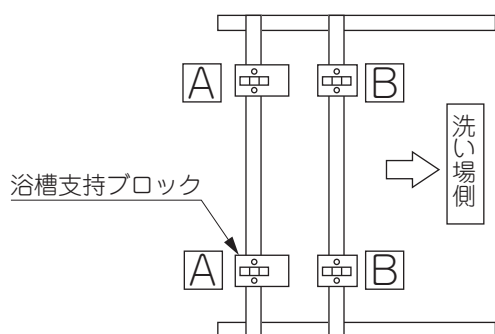
()内寸法は1216サイズの場合



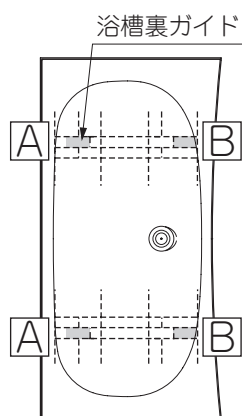
※浴槽仮置き後、スチロールスペーサーを必ず取り外してください。
(音鳴りの原因となります。)

②浴槽を据え付ける。

- ・浴槽裏ガイドのA部・B部を、それぞれ浴槽支持ブロックのA部・B部にはめ込むようにして、上からゆっくり置いてください。

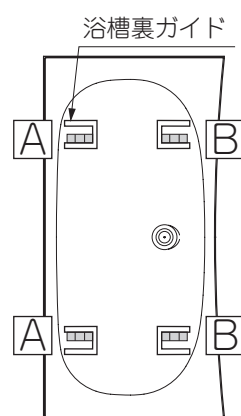


〈FRP浴槽の場合〉



----- は浴槽裏リブを表します。

〈クリーン浴槽の場合〉



※図はリブ一体浴槽の場合

⚠ 注意

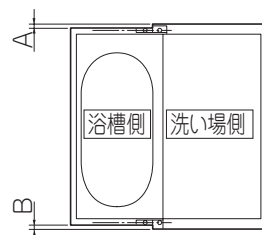


必ず守る

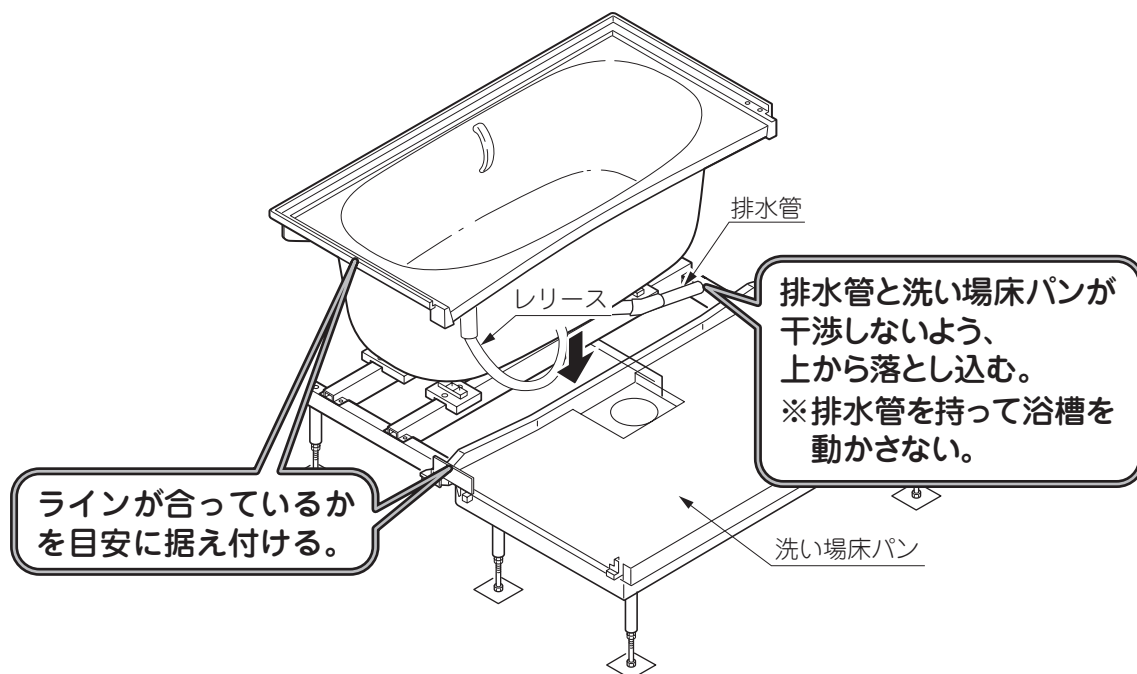
- 浴槽を据え付ける際に、ポップアップ排水栓のリリースや排水管を破損しないように注意する
(破損すると、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願い

- 浴槽を据え付ける際、浴槽側と洗い場側のセンターをあわせ、下図AとB（浴槽と洗い場の外寸差）の寸法がほぼ同じになるように据え付けてください。

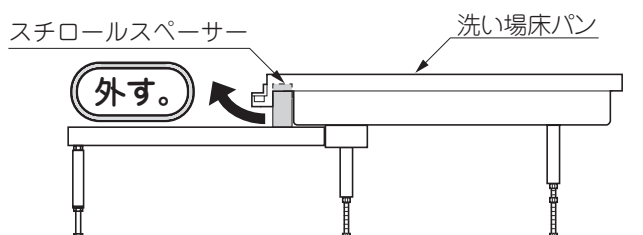


- ・ 浴槽を押して、浴槽支持ブロックに浴槽裏ガイドが確実にハマったこと、
がたつきがないこと、レベルを確認してください。



③ スチロールスペーサーを取り外す。

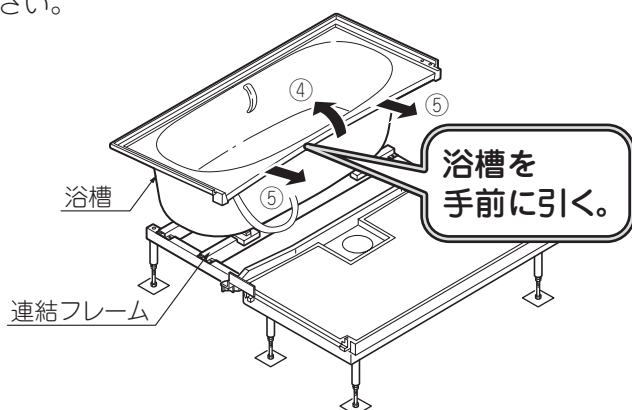
・音鳴りの原因となるので、必ず取り外してください。



④ 浴槽の手前を持ち上げる。

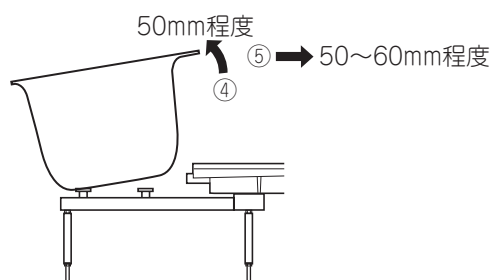
⑤ 斜めにした状態で洗い場側に引く。

・排水管が洗い場床パンに当たらないよう注意してください。



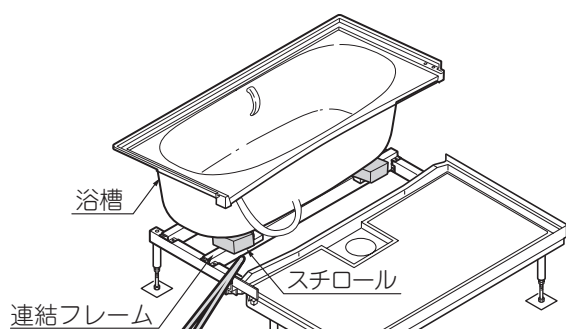
横から見た図

・図の範囲を超えて動かすと、浴槽の位置決めが難しくなります。



⑥ スチロールをカットし、連結フレームと浴槽の間に差し込む。

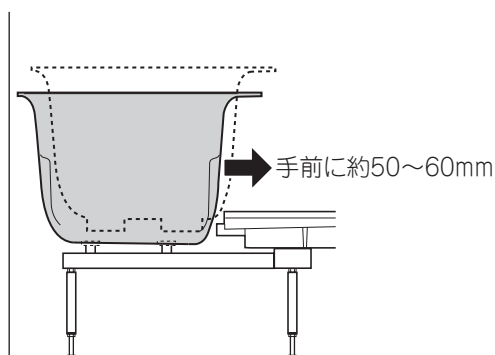
・内エプロンを取り付けるために仮置き状態にします。



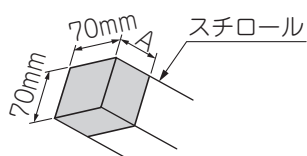
スチロールを差し込む。
下に落ちないように注意する。

取付設置上のお願い

- ・浴槽を手前に引きすぎると、浴槽が浴槽支持ブロックから脱落します。
必要に応じて、図の範囲で調整してください。



● スチロールのカット寸法 (A)



単位：mm

	FRP浴槽		クリーン浴槽	
	保温あり	保温なし	保温あり	保温なし
1600浴槽	25	35	25	50
1150浴槽	25	35	25	65

12 洗い場床パンへのパッキンはり付け

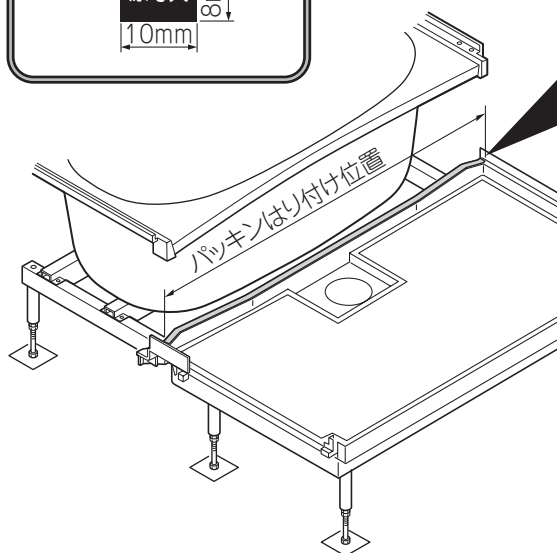
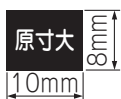
- ①床パンせき部にパッキン（厚さ8mm×幅10mm）をはり付ける。

⚠ 注意



- パッキンは洗い場床パンの指定位置に合わせて、確実にはり付ける（確実にはり付けしないと、水漏れの原因となります。）

使用するパッキン



※パッキンが切れた場合は、突き付けではり、突き付け部にシーリング材を塗布してください。

浴槽側

パッキン
(厚さ8mm×幅10mm)

床パンせき部

けがき線

けがき線に合わせて
はり付ける。

洗い場側

床パンせき
止水ピース

水返しに
突き付けではる。

パッキン
(厚さ8mm×幅10mm)

〈A矢視〉

床パンせき
止水ピース

パッキン

洗い場
床パン

けがき線

けがき線に合わせて
はり付ける。

- ②床パンせき止水ピースにシーリング材を塗布し、指で押さえて仕上げる。

⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）

指で押さえて
すき間がないよう
確実に仕上げる。

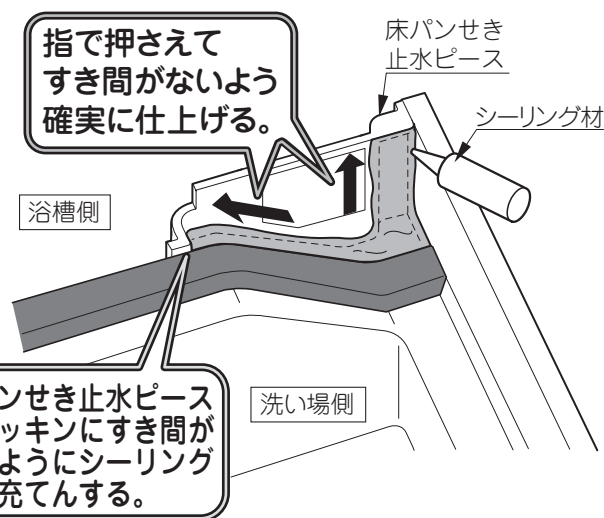
床パンせき
止水ピース

シーリング材

浴槽側

床パンせき止水ピース
とパッキンにすき間が
ないようにシーリング
材を充てんする。

洗い場側



③床パンせき部パッキンの浴槽側にシーリング材を塗布する。

④壁下パッキンを下図の位置にはり付ける。
・はく離紙をはがして、丁寧にはり付けてください。

取付設置上のお願い

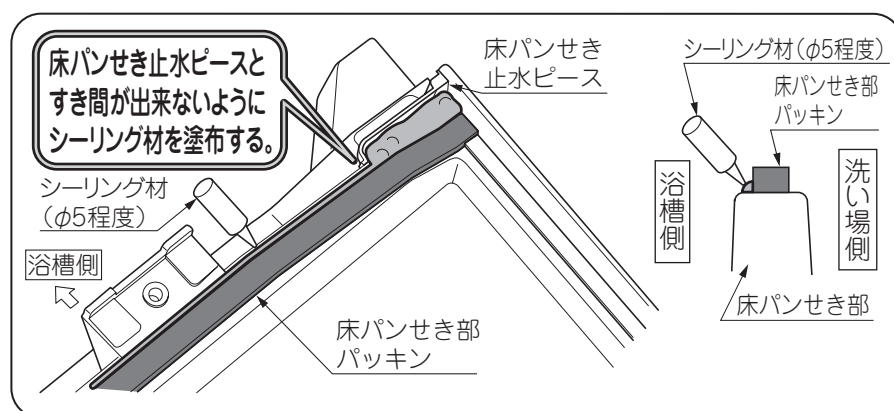
- 必ず、ここで壁下パッキンをはり付けてください。
(内エプロン取り付け後は、はり付けることができません。)

⚠ 注意



必ず守る

- 壁下パッキンは、それぞれ水返しに合わせて、正しい位置にはり付ける
(守らないと、水漏れの原因となります。)
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

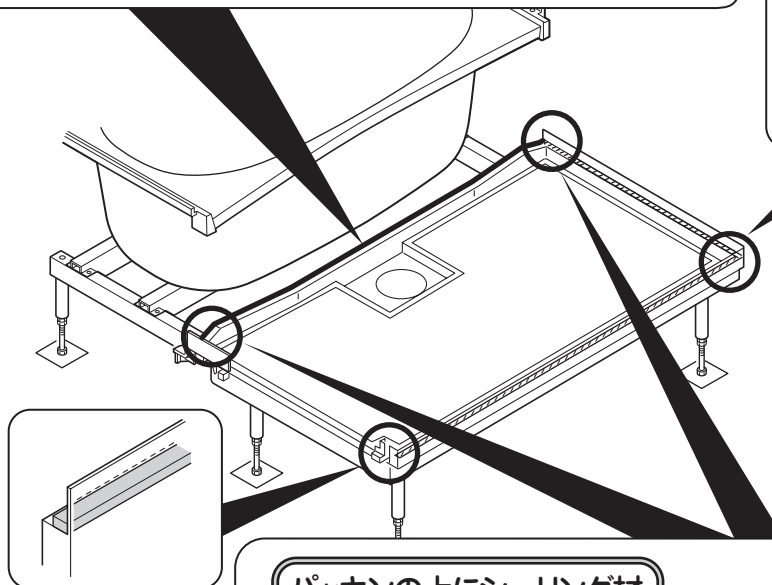
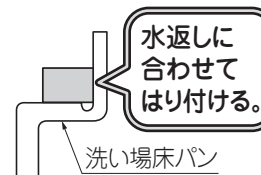


重ねばり・曲げばり禁止

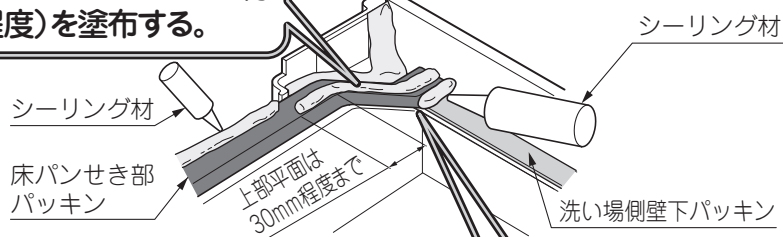
必ずカッターナイフなどで切って、パッキンを突き合わせてください。



断面図



パッキンの上にシーリング材 (φ5程度) を塗布する。



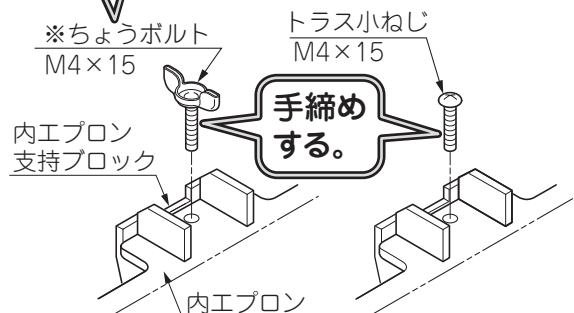
突き合わせではり、突き合わせ部にシーリング材を塗布する。

13 浴槽の本設置

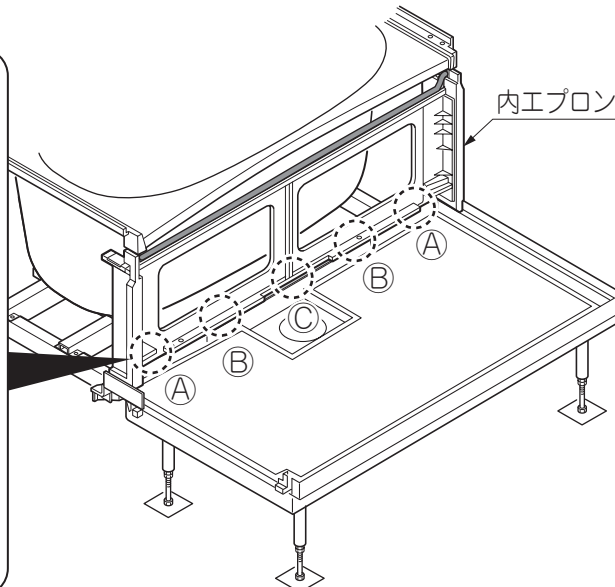
①内エプロンを床パンせき部に据え、下部を内エプロン支持ブロックに手締めで固定する。

・A→B→Cの順でねじ留めしてください。

〈1621・1616サイズの場合〉
中央に1か所のみ



※締め付けスペースに余裕がある場合は、トラス小ねじ(M4×15)を使用する。

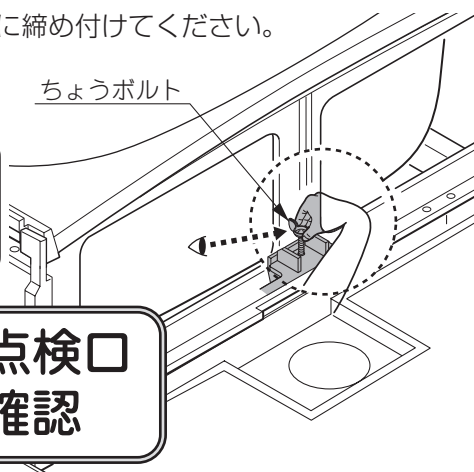


取付設置上のお願い

・ちょうボルトは、確実に締め付けてください。

締め忘れに
注意する。

もう片方の点検口
から目視で確認



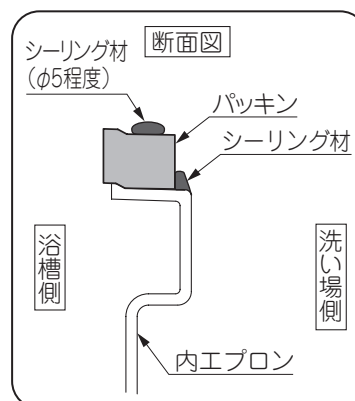
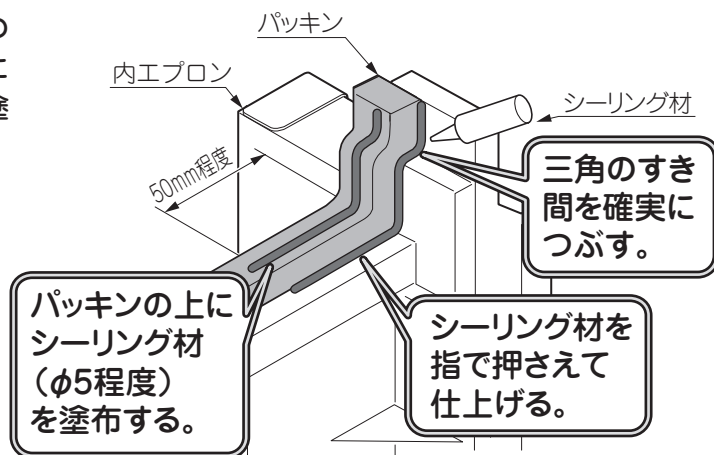
⚠ 注意



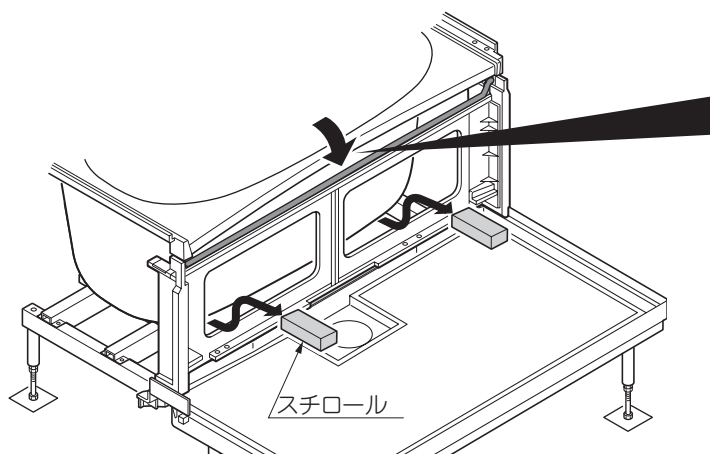
必ず守る

・シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

②内エプロン上部の
パッキン両端部に
シーリング材を塗
布する。



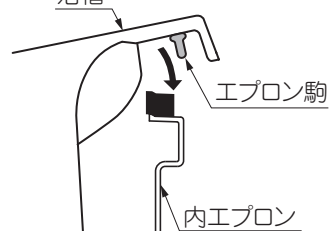
③ スチロールを外し、浴槽を据える。



断面図

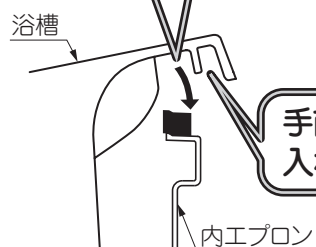
浴槽

〈クリーン浴槽の場合〉



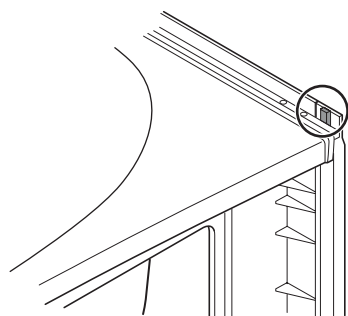
〈FRP浴槽の場合〉

奥のリブに入れる。



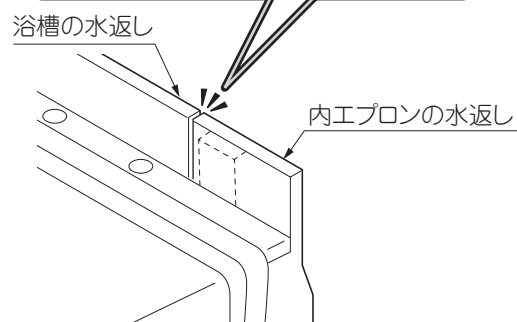
取付設置上のお願い

- 浴槽に衝撃を与えないでください。
- 水返しの取り合いを見ながら浴槽を落とし込んでください。

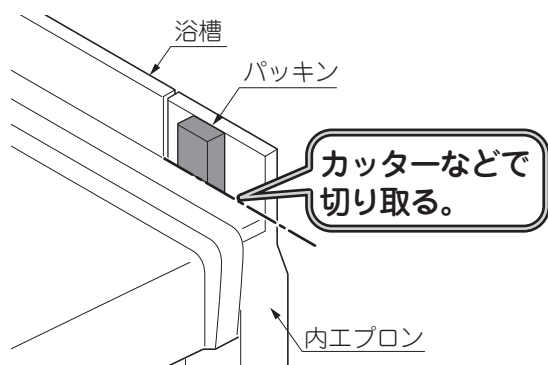


水返しが隣り合う位置関係

水返しがピッタリ隣り合うよう
目視しながら落とし込む。



④ 内エプロン両端のはみ出したパッキンを切り取る。



⑤浴槽の水返しと内エプロンを固定する。

- ・内エプロンの水返しと浴槽の水返しのすき間を2mmにしてください。

(平目地打ち込み治具 (GRYGD9111) またはコの字スペーサー (GVRY122) を挟んで、2mmのすき間を確保してください。)

⚠ 注意

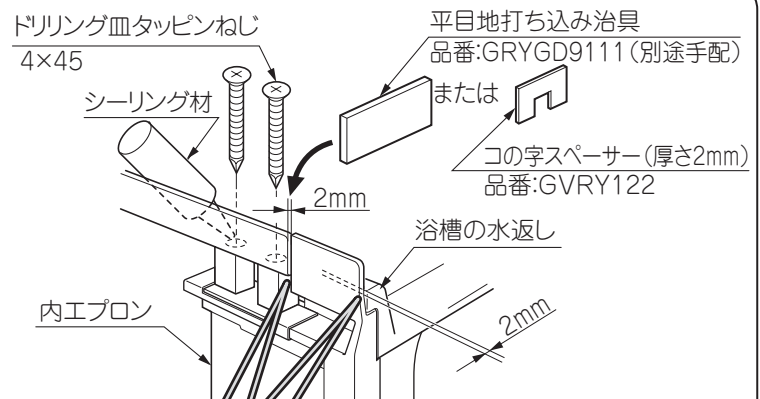
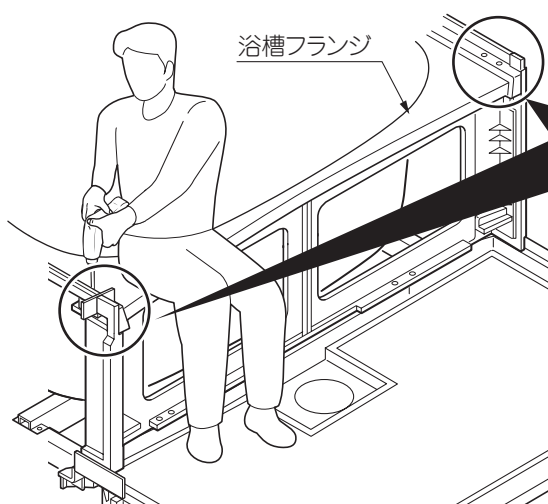


●シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う

(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

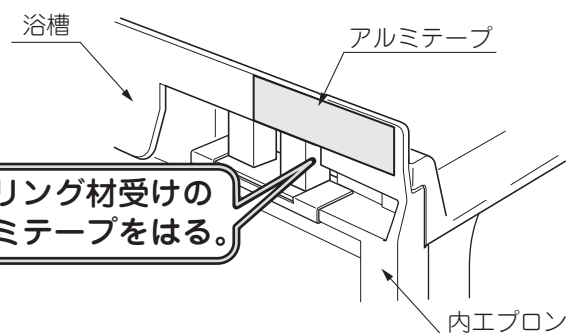
取付設置上のお願い

- 固定する方の浴槽フランジ面を、下図のように押さえながらねじで固定してください。
(フランジ面を押さえないと、ねじが空回りしたり、ねじ固定部に割れが発生するおそれがあります)

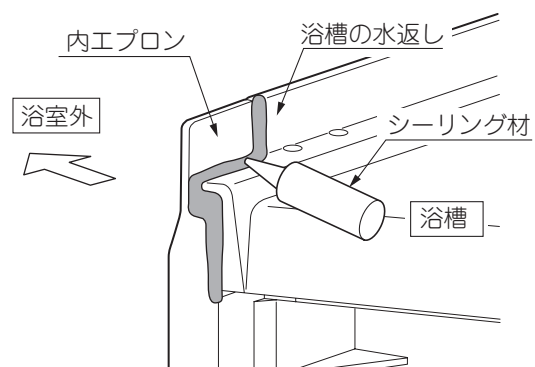


浴槽の水返しとのクリア2mmを確認して固定する。
(クリア2mmは平目地打ち込み治具GRYGD9111を挟んで出す。)

⑥水返しのすき間部に浴槽外側からアルミテープ
(23mm×70mm) をはる。

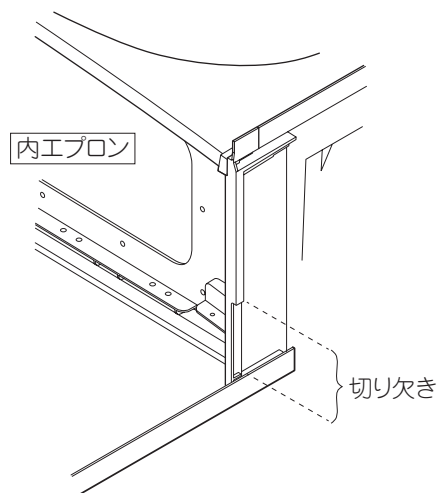


⑦浴槽の水返しと内エプロンのすき間にシーリング材
を塗布する。



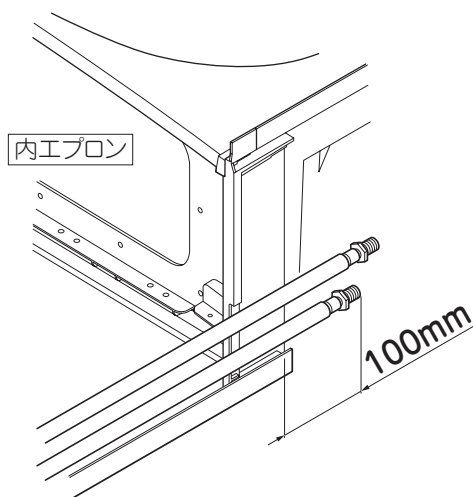
14 内エプロンの確認

内エプロン側部に切り欠きのある場合、壁裏配管があります。



壁裏配管固定の際には、配管が内エプロンの切り欠き部を通るように施工し、内エプロンからの飛び出し寸法100mmをご確認ください。

※壁裏配管固定については、88ページを参照ください。



15 浴槽固定用スチロールスペーサーの取り付け

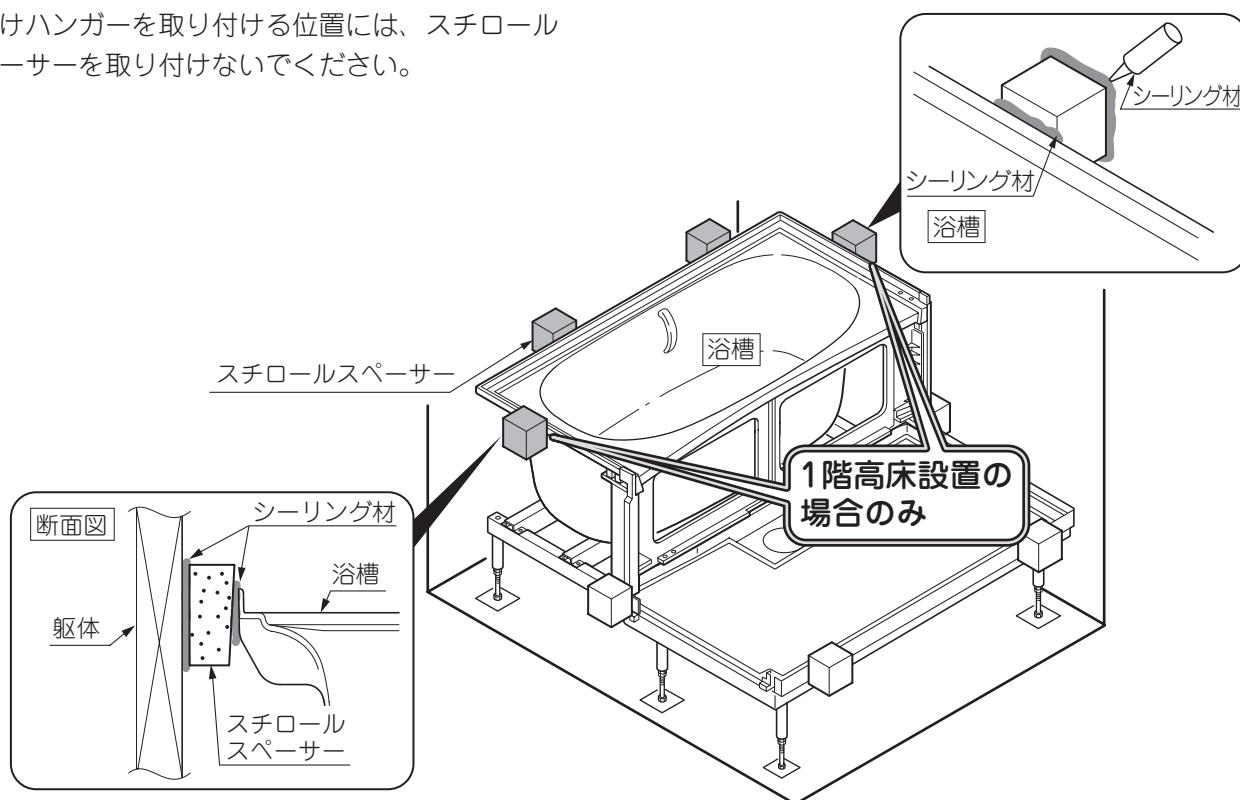
①浴槽と躯体の寸法に合わせてスチロールスペーサーをカットする。

②スチロールスペーサーにシーリング材を塗布する。

③洗い場床パンと躯体の間にスチロールスペーサーを挟み込む。

④挟み込んだスチロールスペーサーをシーリング材で固定する。

・壁掛けハンガーを取り付ける位置には、スチロールスペーサーを取り付けないでください。



16 排水管の接続

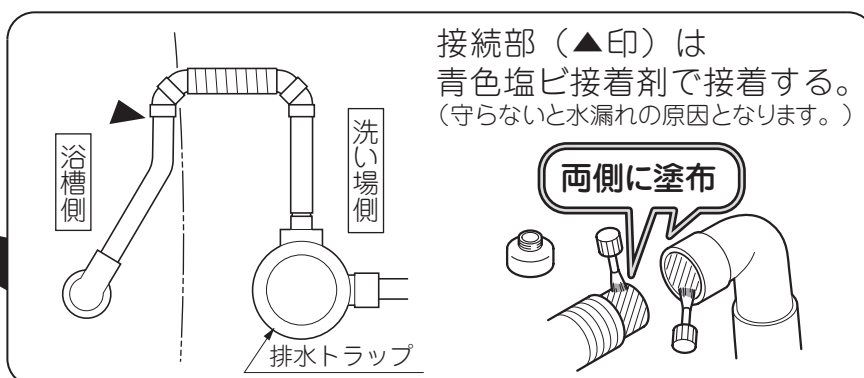
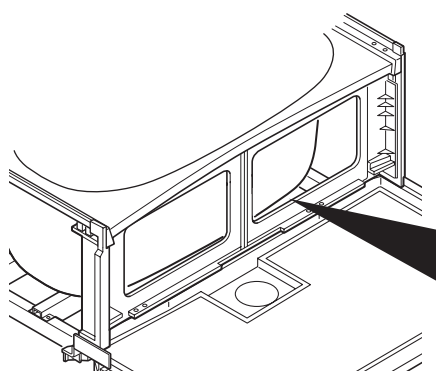
- ①浴槽からの排水管と排水トラップからの排水管を接続する。

⚠ 注意



必ず守る

- 排水管の接続は、浴槽側と排水管の両側全周に接着剤を塗布し、根元までしっかり差し込む
(守らないと、水漏れの原因となります。)



17 浴槽側壁下パッキンのはり付け

- ①壁下パッキンを下図の位置にはり付ける。
 ・はく離紙をはがして、丁寧にはり付けてください。

取付設置上のお願

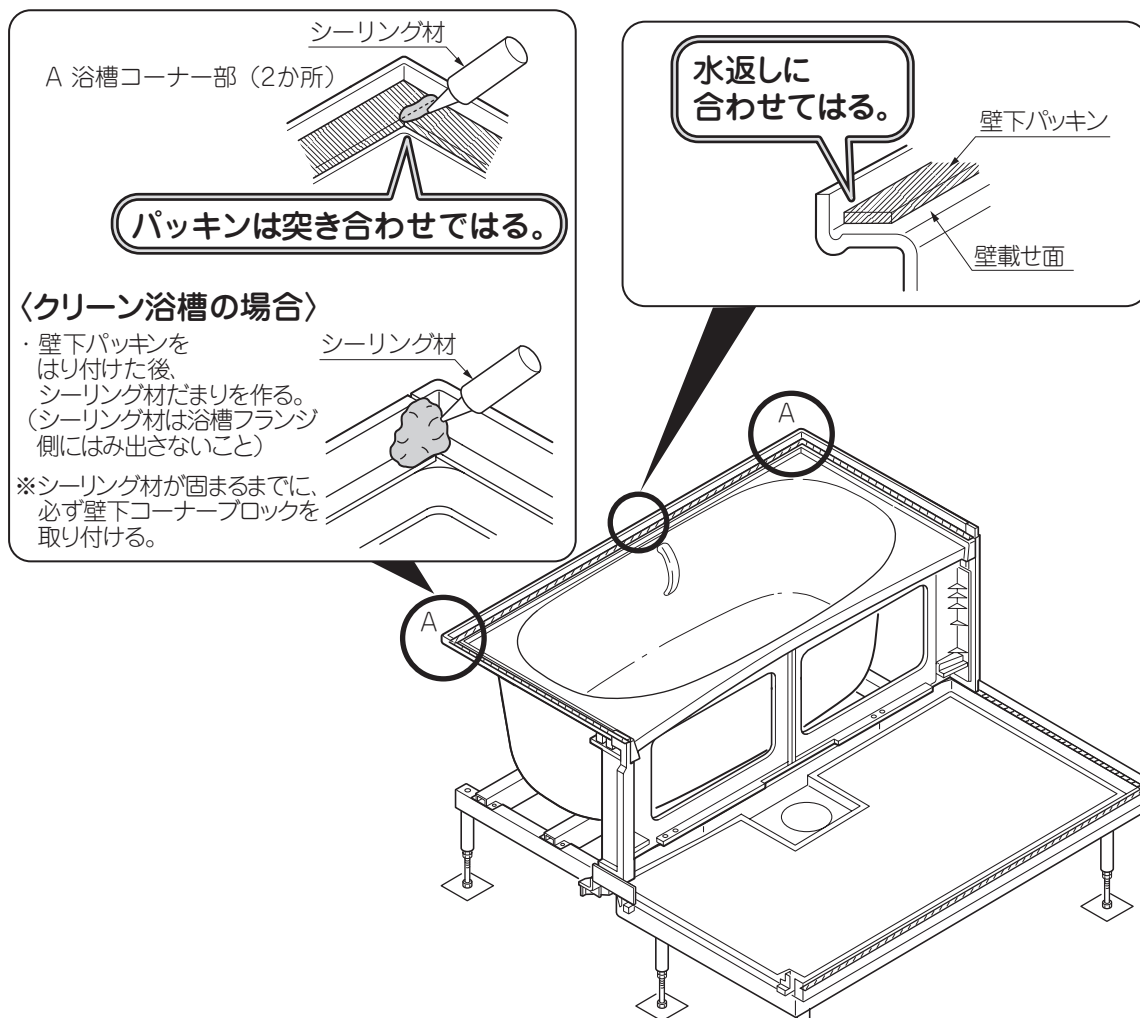
- 壁下パッキンは、よじれたり浮きがないよう、丁寧にはり付けてください。

⚠ 注意



必ず守る

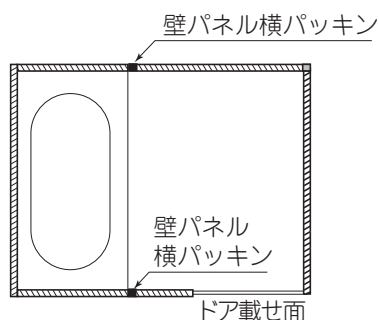
- 壁下パッキンは、水返しに合わせて、正しい位置にはり付ける
 (守らないと、水漏れの原因となります。)
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
 (確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



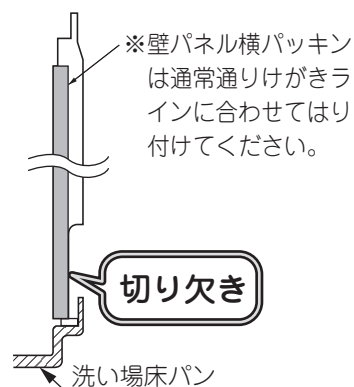
18 壁パネル横パッキンのはり付け

①壁パネル横パッキンを下図の位置にはり付ける。

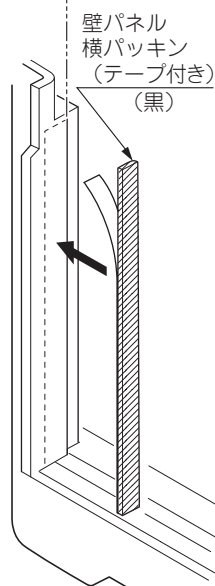
- ・はく離紙をはがしてはり付けてください。
- ・下端は洗い場床パンに付くようにし、けがき線に合わせてパッキンがけがき線の外側になるようはり付けてください。



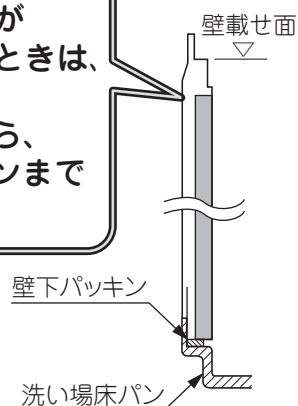
※浴槽下接続の場合は、カウンター側に切り欠きがあります。



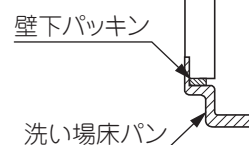
けがきラインに合わせてはる



〈B勝手の場合〉
隣にくるのが
壁パネルのときは、
ハーフ壁の
壁載せ面から、
壁下パッキンまで
はる。



〈A勝手の場合〉
隣にくるのが
ドア枠のときは
壁パネル
横パッキンは
不要



本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 水張り試験

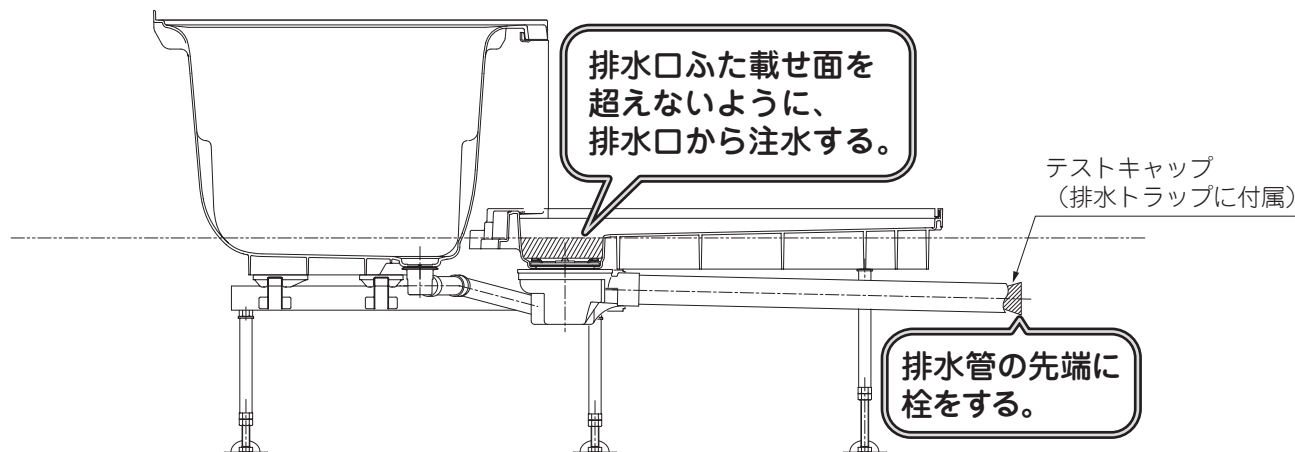
1 水張り試験の実施

- ・水張り試験の時期は現場により異なります。
現場打ち合わせによって決められた時期と方法で実施してください。

①雑排水管の先端にテストキャップをする。

②排水口から水を入れる。

- ・マスの八分目程度入れてください。
- ・浴槽のポップアップ排水栓は手で押さえておいてください。

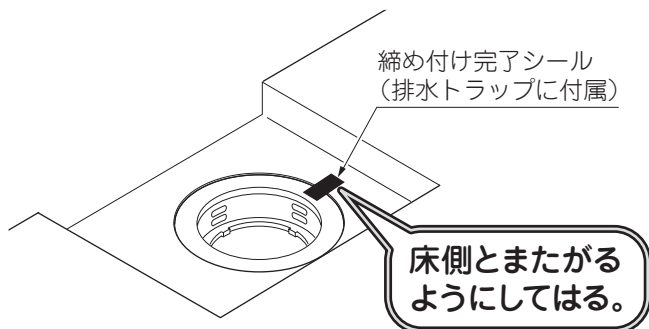


③水を張った状態で約30分放置する。

- ・トラップ取り付け部および雑排水管の
継ぎ目から水漏れしていないか確認してください。

④問題がなければ、テストキャップを外して、排水トラップの部材を取り付ける。

⑤洗い場側排水トラップに締め付け完了シールをはる。



取付設置上のお願ひ

- ・締め付け完了シールは、必ずはってください。

4. 壁の組み立て

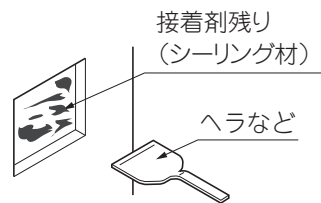
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 壁パネルの前加工

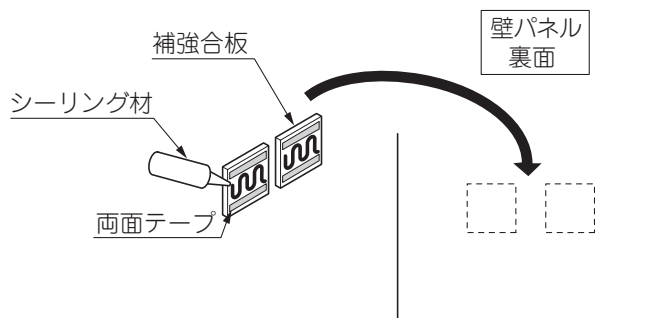
1 補強合板のはり付け

- ①壁パネル裏側の補強プレートをはる位置に合わせて、断熱材をカットする。

※補強プレートや配管などのサイズより10mm程度多めに断熱材を切り欠き、壁パネルに残った接着剤をヘラなどで削り取ってください。



- ②26～34ページの「器具取り付け穴開口位置図」を参照して、水栓取り付け位置に補強合板を両面テープとシーリング材ではり付ける。



取付設置上のお願い

- 作業後は少し時間をおき、完全にはり付いていることを確認のうえ、次の下穴開口を行ってください。

⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、補強合板が十分に固定されません。)

※ミラーシェルフ・シャワーバーは部品同梱の取付設置説明書を参照ください。

2 壁パネルの穴開

①壁パネルに穴開を行う。

- ・ プレ穴加工されているパネルがないか確認してください。
- ・ 穴開位置については、26ページの「器具取り付け穴開位置図」を参照ください。
- ・ 現物合わせで穴開する指示があるものは、器具取り付けの直前に穴開を行ってください。
- ・ 鋼板用樹脂アンカー（白）を使用する場合は必ず穴開を行ってください。

取付設置上のお願い

- 壁パネルには長尺・短尺・腰壁のものがああります。21、22ページの「壁パネル展開図」を参照のうえ、建て込み位置を確認してから穴開を行ってください。

3 壁パネルの開

取付設置上のお願い

- 壁パネルを3枚にまたいでの窓開はできません。
- 窓開を行う場合は、壁パネルを開口後、開口に沿って補強合板をはり付けてください。
- 壁パネルを開口する際は、切りくずが壁パネルに飛び散らないよう、ご注意ください。

警告



必ず守る

- 壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う（飛び散った切りくずが目に入っけがをするおそれがあります。）

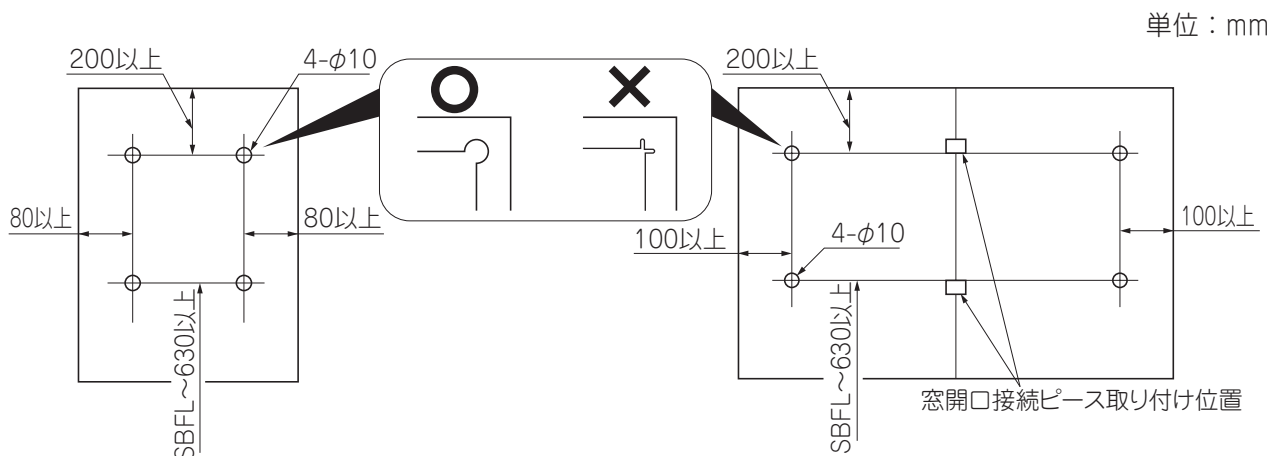
①開口部の外側をマスキングテープで保護する。

②次ページの「窓開パネル仕様の断面取り合い図」を参照のうえ、開口する四隅にφ10の穴を開ける。

③ジグソーまたはスレートノコで開口する。

- ・ 開口幅はパネルにより異なります。

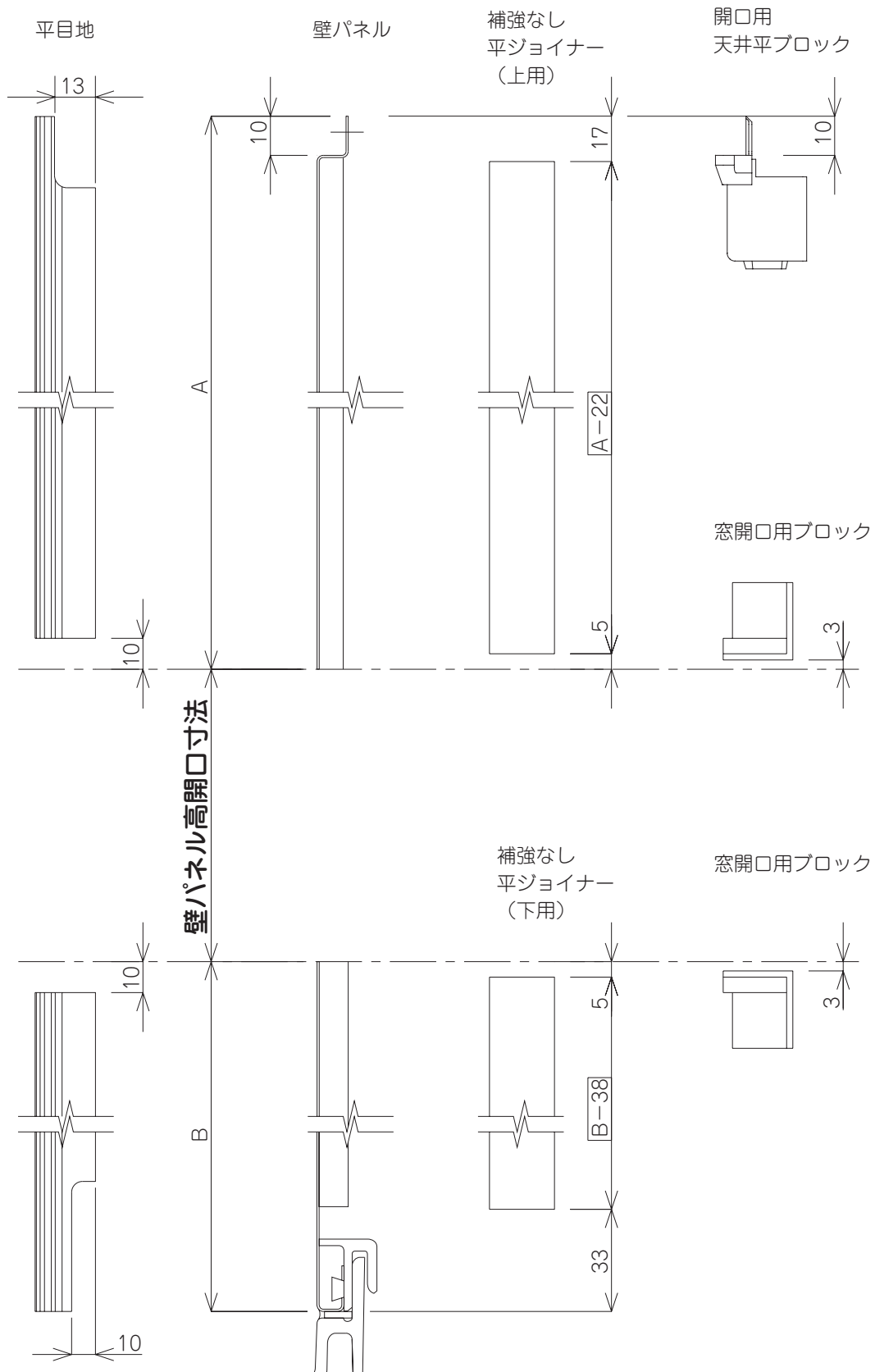
窓開が2枚の壁パネルにまたがる際は、壁パネル間に挟まる目地幅（=3mm）分を考慮して開口してください。



④切断部が凸状に残らないよう、きれいに仕上げる。

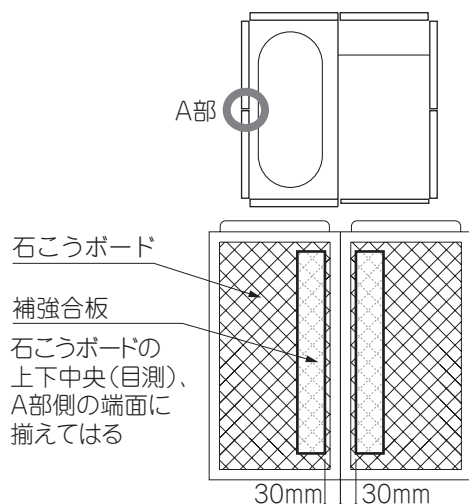
【窓開口パネル仕様の断面取り合い図】

単位：mm



4 補強合板の取り付け

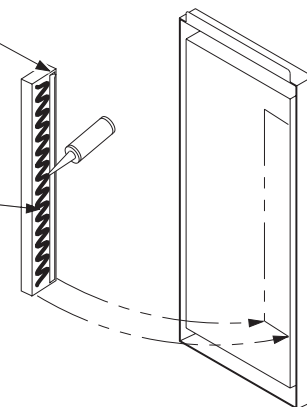
- ①浴槽長手側の壁（A部）に補強合板をはり付ける。



- ①開口側に両面テープ（黒色）をはり付けて、はく離紙をはがしてください。

- ②付属のシーリング材を塗布してください。

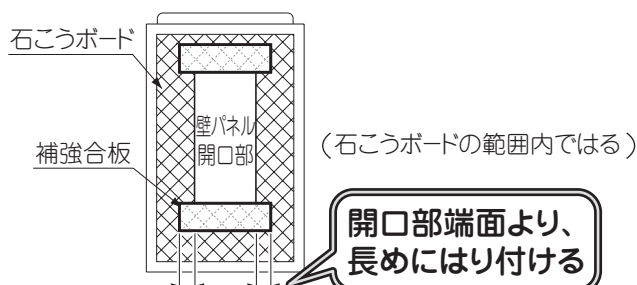
- ③補強合板をパネル裏面にはってください。



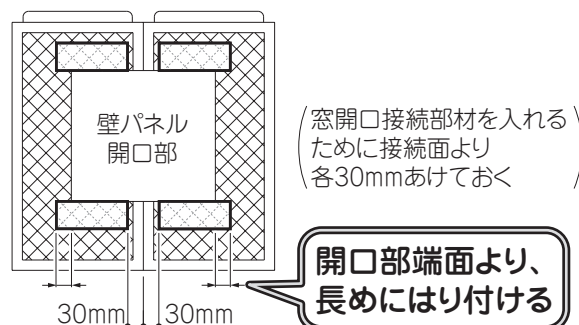
5 補強合板の取り付け

- ①下図を参照し、補強合板をはり付ける。

〈壁パネル1枚で納まる場合〉



〈壁パネル2枚で納まる場合〉



- ①窓開口部の上辺・下辺の幅より長い寸法に補強合板をカットしてください。

- ②両面テープを開口側にはり付けて、はく離紙をはがしてください。

- ③付属のシーリング材を塗布してください。
④補強合板をパネル裏面にはってください。

⚠ 注意

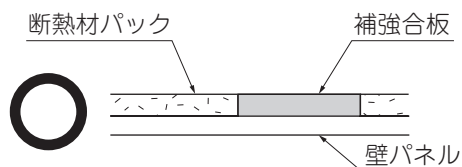


必ず守る

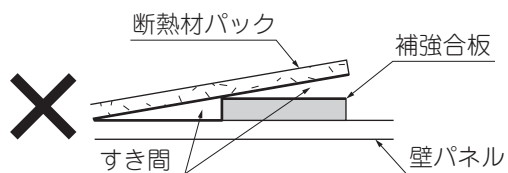
- 窓開口を行う場合は、壁パネルを開口後、開口に沿って補強合板をはり付ける
- 開口が2枚のパネルに渡るときは、2枚のパネルとも裏補強する（裏補強を行わないと、窓枠が十分に固定されません。）

取付設置上のお願い

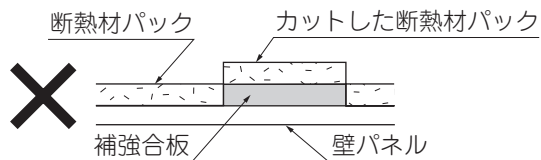
- 補強合板の上に断熱材パックをはり付ける場合は、断熱材パックと壁パネルにすき間ができないように断熱材パックをカットしてください。



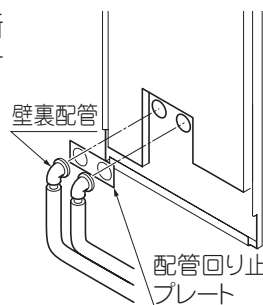
- 断熱材パックと壁パネルにすき間が無いように



- カットした断熱材パックを補強合板の上に貼らない

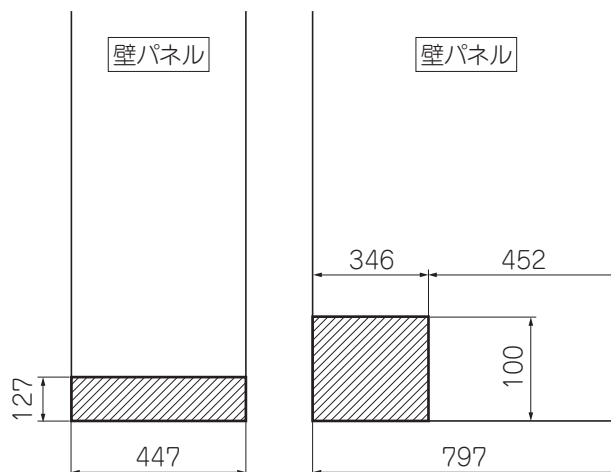


- 配管回り止プレートや配管と断熱材が干渉する個所の断熱材パックをカットしてください。

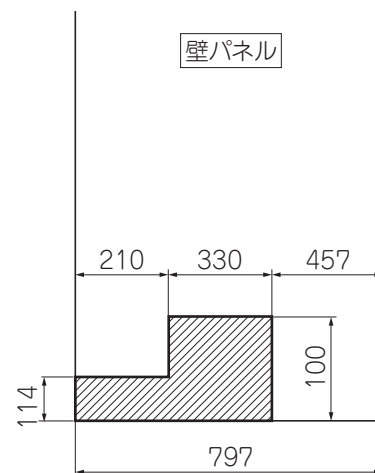


- 壁裏配管を取付設置する場合は、図の▨部の断熱材パックをカットしてください。

●1621サイズの場合



●1616・1216サイズの場合



6 補強なしジョイナーの切断

取付設置上のお願

- 平ジョイナーには上下がありますので、ご注意ください。

背側にDOWN
の表示

下側



- ①補強なし平ジョイナーを開口位置に合わせて切断する。

警告

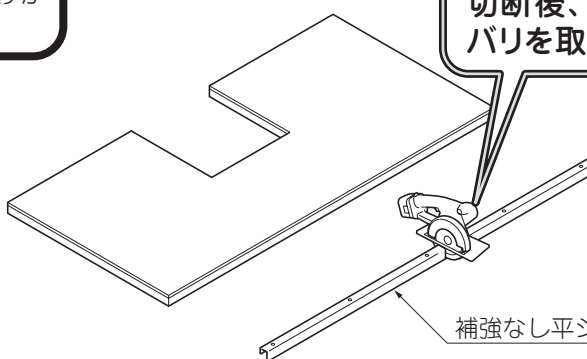


必ず守る

- 壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う（飛び散った切りくずが目に入っけがをするおそれがあります。）

- ②ジョイナー取り付け時に嵌合部が平らになるよう、バリを取り除く。

切断後、
バリを取り除く。



補強なし平ジョイナー

7 水栓固定金具・裏配管Aの取り付け

- ①水栓固定金具または裏配管Aにゴムパッキンとスペリワッシャーを通す。
- ②締め付けリングを専用の締め付け工具で締め付ける。

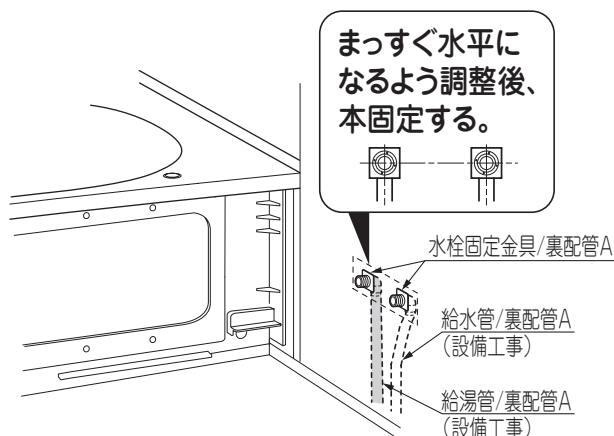
⚠ 注意



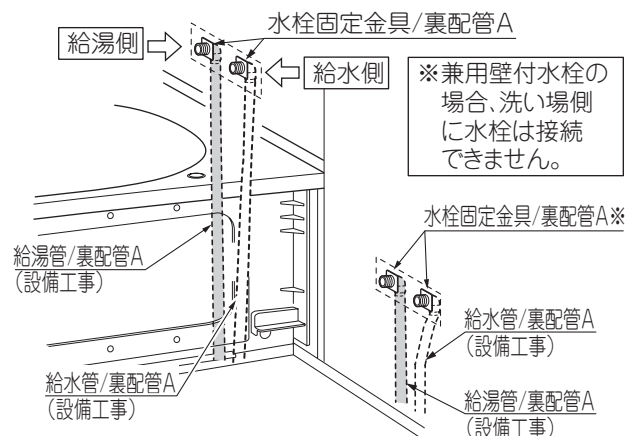
必ず守る

- 水栓固定金具や裏配管の取り付けは、必ず専用工具を使用する（専用工具を使用しないと、部材などが破損して水漏れの原因となります。）
- シーリング材充てんは指定個所に確実に（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）

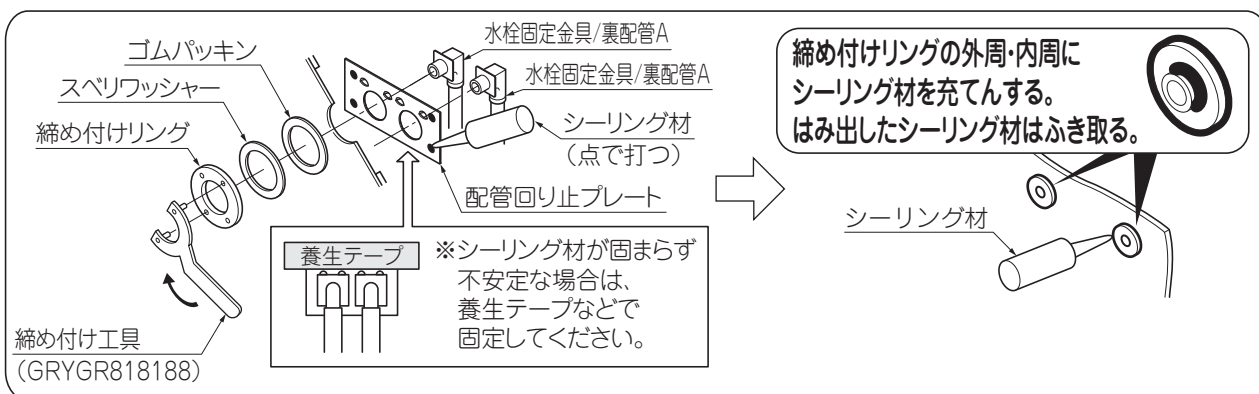
〈洗い場側壁付水栓〉 のみの場合



〈浴槽側壁付水栓を〉 併設する場合



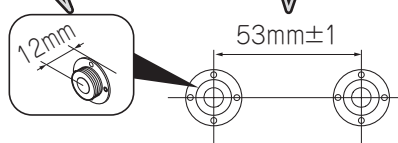
壁接続の場合



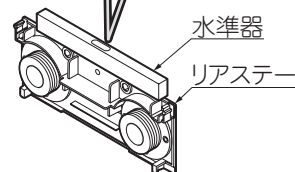
●裏配管Aの本固定〈クリーンスクエアサーモ水栓(ホワイト・ブラック)・メタルスクエアサーモ水栓の場合〉

裏配管Aの出代が壁パネルから12mmになるよう調整してください

裏配管A間の寸法は、中心から中心が53mmになるよう調整してください



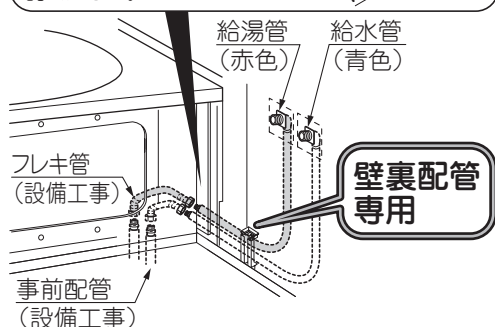
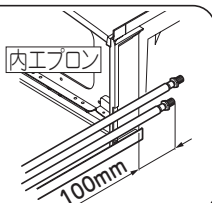
水栓に付属のリアステーを締め付けリングにあてて、水準器を載せ、水平になることを確認してください



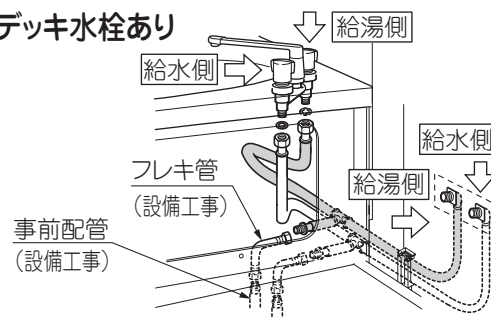
8 壁裏配管の取り付け

- ①金属スペーサーにゴムパッキンとスペリパッキンを通す。
- ②締め付けリングを専用の締め付け工具で締め付ける。

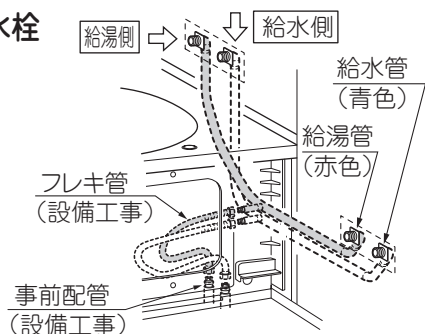
配管が内エプロンの切り欠き部を通るように施工し、内エプロンからの飛び出し寸法100mmをご確認ください。



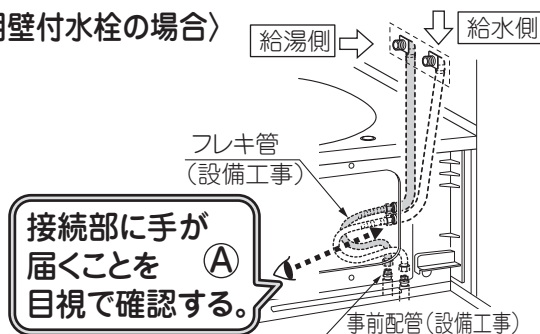
〈浴槽側 デッキ水栓ありの場合〉



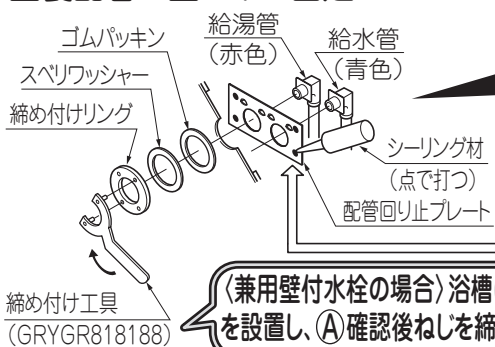
〈浴槽側壁付水栓ありの場合〉



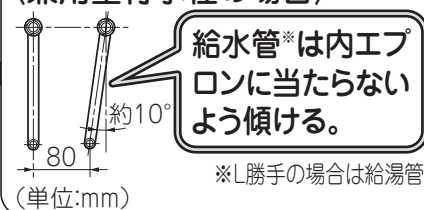
〈兼用壁付水栓の場合〉



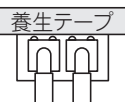
壁裏配管の壁パネル固定



〈兼用壁付水栓の場合〉



〈兼用壁付水栓の場合〉浴槽に壁パネルを設置し、A 確認後ねじを締め付ける。



※シーリング材が固まらず不安定な場合は、養生テープなどで固定してください。

⚠ 注意



必ず守る

- 専用工具の使用個所では必ず専用工具を使用する
(専用工具以外を使用すると、部材が破損し、水漏れの原因となります。)
- シーリング材充填は指定個所に確実に
(確実にシーリング材充填しないと、水漏れの原因となります。)

※クリーンスクエアサーモ水栓(ホワイト・ブラック)、メタルスクエアサーモ水栓の場合、水栓固定金具の本固定については、前ページを参照ください。

9 器具取り付け用の前加工

- 以下の器具を取り付ける場合は、壁パネル建て込み前に必ず裏補強、鋼板用樹脂アンカー（白）の挿入などの前加工を行ってください。（オプション品については、各取付設置説明書を参照ください。）

⚠ 注意

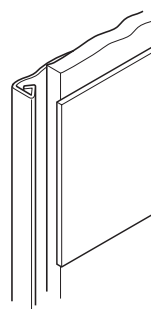


必ず守る

- 握りバーの裏補強は確実に行う
（確実に行わないと、落下事故の原因となります。）
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）
- 鋼板用樹脂アンカー（白）を使用して
取り付ける
（確実に行わないと、落下事故の原因となります。）

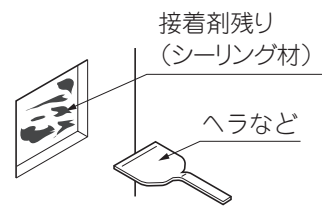
取付設置上のお願い

- 補強プレートを壁パネルの端付近に取り付ける際は、石こうボードからはみ出さないようにしてください。
（石こうボードからはみ出ていると、ジョイナーを取り付けることができなくなるおそれがあります。）



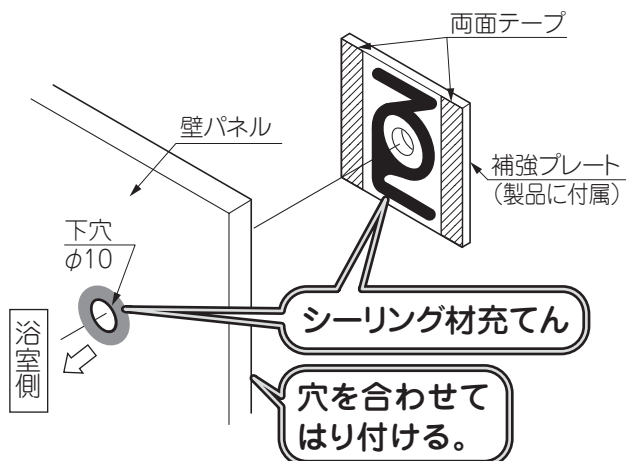
〈共通事項〉

- ① 壁パネル裏側の補強プレートをはる位置に合わせて、断熱材をカットする。
- 補強プレートのサイズより10mm程度大きめに切り欠き、接着剤（シーリング材）をヘラなどで削り取ってください。



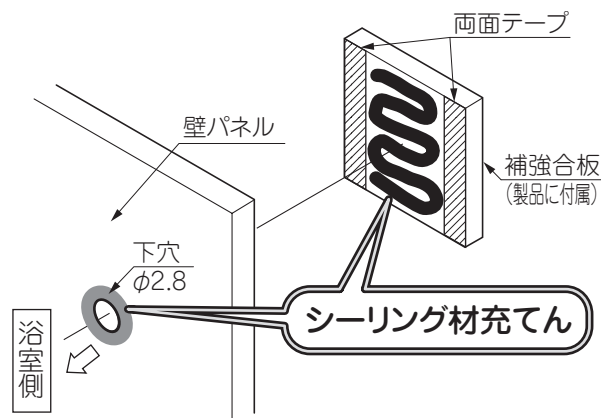
〈握りバー兼用スライドバー〉

- ① 壁パネル裏面に補強プレートをはり付ける。
- シーリング材で、壁パネルの裏から穴に合わせて、しっかりとはり付けてください。



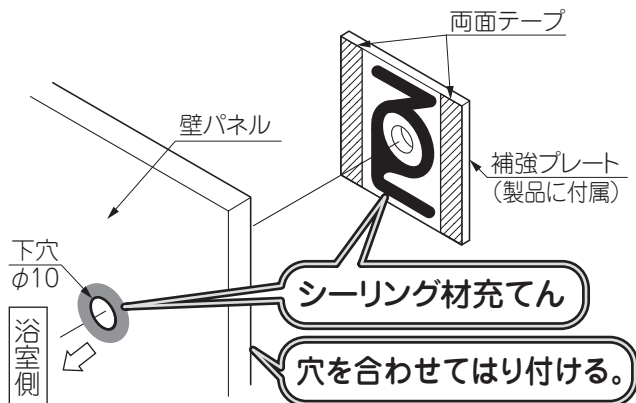
〈シャワースライドバー〉

- ① 壁パネルの裏面にスライド式シャワーフックの補強合板をはり付ける。
- シーリング材でしっかりとはり付けてください。



〈握りバー（ホワイト）〉

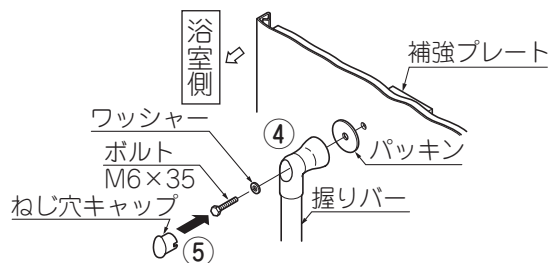
- ①壁パネル裏面に握りバーの補強プレートをはり付ける。
・シーリング材で、壁パネルの裏から穴に合わせて、しっかりとはり付けてください。



- ②握りバーを壁に取り付ける。

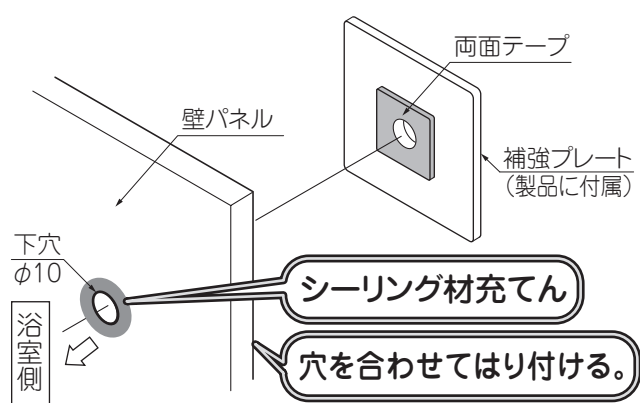
I型：2箇所

- ③握りバーにねじ穴キャップを取り付ける。

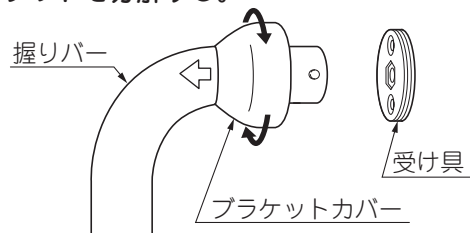


〈握りバー（メタル）〉

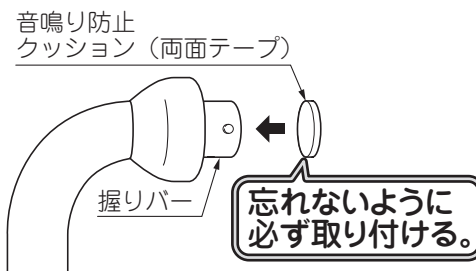
- ①壁パネル裏面に握りバーの補強プレートをはり付ける。
・壁パネルの裏から穴に合わせて、両面テープでしっかりとはり付けてください。



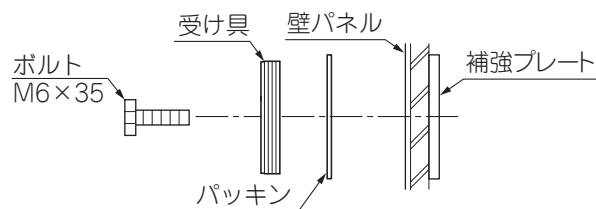
- ②ブラケットを分解する。



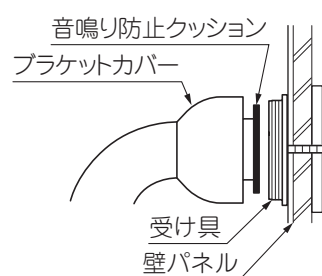
- ③握りバーに音鳴り防止クッションをはり付ける。



- ④受け具を壁パネルに取り付ける。



- ⑤握りバーを取り付け、ブラケットカバーを締めつける。



〈照 明〉

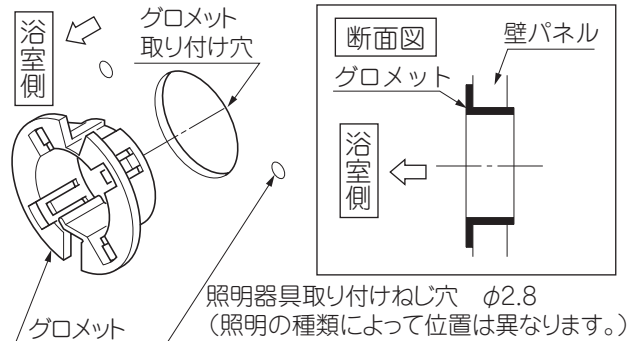
①グロメット取り付け穴にグロメットをはめる。

- ・穴の周囲がすべてグロメットの溝に入ったか確認してください。

警告



- グロメットは確実に取り付ける
(確実に取り付けないと、火災や感電の原因となります。)



②照明取り付けねじ穴 (小2か所) に、シーリング材を塗布する。

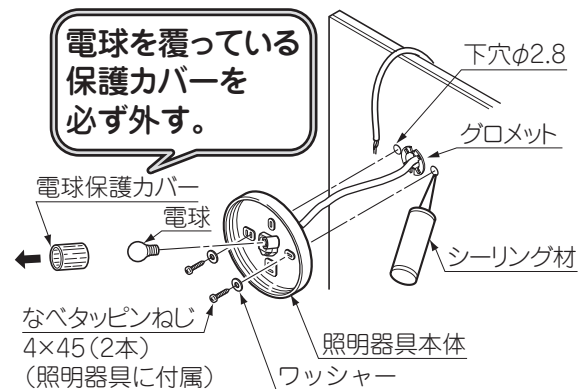
③グロメットに照明コードを通し、照明器具本体をねじとワッシャーで取り付ける。

- ・電源線およびアース線は天井上に載せておいてください。

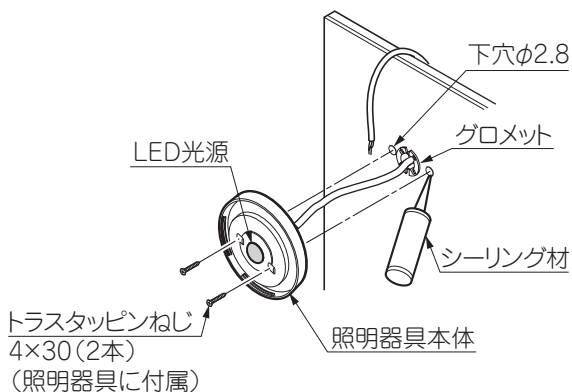
警告



- 電球を覆っている保護カバーは、器具取り付け時に必ず外す
(保護カバーを付けたまま点灯させると、火災の原因となります。)



〈サークルLED照明〉

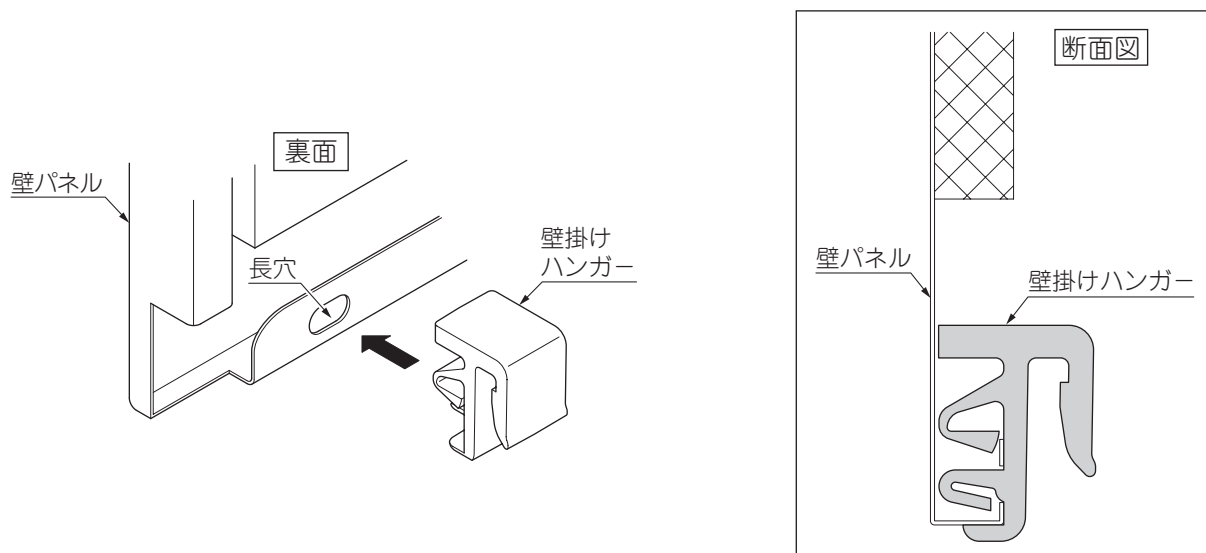


取付設置上のお願い

- サークルLED照明の場合、LED光源に触れたり傷つかないように注意してください。(傷がつき、光むらの原因となります。)

10 壁掛けハンガーの取り付け

①壁掛けハンガーの突起部を壁パネル下端の長穴に入れる。



壁パネルの裏側に電気器具の配線コードやケーブルが通っていると、取り付けねじがそれらと干渉する場合があります。
十分にご注意ください。

警告



禁止

- 電気機器の配線に付属部品の固定ねじで傷を付けない
(傷が付くと、火災や漏電の原因となります。)

取付設置上のお願い

- 電気器具関連部材の取付設置時は、電源線と信号線を束ねないでください。

2 壁パネルの建て込み

1 コーナー下ブロックと平下ブロックの配置

①コーナー下ブロックと平下ブロックの取り付け位置を事前に確認する。

- ・床ブロックは5種類あります。
- ・ドア横を除き、コーナーにはコーナー下ブロック、壁と壁の間には平下ブロックを使用します。

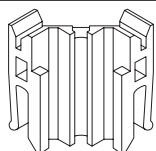
⚠ 注意



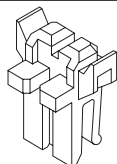
必ず守る

- 床ブロックは必ず所定の位置に取り付ける
(必要な個所にブロックを取り付けなかったり、誤って取り付けると、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。)

床ブロック (いずれもブロックセットに付属)

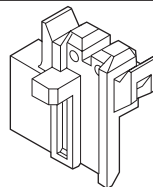
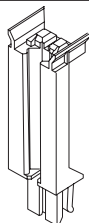


A.コーナー下ブロック

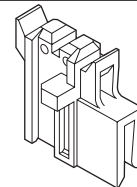


B.平下ブロック

※浴槽下接続の
(1621サイズ
のみ)



C.段違い平下ブロック



D.段違い平下ブロック

取付設置上のお願

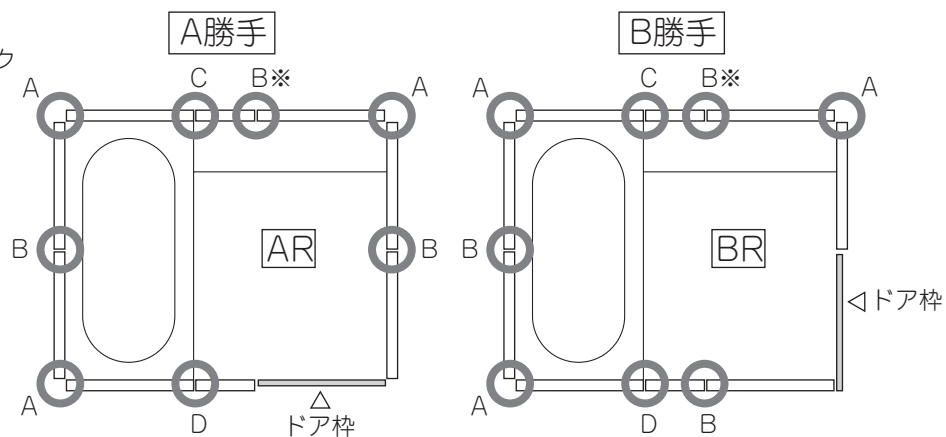
- コーナー下ブロックは、壁パネル建て込み前に壁載せ部に配置してください。
- 平下ブロックは、壁パネルの建て込み中に取り付けてください。

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

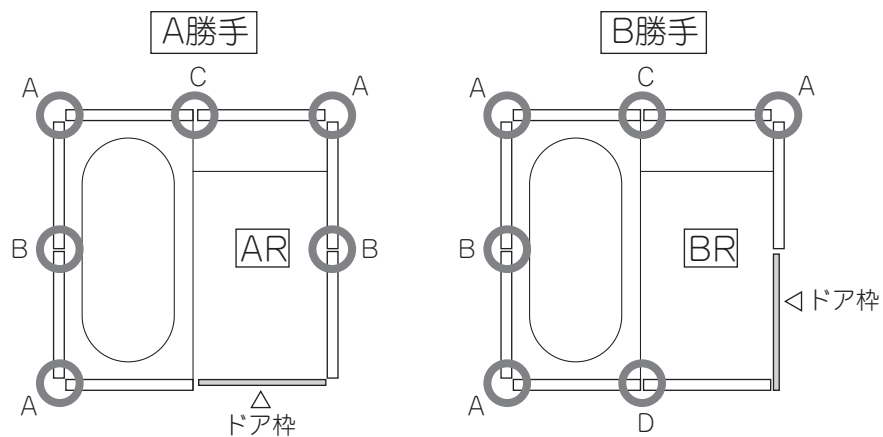
ブロック配置図

〈1621サイズの場合〉

※浴槽下接続の場合は、
壁裏配管用の平下ブロック
を使用してください。



〈1616・1216サイズの場合〉

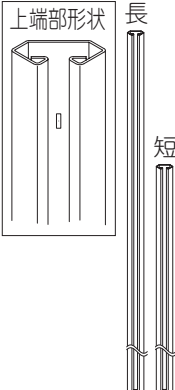
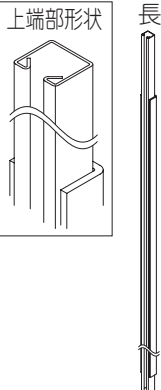
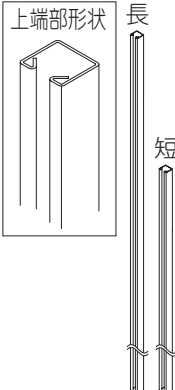
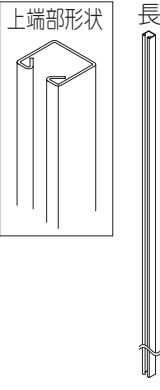
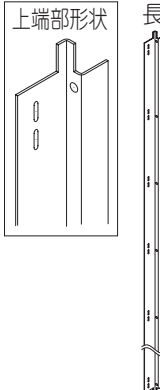
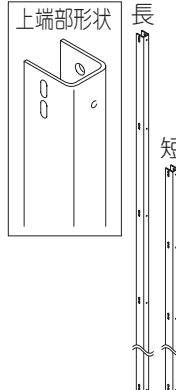


2 ジョイナー取り付け位置の確認

① ジョイナーの取り付け位置を事前に確認する。

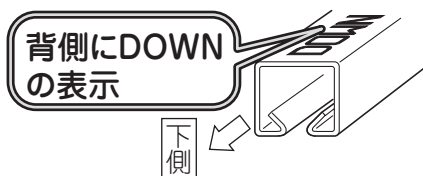
- ・ジョイナーは5種類あります。

どのジョイナーをどの位置に使用するのか、事前に確認してください。

名称	A.コーナー ジョイナー (長短2種類)	B.補強付き 平ジョイナー (長1種類)	C.補強なし 平ジョイナー (長短2種類)	C(※).補強なし 平ジョイナー (浴槽下接続用)	D.ドアコーナー ジョイナー (長1種類)	E.ドア 平ジョイナー (長短2種類)
形状						

取付設置上のお願い

- 平ジョイナーには上下がありますので、ご注意ください。

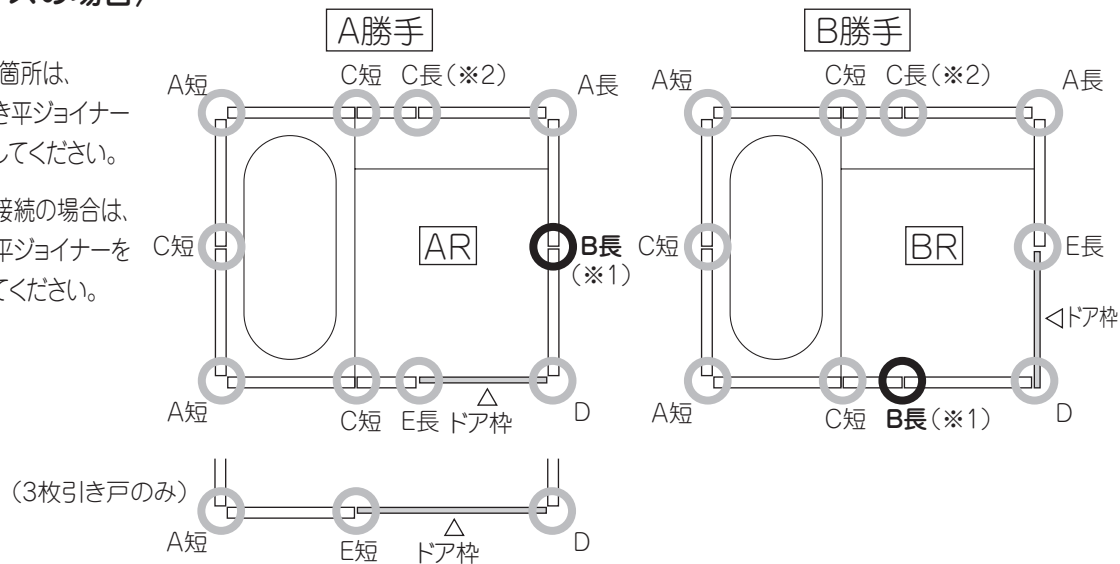


ジョイナー配置図

〈1621サイズの場合〉

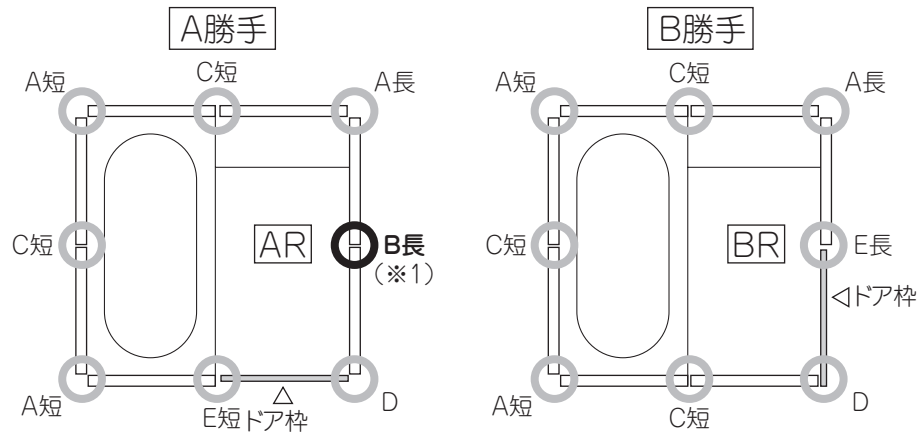
(※1) ○の箇所は、
補強付き平ジョイナー
を使用してください。

(※2) 浴槽下接続の場合は、
専用の平ジョイナーを
使用してください。



〈1616・1216サイズの場合〉

(※1) ○の箇所は、
補強付き平ジョイナー
を使用してください。

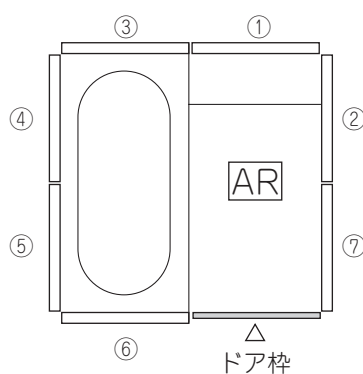


・ 浴槽長手側以外で窓開口を行う場合は、窓開口を行う壁の間に補強なし平ジョイナーを使用してください。
以上の確認が終了したら、次ページの「3 建て込み順序の確認」へ進んでください。

3 建て込み順序の確認

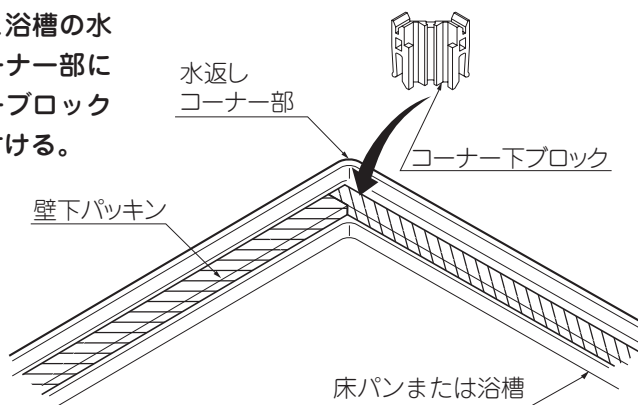
①コーナー部から順に建て込む。

- ・図の番号順に建て込んでください。
- ・ドア枠（FIX窓がある場合はFIX窓を含む）は一番最後に取り付けます。
- ・壁パネルの中には、建て込み前に加工や取り付け作業が必要なものがありますので、事前によくご確認ください。



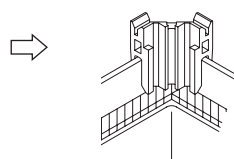
4 コーナー下ブロックの取り付け

①床パンと浴槽の水返しコーナー部にコーナーブロックを取り付ける。



取付設置上のお願い

- 平下ブロックは壁パネルの建て込み中に取り付けます。



5 内エプロンへのシーリング材充てん

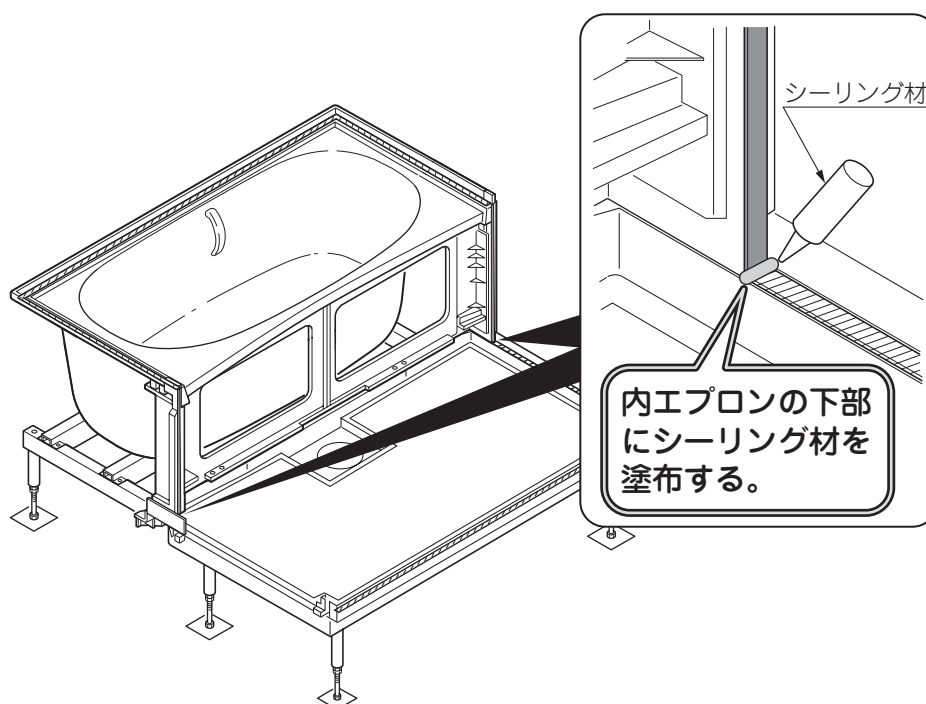
①内エプロンの下部にシーリング材を塗布する。

⚠ 注意



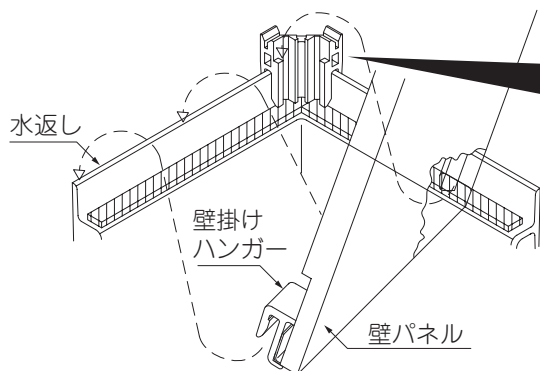
必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)



6 最初の壁パネルの建て込み

- ①壁パネルに取り付けた壁掛けハンガーを水返しにはめ込んで建て込む。



⚠ 注意

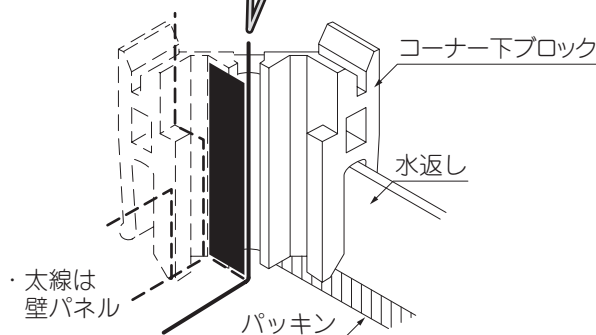


必ず守る

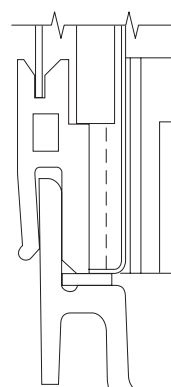
- コーナージョイナーを取り付けるまで、壁パネルは自立しないので、壁パネルを手で支えておく
(壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。)

コーナー部納まり図

壁パネルの下部の側面を
コーナー下ブロックの
■部に当てる。

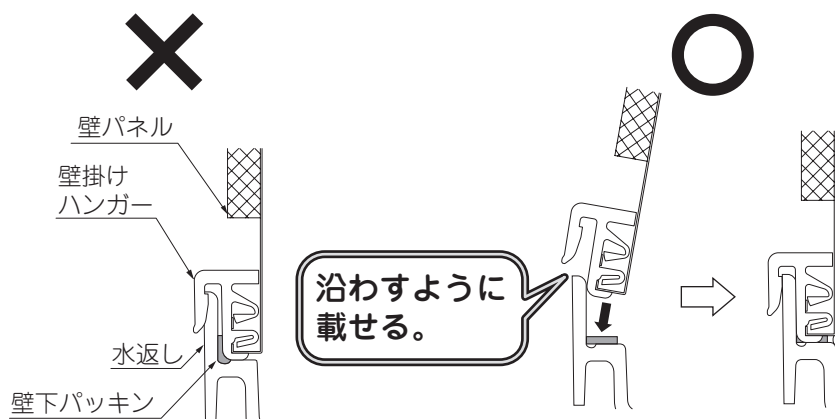


断面図

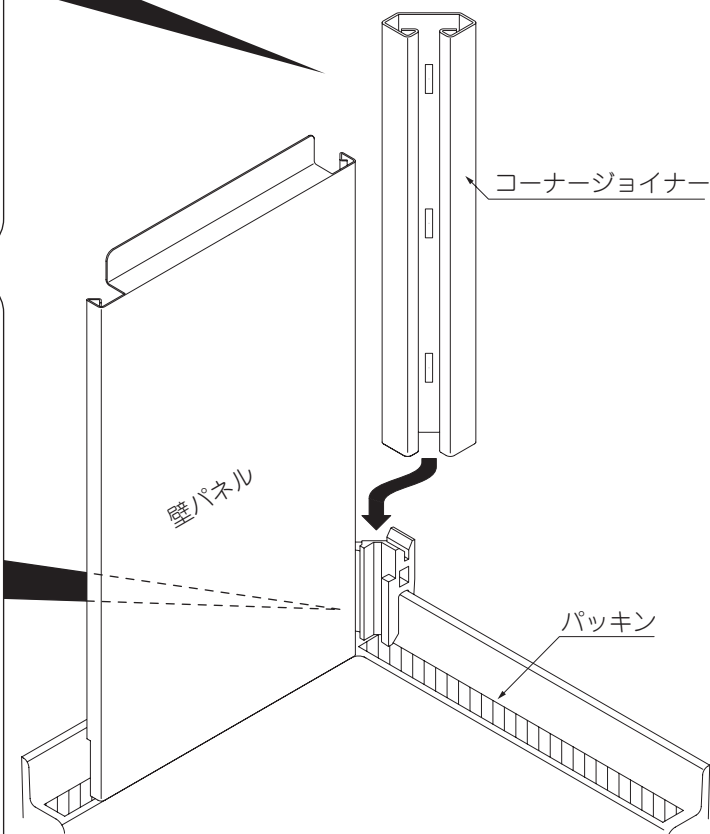
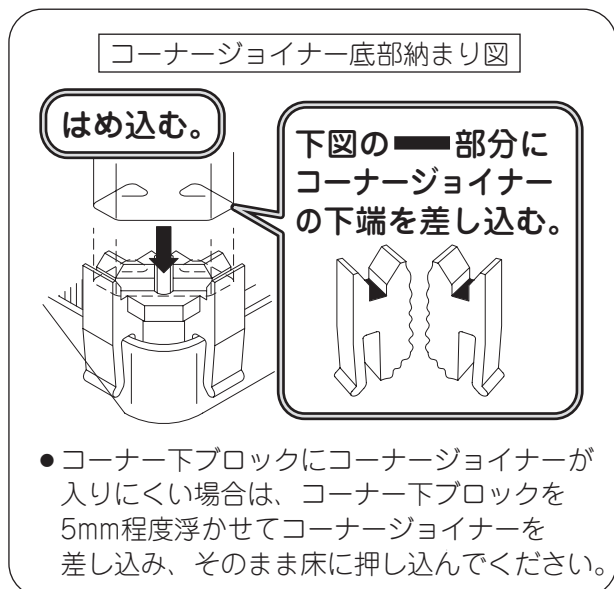
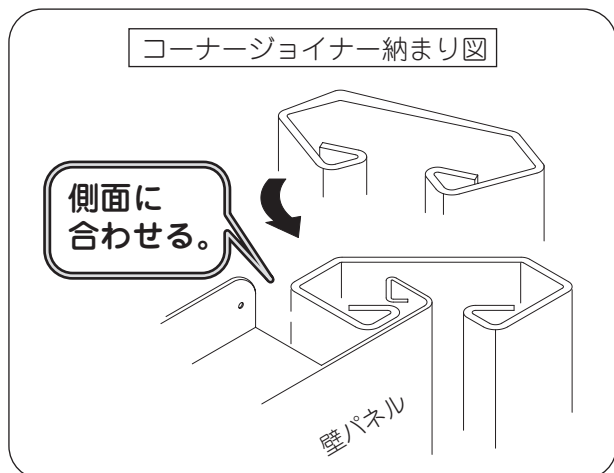


取付設置上のお願い

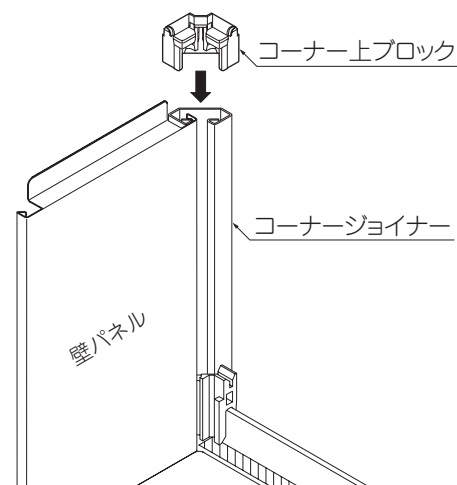
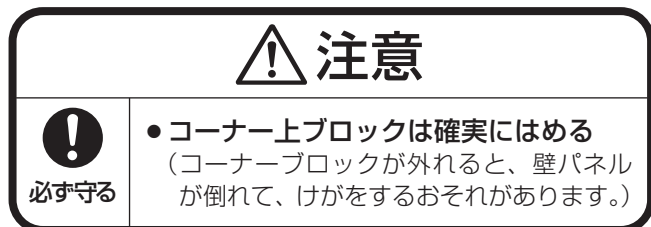
- 壁パネルを建て込む際に、壁掛けハンガーや壁パネル下端で壁下パッキンを傷付けないようにしてください。
- 壁パネルを持ち上げ、水返しに沿わずように載せ、隣り合う壁パネルどうし段差ができないようにしてください。



②建て込んだ壁パネルにコーナージョイナーを取り付ける。



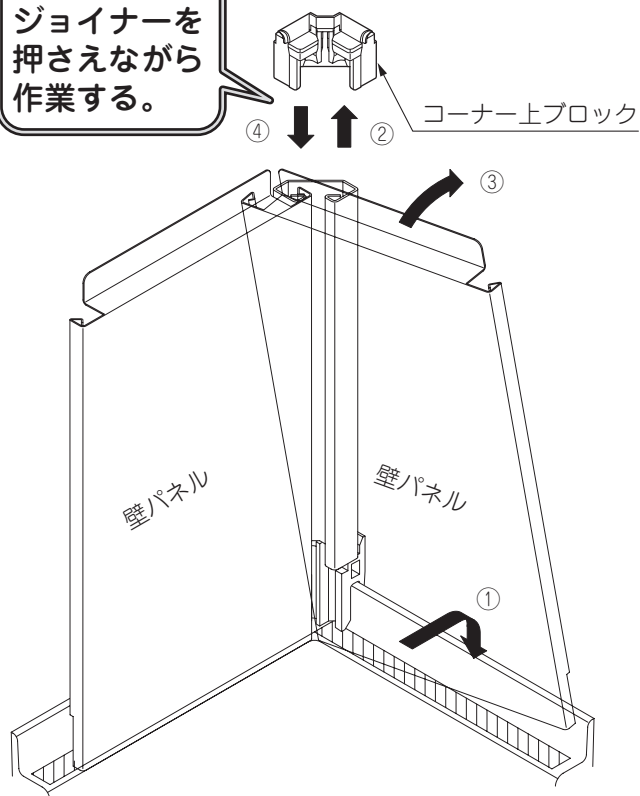
③コーナードブロックをコーナージョイナー上部にはめて、仮固定する。



7 コーナー部で隣り合う壁パネルの建て込み

- ①壁パネルの壁掛けハンガーを水返しにはめ込み、建て込む。
- ②仮固定したコーナー上ブロックを取り外す。
- ③建て込んだ壁パネルを起し、コーナー側の端部をジョイナーに納める。
- ④コーナージョイナーと壁パネルの納まりを確認し、コーナー上ブロックをはめ直す。

コーナージョイナーを押さえながら作業する。



⚠ 注意



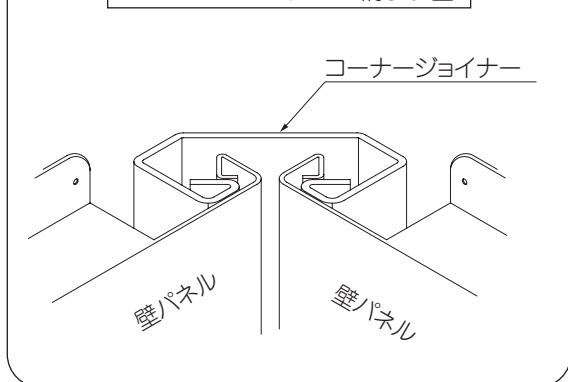
必ず守る

- 壁パネルとジョイナーは、しっかり支えてブロックを取り付ける
(しっかり支えないと、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。)

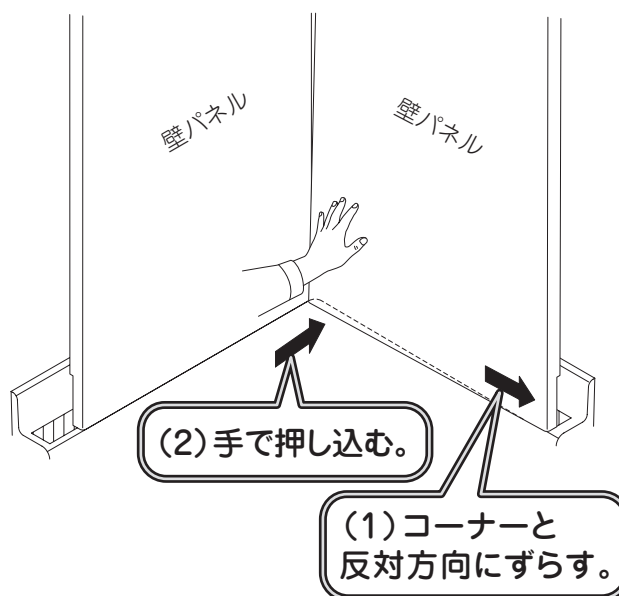
取付設置上のお願い

- 万一壁パネルの下端が前面にはみ出てうまく納まらない場合は、図のようにして納めてください。

コーナージョイナー納まり図



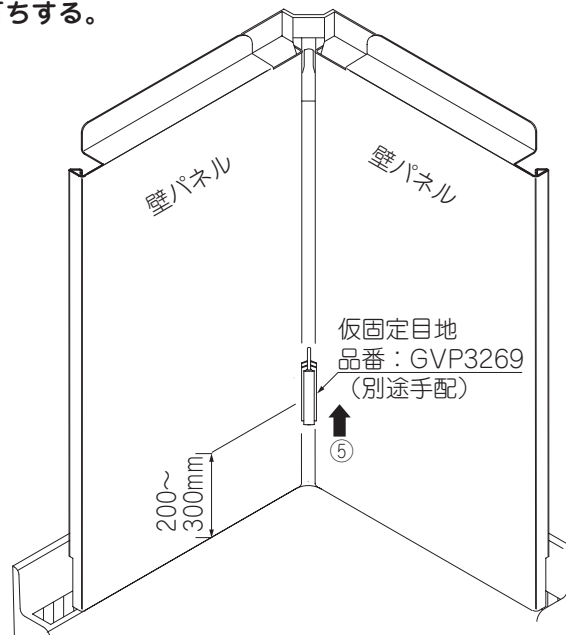
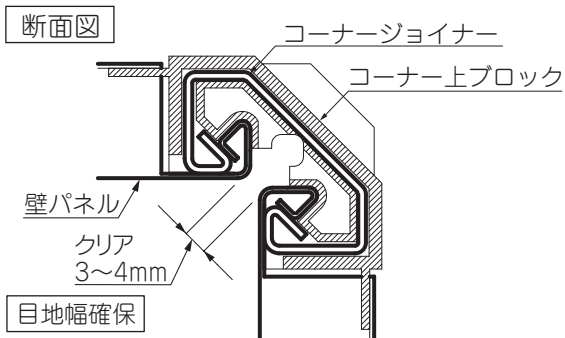
- 無理にハンマーなどでたたき込まないでください。
(無理にたたき込むと、壁パネルが変形するおそれがあります。)



⑤ 仮固定目地を壁パネル下端から200～300mmのところに仮打ちする。

取付設置上のお願い

- 仮固定目地は目地打ち前まで外さないでください。
- 仮固定目地により、パネルの寄りを均一にしてください。



8 段違い部の組み立て

① 段違い平下ブロックを置く前に、付近の壁載せ面にシーリング材を塗布する。
・直径3cm程度のダンゴ状に塗布してください。

② 段違い平下ブロックを取り付ける。

③ 壁パネルに平ジョイナーを取り付ける。

④ 先に建て込んだ壁パネルと平ジョイナーを平上ブロックR（白色）で固定する。
(106ページ「平上ブロックの取り付けかた」を参照)

⚠ 注意

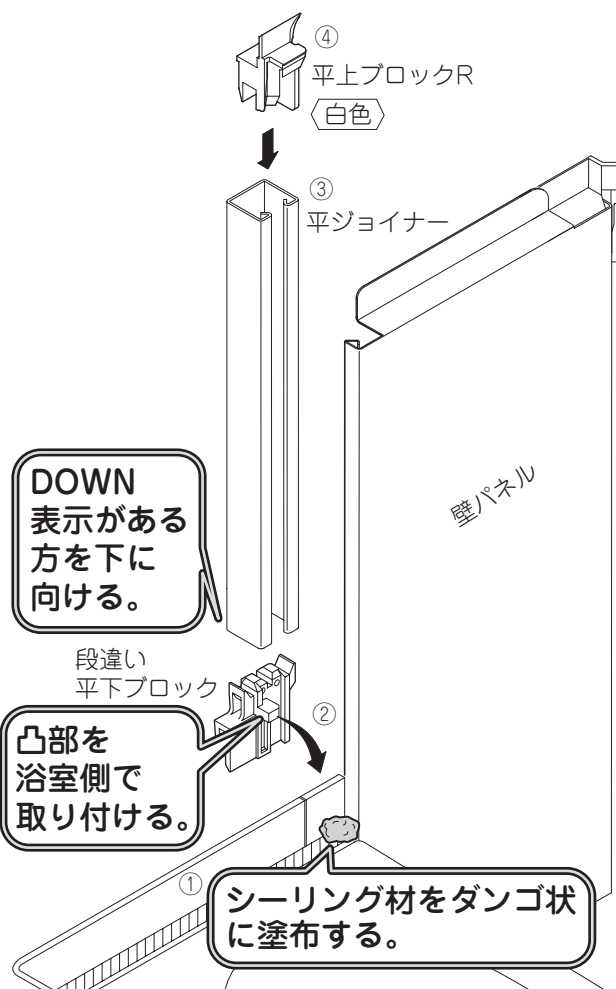


必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

取付設置上のお願い

- 段違い平下ブロックが壁から落ちないように、
ご注意ください。
- 段違い平下ブロックの向きにご注意ください。

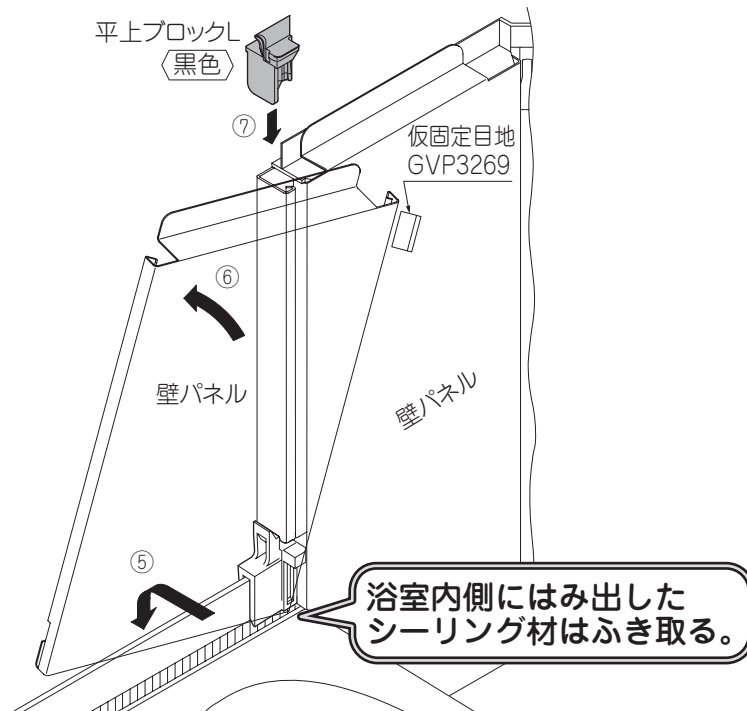
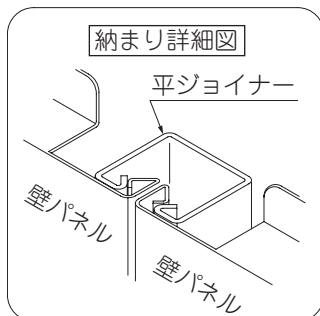
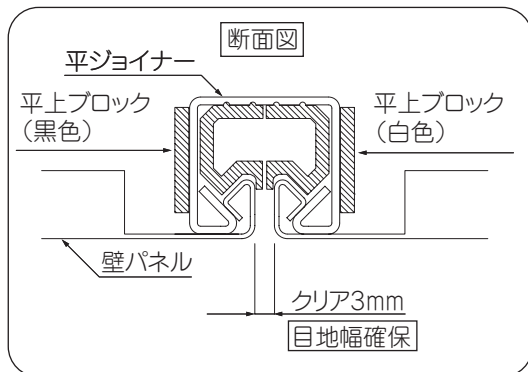


⑤次に建て込む壁パネルを載せる。

⑥壁パネルをジョイナー側に倒して平ジョイナーと合わせる。

⑦平上ブロックL（黒色）をはめる。

※ブロックが入りにくい場合は、上端付近に仮固定目地を仮打ちし、ブロックが入るスペース（目地幅）を確保する。



⚠ 注意

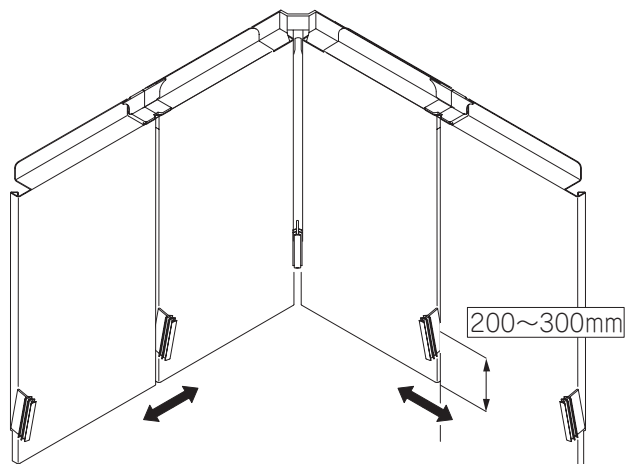


必ず守る

- 壁パネルとジョイナーは、しっかり支えてブロックを取り付ける
(しっかり支えないと、壁パネルが倒れて、けがをするおそれがあります。)

⑧仮固定目地を壁パネルの下端から200～300mmの位置に仮打ちする。

- 壁パネルの建て込みごとに、仮固定目地を打ち込んでください。
(仮固定目地を打ち込まないと、壁パネル間の寄り寸法が一定にならず、型の変形の原因となります。)
- 仮固定目地は目地打ち前まで、外さないでください。



取付設置上のお願い

- 仮固定目地は目地打ち前まで外さないでください。
- 仮固定目地により、パネルの寄りを均一にしてください。

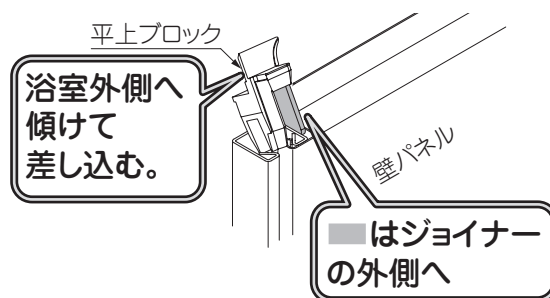


取付設置上のお願い

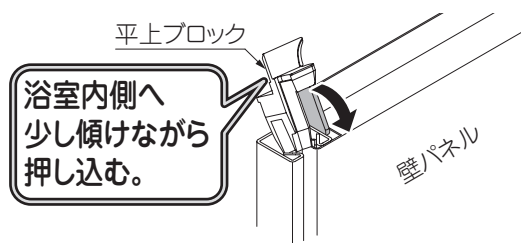
〈平上ブロックの取り付けかた〉 上からのぞきこみながら取付設置してください。

①平上ブロックをジョイナーと壁パネル間に差し込む。

- ・平上ブロックは浴室外側に傾けてください。
- ・平上ブロックのドア側の壁(■部)は、ジョイナーの外側にはまるように差し込んでください。



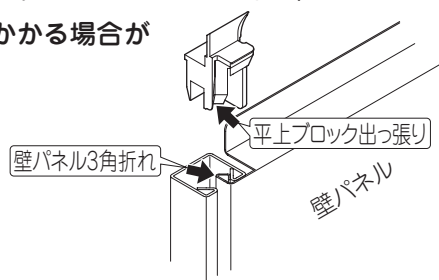
②平上ブロックを浴室内側に倒しながら押し込む。



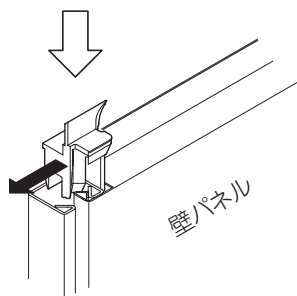
●平上ブロックが引っかかるとき

〈最初の平上ブロックの場合〉

➡部分が引っかかる場合があります。



壁パネルの3角折れ部分をかわすようにはめる。



〈2個目の平上ブロックの場合〉

壁パネルを引っ張り、パネル間のすき間を広げてはめる。

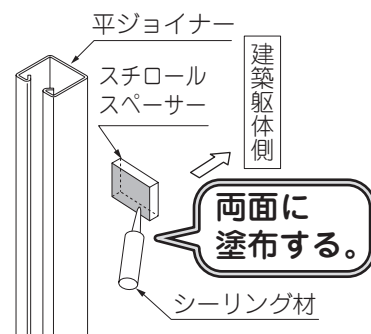


9 平部で隣り合う壁パネルの建て込み

取付設置上のお願い

- 建築躯体と壁パネルのすき間が小さい場合は、スチロールスペーサーを平ジョイナーと建築躯体との間に挟んで取り付けてください。
(スチロールスペーサーを取り付けないと、壁パネルを押した際、音鳴りするおそれがあります。)

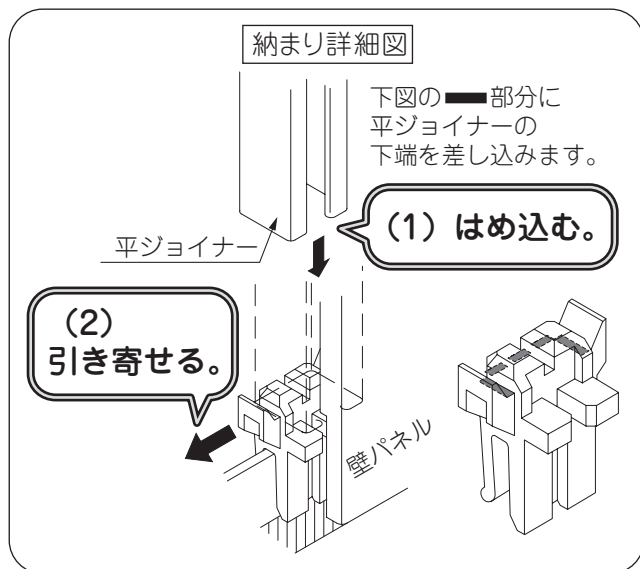
- ① スチロールスペーサーを、平ジョイナーと建築躯体のすき間のサイズに合わせて切る。
- ② スチロールスペーサーの両面にシーリング材を塗布し、はり付ける。



① 先に建て込んだ壁パネルを平部側に引き寄せる。

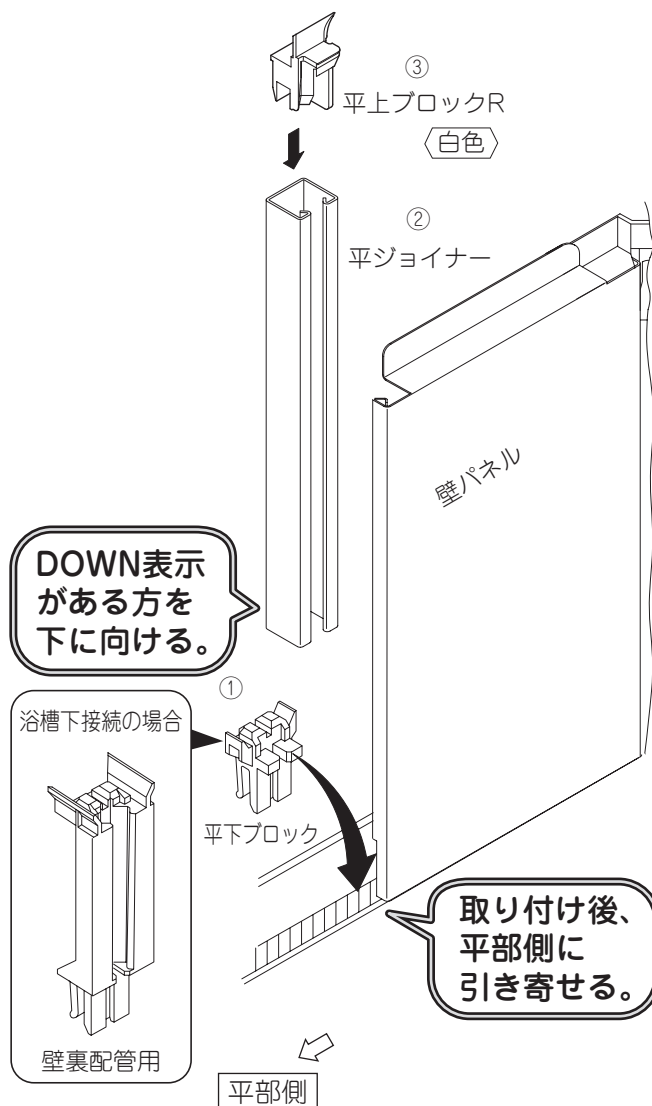
② 平下ブロックを取り付ける。

③ 壁パネルに平ジョイナーをはめ込み、壁パネルと反対方向に引き寄せる。



④ 先に建て込んだ壁パネルと平ジョイナーを、平上ブロックR (白色) で固定する。
(104ページ「平上ブロックの取り付けかた」を参照)

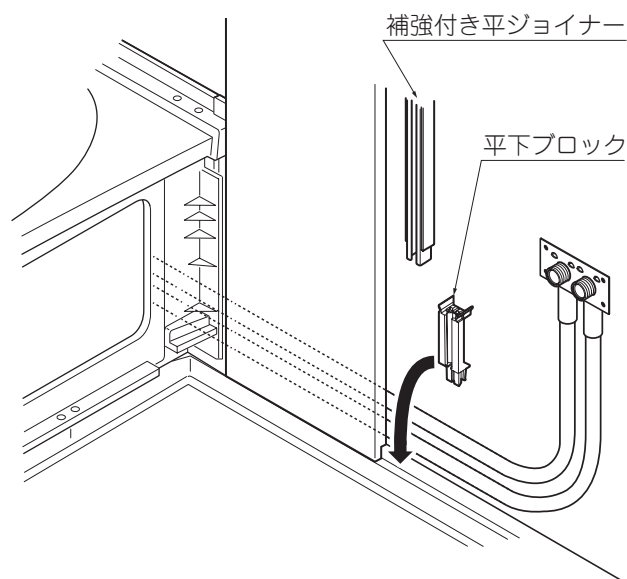
※次に建て込む壁は、101ページの手順で組み立ててください。



10 ジョイナー底上げピースの取り付け

① 〈1621サイズの場合〉

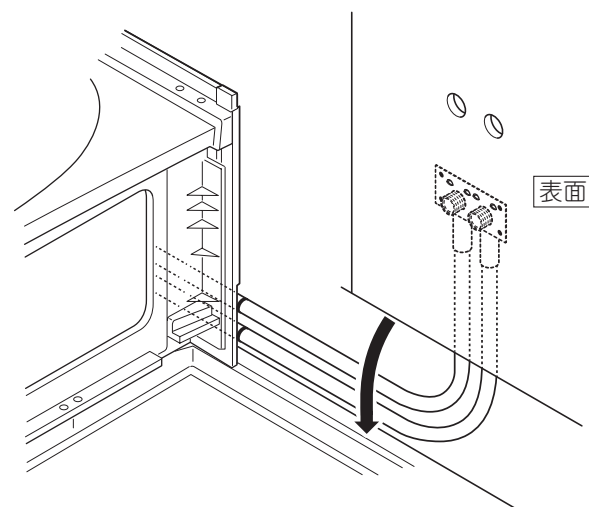
平下ブロック・補強付き平ジョイナーを取り付ける。



② 隣り合う壁パネルを建て込む。(前ページ参照)

・ 壁裏配管にパッキンを取り付け、シーリング材を塗布した水栓補強板を取り付けてください。

※ 壁裏配管の固定については、87、88ページを参照してください。



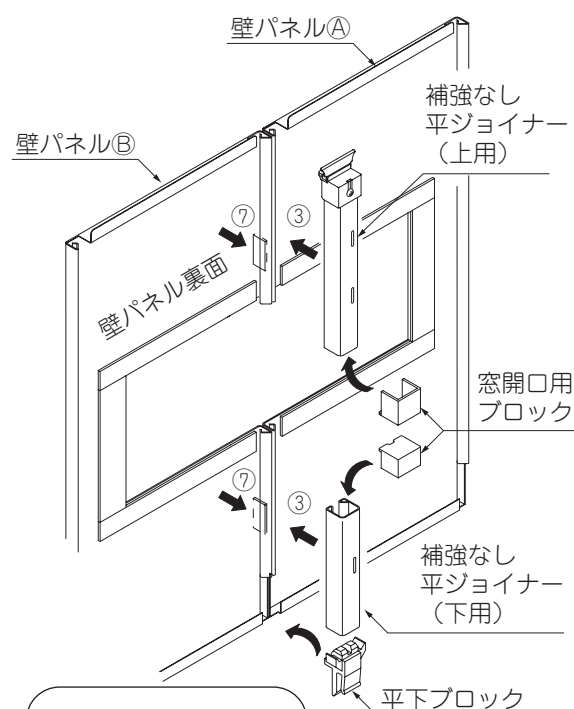
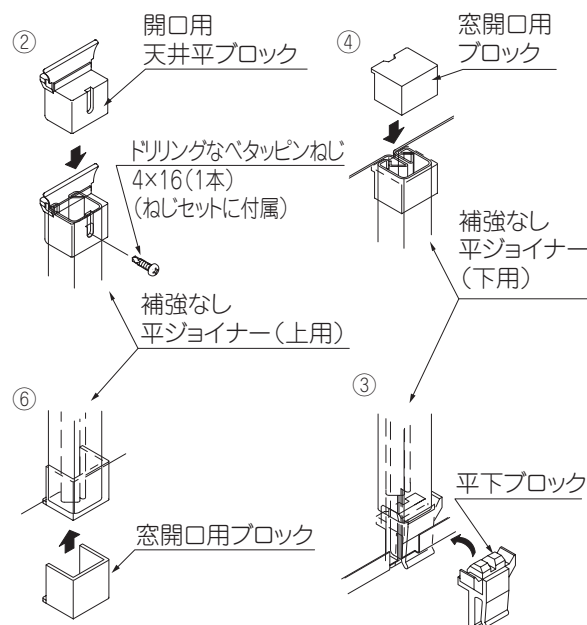
11 現場開口した壁パネルの建て込み（オプション）

- ・窓（オプション）などを取り付けるために開口した壁パネルの建て込みは、以下のように行います。（83ページの「窓開口パネル仕様の断面取り合い図」を参照ください。）

- ①壁パネル①を建て込む。
- ②切断した補強なし平ジョイナー（上用）に開口用天井平ブロックをねじで固定する。
- ③平下ブロックを取り付けた後、補強なし平ジョイナー（上用）（下用）を取り付ける。
- ④窓開口用ブロックを窓開口平ジョイナー（下用）の上部にはめ込む。
- ⑤壁パネル②を建て込む。
- ・窓開口用ブロック、補強なし平ジョイナー（上用）を上下にスライドさせながら建て込んでください。
- ⑥窓開口用ブロックを補強なし平ジョイナー（上用）の下部にはめ込む。
- ⑦仮固定目地を仮打ちする。
- ・浴室側より上下2か所に打ち込んでください。

取付設置上のお願い

- 仮固定目地は目地打ち前まで外さないでください。
- 仮固定目地により、パネルの寄りを均一にしてください。



納まり断面図



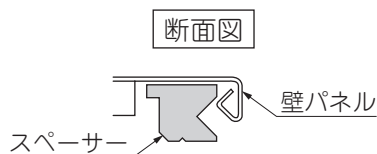
・太線部平下ブロック下端とパネル下端面—

12 ドア平ジョイナーの取り付け

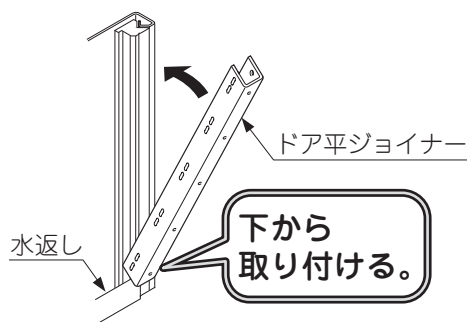
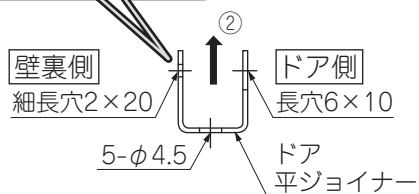
- ①壁パネルのドア枠側にスペーサーを取り付ける。
- ②ドア平ジョイナーを取り付ける。

取付設置上のお願い

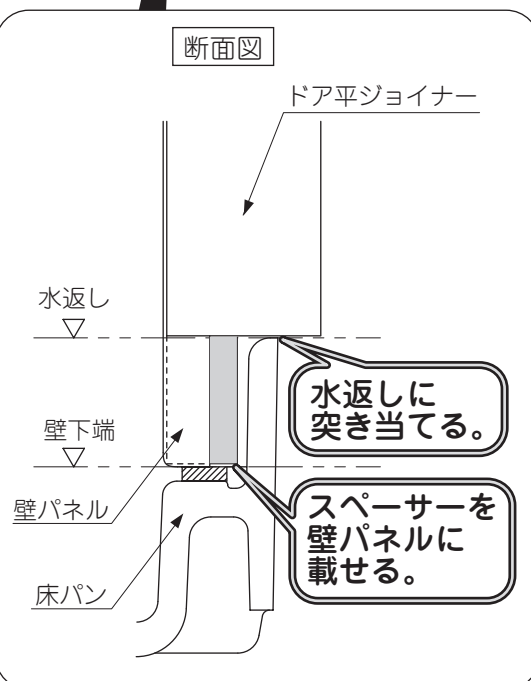
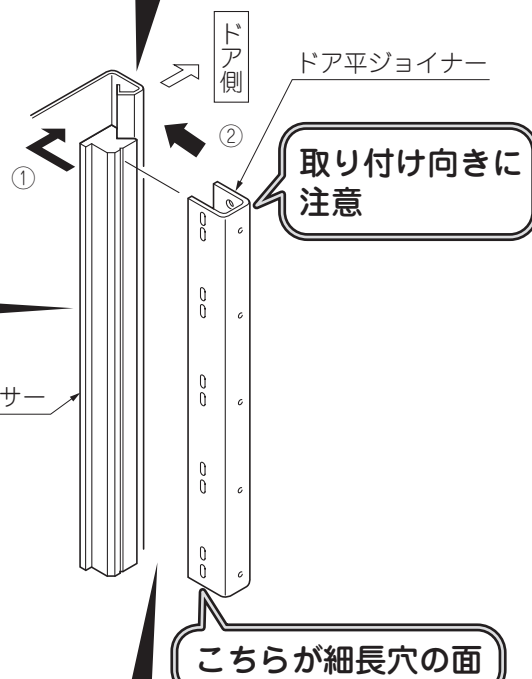
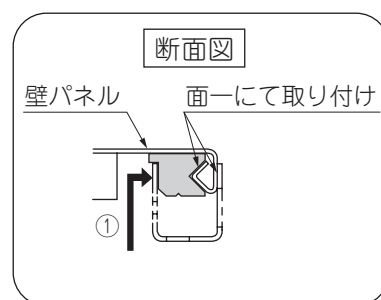
- ドア平ジョイナーは、高さを守って取り付けてください。(ドア固定時にドア枠がゆがんで取り付くおそれがあります。)
- ドア平ジョイナーを取り付ける際は、向きを確認し、下から順に奥まで押さえ込んでください。(浮いた状態で取り付けると、ドアのチリが合わなくなるおそれがあります。)



細長穴がドア側と反対向きになるよう取り付ける。



- ・間柱対応ドアを取り付ける場合は、ドア枠との間にドア横小壁が必要です。
- 取り付け方法については、124、125ページを参照ください。

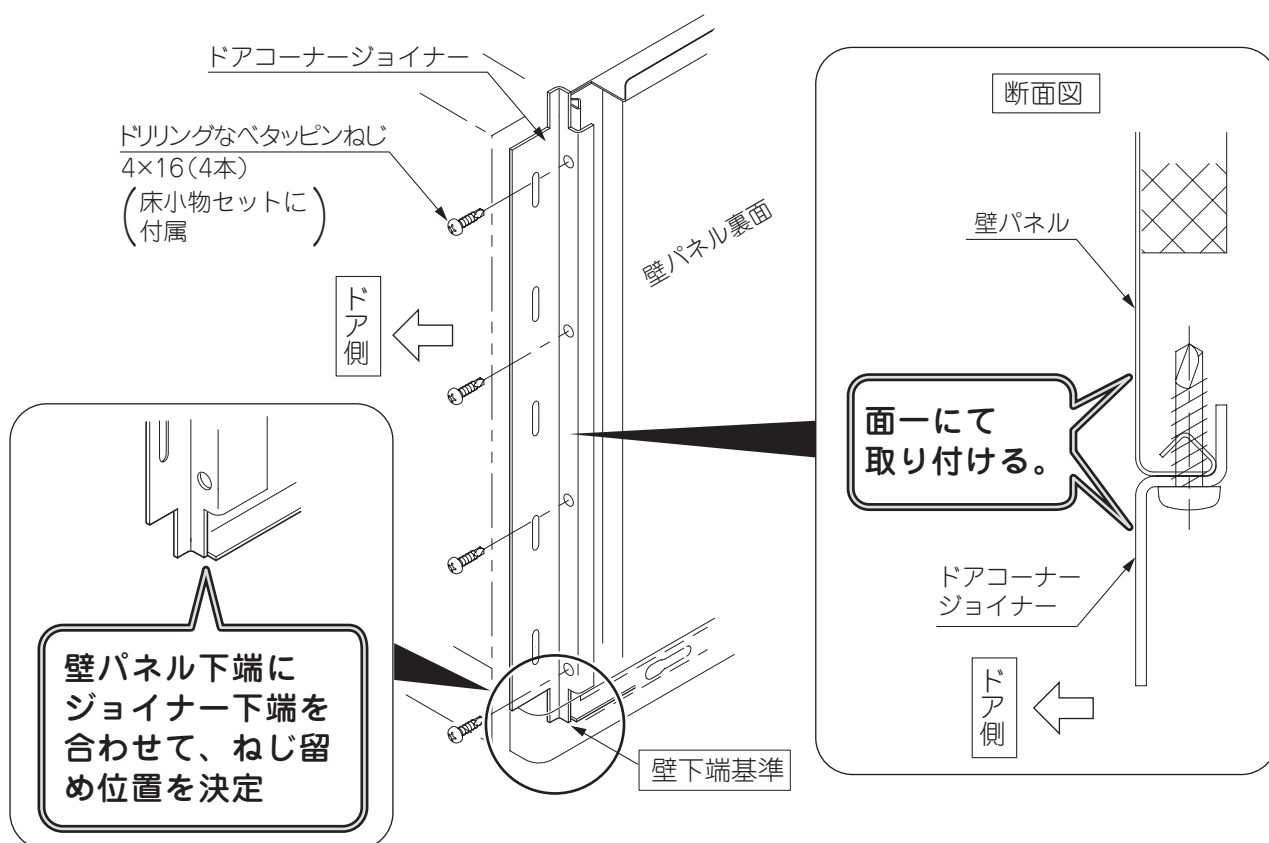


13 ドアコーナージョイナーの取り付け

① ドアコーナージョイナーを壁パネルに取り付ける。

取付設置上のお願い

- ドアコーナージョイナーを取り付ける際は、奥まで押さえ込んでください。
(浮いた状態で取り付けると、ドアのチリが合わなくなるおそれがあります。)



5. FIX窓の設置

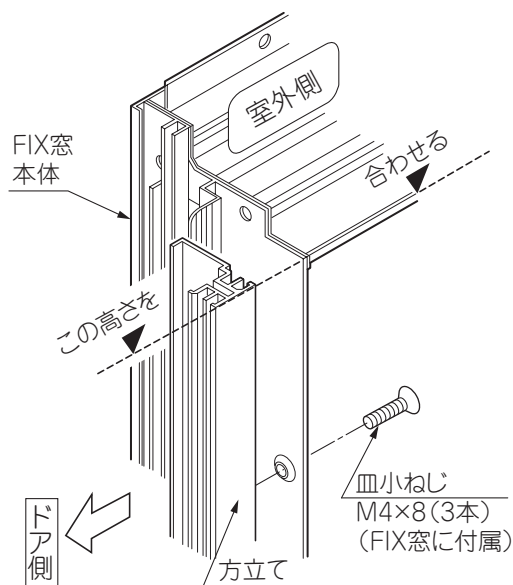
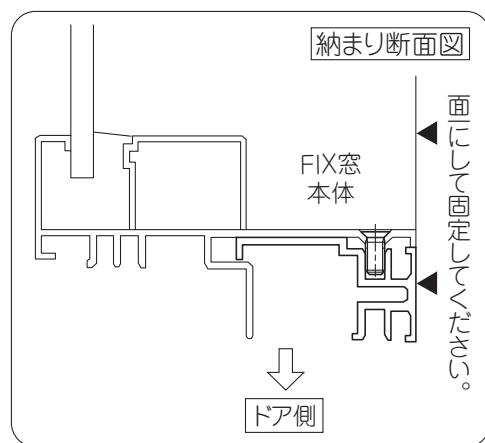
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 腰壁FIX窓の取り付け

1 方立ての取り付け

①FIX窓本体のドア固定側に、方立てを取り付ける。

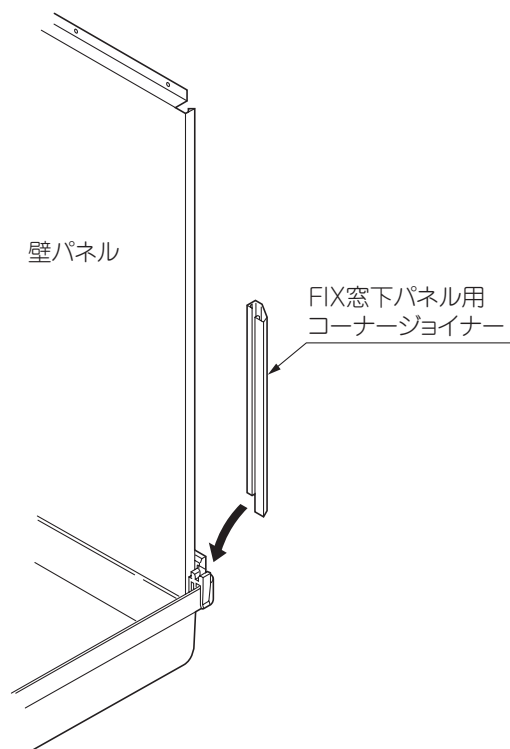
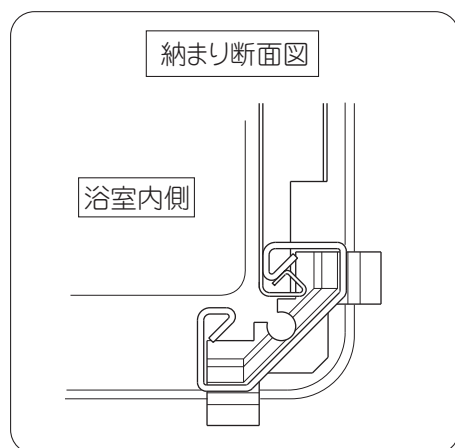
- ・下図のように、方立ての上端および室外側の面を合わせてねじ留め（3か所）してください。



2 FIX窓下壁パネルの建て込み

①FIX窓下壁パネルとコーナーで隣り合う壁パネルの側面にFIX窓下壁パネル用コーナージョイナーを取り付ける。

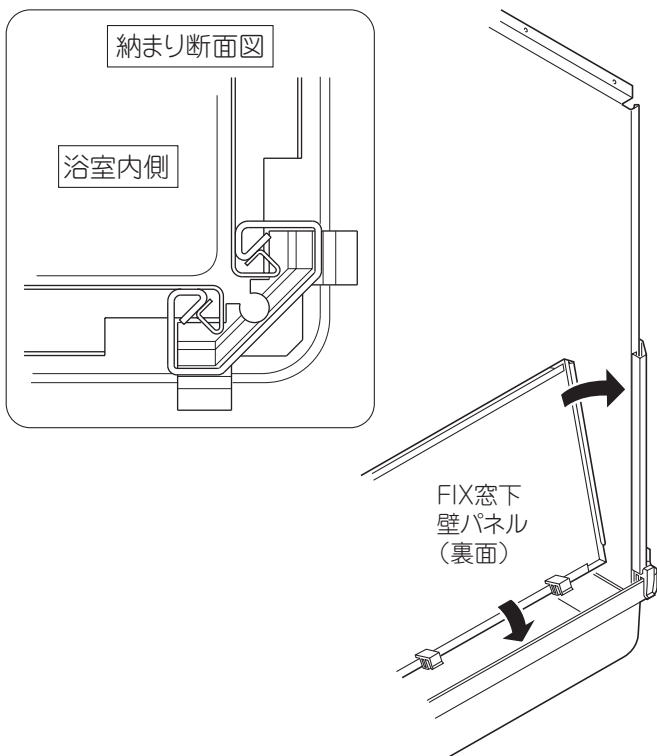
- ・このコーナージョイナーはハーフサイズとなっています。
- ・取り付け方は通常のコーナージョイナーと同様ですが、コーナー上ブロックは不要です。



②FIX窓下壁パネルを建て込む。

・床パンへの建て込み方法は通常の壁パネルの場合と同様です。

③コーナー部側面をFIX窓下壁パネル用ジョイナーに納める。

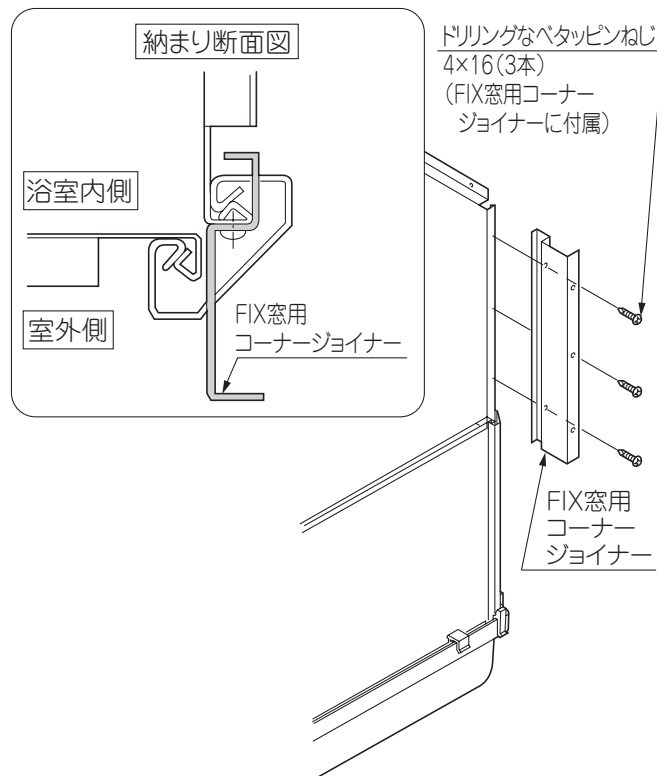


取付設置上のお願い

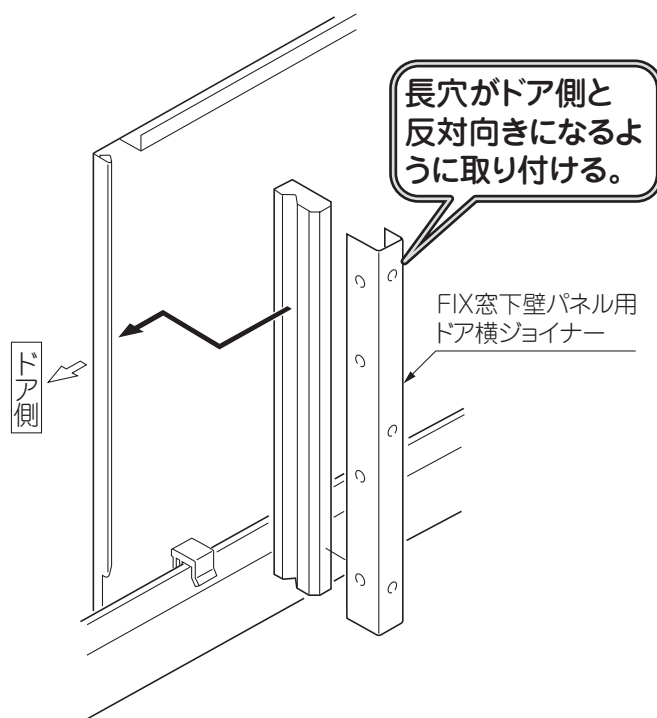
- FIX窓下壁パネルは、この状態では自立しませんので、倒れないようご注意ください。

④その上にFIX窓用コーナージョイナーを取り付ける。

・ねじで3か所固定してください。



⑤FIX窓下壁パネルのドア側側面にFIX窓下壁パネル用ドア横ジョイナーを取り付ける。



3 FIX窓本体の取り付け

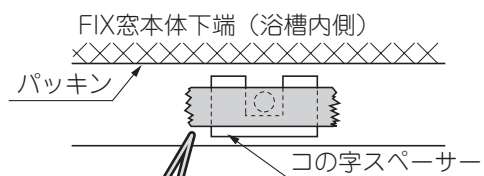
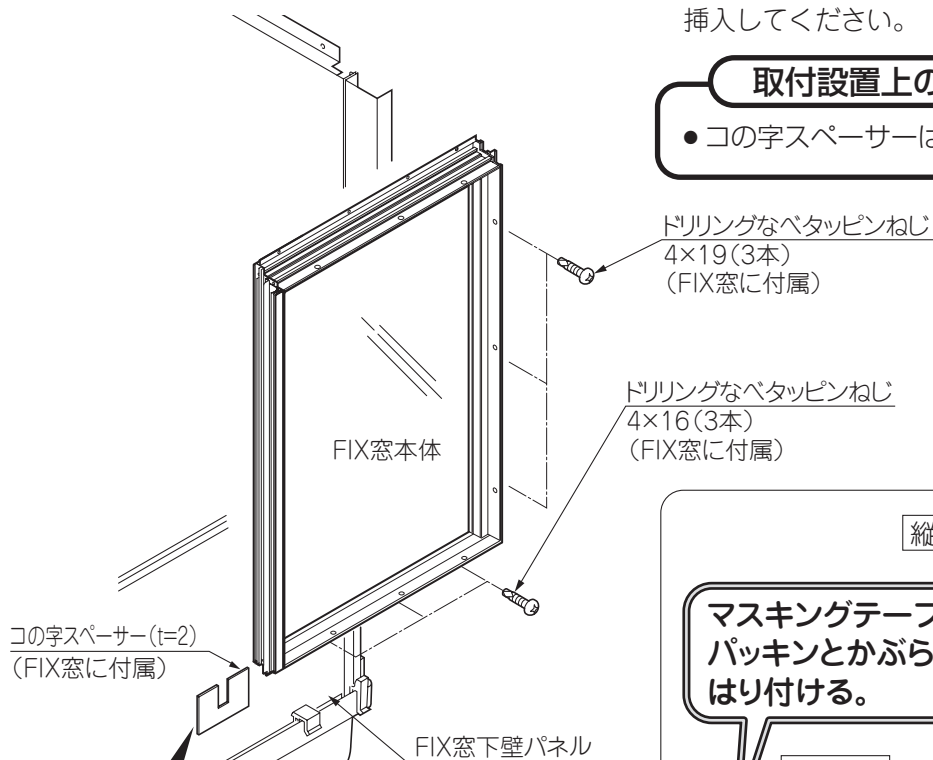
①FIX窓本体をFIX窓下壁パネルに載せて、隣り合う壁パネルに固定する。

②次にFIX窓下壁パネルに固定する。

・FIX窓下壁パネルに固定する際、コの字スペーサーを挿入してください。

取付設置上のお願い

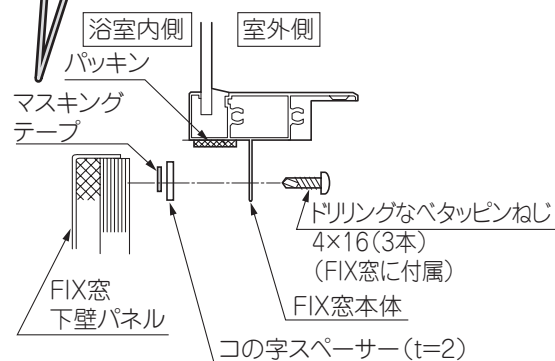
●コの字スペーサーは必ず挿入してください。



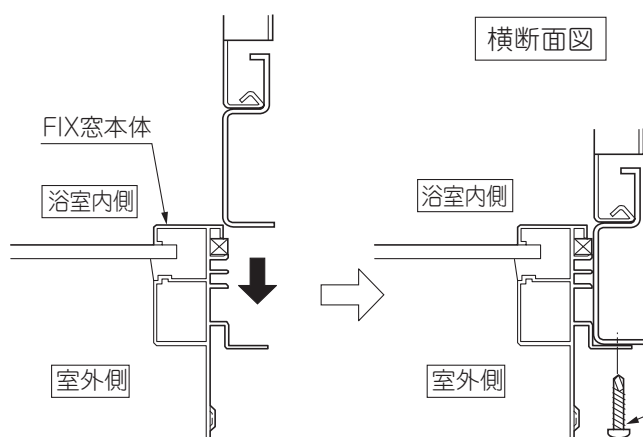
マスキングテープでは
上のパッキンに当たらないように！

縦断面図

マスキングテープをはる際は、
パッキンとかぶらないように
はり付ける。



横断面図



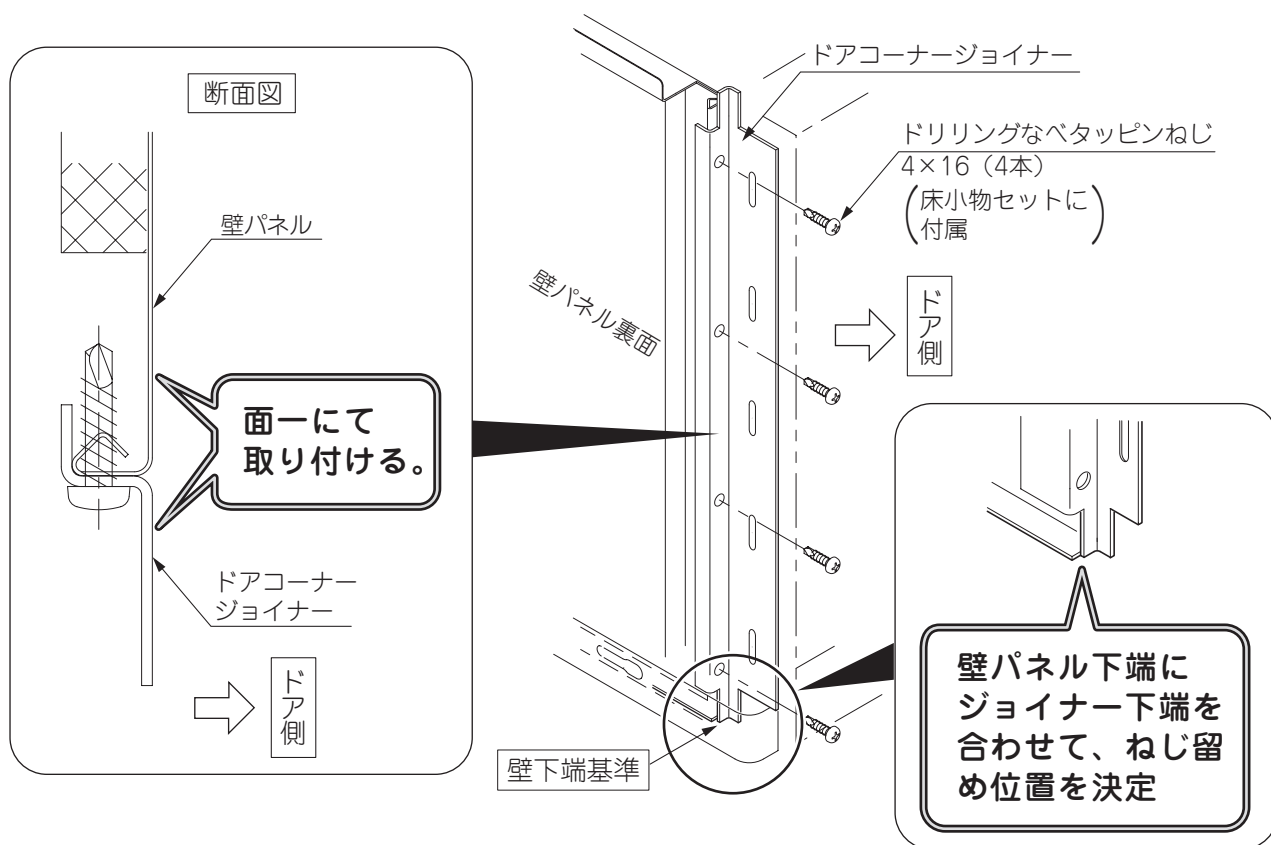
固定する際に、コーナー
側の壁パネルを浴室内側
に押し反らないように
する。

4 ドアコーナージョイナーの取り付け

①ドアコーナージョイナーを壁パネルに取り付ける。

取付設置上のお願い

- ドアコーナージョイナーを取り付ける際は、奥まで押さえ込んでください。
(浮いた状態で取り付けると、ドアのチリが合わなくなるおそれがあります。)



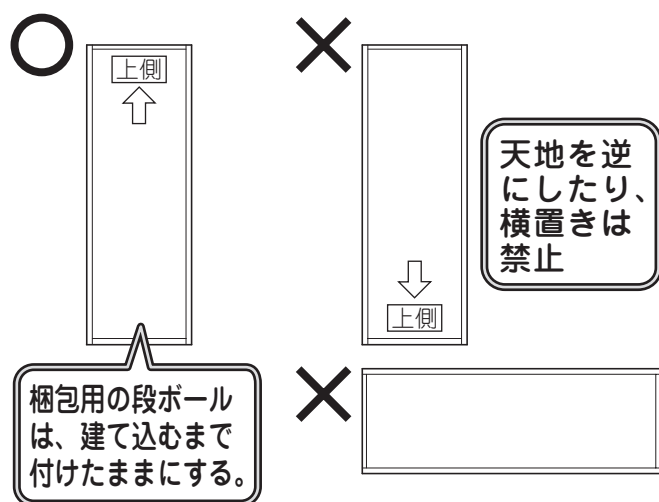
2 フルFIX窓(W600)の取り付け

梱包用の段ボールは、建て込むまで付けたままにする。



1 フルFIX窓の仮置き

①フルFIX窓を建て込み時まで仮置きする。



⚠ 注意



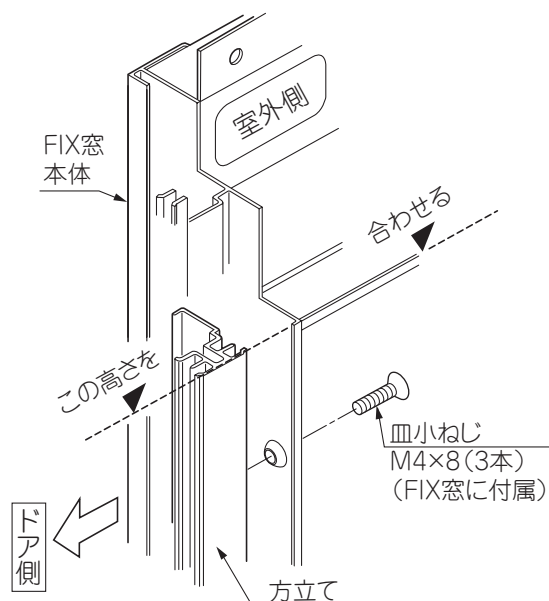
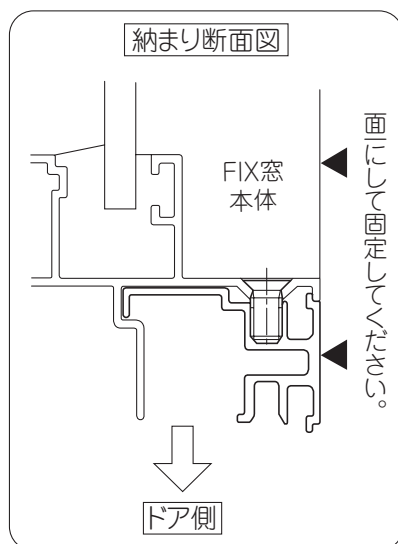
必ず守る

- FIX窓の取り扱いは必ず2人で行う
(一人で行うと、けがの原因となります。)
- FIX窓の表面の梱包用段ボールは、建て込み後に外す
(建て込み前に外すと、中のガラスが抜けて、けがの原因となります。)
- FIX窓の仮置きの際は、正しい向きで立て掛ける
(誤った向きに立て掛けると、パッキンが破損して水漏れの原因となります。)

2 方立ての取り付け

①FIX窓本体のドア固定側に、方立てを取り付ける。

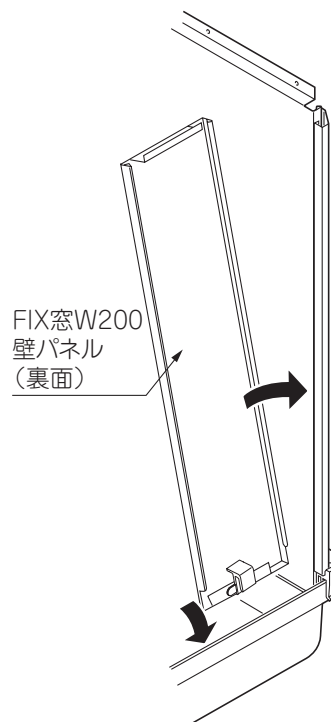
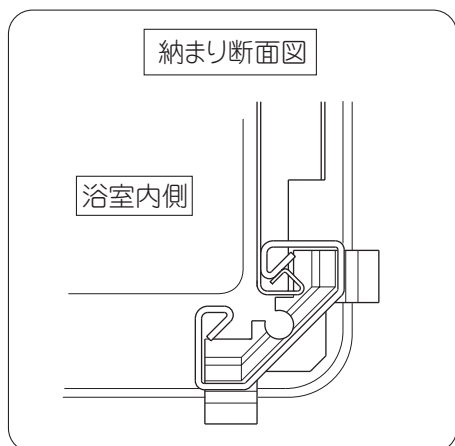
- ・下図のように、方立ての上端および室外側の面を合わせてねじ留め(5か所)してください。



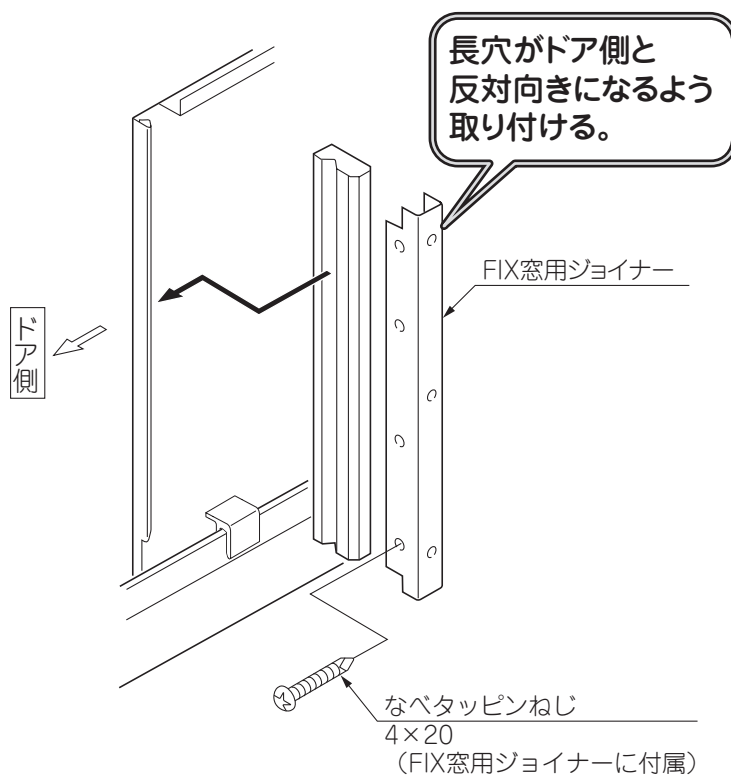
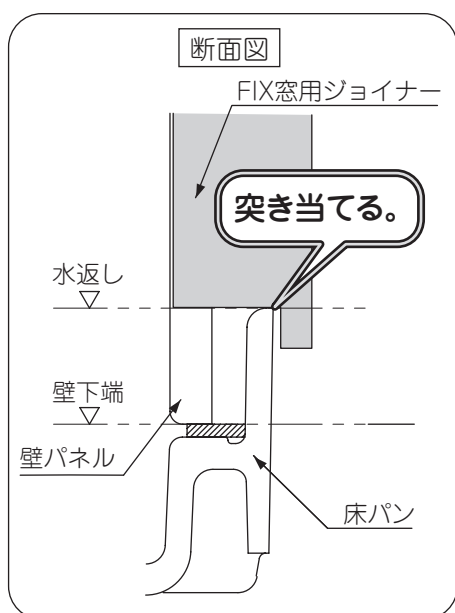
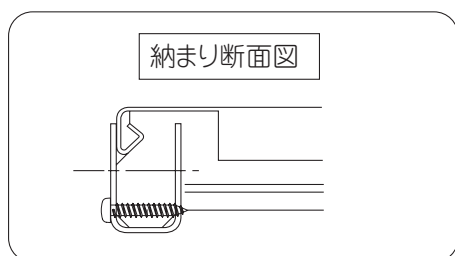
3 FIX窓W200壁パネルの建て込み

①B勝手のコーナーに、FIX窓W200壁パネルを建て込む。

・床パンへの建て込み方法は通常の壁パネルの場合と同様です。



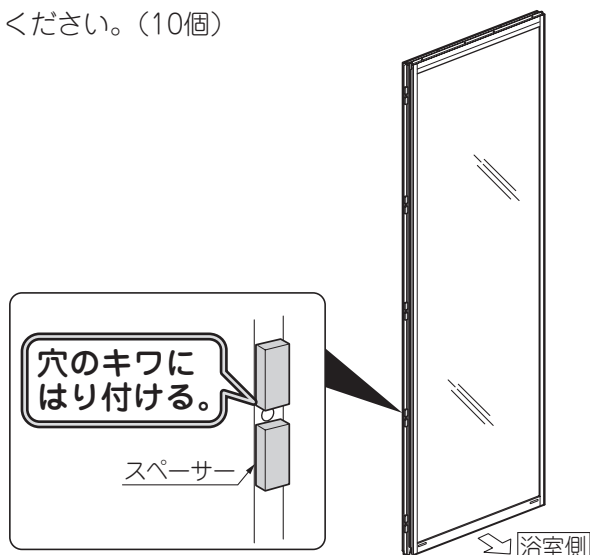
②FIX窓W200壁パネルのドア側側面にFIX窓用ジョイナーを取り付ける。



4 ジョイナーの取り付けとFIX窓の建て込み

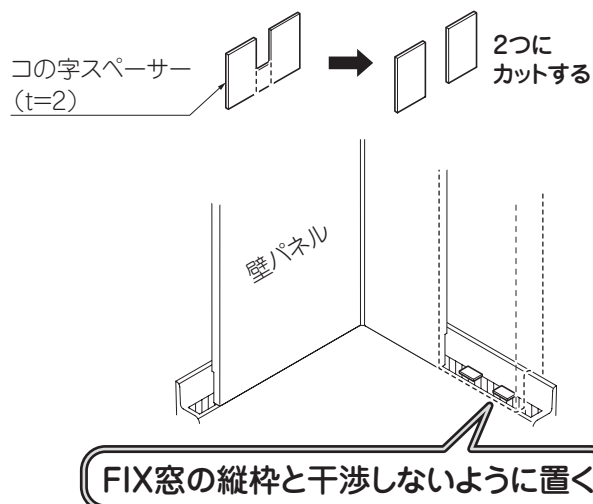
①FIX窓にスペーサー（黒）をはり付ける。

- ・取り付け穴の上下にスペーサー（黒）をはり付けてください。（10個）



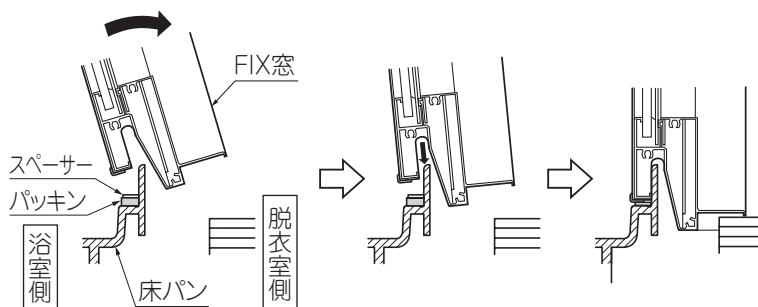
②洗い場床パンにスペーサーを置く。

- ・コの字スペーサーを2つにカットし、FIX窓の縦枠を避けて置いてください。（2か所）



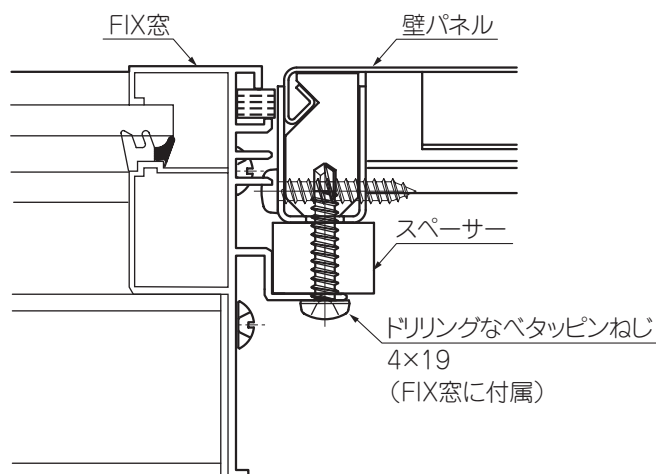
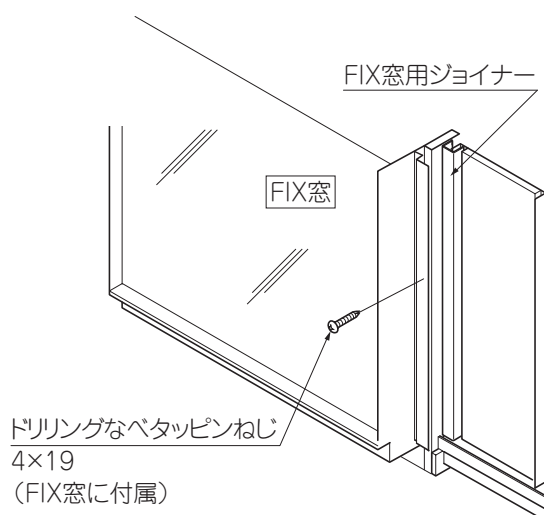
③FIX窓を建て込む。

- ・表裏に注意して、浴室側から建て起こすようにして取り付けてください。



④FIX窓を壁パネルに取り付けたFIX窓用ジョイナーに接続する。

- ・接続の際、左右のたおれを確認し、必要に応じてスペーサーを挿入してください。
- ・全体の建ち調整は、壁目地を完全に打ち込む前にバスルーム全体で行います。



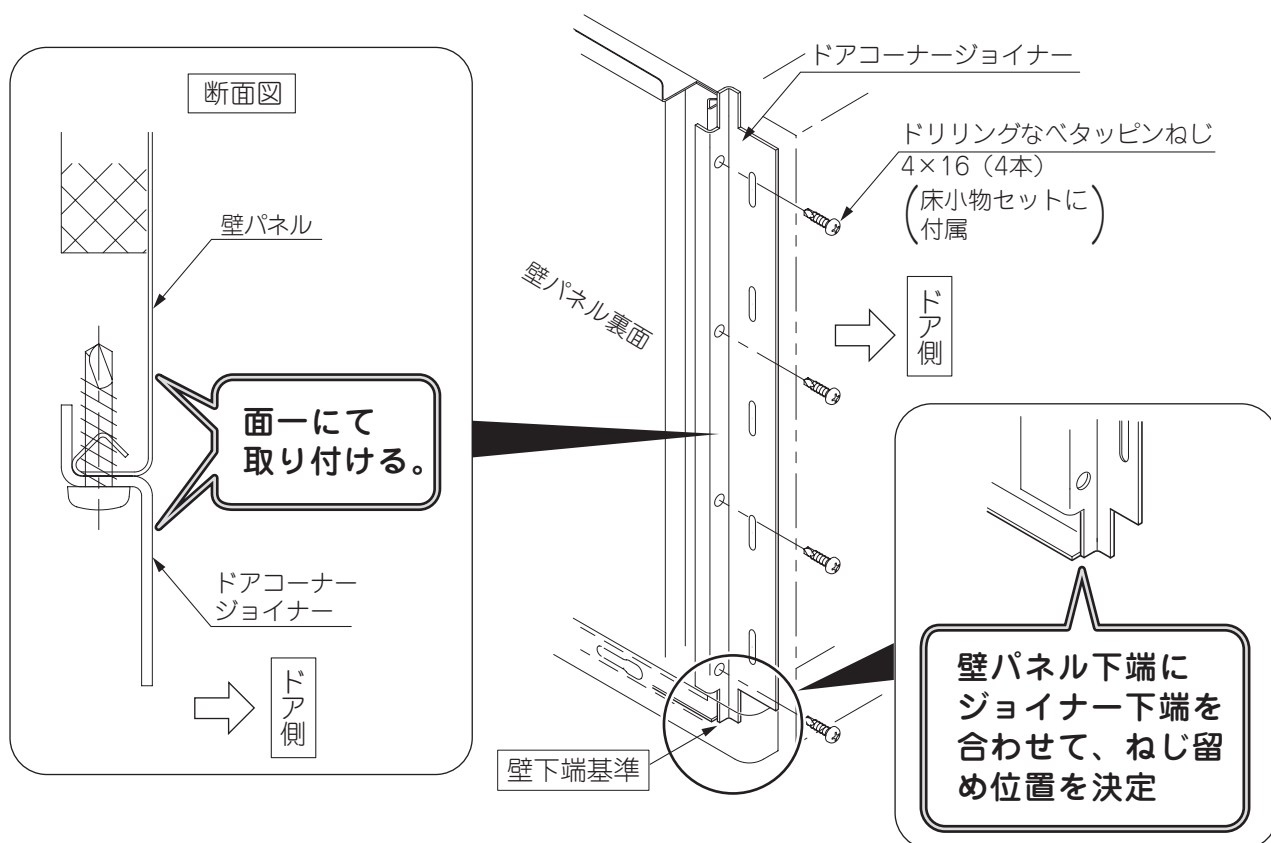
⑤梱包用の段ボールを外す。

5 ドアコーナージョイナーの取り付け

①ドアコーナージョイナーを壁パネルに取り付ける。

取付設置上のお願い

- ドアコーナージョイナーを取り付ける際は、奥まで押さえ込んでください。
(浮いた状態で取り付けると、ドアのチリが合わなくなるおそれがあります。)



6. ドア枠の取り付け

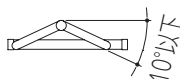
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 2枚折りドア・スイングドア

1 ドア本体の取り外し

取付設置上のお願い

- ドア本体の取り外しは、10° 以下に開いた状態で行ってください。（開きすぎるとドアがせり上がり取り外し手来ません。）
- ほこりやごみが付いた状態でドア面材を拭かない。（ドアに傷が付く原因となります。）



- ① 脱衣室側からドア本体上部の着脱レバーを下げ、ドア枠から戸車を外す。
 - ・ 2枚折りドアの場合は、両側2か所とも下げてください。
- ② ドア本体を持ちながら、浴室側へ倒して外してください。
- ③ ドア本体を安全な場所に仮置きする。
 - ・ ドア本体の取り付けはドア枠や天井パネルの取付設置後に行います。



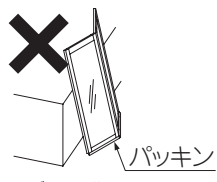
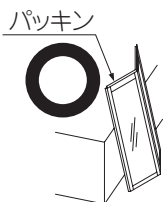
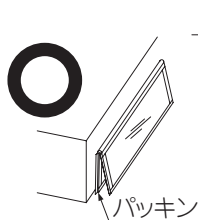
※図は2枚折りドアの場合

⚠ 注意

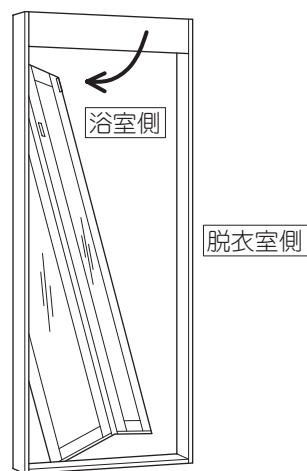
- 外したドアは、横置きまたはパッキンが上になるように縦置きする
（ドアの下部・縦部のパッキンが損傷し、水漏れの原因となります。）



必ず守る



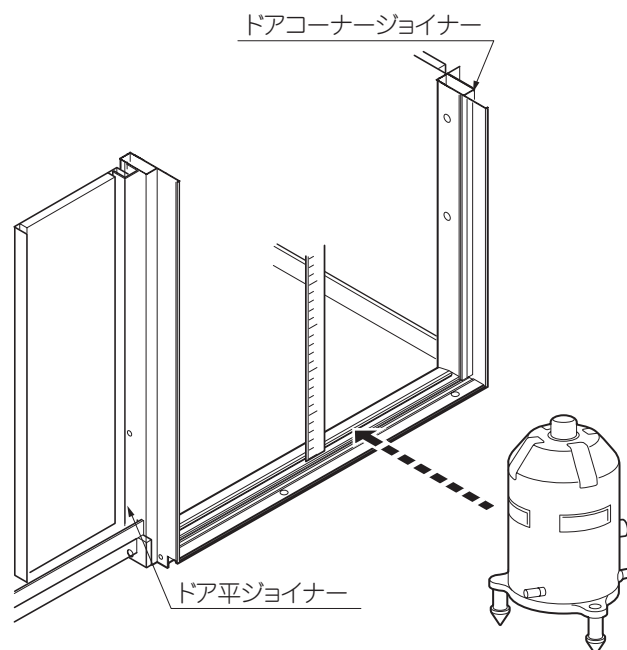
下部のゴムを傷めます



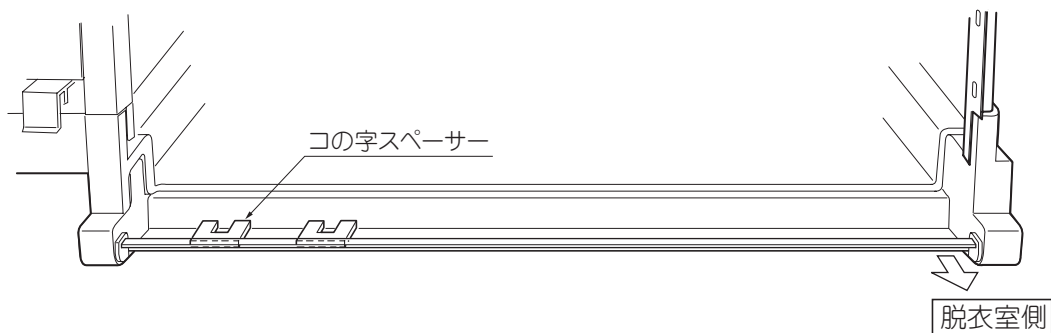
2 ドア枠のレベル出し

- ① ドア枠を仮置きし、下枠の水平度を確認する。
・ 障子を入れると、枠とのすき間が確認できます。

- ② 上下にすき間違いが生じた場合、床のアジャスターボルトで再度床の水平調整を行う。
・ 上下2mmまでのすき間違いは許容範囲内です。



- ③ 〈どうしても床での調整がうまくいかない場合のみ〉
床パンのドア載せ面にコの字スペーサーを入れる。
・ ②でレベルが出た場合は、この作業は不要です。



3 ドア下のシーリング材充てん

①床パンのドア載せ面（部）にシーリング材を塗布する。

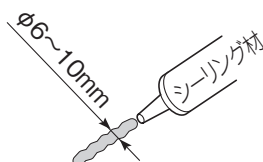
⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に
（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）

取付設置上のお願い

- φ6～10mm程度
の太さになるまで、
シーリング材を塗
布してください。



- ・間柱対応ドアを取り付ける場合
は、ドア枠の前にドア横小壁を
取り付けます。
取り付け方法については、124、
125ページを参照ください。

4 ドア枠の取り付け

①床パンのドア載せ面に脱衣室側からドア枠を載せる。

- ・この際、ドア枠を床のドア載せ面に確実に押し込んでください。

②床パンのドアコーナー部・平部のすき間にシーリング材を注入する。

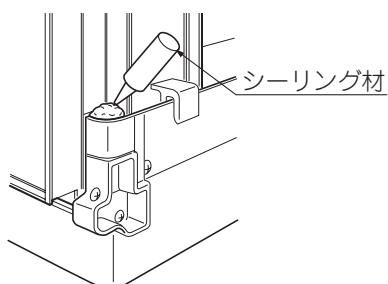
⚠ 注意



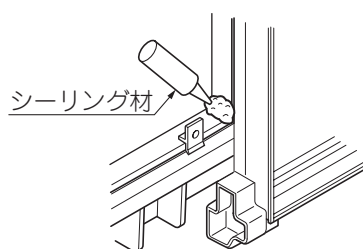
必ず守る

- ドア下枠と床パンとの間にすき間ができないよう、押し込んで確実に取り付ける
（すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。）
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）

〈コーナー部〉



〈平部〉



5 縦枠の固定

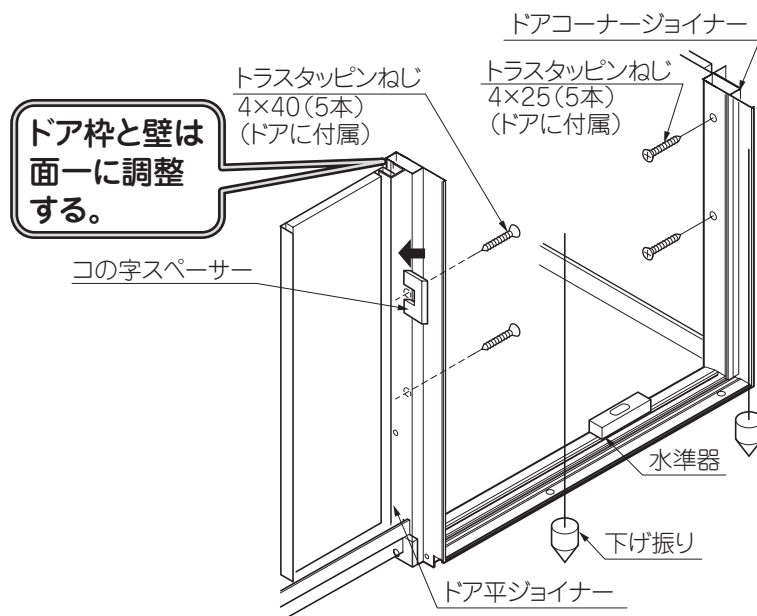
① ドア枠の鉛直度と水平度を確認する。

② 縦枠をねじで固定する。

- ・ ドア枠の建て起こし調整は、ドア縦枠と壁パネルフレームの間にコの字スペーサーを入れて調整します。天井とドア枠の接続時の調整と合わせて行ってください。

取付設置上のお願い

- ・ ドア枠の前後・左右の鉛直度（たおれ）は、2mm以下に調整してください。



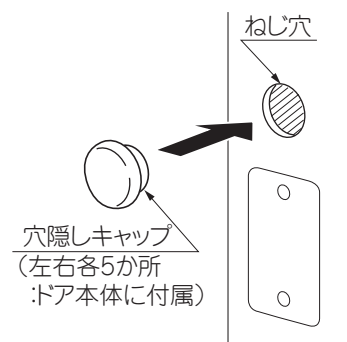
③ ドア枠ねじ穴に穴隠しキャップをはめる。

⚠ 注意



必ず守る

- ・ 穴隠しキャップはドア枠ねじ穴に確実にはめる
(取り付け忘れや不備があると、水漏れの原因となります)



6 ドア下枠前カバーの取り付け

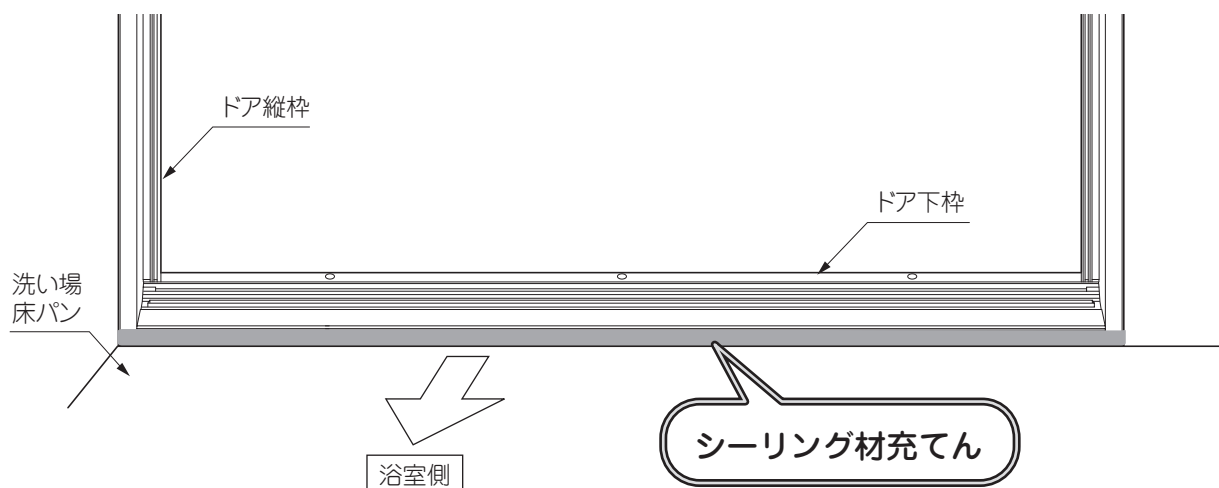
- ① ドア枠と洗い場床パンの境い目にシーリング材を塗布する。

⚠ 注意



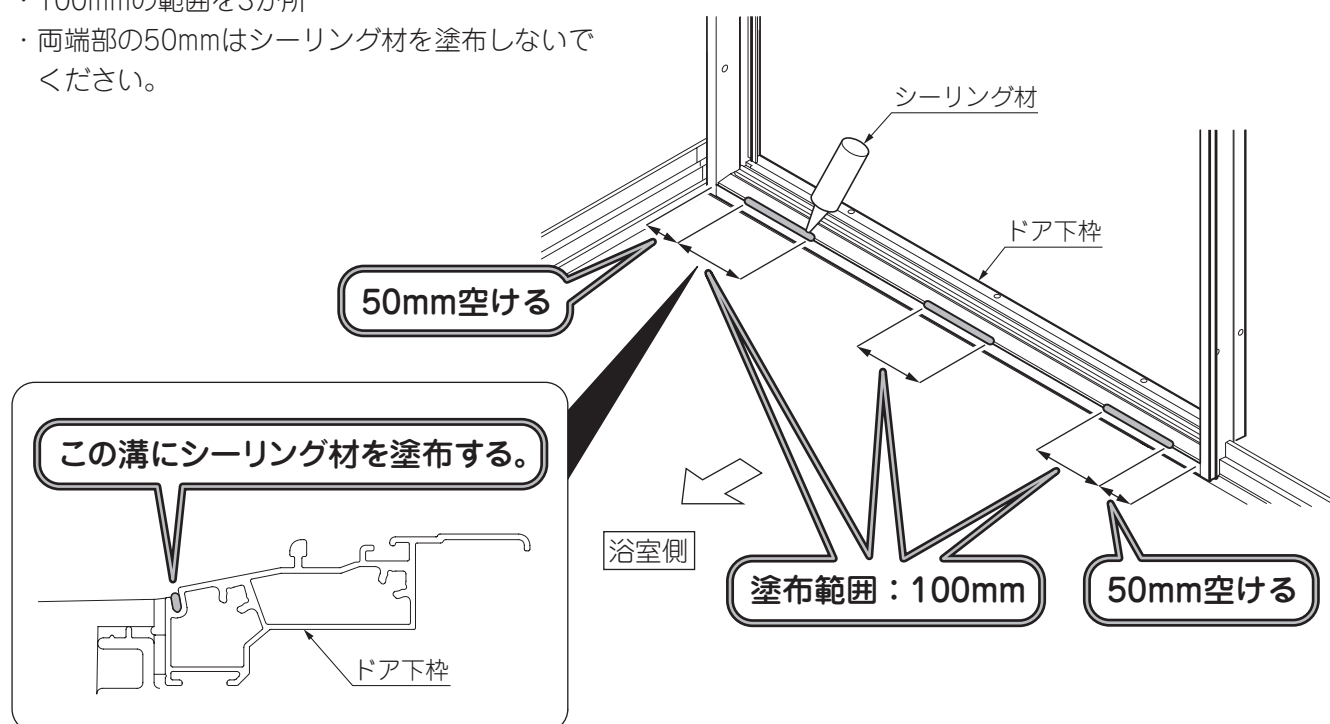
必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、
水漏れの原因となります。)



- ② ドア下枠の溝にシーリング材を塗布する。

- ・ 100mmの範囲を3か所
- ・ 両端部の50mmはシーリング材を塗布しないでください。

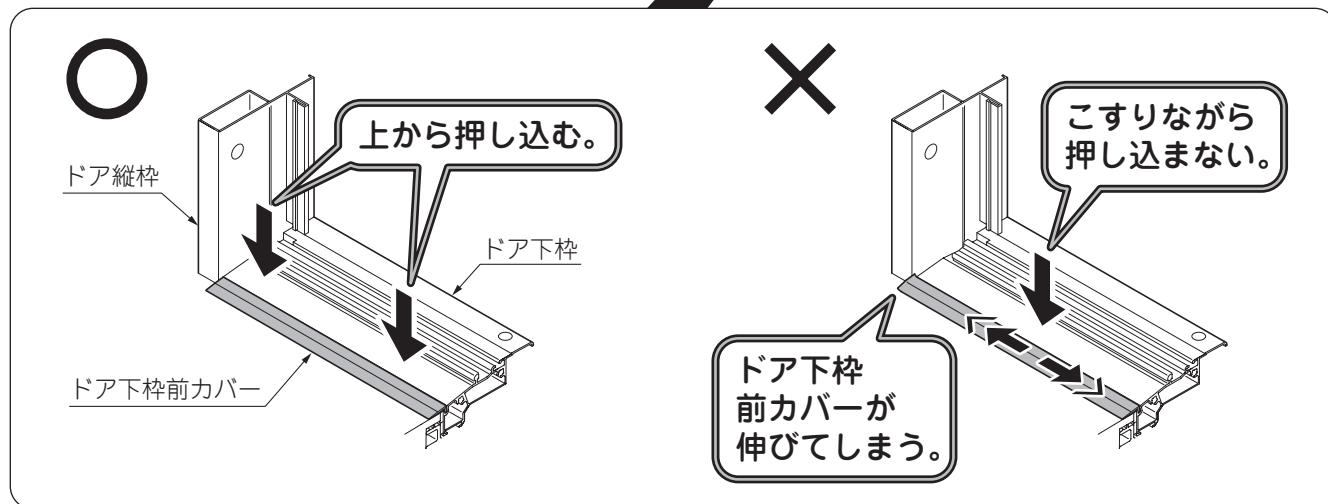
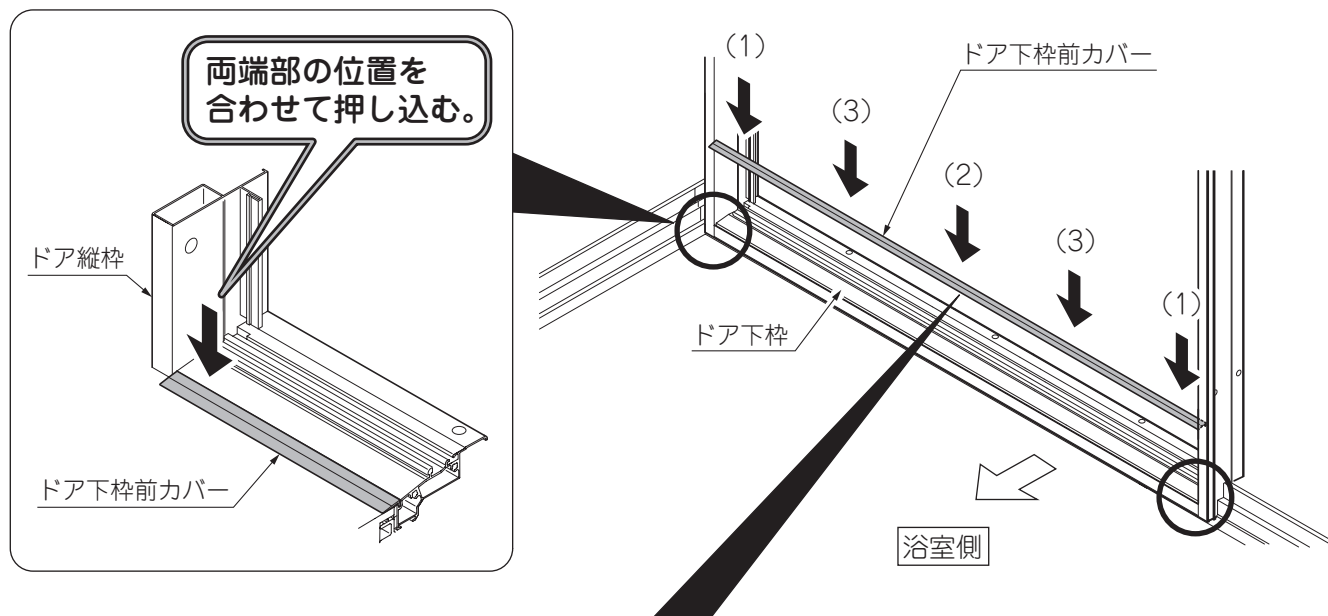


③ドア下枠にドア下枠前カバーを取り付ける。

- (1) 両端部の位置を合わせて押し込む。
- (2) 中央部を押し込む。
- (3) 押し込んだ部分の中間を押し込んでいく。

取付設置上のお願ひ

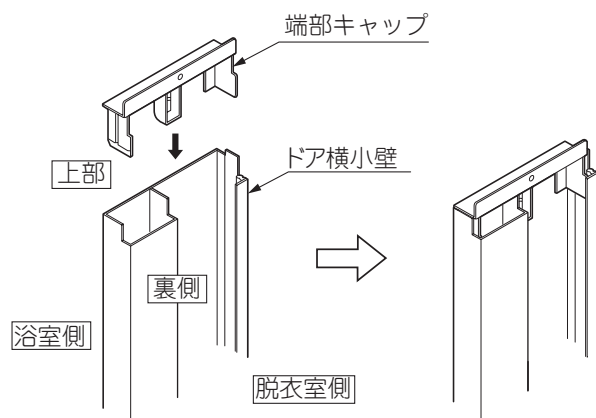
- ドア下枠前カバーはこすりながら押し込まないでください。
- ドア下枠前カバーは伸びないように上から押し込んで取り付けてください。



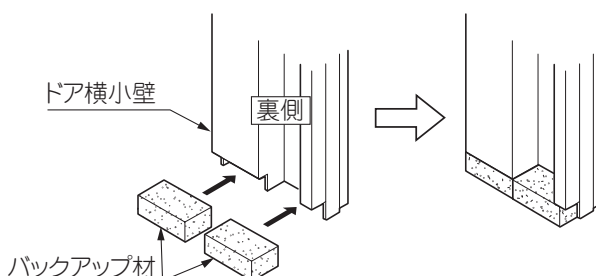
7 ドア横小壁の取り付け

・ドア横小壁と隣り合う壁パネルには、あらかじめドア平ジョイナーを取り付けてください。

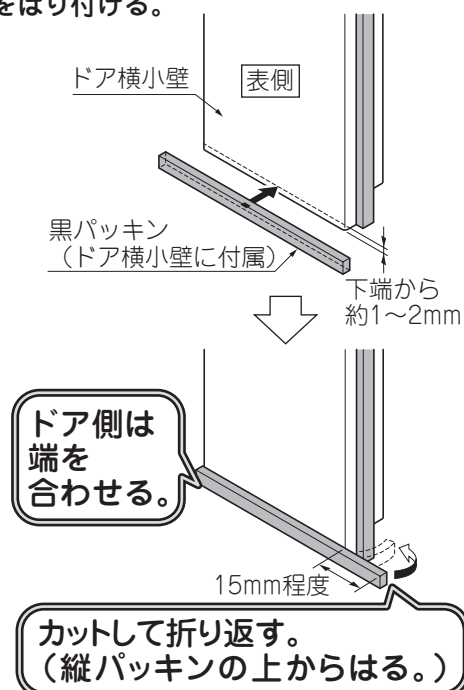
①ドア横小壁の裏側上部に端部キャップを取り付ける。



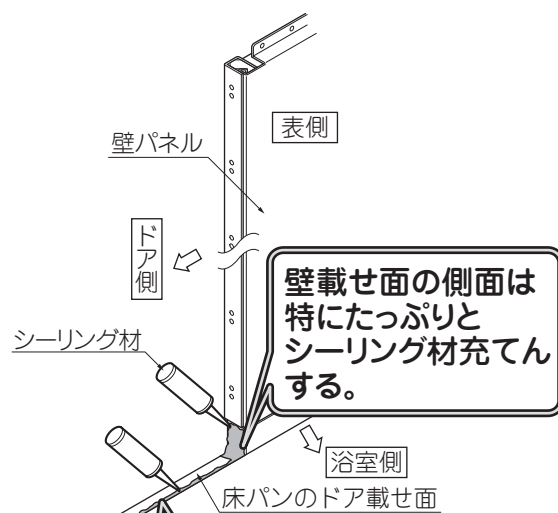
②バックアップ材のはく離紙をはがし、ドア横小壁の裏側下部にはり付ける。



③ドア横小壁の表側下部に黒パッキン（ドア横小壁に付属）をはり付ける。



④床パンのドア載せ面にシーリング材を塗布する。



ドア横小壁を建て込んだとき、黒パッキンが当たる部分に沿ってシーリング材充てんする。

⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
（確実にシーリング材充てんしないと、
水漏れの原因となります。）

⑤ ドア横小壁を床パンのドア載せ面に建て込み、ドア横平ジョイナーと接続する。

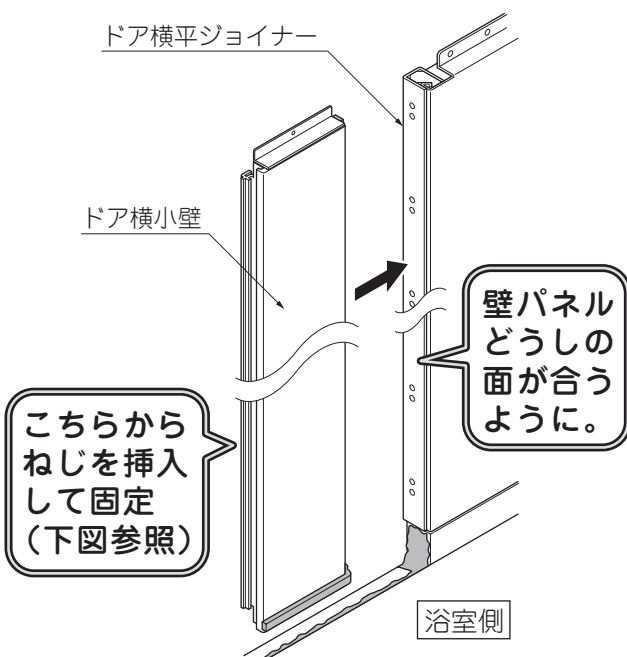
- ・ドア横小壁の面と隣り合う壁パネルの面が合うように建て込んでください。
- ・トラスタッピンねじ(4×65) 5本で取り付けます。

！ 注意

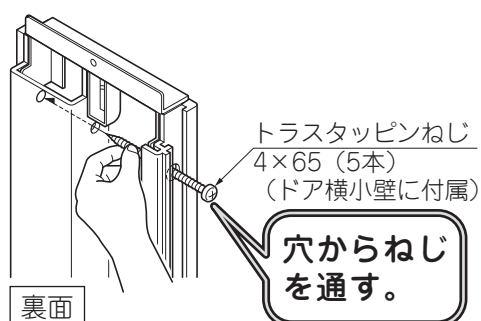


必ず守る

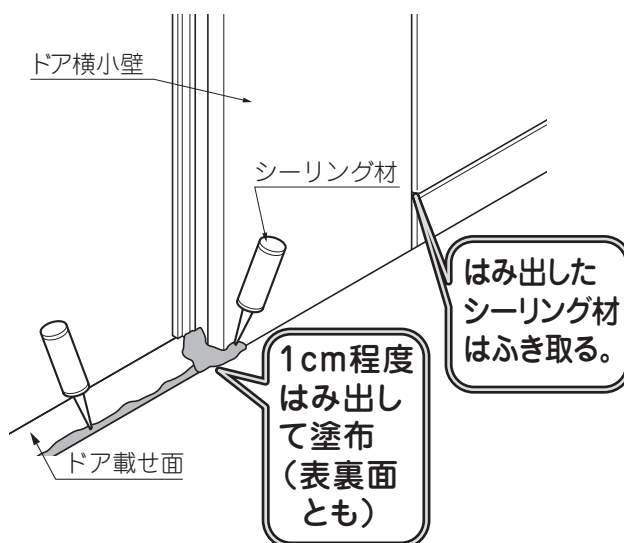
- ・ドア横小壁は、床パンとの間にすき間ができないよう、押し込んで確実に取り付ける
(すき間があると、水漏れや壁パネルとの段差が生じる原因となります。)



- ・ドライバーは長尺ビットのものを使用してください。



⑥ ドア枠側下部にシーリング材を塗布する。



！ 注意

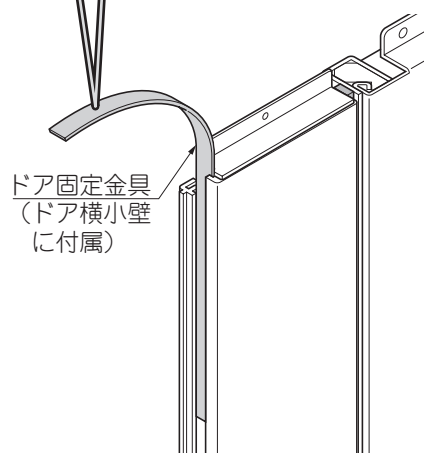


必ず守る

- ・シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

⑦ ドア固定金具をドア枠側に差し込む。

躯体の天井が低い場合は
ドア固定金具をしならせて
差し込む。

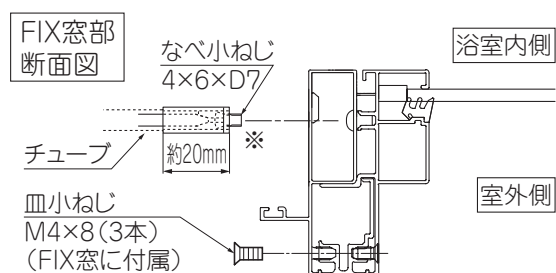
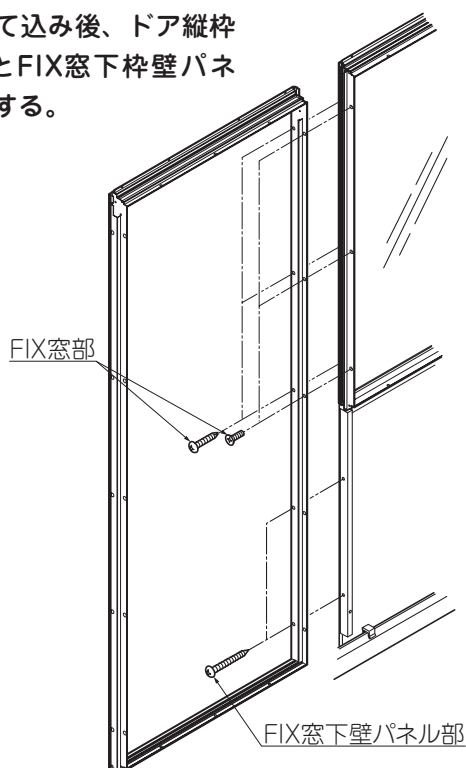


⑧ ドア枠を建て込み、ドア縦枠をドア横小壁に接続する。

- ・ドア縦枠の接続方法は、従来のドア枠取り付けと同様です。

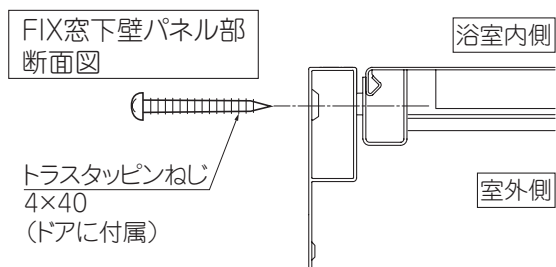
8 FIX窓との固定

- ① ドア枠建て込み後、ドア縦枠をFIX窓とFIX窓下枠壁パネルに固定する。



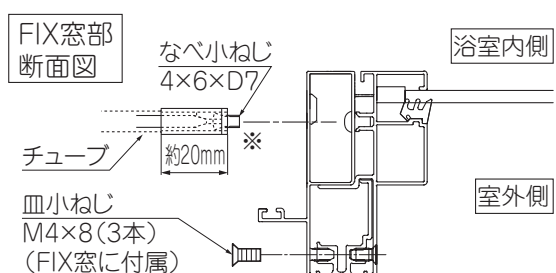
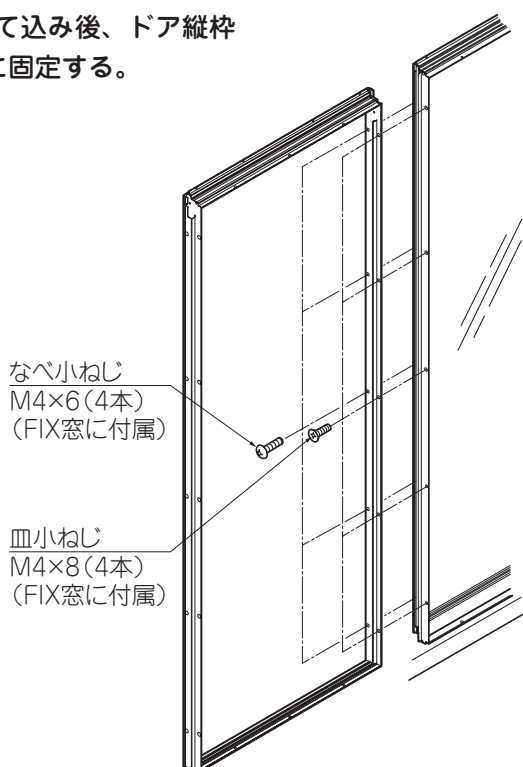
※ねじ頭へのチューブかみ込み防止のため、チューブの突き出しは小さくしてください。

- ・ 付属のチューブ(L=200mm)は、長さ 20mm 程度にカットしてください。
- ・ チューブは、縦枠内に残したままにしないでください。



9 FIX窓との固定

- ① ドア枠建て込み後、ドア縦枠をFIX窓に固定する。



※ねじ頭へのチューブかみ込み防止のため、チューブの突き出しは小さくしてください。

- ・ 付属のチューブ(L=200mm)は、長さ 20mm 程度にカットしてください。
- ・ チューブは、縦枠内に残したままにしないでください。

2 3枚引き戸

1 ドア枠の組み立て

①ドア枠を組み立てる。

⚠ 注意

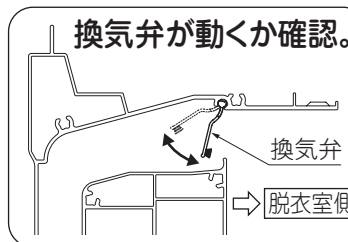


必ず守る

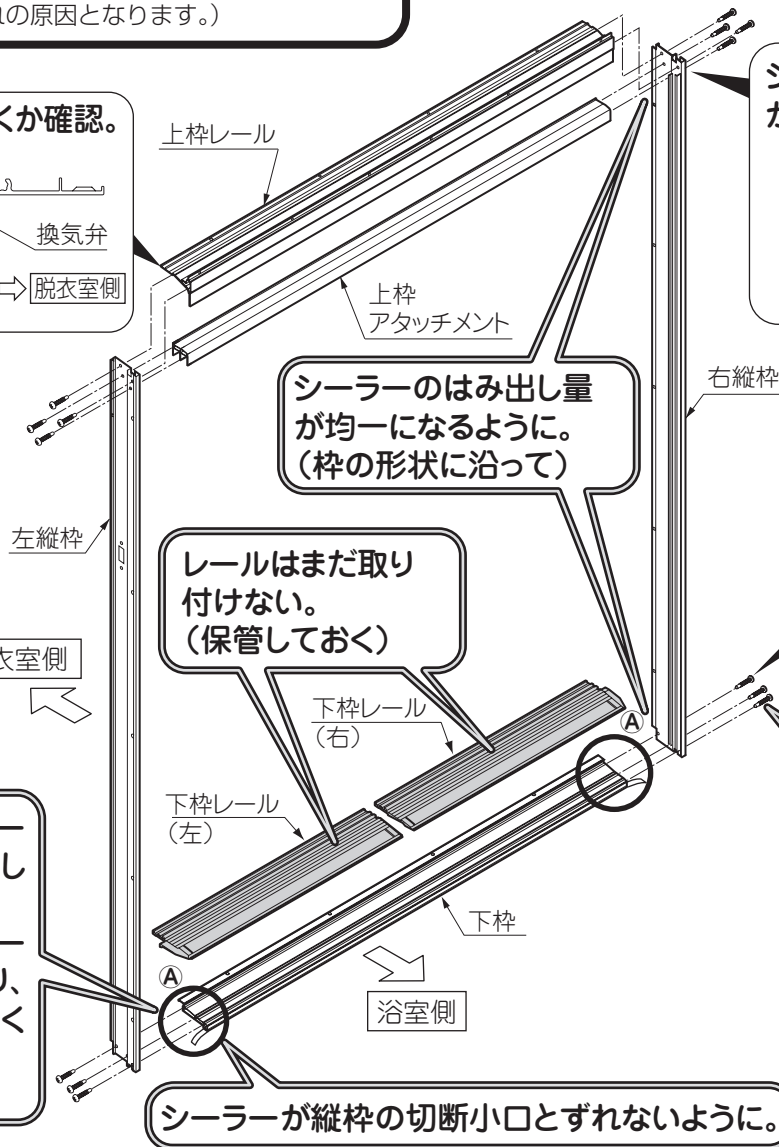
- 引き戸の枠組み時、シーラーの厚みが半分程度になるまで締め付け固定する
(締め付けが弱いと枠と枠とに生じたすき間から、水漏れの原因となります。)
- 引き戸の下枠防水パッキンに傷を付けたり、切らないようにする
また、パッキンの両端が縦枠に確実に接するようにする
(切れ目や縦枠に生じたすき間から、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願い

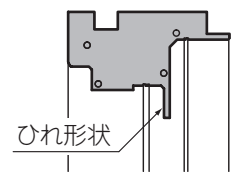
- ドア枠の組み立てには、インパクトドライバーを使用しないでください。
(ねじ頭がねじ切れ、ドア枠の固定ができなくなります。)
- 組み立て時に、下枠防水パッキンを挟まないようご注意ください。



換気弁が動くか確認。



シーラーにひれ形状がある方が上側です。



ひれ形状

シーラーのはみ出し量が均一になるように。
(枠の形状に沿って)

レールはまだ取り付けない。
(保管しておく)

下枠レール(右)

下枠レール(左)

下枠

浴室側

ドア枠組み立て用ねじ
4×35



上枠……左右各4本
下枠……左右各3本

手回しドライバー
か電動ドライバー
(適正トルク 2.0~
2.5N・m)を使用

組み立て時、シーリング材を塗布しない。
(はみ出したシーリング材により、水が流れにくくなる)

※(A)部(2か所)

シーラーが縦枠の切断小口とずれないように。

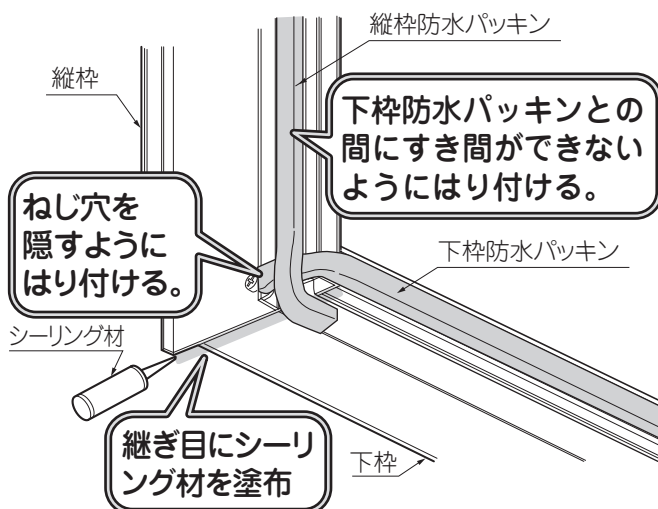
- ②下枠と縦枠の継ぎ目にシーリング材を塗布する。
- ③下枠防水パッキンを縦枠側に折り返して、縦枠にはり付ける。(反対側も同様)
- ④同様にして縦枠防水パッキンを折り返して、下枠にはり付ける。(反対側も同様)

注意



必ず守る

- 引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける
(すき間があると、ドア枠のシーリング材が切れたときに、水漏れの原因となります。)



2 ドア下のシーリング材充てん

120ページを参照ください。

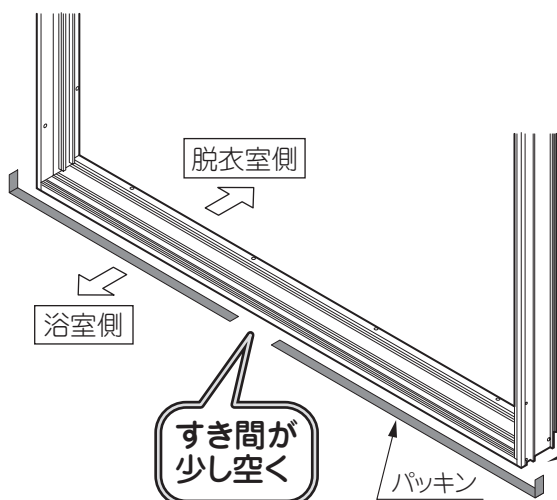
3 ドア下枠のパッキンはり付けとドア枠の取り付け

120、121ページを参照ください。

〈専用架台 脱衣室FL～土台天端44mm以下の場合〉

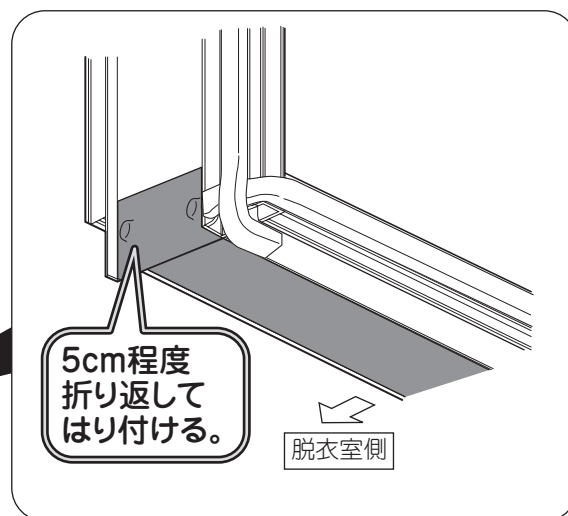
ドア枠を床に載せる前に、パッキン（専用架台小物セットに付属）2本を、ドア下枠の底面にはり付ける。

- ・5cm程度を折り返し、縦枠にもはり付けてください。



取付設置上のお願い

- ドア下枠のパッキンは確実にはり付けてください。
(確実にはり付けないと、ドア下枠が専用架台に干渉して音鳴りの原因となります。)



4 縦枠の固定

121ページを参照ください。

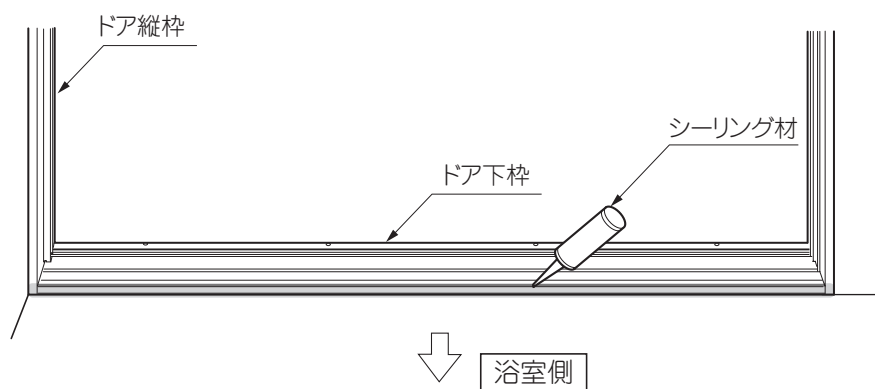
5 下枠レールの取り付け

- ①ドア枠と洗い場床パンの境い目にシーリング材を塗布する。

⚠ 注意

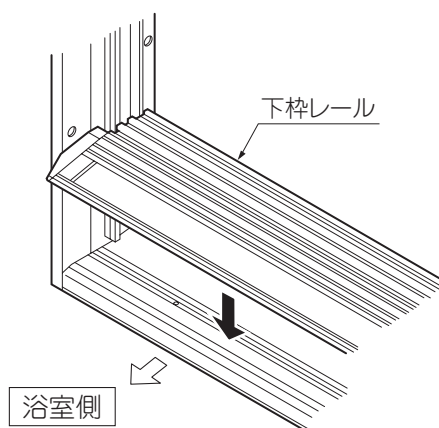
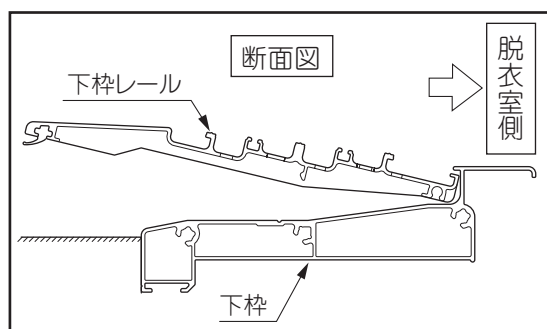


- シーリング材充てんは指定個所に確実にを行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



- ②下枠レールを取り付ける。

・図のように、溝にレールの端部を差し込み、レール全体を置いてください。

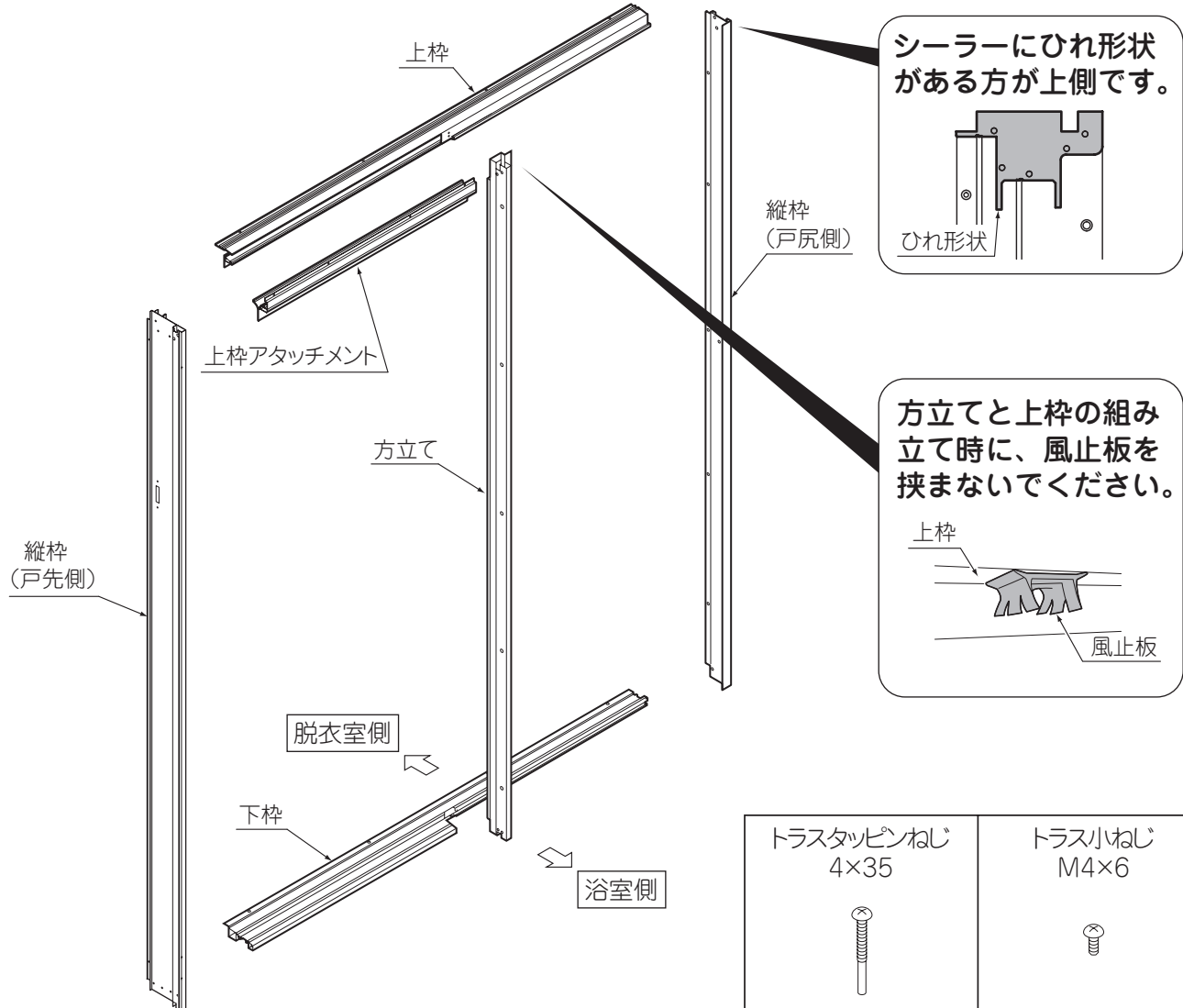


本文中の図は、すべてAR・BL勝手の例です。AL・BR勝手は本図と対称になります。

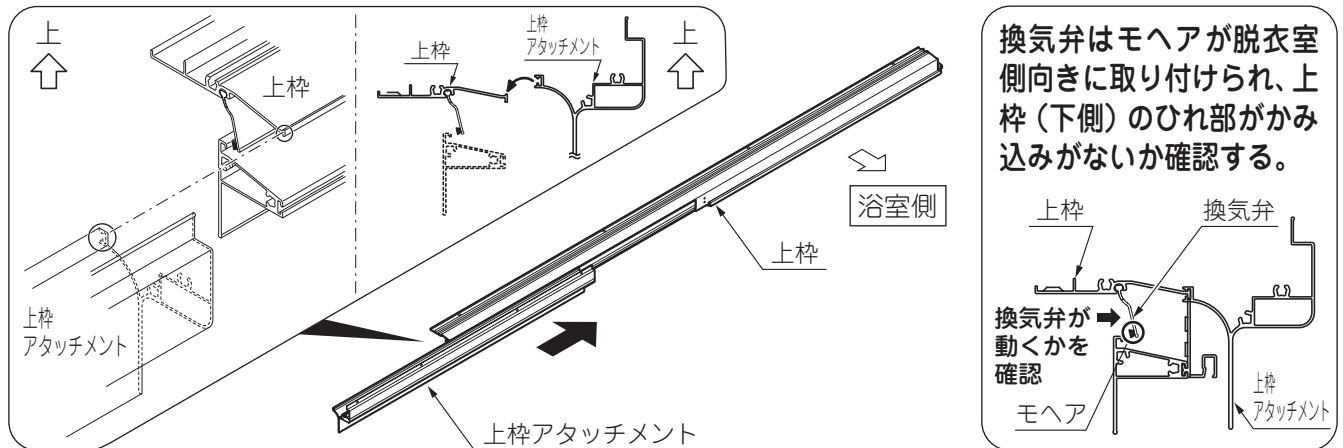
3 片引き戸

1 ドア枠の組み立て

・ドア枠の構成は図のようになっています。下記の手順で組み立ててください。



①上枠・上枠アタッチメントをスライドさせて取り付ける。

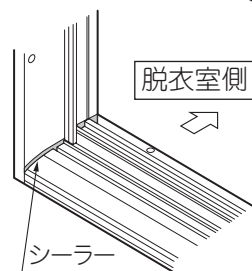


②上枠・下枠に縦枠（戸先側）・縦枠（戸尻側）を取り付ける。

・縦枠（戸先側）と下枠のシーラーのはみ出し部は均一（目安寸法：1～2mm）になるようにしてください。

③下枠防水パッキン・縦枠防水パッキンを折り返して、縦枠にはり付ける。

シーラーのはみ出し部は均一に



⚠ 注意



必ず守る

●引き戸の下枠防水パッキンに傷を付けたり、切らないようにするまた、パッキンの両端が縦枠に確実に接するようにする
（切れ目や縦枠に生じたすき間から、水漏れの原因となります。）

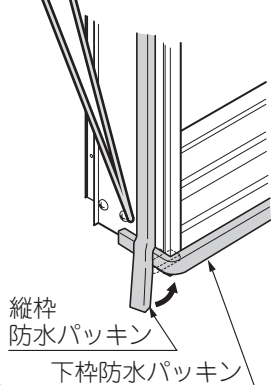
●引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける
（すき間があると、ドア枠のシーリング材が切れたときに、水漏れの原因となります。）

すべてのねじを
仮固定してから
本固定する。

トラスタッピンねじ
4×35

《縦枠側》

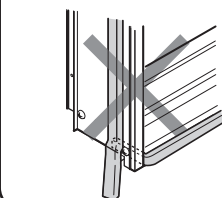
穴を隠すように
曲げる。



上枠

縦枠
（戸先側）

下枠防水パッキン
を挟まない。



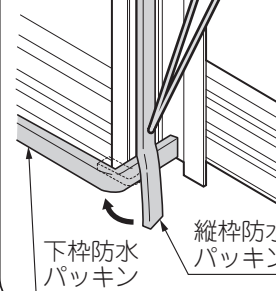
脱衣室側

下枠

下枠防水
パッキン

《方立て側》

穴を隠すように
曲げる。

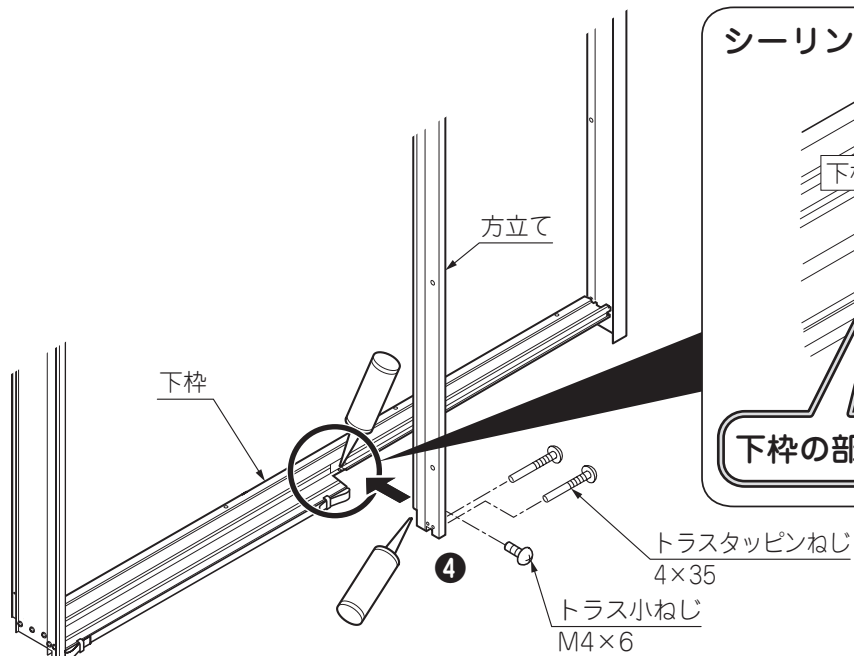


組み立て時、シーリング材を塗布しない。
（はみ出したシーリング材により、水が
流れにくくなります。）

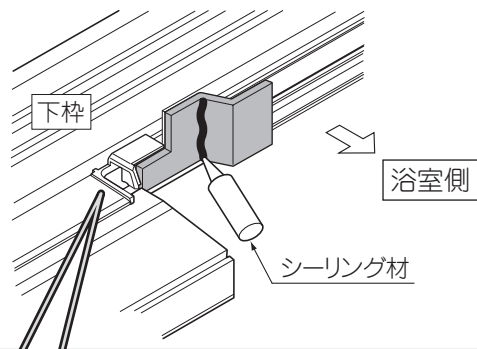
※A部（2か所）

④下枠に方立てを取り付ける。

- ・方立ては下枠に対し、垂直にセットしてください。
- ・方立てと下枠のシーラーのはみ出し部は均一（目安寸法：1～2mm）になるようにしてください。

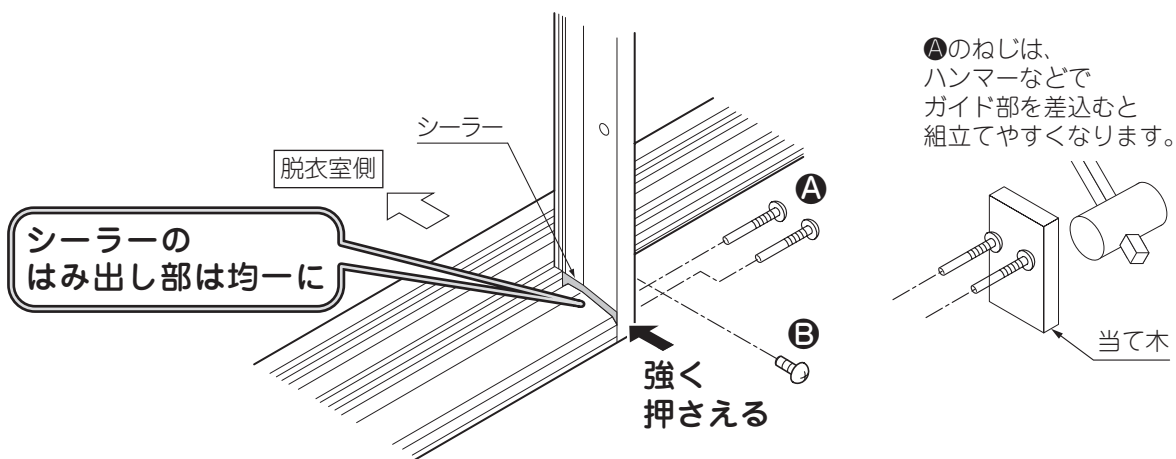


シーリング材塗布位置



下枠の部材にシーリング材を付けない

方立てを強く押さえ、㊦のねじを固定した後、㊧のねじを固定する。

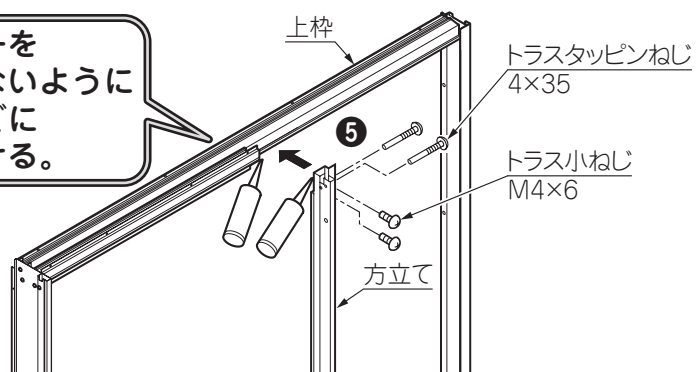


はみ出したシーリング材はふき取る。

⑤上枠に方立てを取り付ける。

- ・方立ては上枠に対し、垂直にセットしてください。

シーラーを傷つけないようにまっすぐに取り付ける。



-
- 縦枠
- 縦枠防水パッキン
- ねじ穴を隠すようにはり付ける。
- 下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける。
- シーリング材
- 下枠防水パッキン
- 下枠
- 方立て
- 脱衣室側
- シーリング材
- 継ぎ目にシーリング材を塗布
- 継ぎ目にシーリング材を塗布
- 注意**
- 防水パッキンは、下枠防の間にすき間ができないける
と、ドア枠のシーリング材が水漏れの原因となります。)

⚠ 注意



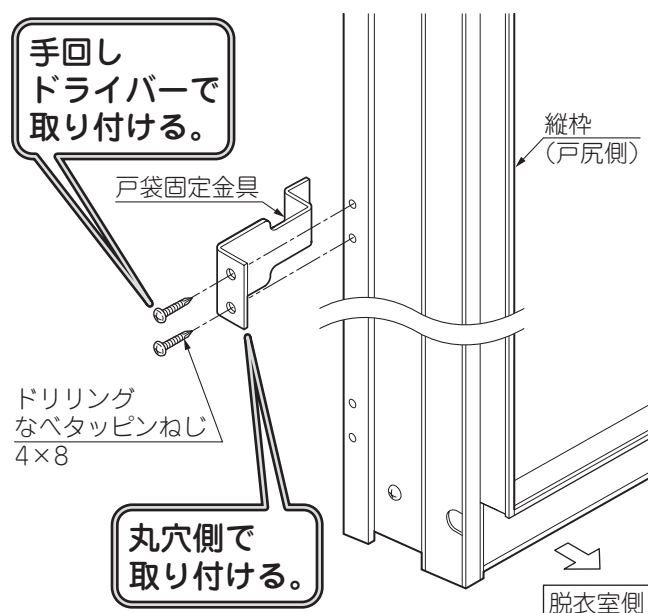
必ず守る

- 引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける
(すき間があると、ドア枠のシーリング材が切れたときに、水漏れの原因となります。)

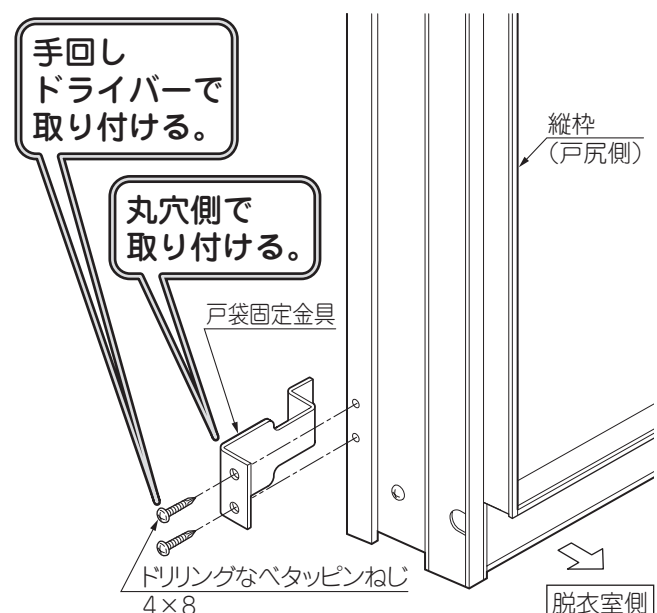
①縦柵（戸尻側）の下穴に戸袋固定金具を取り付ける。

- ・金具の取り付け向きにご注意ください。
- ・スペースなどの問題で電動ドライバーが使用できない場合は、手回しドライバーを使用してください。
- ・縦枠（戸尻側）中央付近の穴に取り付けてください。

●A勝手

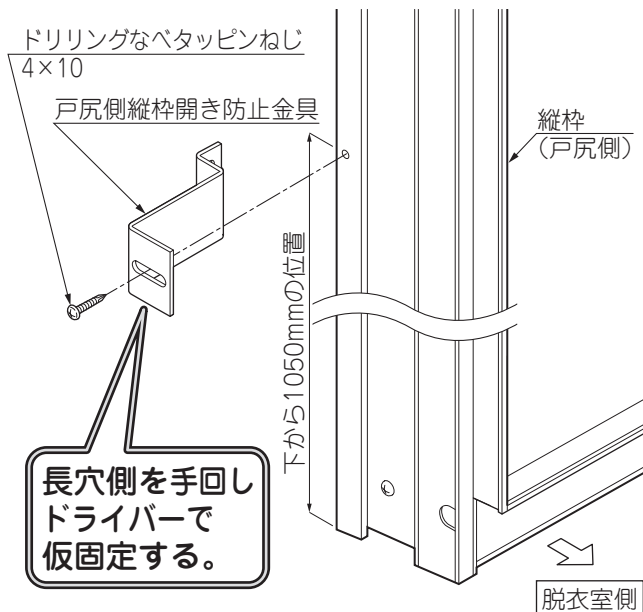


●B勝手



・縦枠（戸尻側）中央付近の穴に取り付けてください。

●A勝手・B勝手

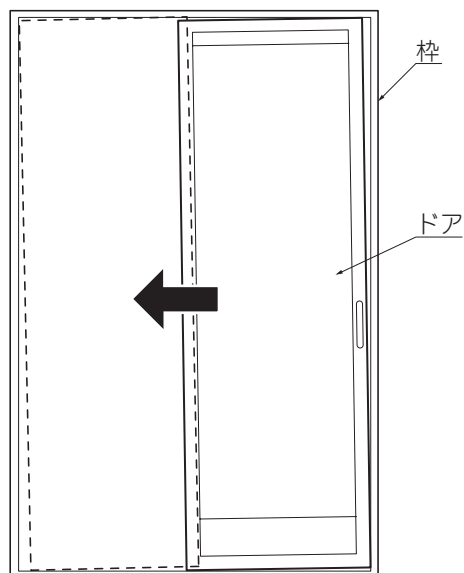


3 ドア枠のレベル出し

<重要>

・次の「ドア下のシーリング材充てん」を行う前に、必ずドア枠を仮置きして、正確にレベル出しを行ってください。

少しでもレベルが出ないと、いくら戸先ですき間の調整を行っても、方立て部で上下のすき間が発生します。

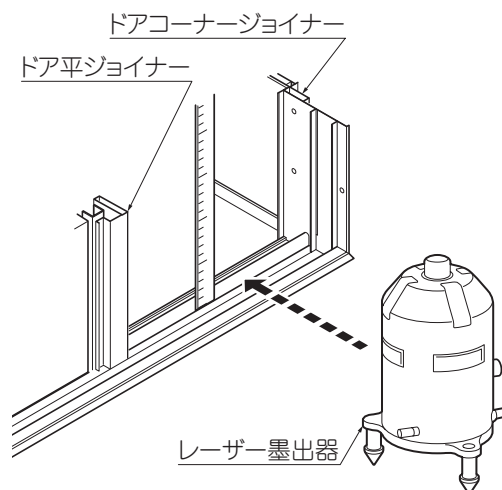


①ドア枠を仮置きし、下枠の水平度を確認する。

・障子を入れると、枠とのすき間が確認できます。

②上下にすき間違いが生じた場合、床のアジャスターボルトで再度床の水平調整を行う。

・上下2mmまでのすき間違いは許容範囲内です。



4 ドア下のシーリング材充てん

①床パンのドア載せ面（部）にシーリング材を塗布する。

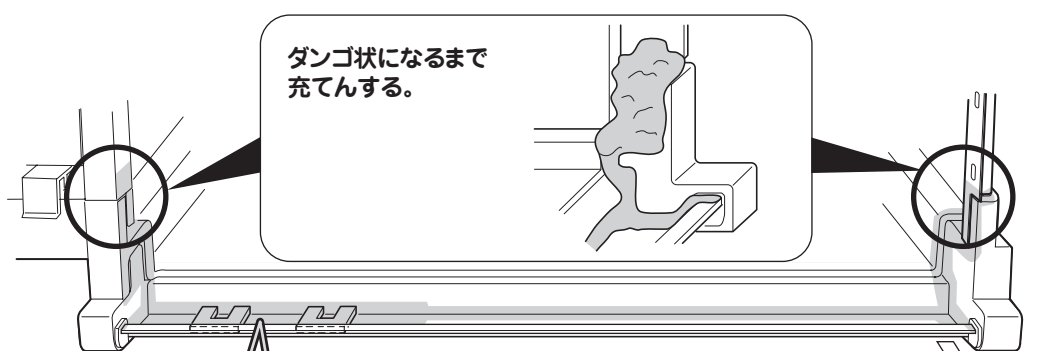
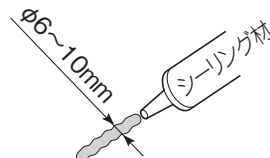
⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

取付設置上のお願い

- φ6～10mm程度
の太さになるまで、
シーリング材を塗
布してください。



コの字スペーサーを入れた場合は、すき間ができないよう十分にシーリング材を塗布する。

脱衣室側

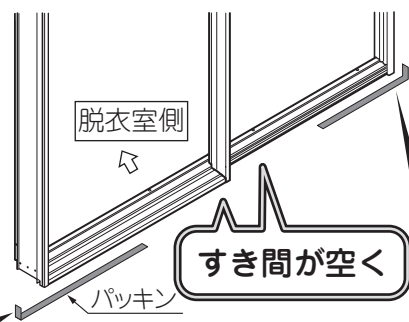
5 ドア下枠のパッキンはり付けとドア枠の取り付け

120、121ページを参照ください。

〈専用架台 脱衣室FL～土台天端44mm以下の場合〉

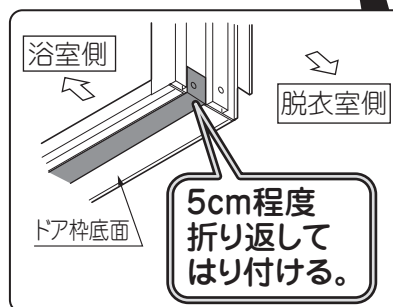
ドア枠を床に載せる前に、パッキン（専用架台小物
セットに付属）2本を、ドア下枠の底面にはり付ける。

- ・5cm程度を縦枠に折り返して、はり付けてください。



取付設置上のお願い

- ドア下枠のパッキンは確実にはり付けて
ください。
(確実にはり付けないと、ドア下枠が専用架
台に干渉して音鳴りの原因となります。)



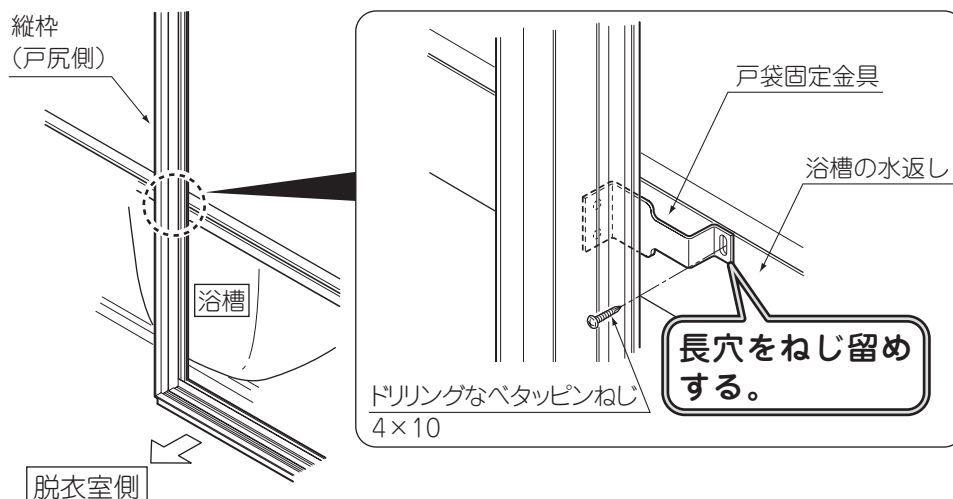
6 縦枠の固定

121ページを参照ください。

7 戸尻側の固定

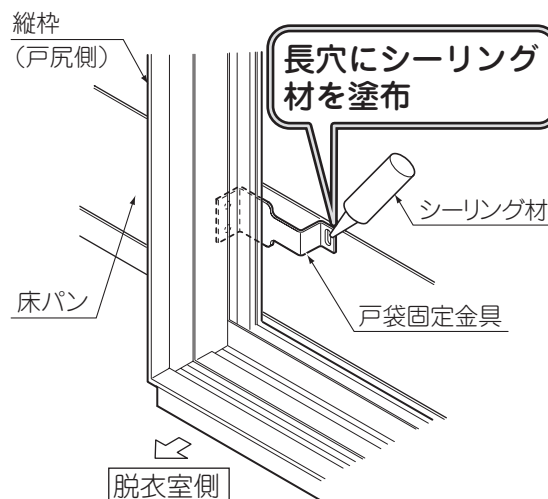
〈A勝手の場合〉

- ①縦枠（戸尻側）に取り付けた戸袋固定金具を浴槽の側面に固定する。



〈B勝手の場合〉

- ①縦枠（戸尻側）に取り付けた戸袋固定金具を水返しにあてて、長穴の上からシーリング材を塗布する。



⚠ 注意



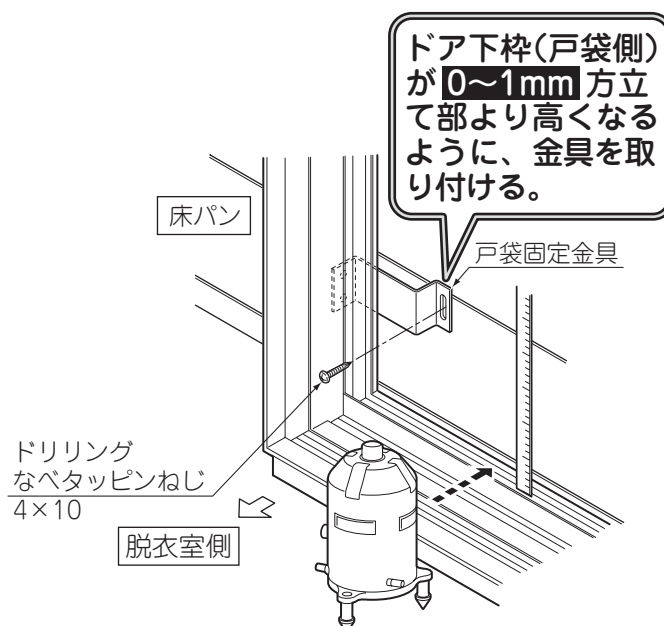
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

- ②レベル調整後、戸袋固定金具を床パンに固定する。

⚠ 注意



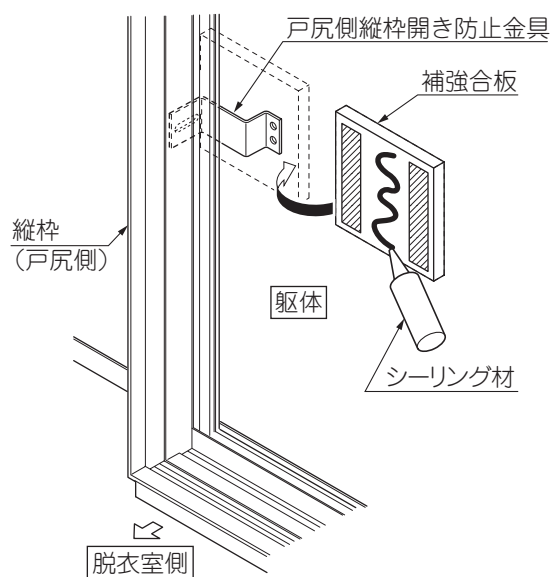
- 片引き戸のドアの下枠（戸袋側）は必
ず0～1mm方立て部より高くなるよ
うに取り付ける
(高くしないと、水がたまったり水漏れ
の原因となります。)



8 戸尻側の固定

①補強合板の両面テープを剥がしシーリング材を塗布する。

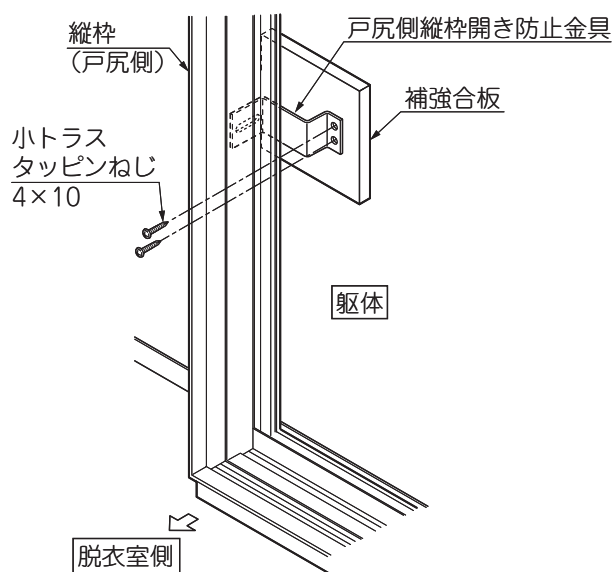
②縦枠（戸尻側）に仮固定した戸尻側縦枠開き防止金具の中心の位置に、躯体へはり付ける。



③レベル調整後、戸尻側縦枠開き防止金具を補強合板に固定する。

取付設置上のお願い

- 縦枠の立ちが垂直であることを確認してください。



④縦枠（戸尻側）に仮固定していた、戸尻側縦枠開き防止金具のねじを本固定する。

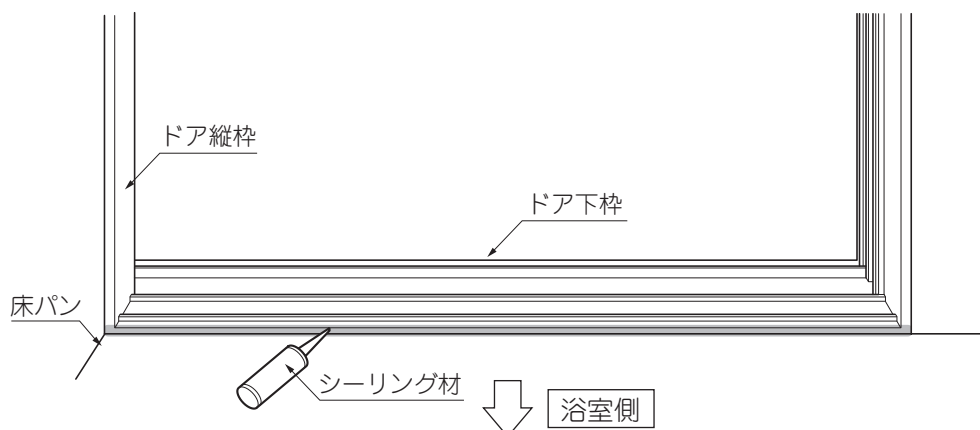
9 下枠レール・下枠前カバーの取り付け

- ①ドア枠と洗い場床パンの境い目にシーリング材を塗布する。

⚠ 注意

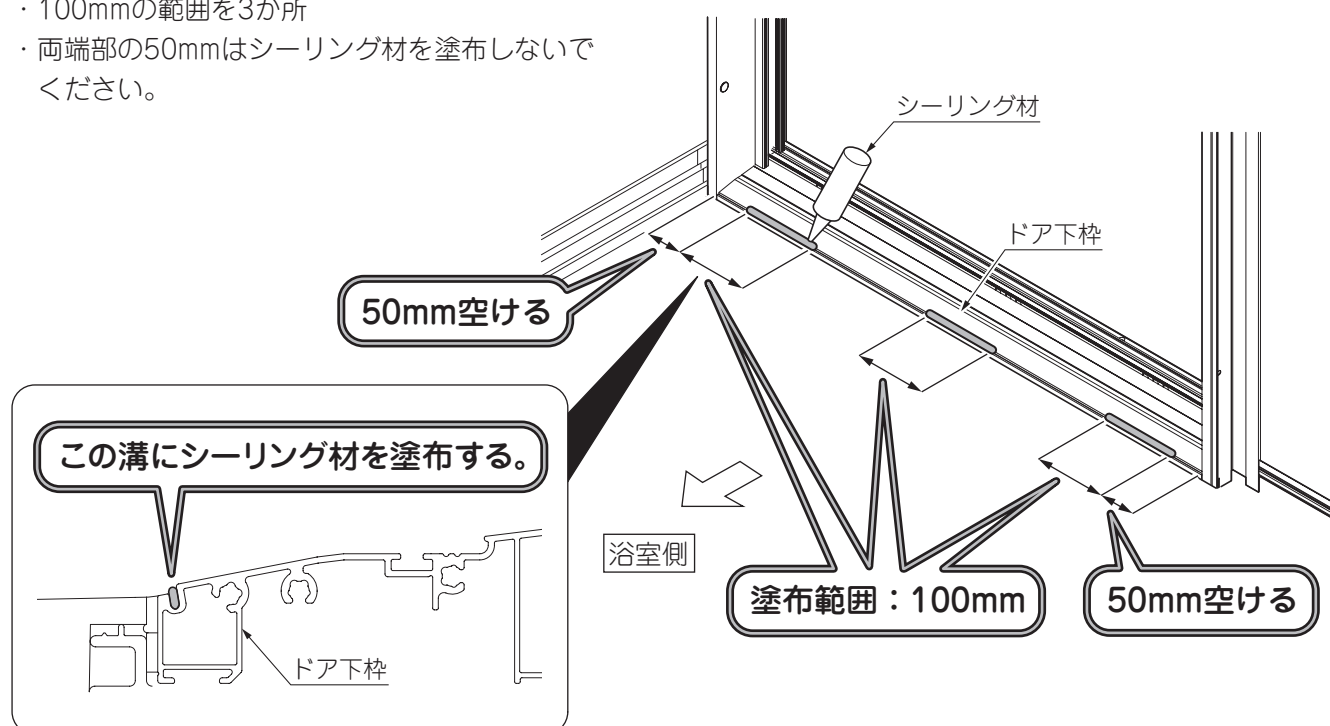


- シーリング材充てんは指定個所に確実にを行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



- ②ドア下枠の溝にシーリング材を塗布する。

- ・100mmの範囲を3か所
- ・両端部の50mmはシーリング材を塗布しないでください。

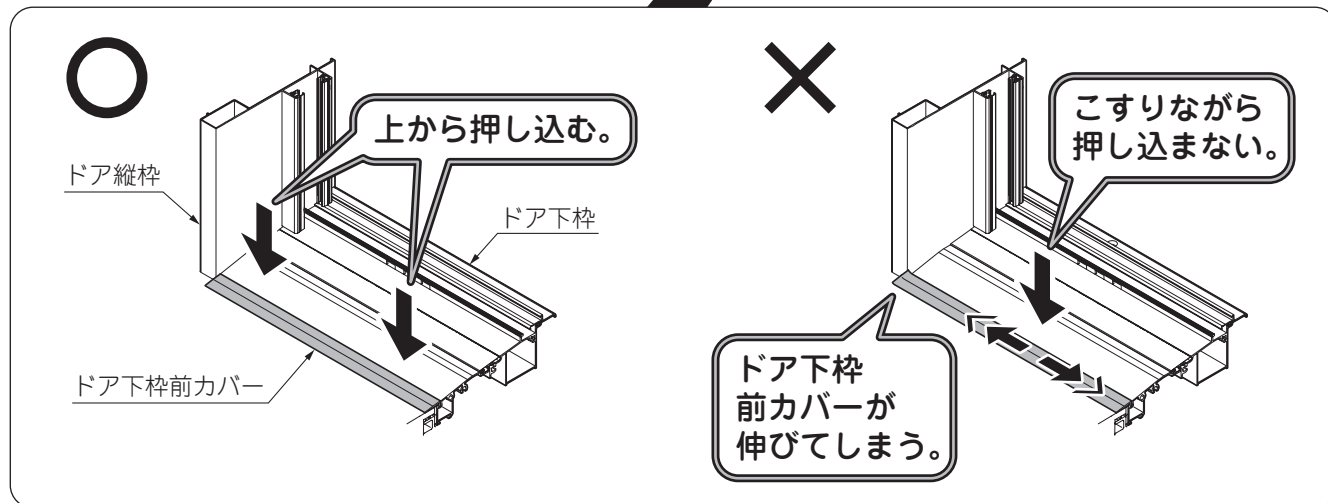
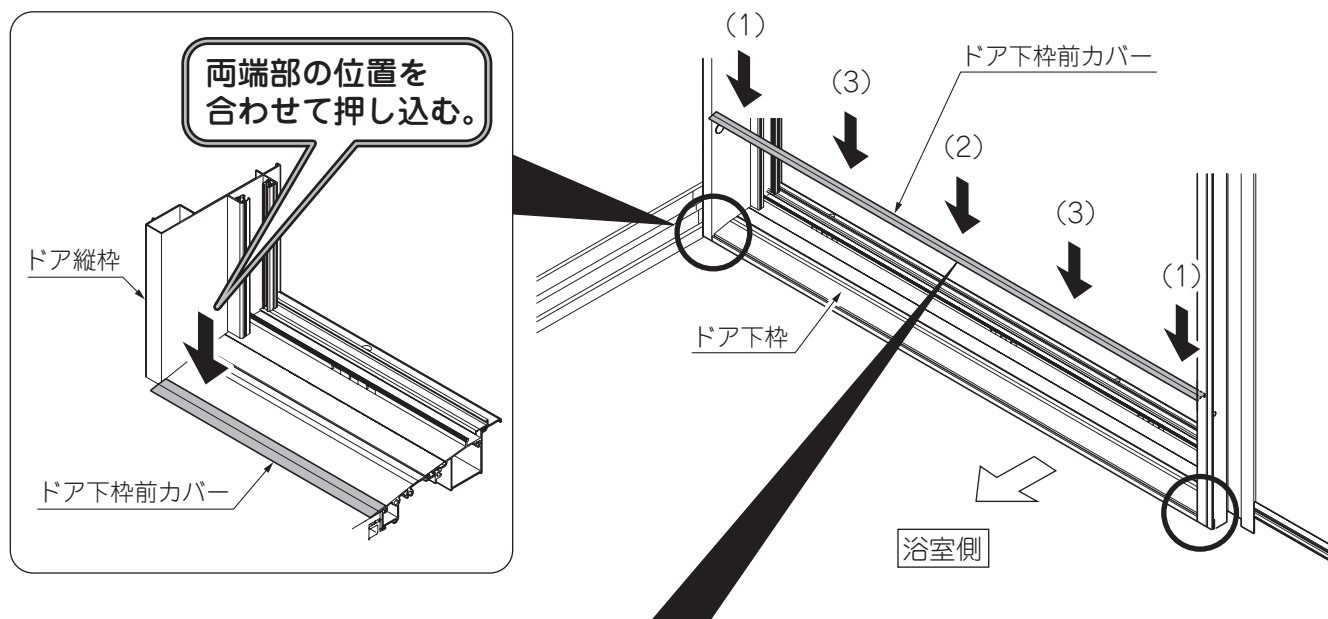


③ドア下枠にドア下枠前カバーを取り付ける。

- (1) 両端部の位置を合わせて押し込む。
- (2) 中央部を押し込む。
- (3) 押し込んだ部分の中間を押し込んでいく。

取付設置上のお願ひ

- ドア下枠前カバーはこすりながら押し込まないでください。
- ドア下枠前カバーは伸びないように上から押し込んで取り付けてください。

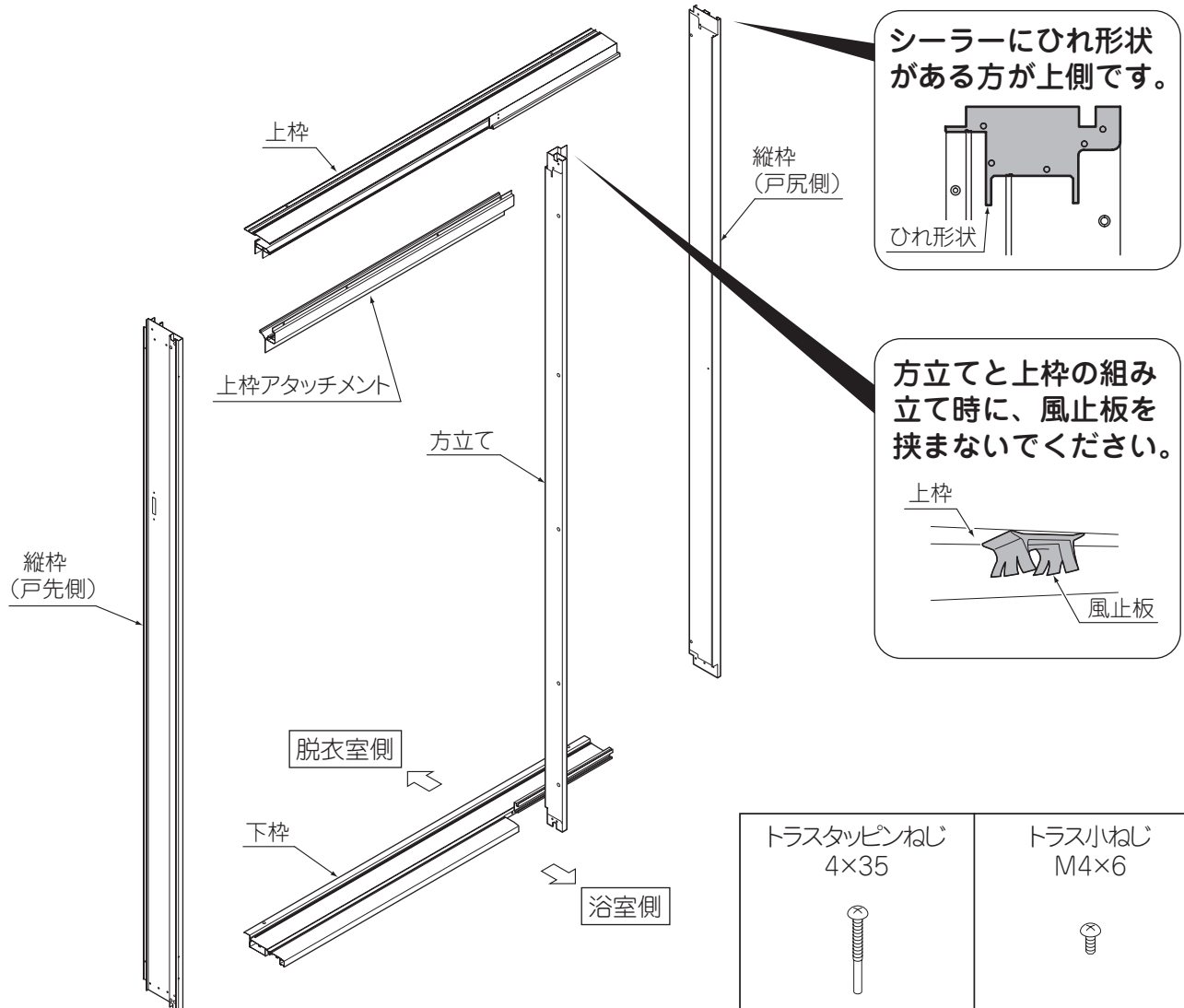


本文中の図は、すべてAR・BL勝手の例です。AL・BR勝手は本図と対称になります。

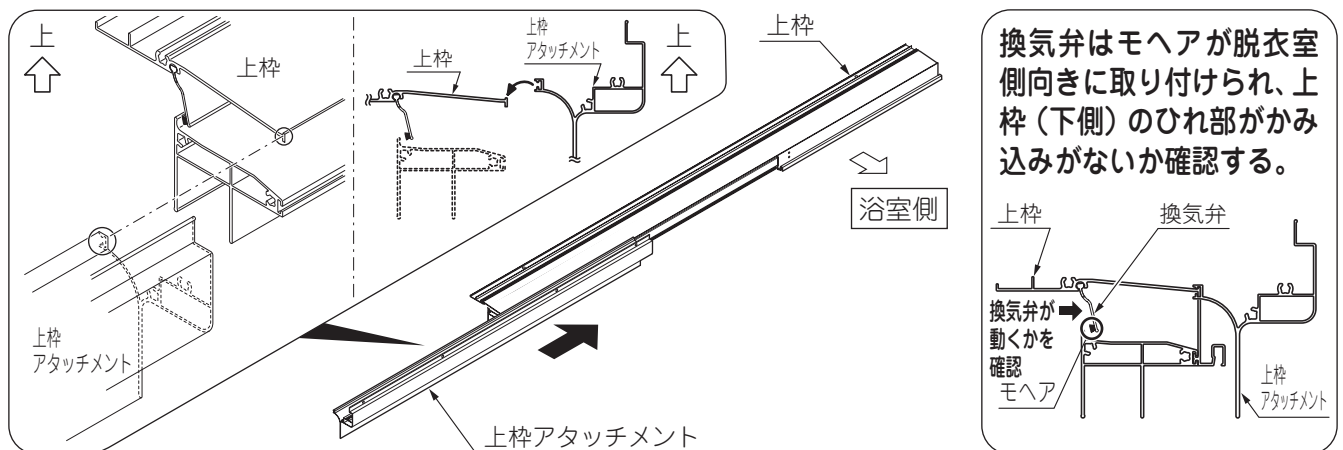
4 2枚引き込戸

1 ドア枠の組み立て

・ドア枠の構成は図のようになっています。下記以降の手順で組み立ててください。

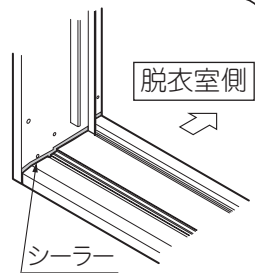


①上枠・上枠アタッチメントをスライドさせて取り付ける。



- ②上枠・下枠に縦枠（戸先側）・縦枠（戸尻側）を取り付ける。
 ・縦枠（戸先側）と下枠のシーラーのはみ出し部は均一（目安寸法：1～2mm）になるようにしてください。
- ③下枠防水パッキン・縦枠防水パッキンを折り返して、縦枠にはり付ける。

シーラーのはみ出し部は均一に



⚠ 注意



必ず守る

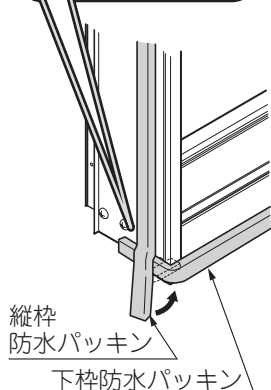
- 引き戸の下枠防水パッキンに傷を付けたり、切らないようにするまた、パッキンの両端が縦枠に確実に接するようにする
 （切れ目や縦枠に生じたすき間から、水漏れの原因となります。）
- 引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける
 （すき間があると、ドア枠のシーリング材が切れたときに、水漏れの原因となります。）

すべてのねじを
仮固定してから
本固定する。

トラスタッピンねじ
4×35

《縦枠側》

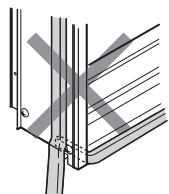
穴を隠すように
曲げる。



上枠

縦枠
（戸先側）

下枠防水パッキン
を挟まない。



脱衣室側

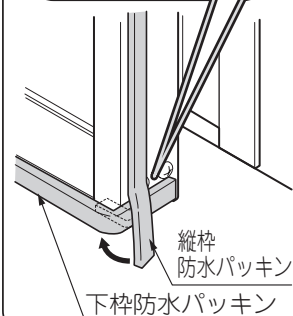
下枠

A

下枠防水
パッキン

《方立て側》

穴を隠すように
曲げる。

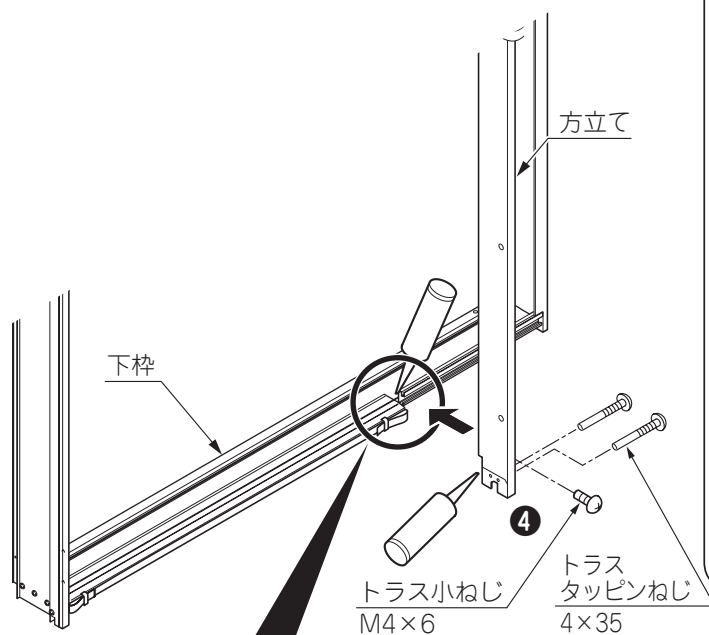


組み立て時、シーリング材を塗布しない。
 （はみ出したシーリング材により、水が
流れにくくなります。）

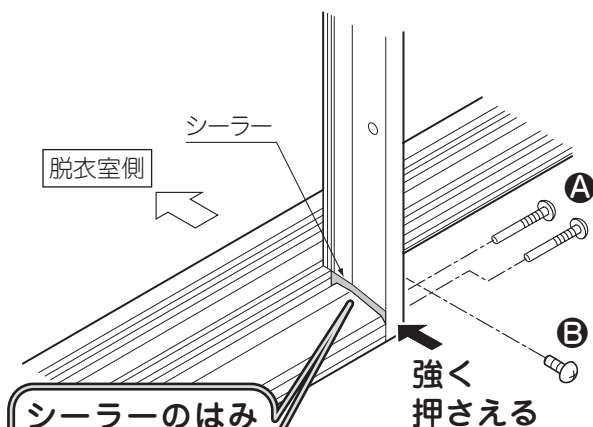
※A部（2か所）

④下枠に方立てを取り付ける。

- ・方立ては下枠に対し、垂直にセットしてください。
- ・方立てと下枠のシーラーのはみ出し部は均一（目安寸法：1～2mm）になるようにしてください。



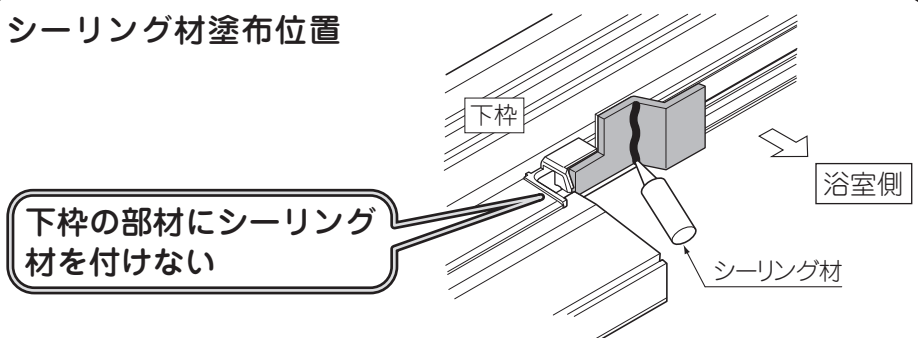
方立てを強く押さえ、**A**のねじを固定した後、**B**のねじを固定する。



シーラーのはみ出し部は均一に

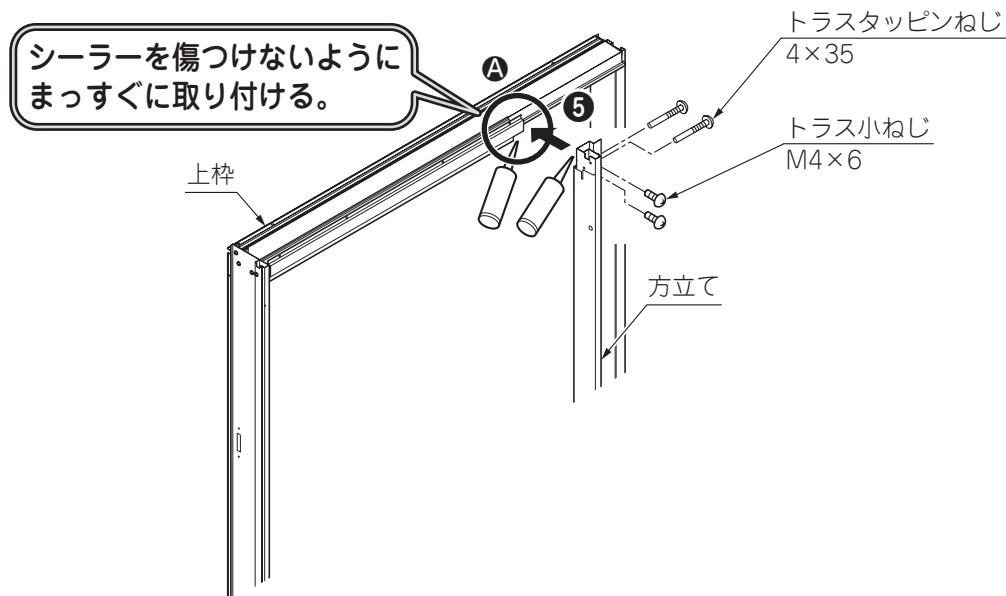
はみ出したシーリング材はふき取る。

シーリング材塗布位置



⑤上枠に方立てを取り付ける。

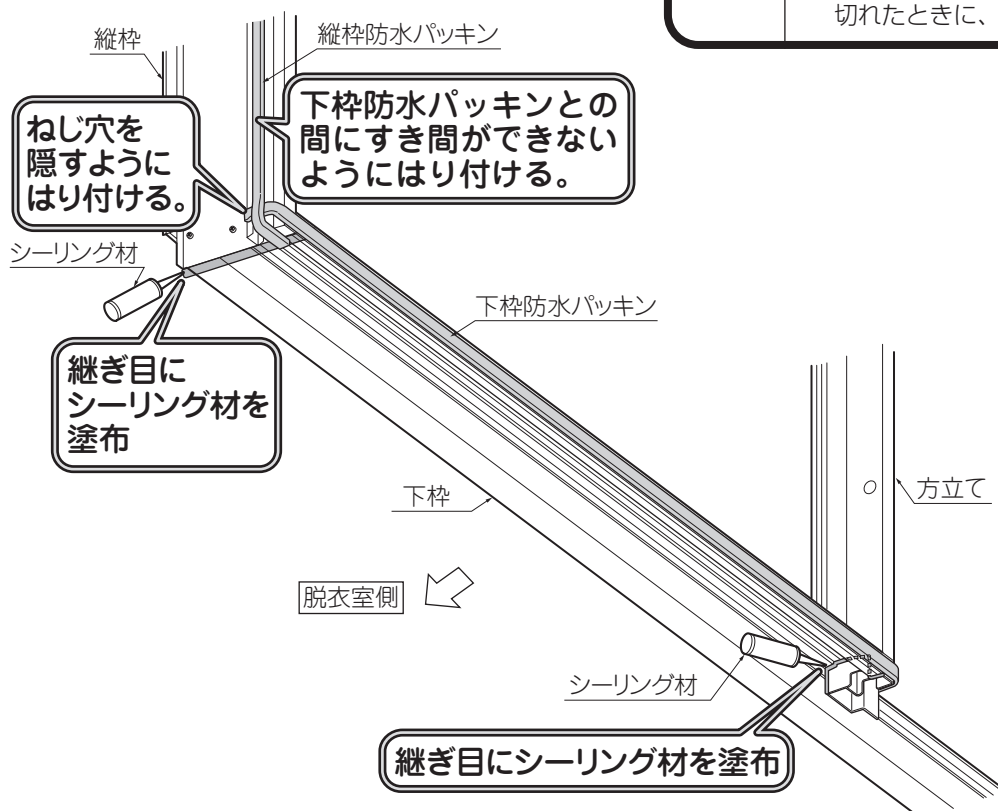
・方立ては上枠に対し、垂直にセットしてください。



⑥下枠と縦枠の継ぎ目、下枠と方立ての継ぎ目にシーリング材を塗布する。

⑦下枠防水パッキンを縦枠側に折り返して、縦枠にはり付ける。(反対側も同様)

⑧同様にして縦枠防水パッキンを折り返して、下枠にはり付ける。(反対側も同様)



⚠ 注意



必ず守る

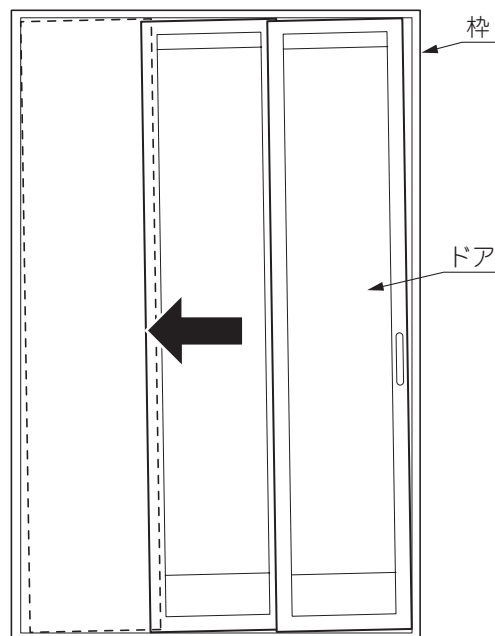
- 引き戸の縦枠防水パッキンは、下枠防水パッキンとの間にすき間ができないようにはり付ける
(すき間があると、ドア枠のシーリング材が切れたときに、水漏れの原因となります。)

2 ドア枠のレベル出し

<重要>

- ・ 次の「ドア下のシーリング材充てん」を行う前に、必ずドア枠を仮置きして、正確にレベル出しを行ってください。

少しでもレベルが出ないと、いくら戸先ですき間の調整を行っても、方立て部で上下のすき間が発生します。

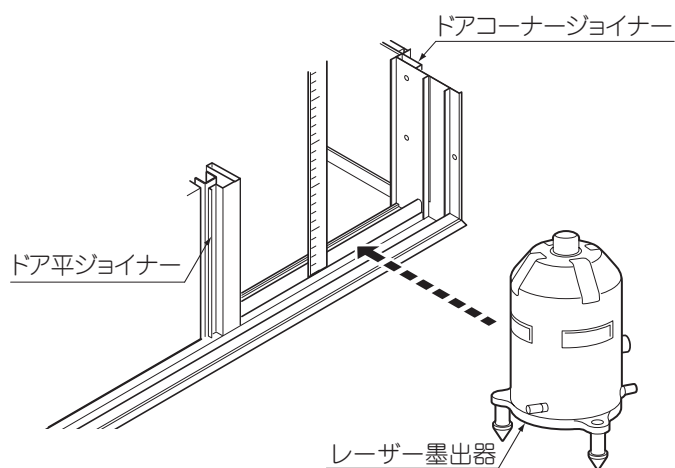


① ドア枠を仮置きし、下枠の水平度を確認する。

- ・ 障子を入れると、枠とのすき間が確認できます。

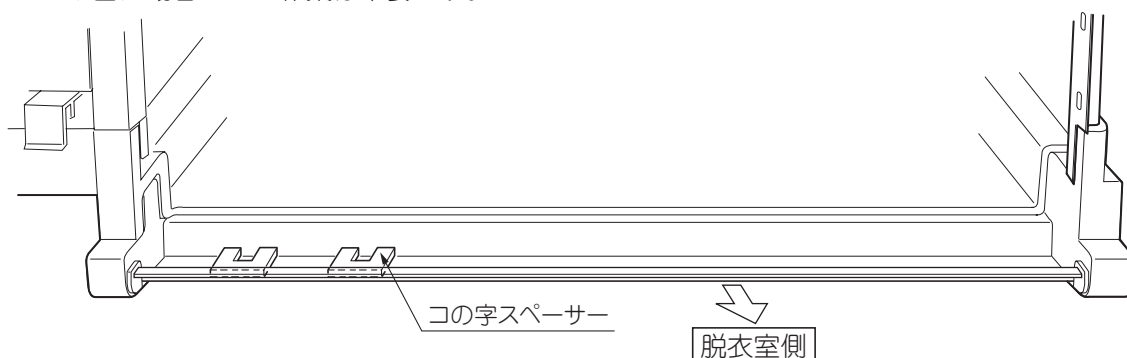
② 上下にすき間違いが生じた場合、床のアジャスターボルトで再度床の水平調整を行う。

- ・ 上下2mmまでのすき間違いは許容範囲内です。



③ 床での調整がうまくいかない場合のみ、床パンのドア載せ面にコの字スペーサーを入れる。

- ・ ②でレベルが出た場合、この作業は不要です。



3 ドア下のシーリング材充てん

①床パンのドア載せ面（部）にシーリング材を塗布する。

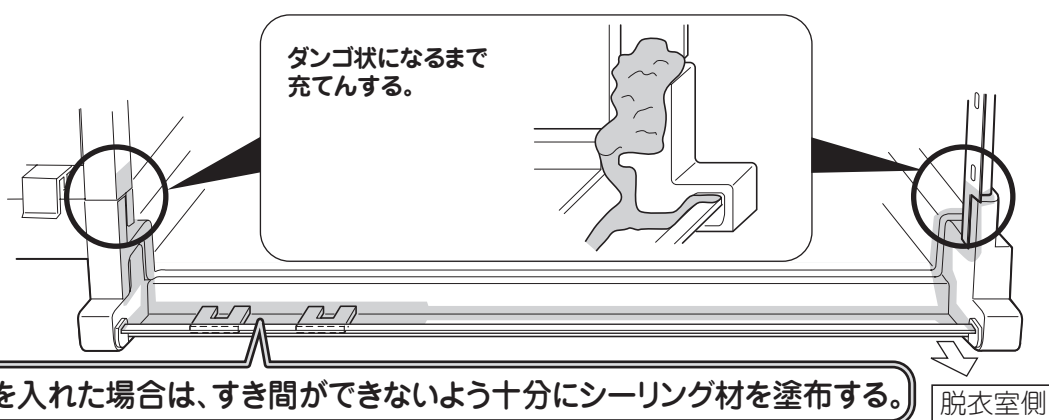
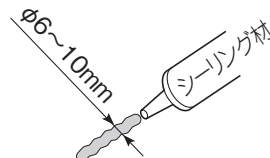
⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

取付設置上のお願い

- φ6～10mm程度
の太さになるまで、
シーリング材を塗
布してください。



脱衣室側

4 ドア下枠のパッキンはり付けとドア枠の取り付け

120、121ページを参照ください。

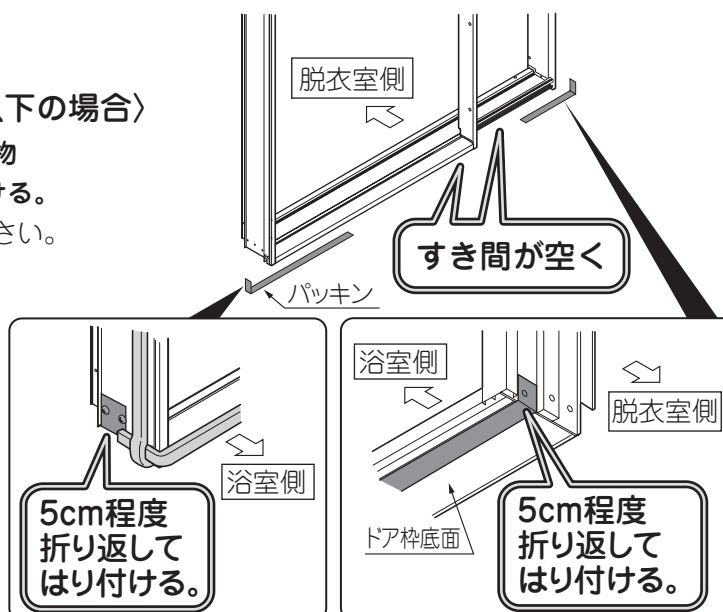
〈専用架台 脱衣室FL～土台天端44mm以下の場合〉

ドア枠を床に載せる前に、パッキン（専用架台小物
セットに付属）2本を、ドア下枠の底面にはり付ける。

- ・5cm程度を縦枠に折り返して、はり付けてください。

取付設置上のお願い

- ドア下枠のパッキンは確実にはり付けて
ください。
(確実にはり付けないと、ドア下枠が専用架
台に干渉して音鳴りの原因となります。)



5 縦枠の固定

121ページを参照ください。

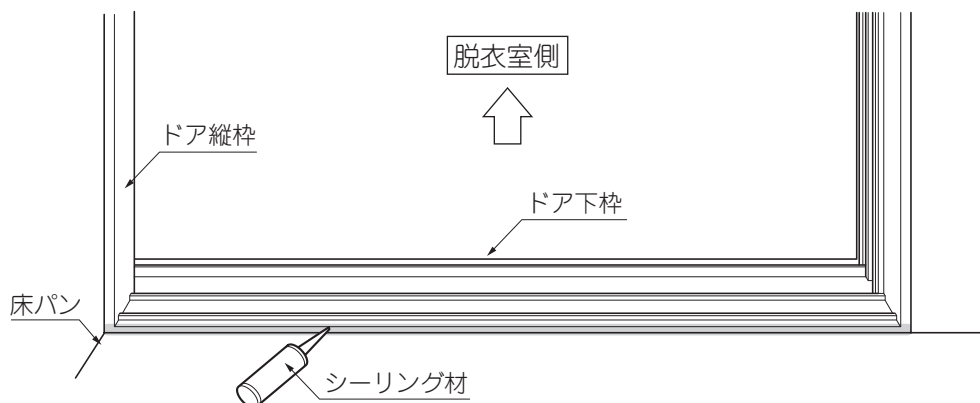
6 下枠レール・下枠前カバーの取り付け

- ① ドア枠と洗い場床パンの境い目にシーリング材を塗布する。

⚠ 注意

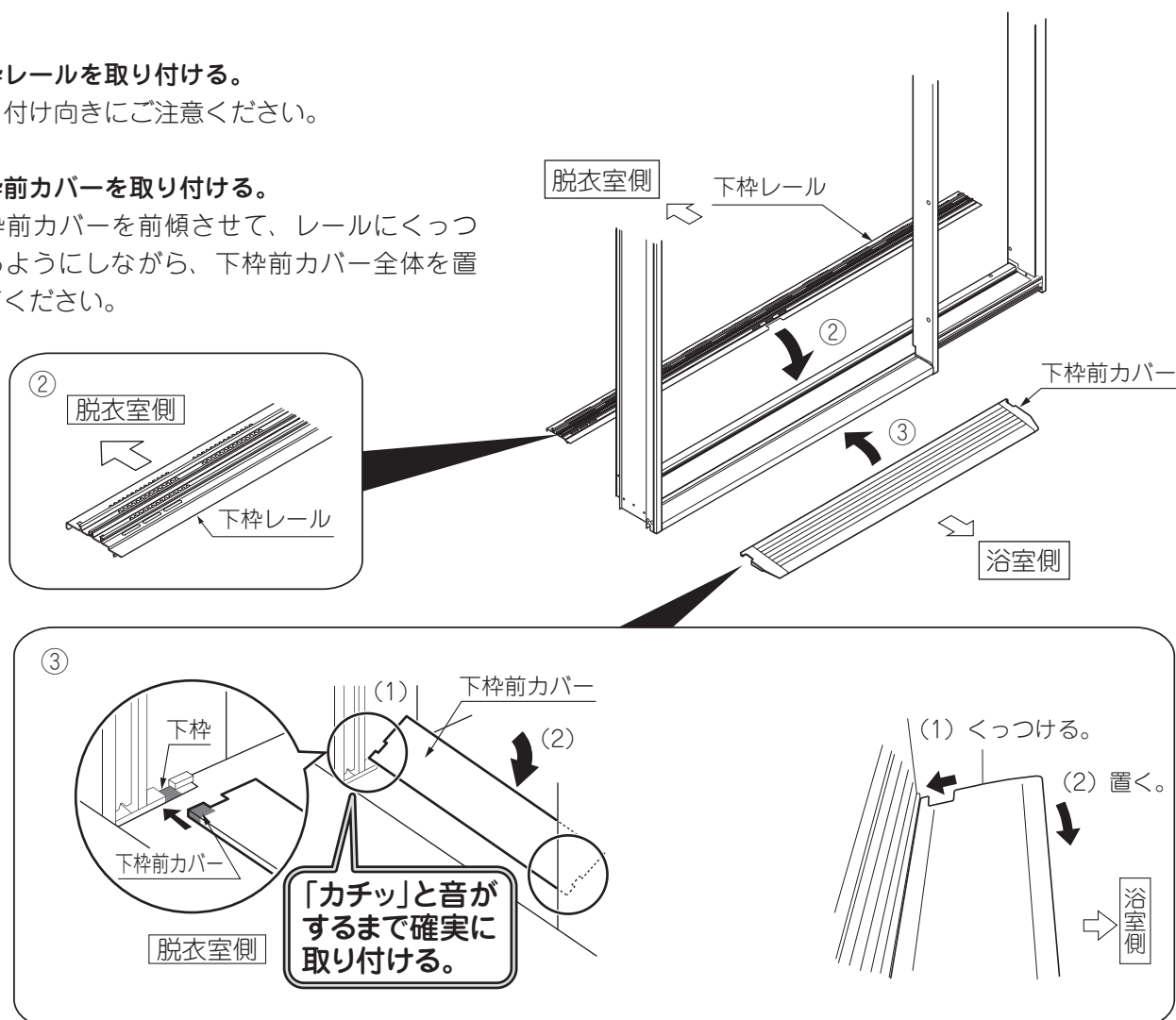


- シーリング材充てんは指定個所に確実にを行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



- ② 下枠レールを取り付ける。
・ 取り付け向きにご注意ください。

- ③ 下枠前カバーを取り付ける。
・ 下枠前カバーを前傾させて、レールにくっつけるようにしながら、下枠前カバー全体を置いてください。



本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

5 ドア上小壁の取り付け

1 部材・部品リスト

単位：mm

	ドア上小壁	目地セット	ジョイナーセット	小物セット
2枚折りドア・スイングドア・ 片引き戸・2枚引き込戸の場合			コーナージョイナー 平ジョイナー(長) 	コーナー上ブロック 平上ブロックL(黒色) R(白色) ドリリングなベタツピンねじ 4×16 壁下バックアップ材 (パッキン：黒) t3×W5×L1400
3枚引き戸の場合			コーナージョイナー 平ジョイナー(長) 平ジョイナー(短) 	ドリリングなベタツピンねじ 4×16 壁下バックアップ材 (パッキン：黒) t3×W5×L1400

※ドア位置移動の場合は、コーナージョイナー→平ジョイナー、コーナー上ブロック→平上ブロックになります。

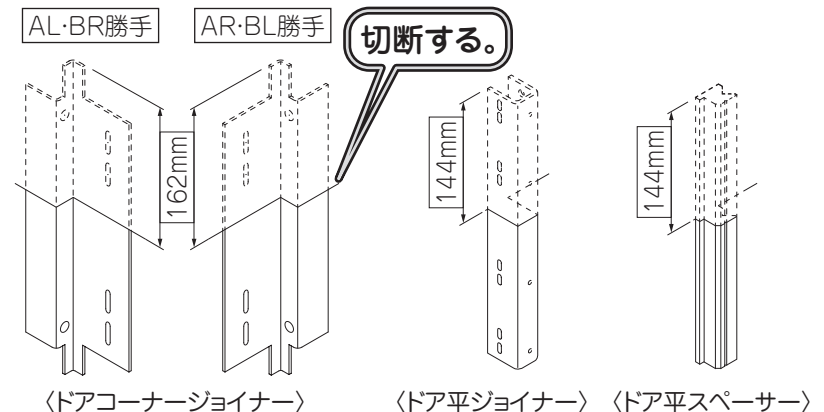
2 ジョイナーの切断とパッキンのはり付け

- ①ドアコーナージョイナー・ドア平ジョイナー・ドア平スペーサーを切断する。
・ジョイナー取り付け時に嵌合部が平らになるよう、バリを取り除いてください。

警告



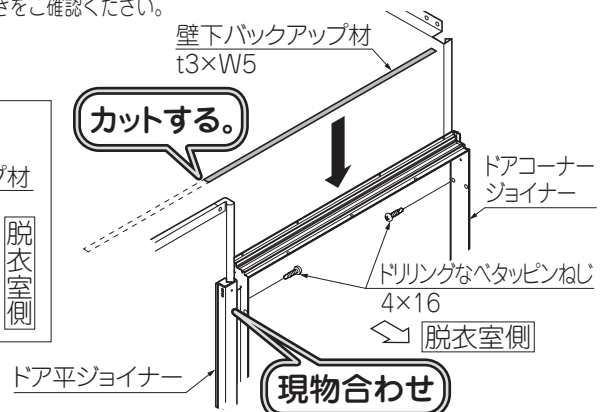
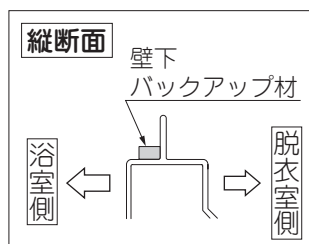
●壁パネルの開口やジョイナーを切断する際は、必ず保護メガネなど保護具を着用して作業を行う
(飛び散った切りくずが目に入っ
てけがをするおそれがあります。)



- ②ドア上枠に壁下バックアップ材(黒)をはり付ける。

- ③カットしたドアジョイナーを壁に取り付ける。

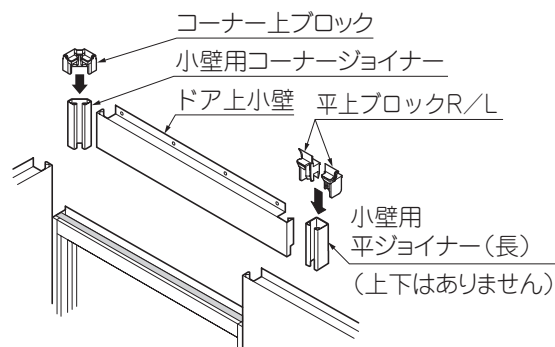
・ドアジョイナーの最上段は、付属のドリリングタッピンねじで、現物合わせで取り付けてください。



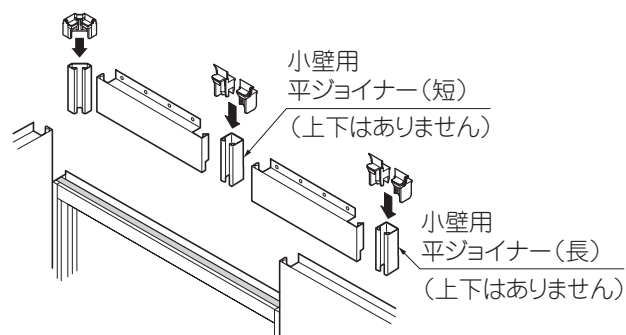
3 ドア上小壁の取り付け

- ①（ドア枠取り付け後）ドア上小壁をドア上に載せる。
- ②小壁用ジョイナー・コーナー上ブロック・平上ブロックR/Lを取り付ける。

〈2枚折りドア・スイングドア・片引き戸・2枚引き込戸の場合〉



〈3枚引き戸の場合〉



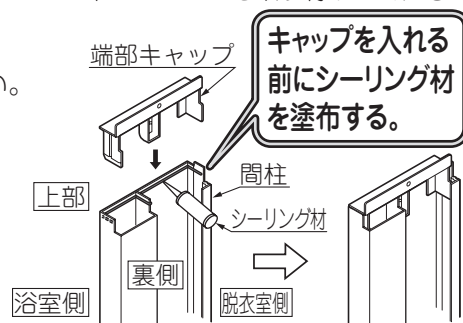
※ドア位置移動の場合は、コーナージョイナー→平ジョイナー、コーナー上ブロック→平上ブロックを取り付けてください。

- ③（間柱ドアの場合）間柱上部に端部キャップを取り付ける。

※その後の手順は、バスルームの取付設置説明書【本体編】を参照ください。

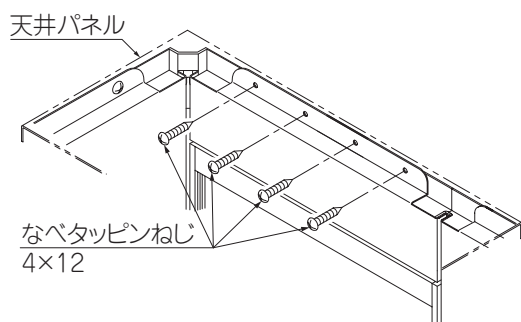
- ④天井を取り付ける。

※バスルームの取付設置説明書【本体編】を参照ください。

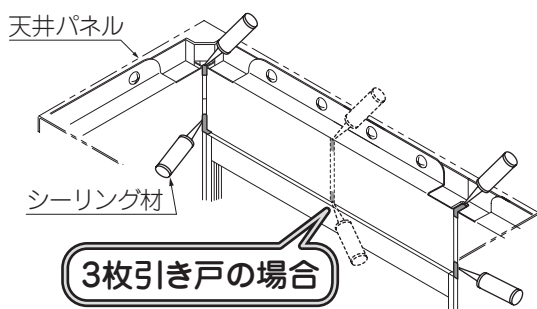


4 天井の組み立てとドア上小壁の固定

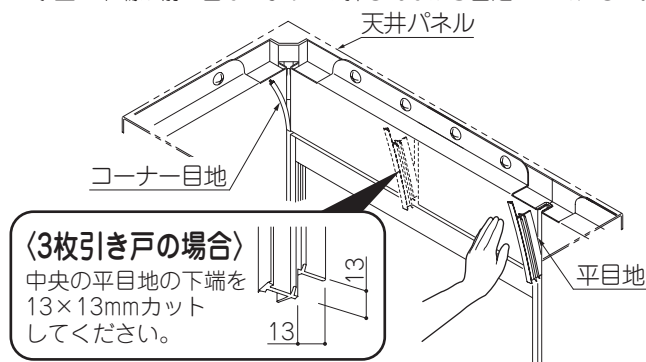
- ①ドア上小壁と天井を固定する。



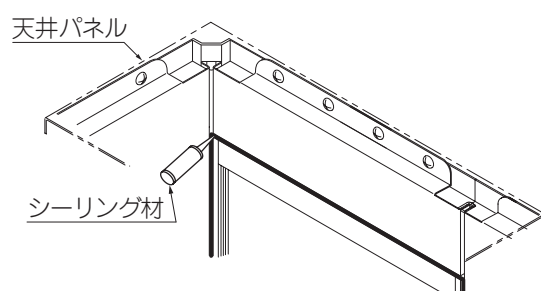
- ②目地を打ち込む前に上、下端から2~3cm程度シーリング材を塗布する。



- ③コーナー目地・平目地を打ち込み治具を使って下から打ち込む。
・小壁の下端が前に出ないように、押さえながら固定してください。



- ④（バスルームの取り付け作業がひととおり終了後）ドア上小壁の下部にシーリング材を塗布する。



7. 天井の設置

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

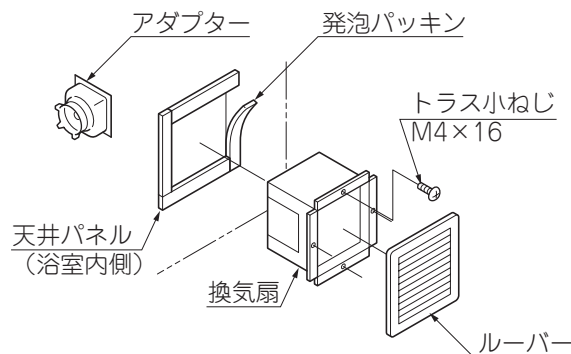
1 天井組み立て前の作業

※以下の器具の有無はプランにより異なります。

1 換気扇の取り付け

※換気扇の取り付けは、天井パネルを壁パネルの上に載せる前に行ってください。

- ①浴槽側天井パネルの換気扇取り付け位置の周囲に発泡パッキンをはり付ける。
- ②換気扇を取り付ける。



2 暖房換気乾燥機（電気式）の取り付け

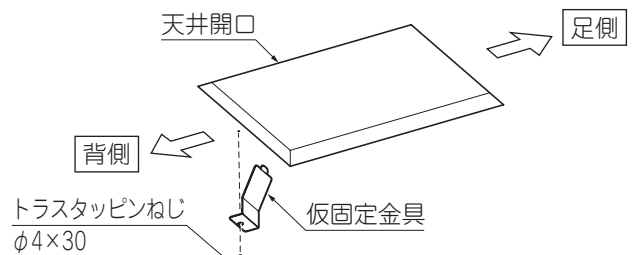
・ 詳細については、商品に付属の取付設置説明書を参照ください。

①天井パネルに仮固定金具を取り付ける。

- ・ 天井開口の排気方向と逆側の中心に仮固定金具を当て、付属のトラスタッピンねじ（φ4×30）で固定してください。

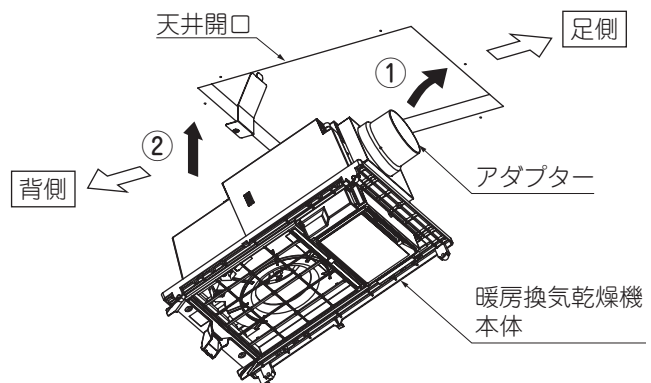
取付設置上のお願い

- 仮固定金具は天井開口とすき間がないように取り付けてください。（天井開口の内側にずれて取り付けられると、仮固定ができなくなるおそれがあります。）



②暖房換気乾燥機本体を天井開口差し込み、仮固定金具で固定されるまで全体を押し上げる。

- ・ 暖房換気乾燥機本体を傾けてアダプター側から差し込んでください。

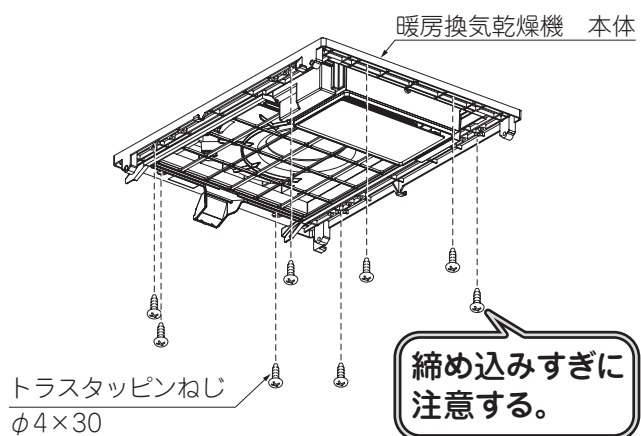


③付属のトラスタッピンねじ（ $\phi 4 \times 30$ ）8本で、暖房換気乾燥機本体を固定する。

※ねじの締め込みすぎに注意してください。

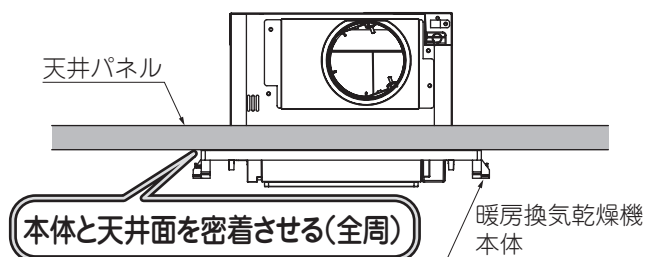
取付設置上のお願い

- 必ず図の指定した穴に、ねじを締め付けてください。（開口寸法によって、指定した穴以外にねじを締め付けると、本体を確実に固定できなくなる場合があります。）



④フランジが天井面に密着していることを確認する。

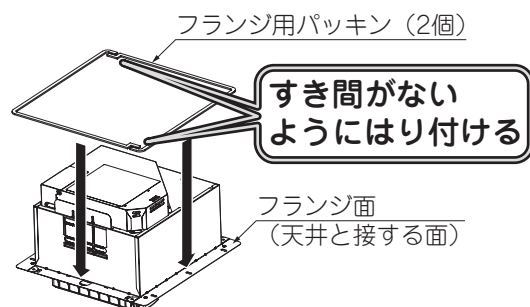
※密着していないとフロントパネルと天井の間に、すき間の発生や風漏れの原因になります。



3 オートルーパー暖房換気乾燥機の取り付け

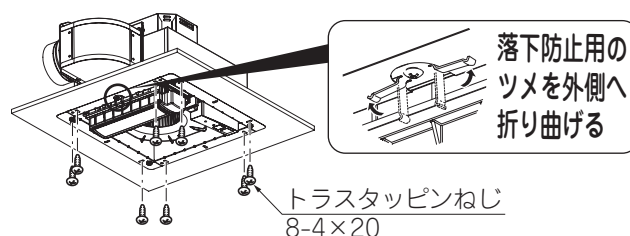
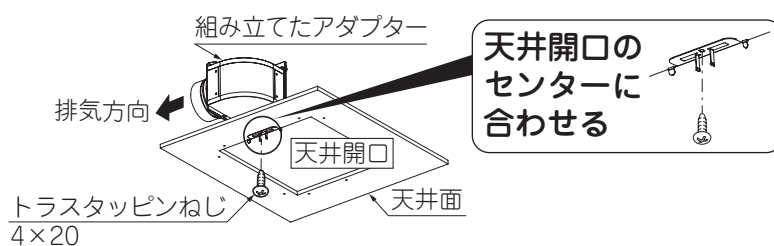
・ 詳細については、商品に付属の取付設置説明書を参照ください。

① フランジ用パッキンをはり付ける。



② オートルーパー暖房換気乾燥機本体を、天井に取り付ける。

・ ダクトを接続する前に、アダプターを組み立て、天井に取り付けてください。

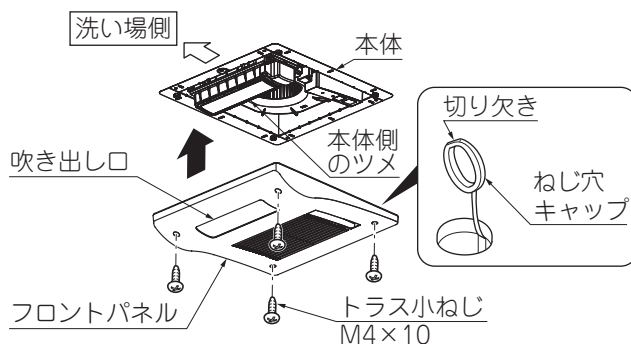


③ フロントパネルを取り付ける。

・ フロントパネルに付いているねじ穴キャップ(4個)をはずし、ねじ留めしてください。

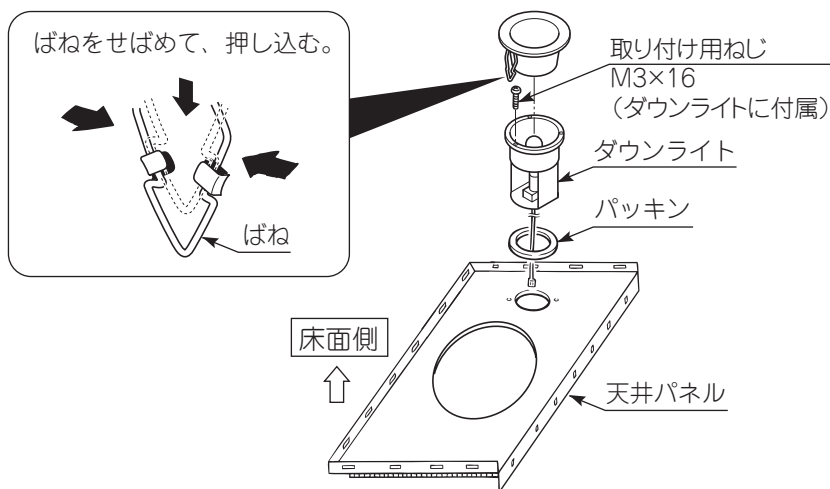
・ ねじ留め後、ねじ穴キャップを元通り取り付けてください。

・ 吹き出し口が洗い場側を向くように、フロントパネルを取り付けてください。



4 ダウンライトの取り付け

①ダウンライトを取り付ける。



警告



必ず守る

- 取付設置は取付設置説明書にしたがい確実に行う
(取付設置に不備があると火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。)
- 照射近接限度内にドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように考慮して取り付ける
(照射物の変色・火災によるけがのおそれがあります。)
- 屋内配線の電源・ケーブル等はダウンライトに接触しないようにする
(火災によるけがのおそれがあります。)
- 付属の補強合板は必ずはり付け、ダウンライトを天井面に着くまでしっかりと差し込む
(補強合板をはらなかつたり差し込みが不十分な場合、ダウンライトが落下するおそれがあります。)
- 断熱材・防音材をかぶせて使用しない
(火災の原因となります。)

【補強合板のはり付け】

①補強合板（付属）のテープのはく離紙をはがす。

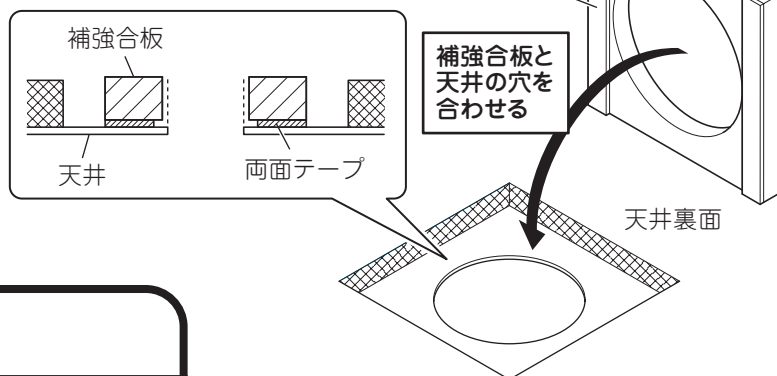
※天井穴の位置に合わせてはり付けてください。

警告



必ず守る

- 補強合板は必ずはり付ける
はり付けない場合、器具が落下するおそれがあります。



注意



必ず守る

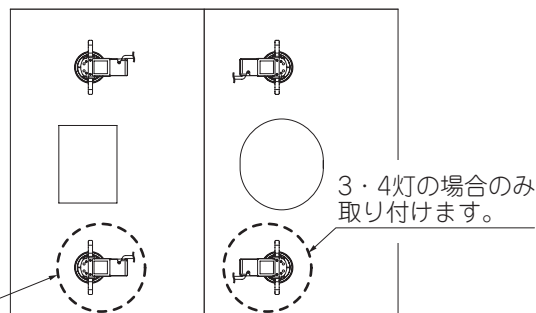
- 補強合板と天井の穴の位置を確実に合わせる
ずれると器具の差し込みができなかつたり、すき間が発生し水漏れのおそれがあります。

〈器具の取り付け方向〉

取付設置上のお願

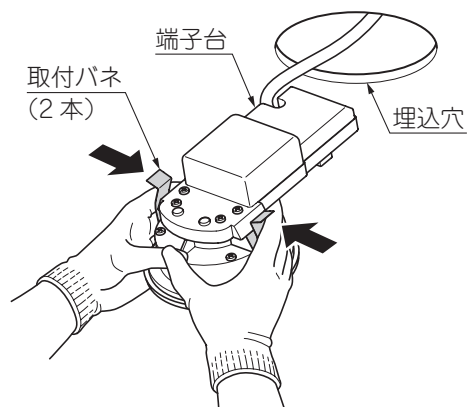
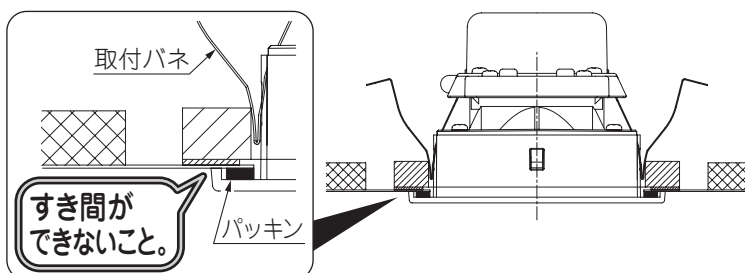
- 取り付け前に必ず向きを確認してください。

4灯の場合のみ
取り付けます。



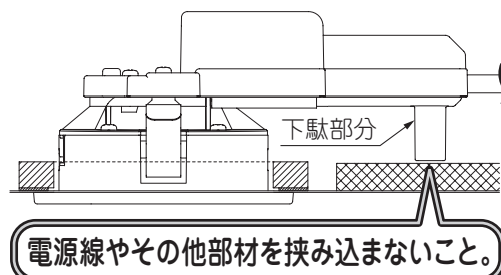
【器具の取り付け】

- ① 電源線を埋込穴へ先に通しておく。
- ② 取付パネ(2本)を同時に押さえながら、端子台側から埋込穴に押し込む。



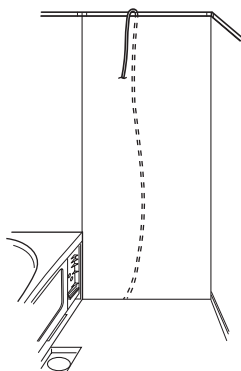
取付設置上のお願

- 器具取り付けの際、天井を傷付けないように注意してください。
- 取り付け時にパッキンを破損しないようにしてください。
- 本体後方の下駄部分に電源線やその他部材などが挟み込まれると天井との間にすき間ができてしまうため、挟み込まないようにしてください。



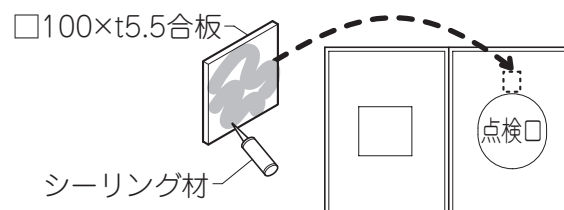
5 電気器具類の取り付け準備

- ① 照明器具用電源ケーブルの先端を壁パネルの上から浴室内側に垂らしておく。



6 ジョイントボックスの取り付け前の準備

- ① 点検口側の天井裏面に□100×t5.5合板をはり付ける。
※合板のはり付け位置は、換気扇ダクト経路の下にならない点検口の周囲に、シーリング材ではり付けてください。
※天井を設置する前にはり付けてください。



本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

取付設置上のお願い

- 電気器具のケーブル類は、天井組み立て時に上に載せ、落ちないようにテープで固定してください。
- 電気器具関連部材の取付設置時は、電源線と信号線を束ねないでください。

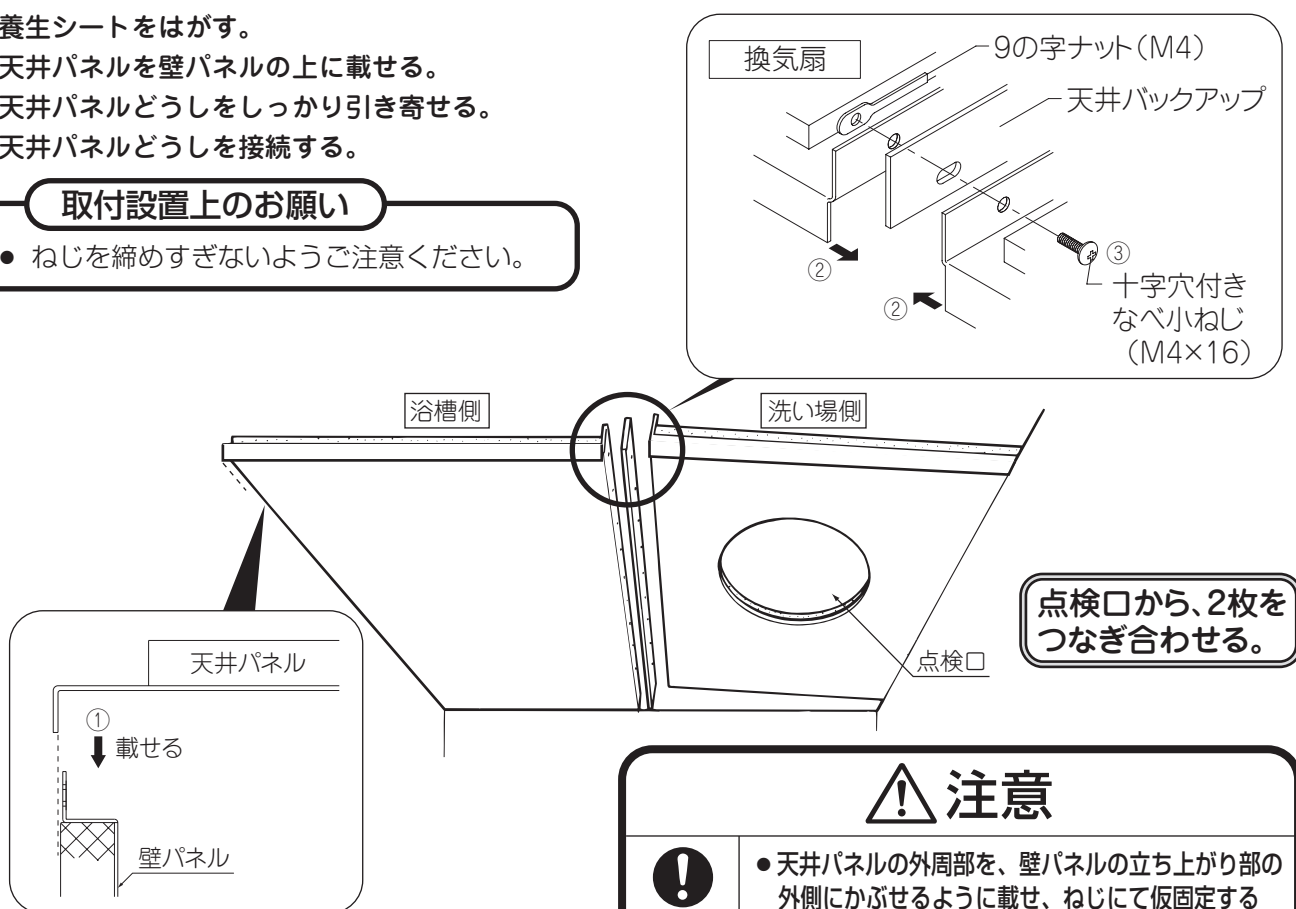
2 フラット天井の組み立て

1 天井パネルの接続

- ①養生シートをはがす。
- ②天井パネルを壁パネルの上に載せる。
- ③天井パネルどうしをしっかりと引き寄せる。
- ④天井パネルどうしを接続する。

取付設置上のお願い

- ねじを締めすぎないようにご注意ください。



⚠ 注意



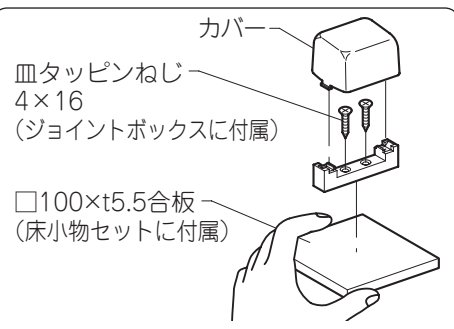
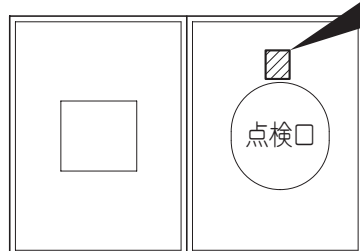
必ず守る

- 天井パネルの外周部を、壁パネルの立ち上がり部の外側にかぶせるように載せ、ねじにて仮固定する（落下し、けがや破損のおそれがあります。）

2 ジョイントボックスの取り付け

- ①天井裏面の□100×t5.5合板にジョイントボックスを取り付ける。

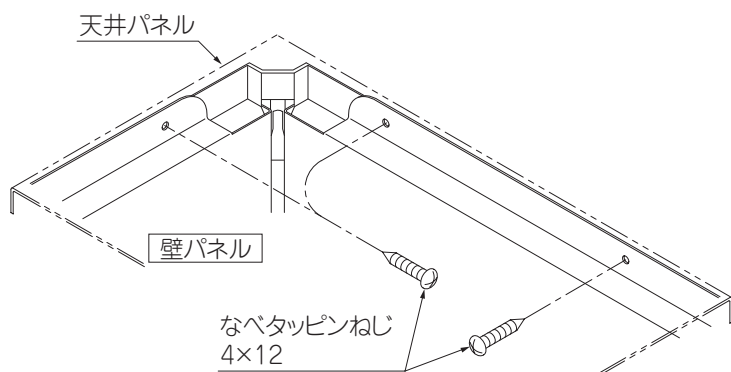
※合板をねじで固定する際は、合板を手で押さえながら取り付けてください。



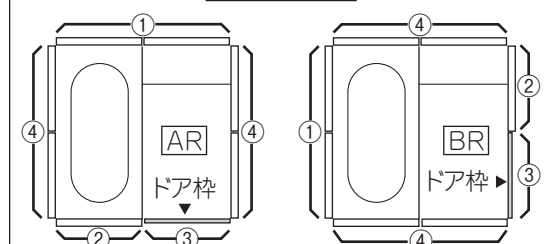
3 壁パネル・ドア枠と天井の接続

1 壁パネル・ドア枠と天井の接続

①図の順序で、浴室内から天井パネルと壁パネル・ドア枠を接続する。



接続順序



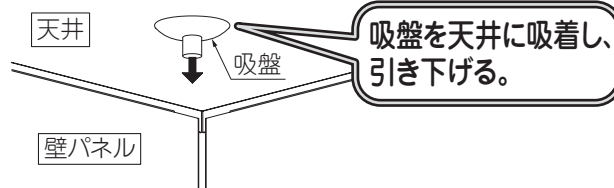
※①の接続後に、ドア枠鉛直度の調整（詳細は下記参照）を行ってください。

①→ドア枠鉛直度調整→②→③→④の順となります。

取付設置上のお願い

〈フラット天井のコーナー部が反り上がり天井固定の穴位置が合わない場合〉

- 吸盤（現地調達 耐荷重2kg以上）を使用して、天井のコーナー部を引き下げてください。



2 ドア枠鉛直度の調整

〈左右方向の建ち調整が必要な場合〉

①いったんドア枠の固定ねじを緩める。

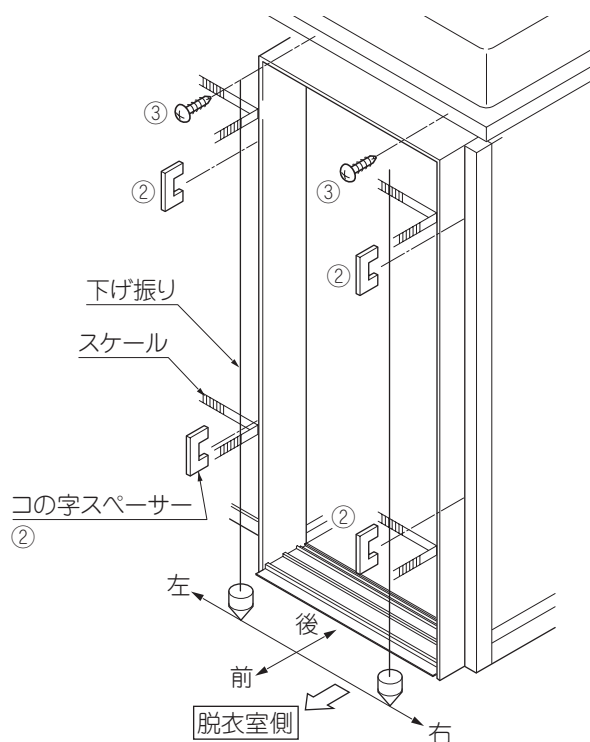
②起こしたい側にコの字スペーサーを挿入し、固定ねじを締め直す。

〈前後方向の建ち調整が必要な場合〉

③脱衣室側から天井パネルの接続金具にタッピンねじを打って調整する。

取付設置上のお願い

- 基本的に、壁とドアは同一面納まりです。
- ドア枠の前後・左右の鉛直度（たおれ）は、2mm以下に調整してください。



4 壁と天井の仕上げ

1 壁パネルの目地打ち込み

①目地を打ち込む前に下端から2～3cm程度シーリング材を塗布する。

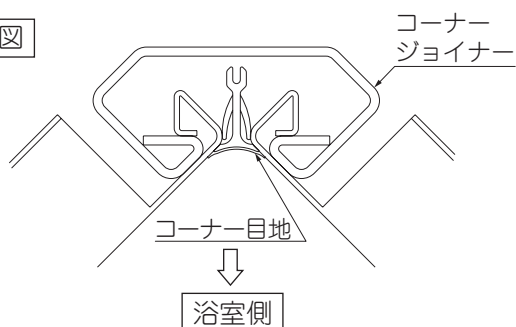
注意



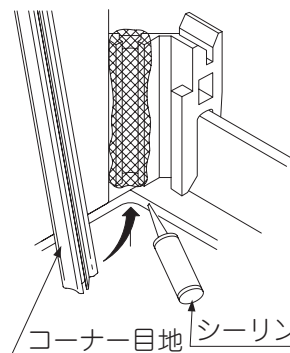
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

- ②上端から2～3cm程度、シーリング材を塗布する。
 - ③仮打ちした仮固定目地を外す。
 - ④平目地を打ち込み治具を使って下から打ち込む。
 - ⑤コーナー目地を打ち込み治具を使って下から打ち込む。
- ※壁上端よりも目地が飛び出す場合はカットしてください。

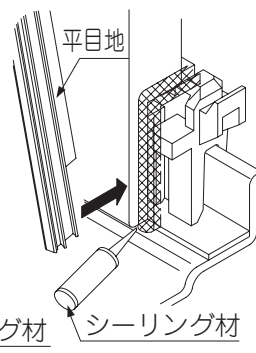
断面図



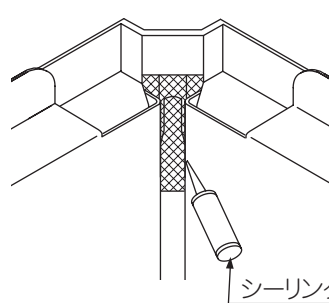
〈コーナー部〉



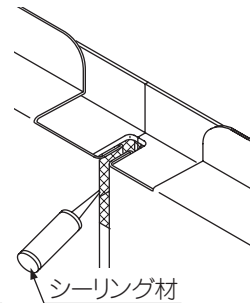
〈平部〉



〈コーナー部〉



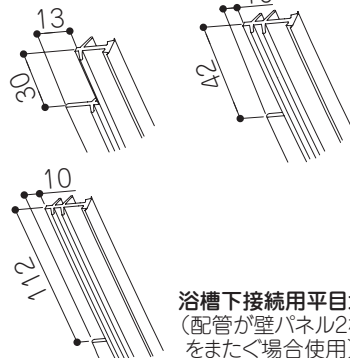
〈平部〉



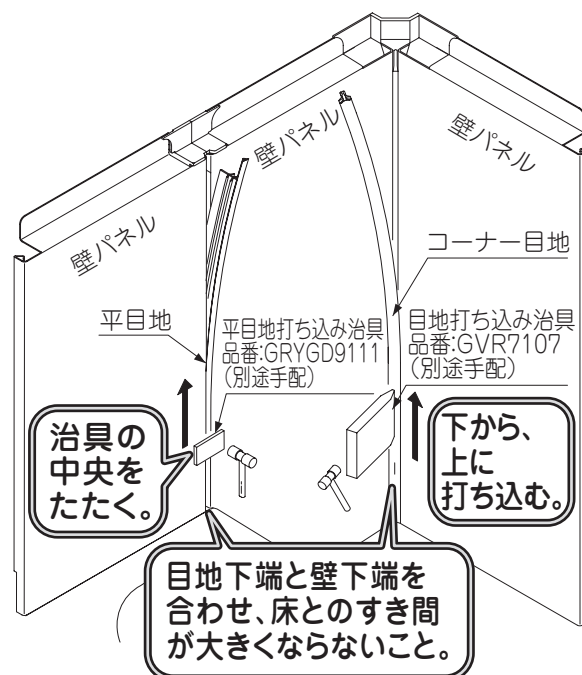
注意

- 平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む
(すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。)

〈上側〉 〈下側〉 10 (単位:mm)



必ず守る



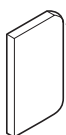
取付設置上のお願い

- 目地は力まかせに一気に打ち込まず、少しずつまんべんなく、打ち込み治具を使用して打ち込んでください。
(直接目地をたたいたり無理に打ち込むと、目地が割れたり壁が変形するおそれがあります。)
- 打ち込み治具の中央をたたいてください。(端部をたたくと、目地に打痕が付く場合があります。)

⑥平目地は奥目地になるように打ち込む。

- ・専用の打ち込み治具を縦にして打ち込んでください。

・目地の打痕を防ぐため、平目地打ち込み治具 (GRYGD9111) は、角を削って使用してください。



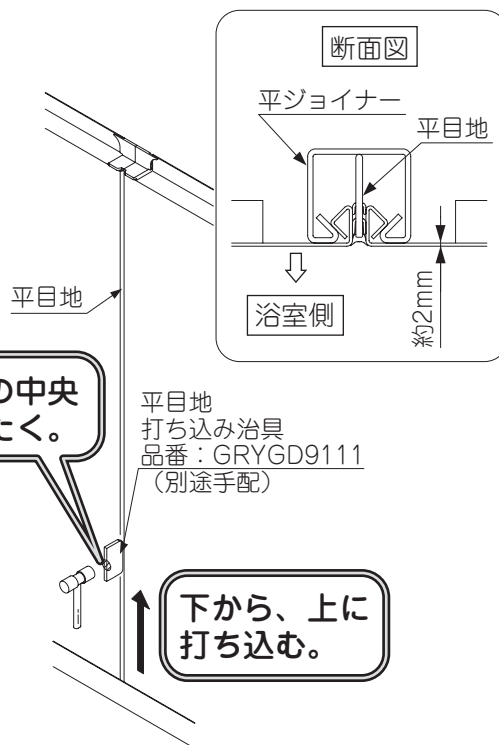
角を削る。

⚠ 注意



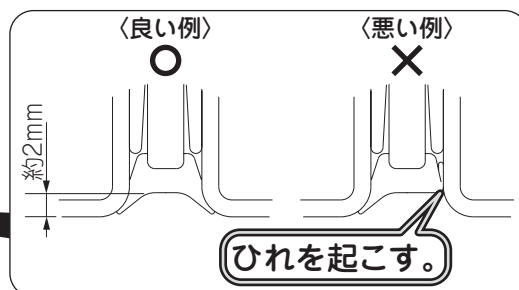
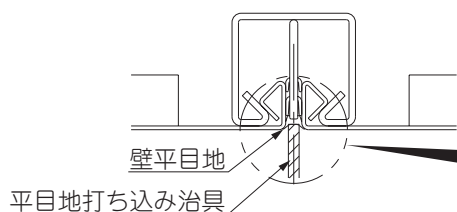
必ず守る

- 平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む
(すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。)

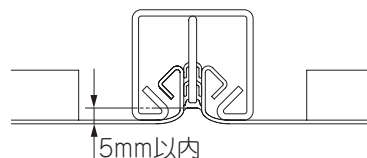


取付設置上のお願い

- 壁平目地は一度に打ち込まないで徐々にたたき込んでください。
(一度に打ち込むと、目地が破損するおそれがあります。)
- 打ち込み治具は平目地のセンターに当てて打ち込んでください。
(センターに当てないと、ひれが入り込むおそれがあります。
ひれが入り込んだ場合は先のとがった物で壁を傷付けないようにひれを起こしてください。)
- 打ち込み治具の中央をたたいてください。
(端部をたたくと、目地に打痕が付く場合があります。)



- 壁パネルは平目地部で盛り上がるがありますが、品質上問題はございません。



2 壁パネルの目地打ち込み

- ①平目地を打ち込む前に下端から2～3cm程度シーリング材を塗布する。

⚠ 注意

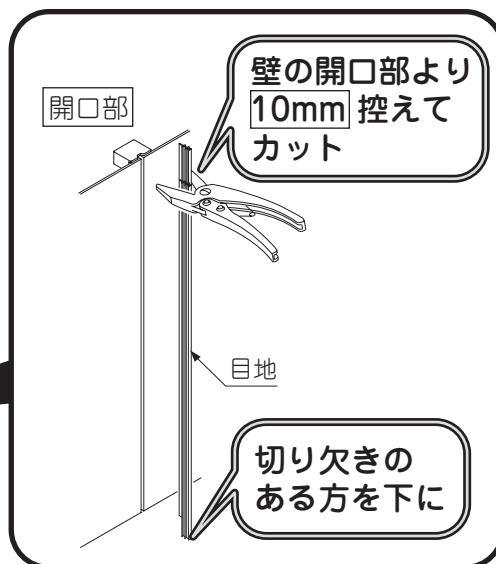
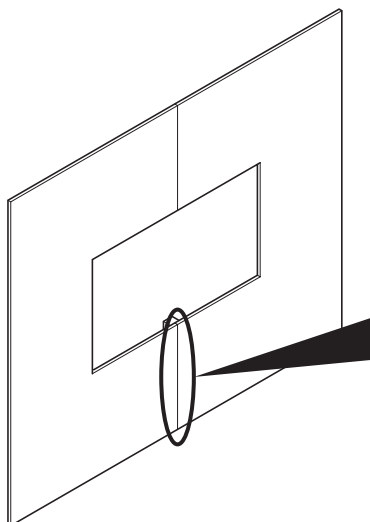


必ず守る

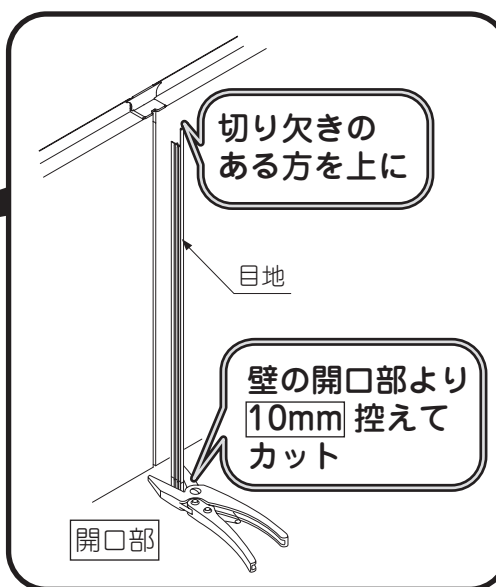
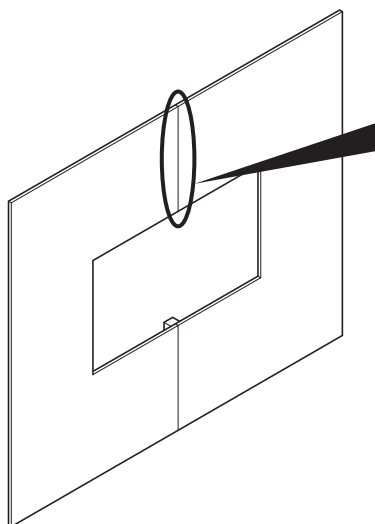
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、
水漏れの原因となります。)

- ②平目地を下部の壁に合わせて、
壁の開口部より10mm控えて
カットする。

- ③壁に平目地を打ち込む。
・目地は下（床側）から上へと
打ち込んでください。



- ④上の②でカットした目地の
残りを、上部の壁に合わせて
壁の開口部より10mm控えて
カットする。



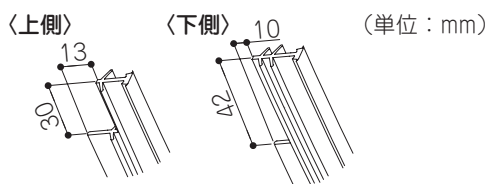
- ⑤目地の切り欠き部を壁の上端部に取り付け目地を打ち込む。

注意



必ず守る

- 平目地の上下の形状を確認し、目地と壁パネルの下端を合わせ、必ず下から上へ打ち込む（すき間が大きくなり、水漏れの原因となります。）

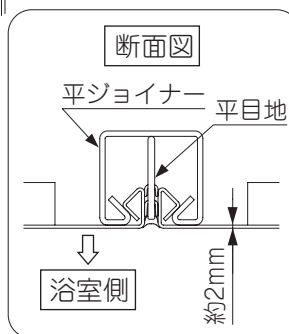
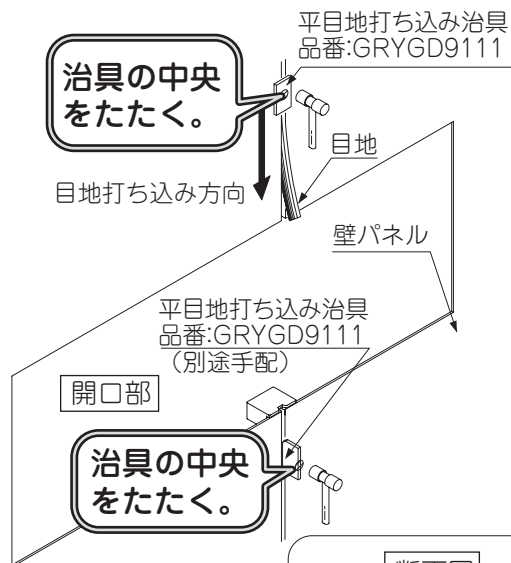


取付設置上のお願い

- 目地は力まかせに一気に打ち込まず、少しずつまんべんなく、打ち込み治具を使用して打ち込んでください。（直接目地をたたいたり無理に打ち込むと、目地が割れたり壁が変形するおそれがあります。）
- 打ち込み治具の中央をたたいてください。（端部をたたくと、目地に打痕が付く場合があります。）

- ⑥平目地は奥目地になるように打ち込む。

- ・専用の打ち込み治具を縦にして打ち込んでください。



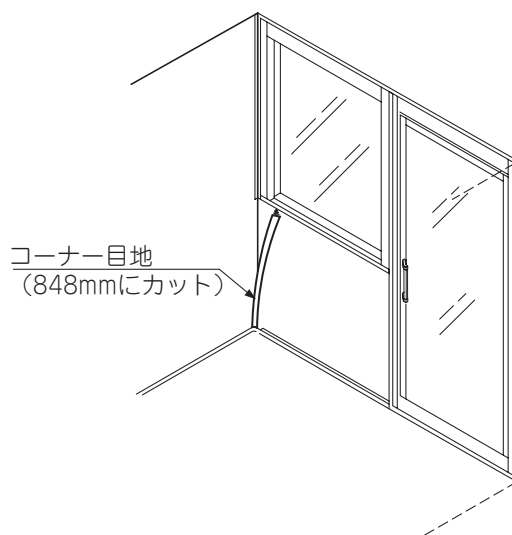
- ・目地の打痕を防ぐため、平目地打ち込み治具（GRYGD9111）は、角を削って使用してください。

角を削る。



3 壁パネルの目地打ち込み

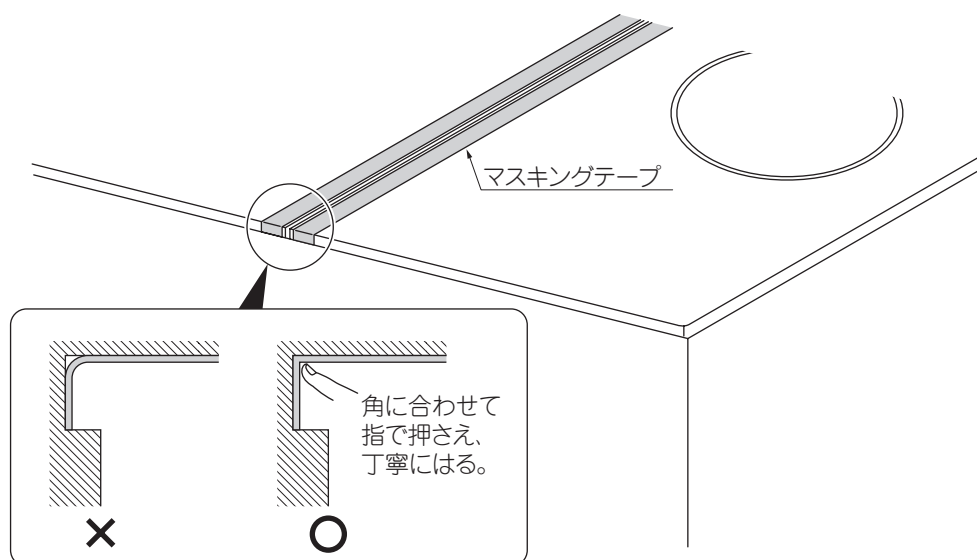
- ①壁パネルの目地打ち込み時に、FIX窓下壁パネルのコーナー側にコーナー目地を打ち込む。
- ・コーナー目地は長さ848mmにカットしてください。



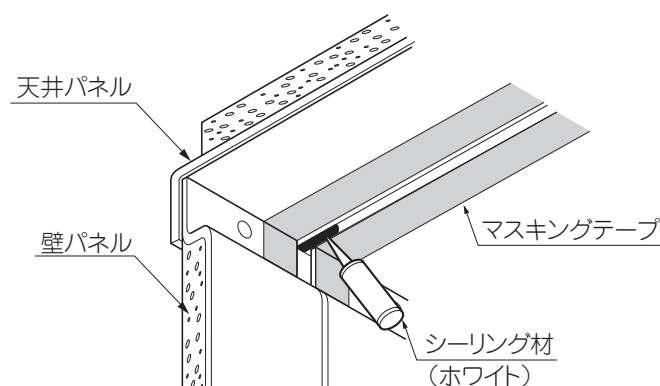
4 天井回し縁の取り付けとシーリング材充てん

①浴室内側の天井パネル連結部にマスキングテープをはる。

・連結部に沿って、両端に丁寧に貼ってください。



②天井回し縁を打ち込むと隠れてしまう天井パネル連結部にシーリング材（ホワイト）を塗布する。



⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

③天井回し縁をカットする。

- ・コーナー部分は、内寸から3～4mmあけ、シリコンバックアップに当たるようにカットしてください。
(天井回し縁カット長さの目安はユニット内寸-6mmになりますが、現物を確認してカットしてください。)

この面に
当たるよう
カットする。

3～4mmあけて
現物合わせてカット

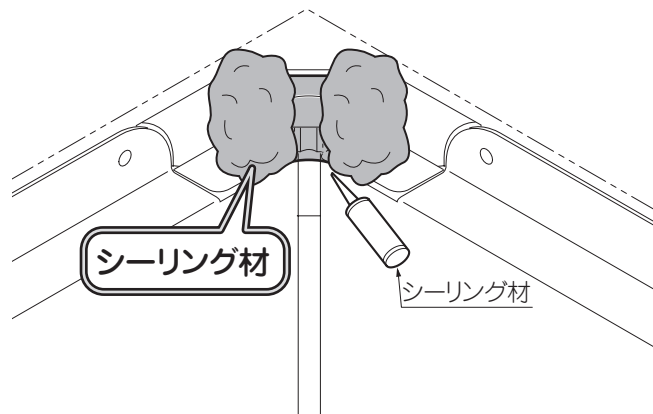
⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

④コーナー上ブロックに先行シーリング材を打つ。

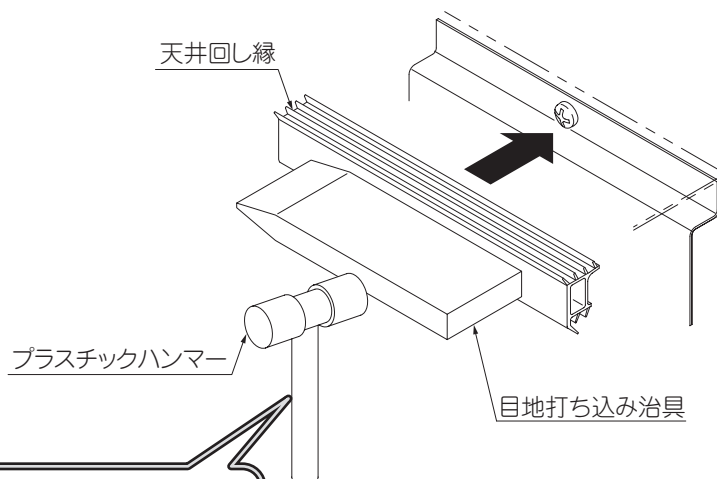
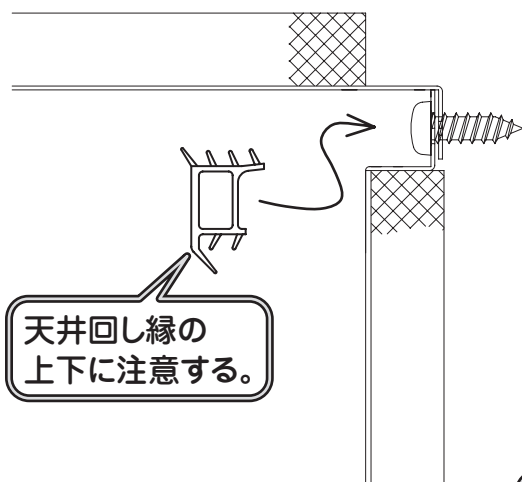


⑤天井回し縁を取り付ける。

- ・天井回し縁を取り付けるときは、ねじ位置をプラスチックハンマーで軽く打ち込んでください。
- ・天井回し縁はドアを含む全周取り付けます。

取付設置上のお願ひ

- 天井回し縁が倒れた場合は、天井を軽く押し上げると戻ります。



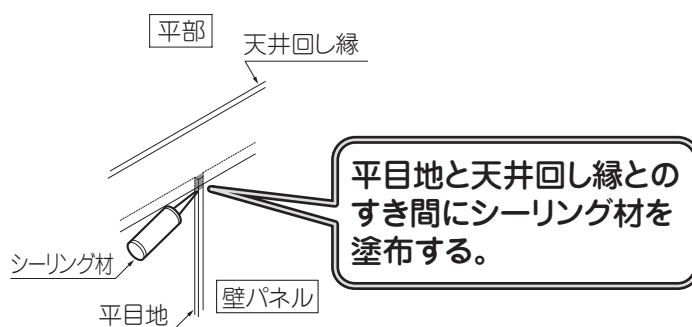
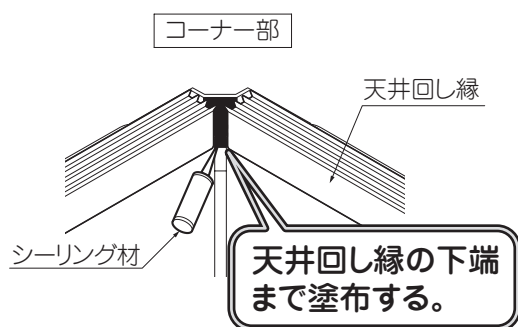
プラスチックハンマー
で軽く打ち込む。

⑥天井回し縁の突き合わせ部にシーリング材を塗布する。

⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

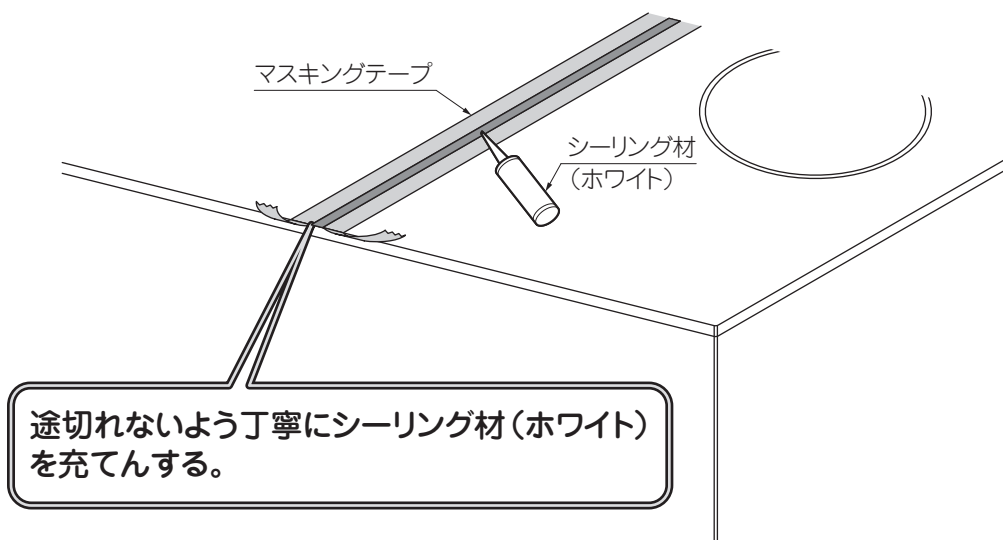


⑦天井パネルどうしの連結部に沿ってシーリング材
(ホワイ) を塗布する。

⚠ 注意



- シーリング材充てんは天井パネル連結
部に合わせて確実に
行う
(確実に施されていないと、水漏れの原因
となります。)

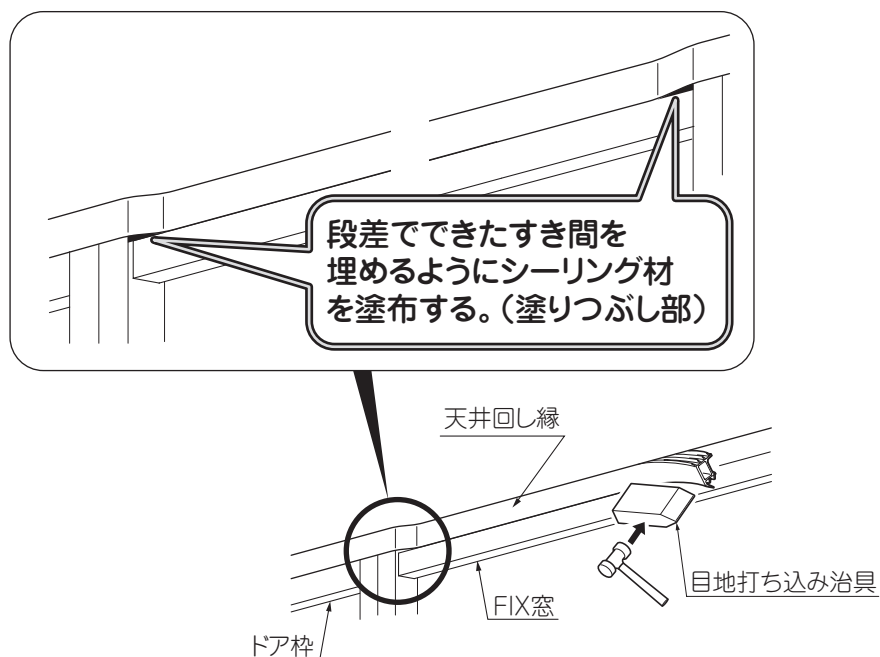


5 天井回し縁の取り付けとシーリング材充てん

① ドアおよびFIX窓の天井回し縁取り付け部のドア枠

付近にシーリング材をたっぷり塗布する。

- ・天井回し縁はFIX窓を含む全周取り付けます。



取付設置上のお願い

- 天井回し縁取り付け部は、FIX窓の縦枠と上枠を境にして段差があります。ドアおよびFIX窓と天井回し縁の間にすき間（段差）が発生した場合は、シーリング材充てんしてください。

⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）

8. 混合水栓の取り付け

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 混合水栓の取り付け

・ 洗い場水栓の場合は、169ページ、「10. 水栓の取り付け」を参照ください。

1 壁付水栓（洗い場側・浴槽側）の取り付け

・ 製品に付属の取付設置説明書を参照ください。

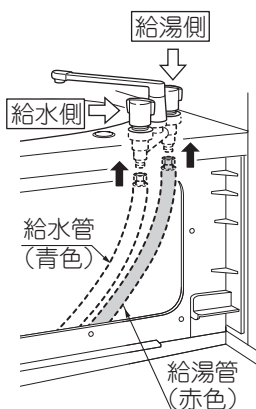
2 浴槽デッキ水栓の取り付け

① 混合水栓を浴槽に取り付け、給水・給湯管と接続する。

・ 混合水栓の取り付け方法については、製品に付属の取付設置説明書を参照ください。

〈R勝手の場合〉

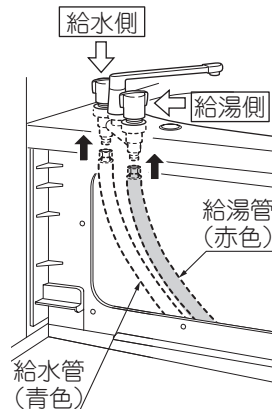
● 浴槽デッキ水栓



※図は1616サイズ以上の
場合です。

〈L勝手の場合〉

● 浴槽デッキ水栓

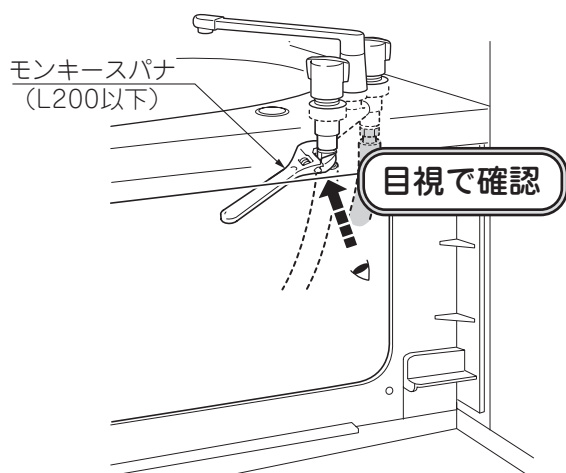


※図は1616サイズ以上の
場合です。

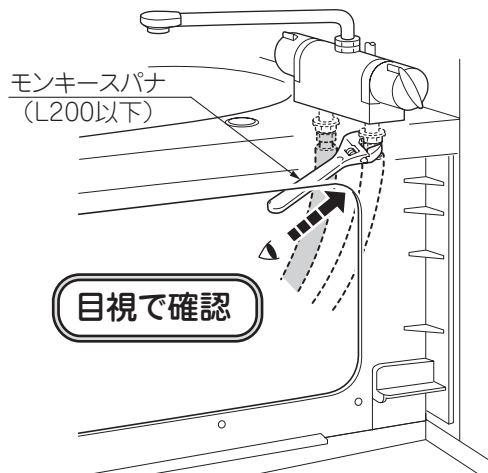
取付設置上のご願い

● 締め付けには、L200以下のモンキースパナを使用してください。

● 浴槽デッキ水栓



● 兼用浴槽デッキ水栓



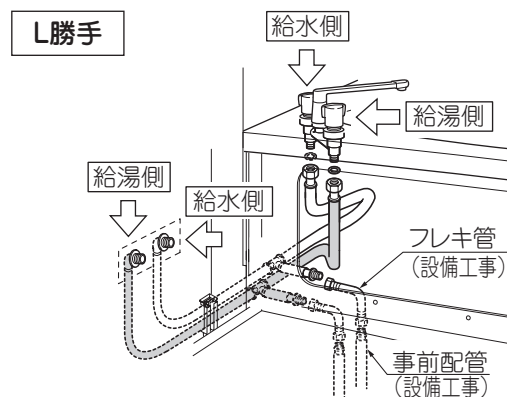
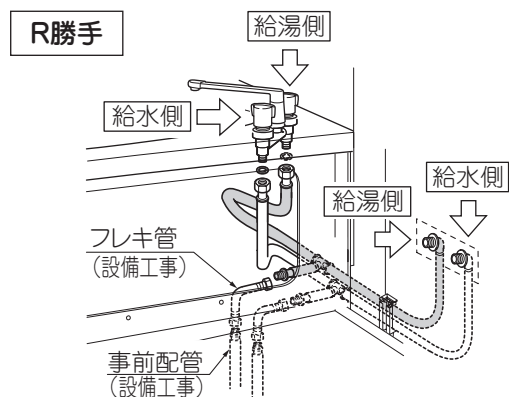
3 浴槽デッキ水栓の取り付け

①浴槽に混合水栓を取り付け、給水・給湯管と接続する。

・混合水栓の取り付け方法については、製品に付属の取付設置説明書を参照ください。

※デッキ水栓と配管の間にパッキンを入れてください。

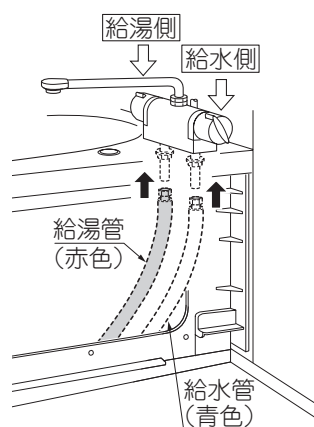
〈デッキ水栓と洗い場側壁付水栓を接続する場合〉



〈浴槽下接続裏配管Aあり選択時〉

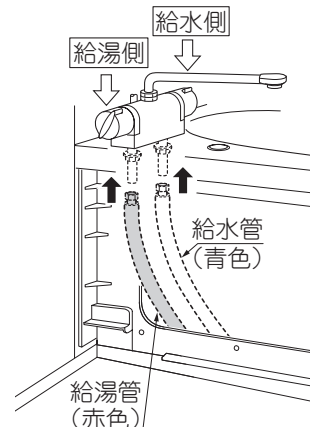
〈R勝手の場合〉

●兼用浴槽デッキ水栓



〈L勝手の場合〉

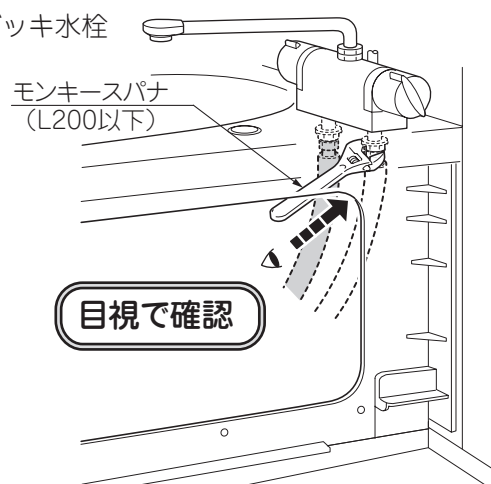
●兼用浴槽デッキ水栓



取付設置上のお願い

- 締め付けには、L200以下のモンキースパナを使用してください。

●兼用浴槽デッキ水栓



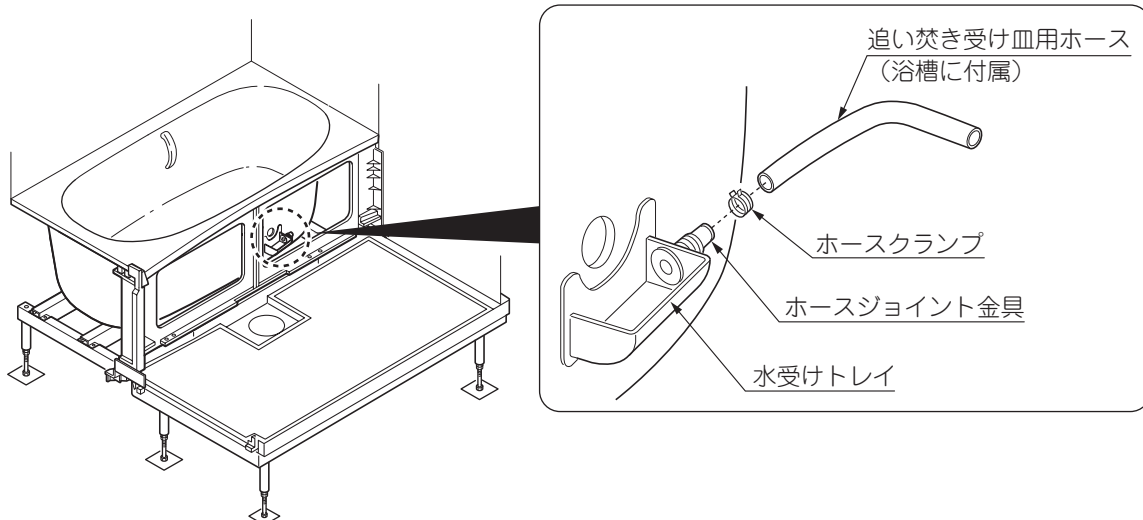
9. 浴槽周辺部材の取り付け

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

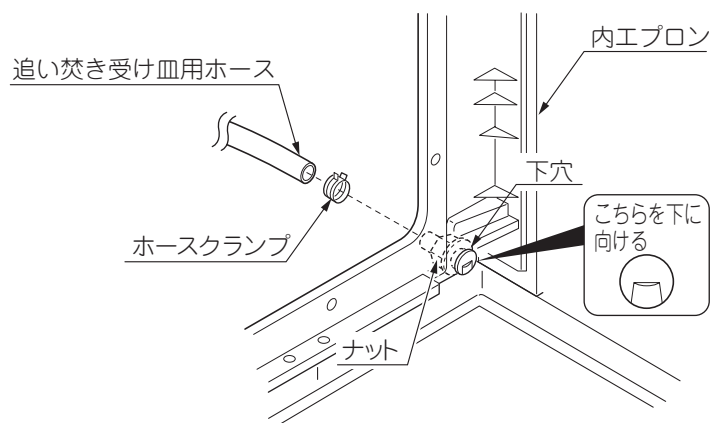
1 点検口ふたの取り付け

1 追い焚き受け皿用ホース（オプション）の接続

① 追い焚き受け皿用ホースを水受けトレイに接続する。



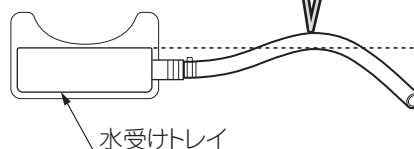
② 追い焚き受け皿用ホースを内エプロンに取り付ける。



取付設置上のお願い

- 追い焚き受け皿用ホースが、水受けトレイより高くならないよう注意してください。

ホースが水受けトレイより高くならないよう注意する。



2 内エプロン点検口ふたの取り付け

⚠ 注意



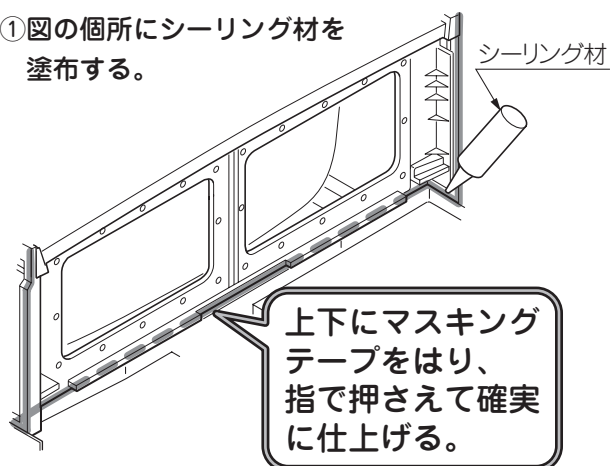
必ず守る

- 内エプロン点検口ふたのねじは、必ず手回しドライバーで固定する
(電動ドライバーでねじを固定するとねじが空回りして確実に取り付けができなくなり、水漏れの原因となります。)
- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

取付設置上のお願い

- 化粧エプロン取り付け前に、シーリング材を塗布してください。
(化粧エプロンを取り付けた状態では、シーリング材を塗布できません。)

①図の個所にシーリング材を塗布する。



断面図

リップ部分はリップに乗り上げるようマスキングする。

内エプロン

シーリング材

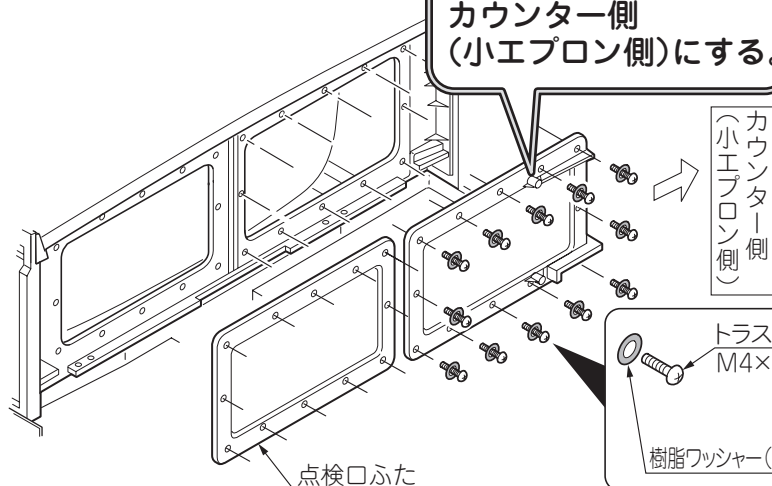
マスキングテープ

床パンせき部

シーリング材は十分な量を塗布する。
(指で押さえて、シーリング材がマスキングテープの上にはみ出す程度)

②点検口ふたを固定する。

突起形状のある方をカウンター側(小エプロン側)にする。



カウンター側
(小エプロン側)

トラス小ねじ
M4×8(付属)

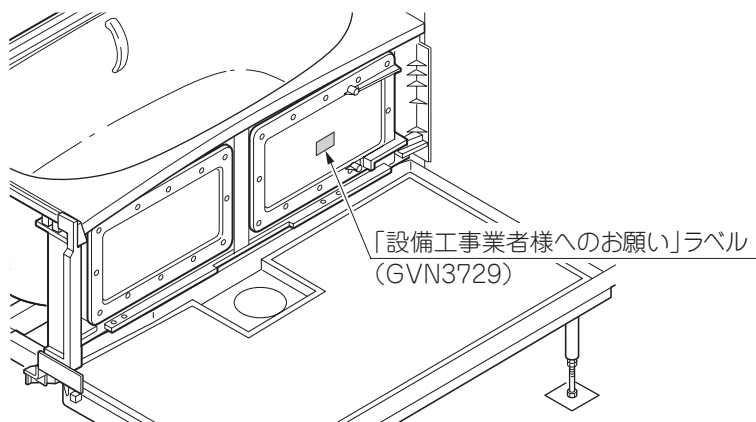
樹脂ワッシャー(黒)(付属)

取付設置上のお願い

必ずねじに樹脂ワッシャー(黒)を取り付けてから固定してください。
(取り付けないと、水漏れが発生する原因となります。)

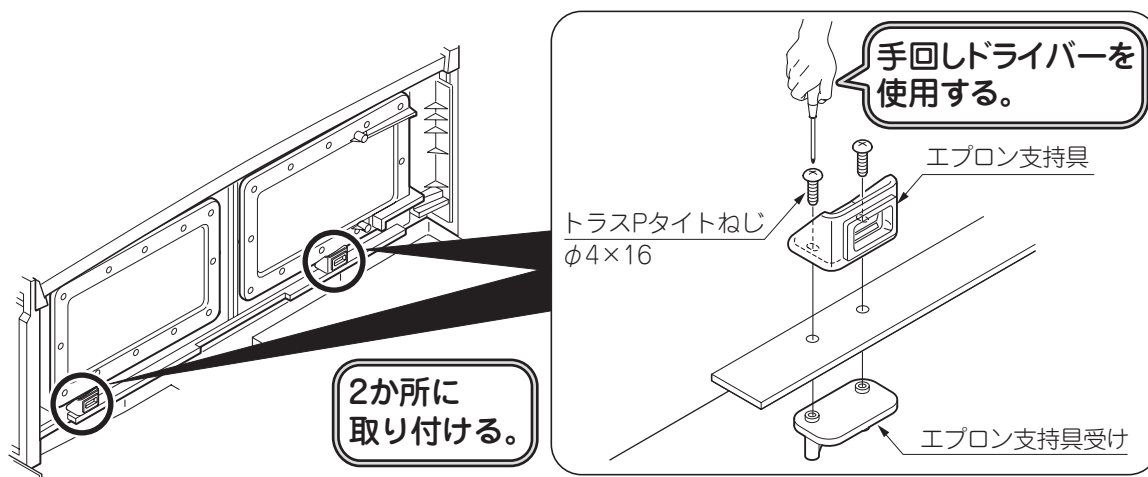


③小エプロン側の点検口ふたの中央に「設備工事業者様へのお願い」ラベル（GVN3729）をはり付ける。



3 エプロン支持具の取り付け

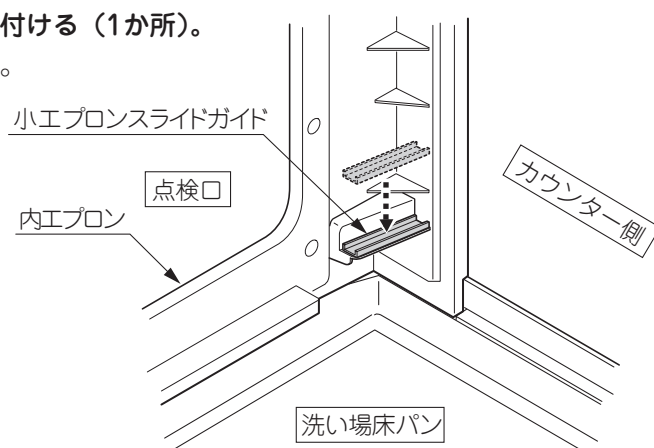
①エプロン支持具を内エプロンのリブに取り付ける。



4 小エプロンスライドガイドの取り付け

①内エプロンのリブに小エプロンスライドガイドを取り付ける（1か所）。

・カウンター側（小エプロン側）に取り付けてください。



10. 水栓の取り付け

クリーンスクエアサーモ水栓（ホワイト・ブラック）

メタルスクエアサーモ水栓

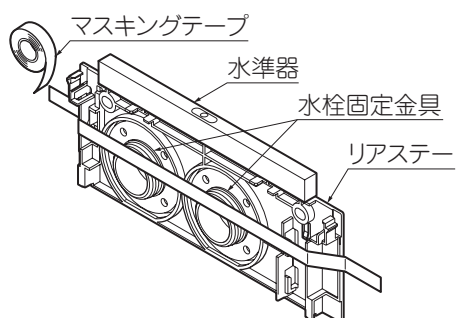
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 クリーンスクエアサーモ水栓(ホワイト・ブラック)、メタルスクエアサーモ水栓の取り付け

1 水栓本体の組み立て

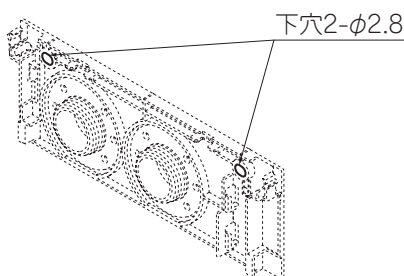
① リアステーを壁パネルに取り付ける。

- ・ 下穴を現物合わせでけがく。
- ・ 水栓固定金具に合わせて水平を確認し、マスキングテープで仮固定してください。



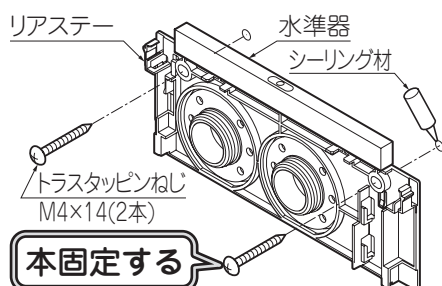
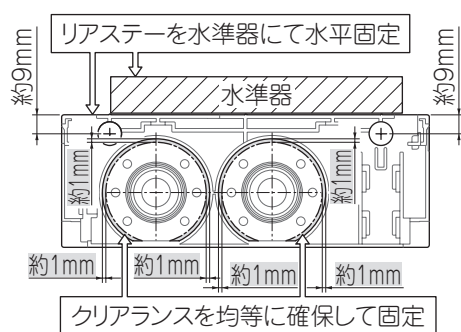
② 下穴開口（φ2.8）する。

- ・ リアステーを外してから下穴開口をしてください。

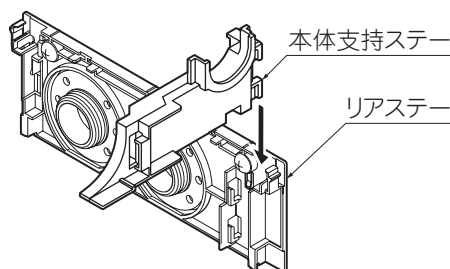


③ リアステーを本固定する。

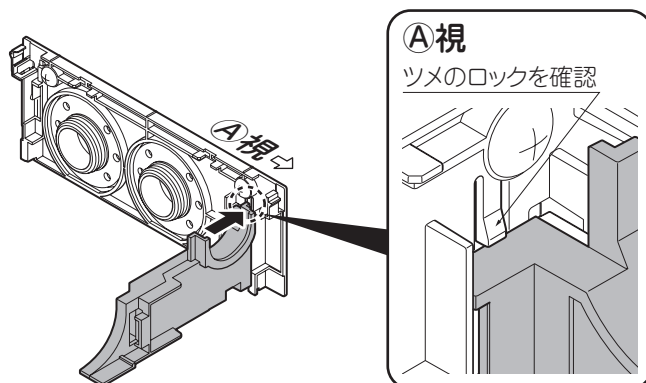
- ・ 水平を確認しながら行ってください。



④ リアステーに本体支持ステーを取り付ける。

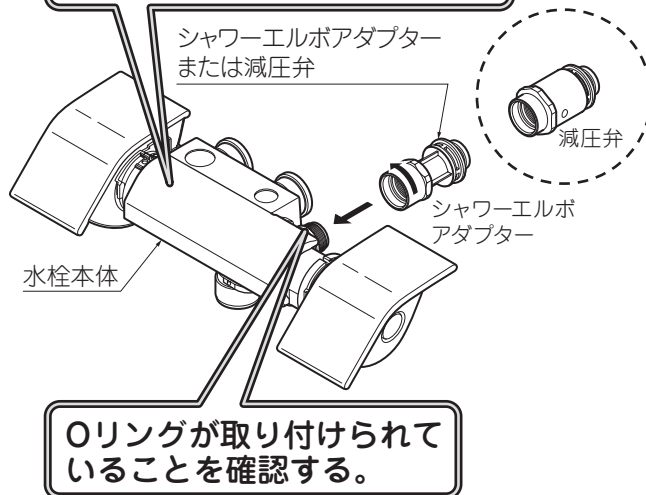


⑤ ツメのロックを確認する。



⑥ 水栓本体にシャワーエルボアダプターまたは減圧弁を取り付ける。

水栓に取り付けられているスチロールは、保温材です。取りはずししないでください。



Oリングが取り付けられていることを確認する。

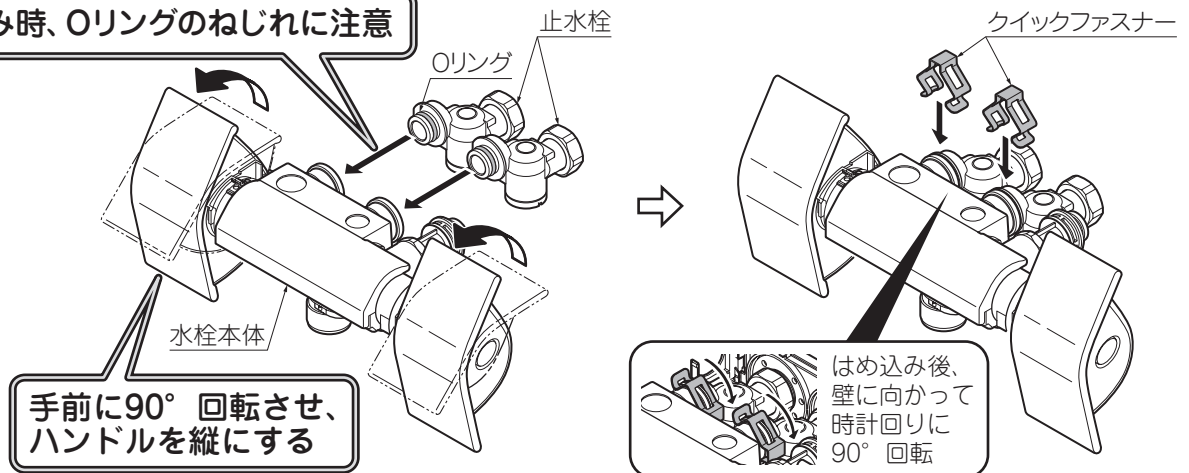
⑦ハンドルを手前に90° 回転させてから、水栓本体に止水栓を取り付けて、クイックファスナーで固定する。

- ・ 止水栓を水栓本体にまっすぐに差し込んでください。
- ・ Oリングがスムーズに入り込む状態を確認してください。
- ・ クイックファスナーで固定したあと、90° 回転させてください。

取付設置上のお願い

- Oリングが噛み込まないようにしてください。

差し込み時、Oリングのねじれに注意

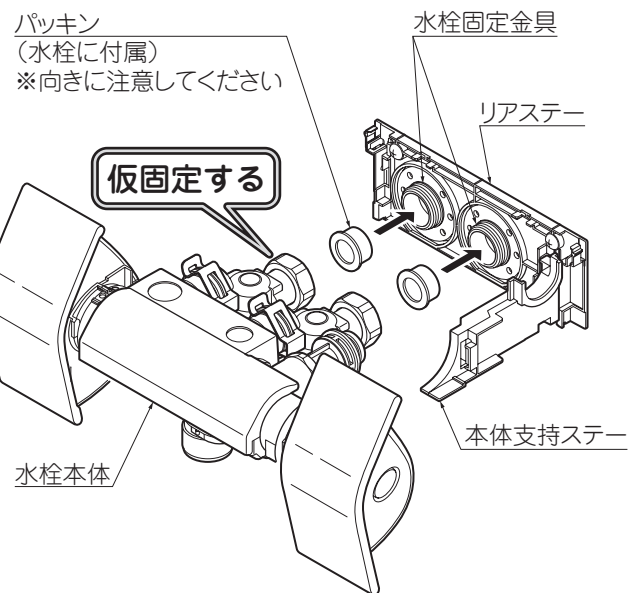
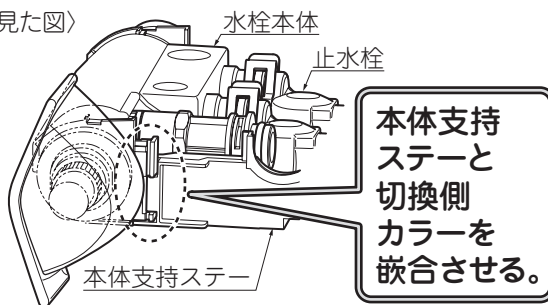


⑧水栓本体を水栓固定金具、本体支持ステーに仮固定する。

取付設置上のお願い

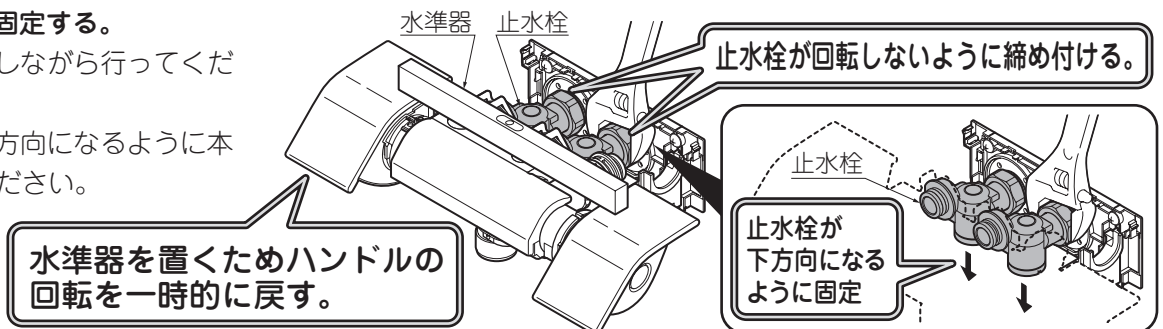
- 本体支持ステーと切換側カラーを嵌合させてください。

〈横から見た図〉



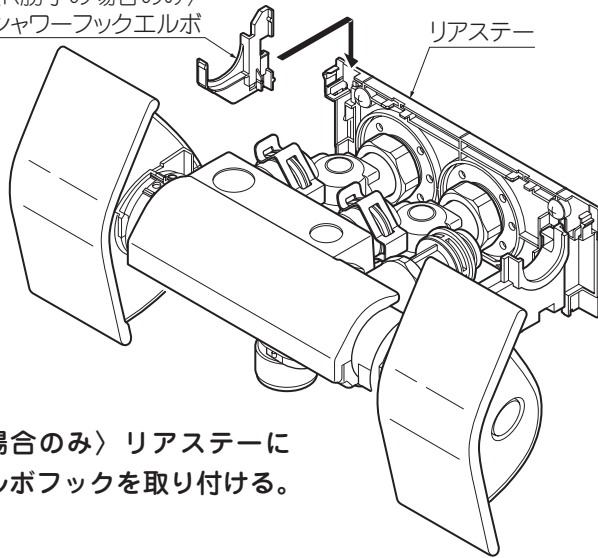
⑨止水栓を本固定する。

- ・ 水平を確認しながら行ってください。
- ・ 止水栓が下方向になるように本固定してください。



〈R勝手の場合のみ〉
シャワーフックエルボ

リアステー

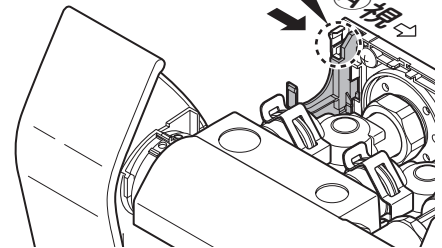
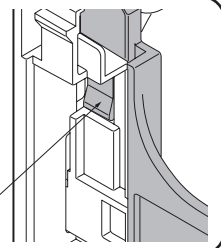


- ⑩ 〈R勝手の場合のみ〉リアステーに
シャワーエルボフックを取り付ける。

④視

〈R勝手の場合〉

ツメの
ロックを確認



- ⑪ シャワーエルボ配管を水栓本体に取り付け、固定する。

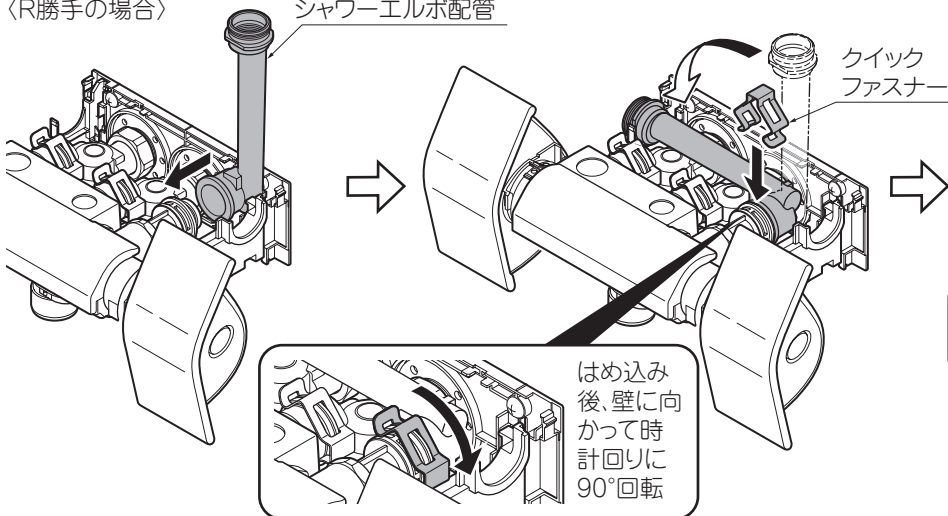
※シャワーエルボ配管は取り付け後、水栓本体側に90°回転させてください。

・クイックファスナーで固定したあと、90°回転させてください。

〈R勝手の場合〉

シャワーエルボ配管

クイック
ファスナー



はめ込み
後、壁に向
かって時
計回りに
90°回転

シャワーエルボ配管を押さえな
がら、連結管固定ナットを回す

押さえる

連結管
固定ナット

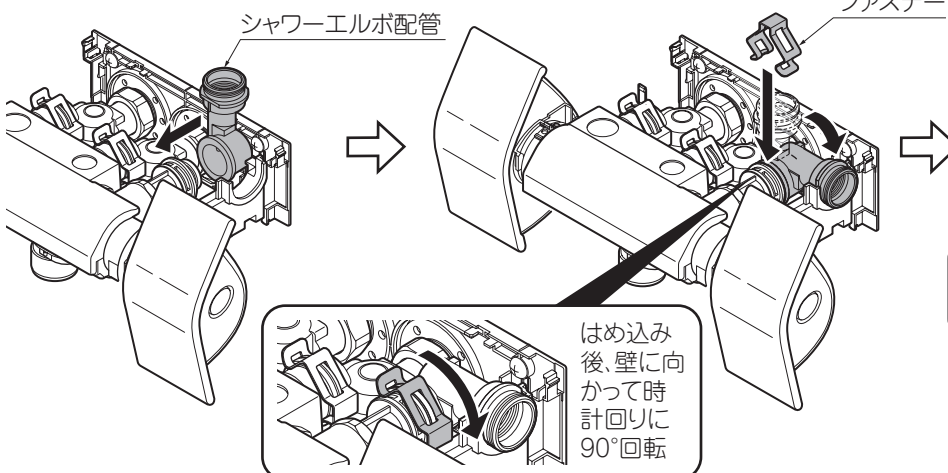


シャワーエルボ配管とシャワーエ
ルボフックまたは、本体支持スー
を、連結管固定ナットで固定する

〈L勝手の場合〉

シャワーエルボ配管

クイック
ファスナー



はめ込み
後、壁に向
かって時
計回りに
90°回転

シャワーエルボ配管を押さえな
がら、連結管固定ナットを回す

押さえる

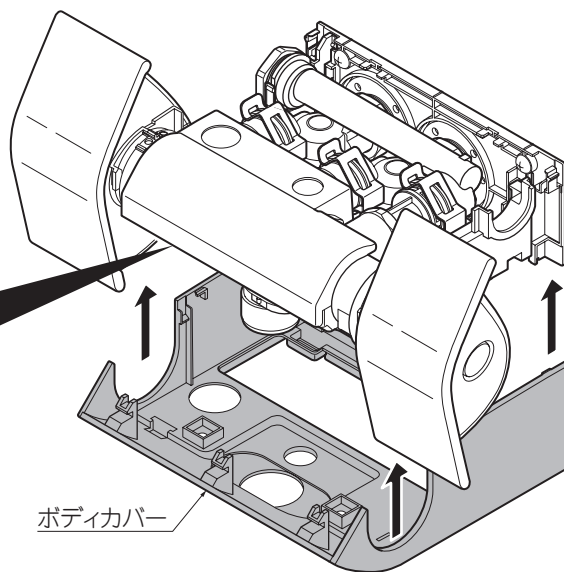
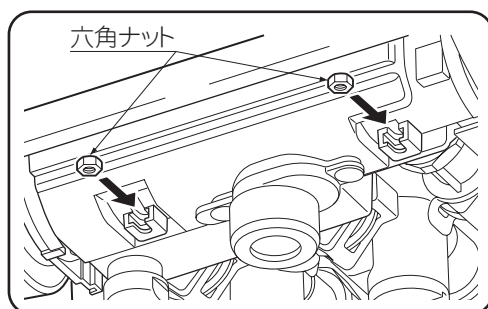
連結管
固定ナット



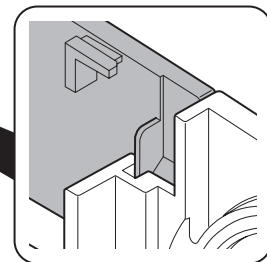
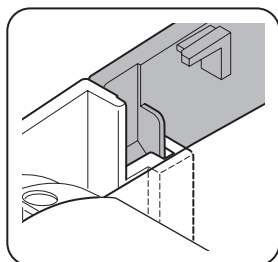
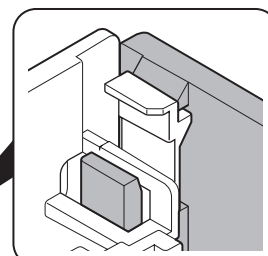
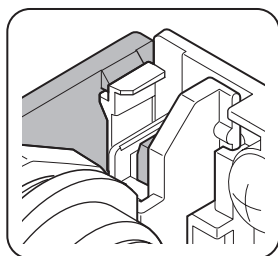
シャワーエルボ配管とシャワーエ
ルボフックまたは、本体支持スー
を、連結管固定ナットで固定する

⑫ 本体下に六角ナット（2箇所）を取り付ける。

⑬ ボディカバーを下から水栓本体、リアステー、本体支持ステー、シャワーエルボフックに取り付ける。



⑭ ツメのロックを確認後、固定する。

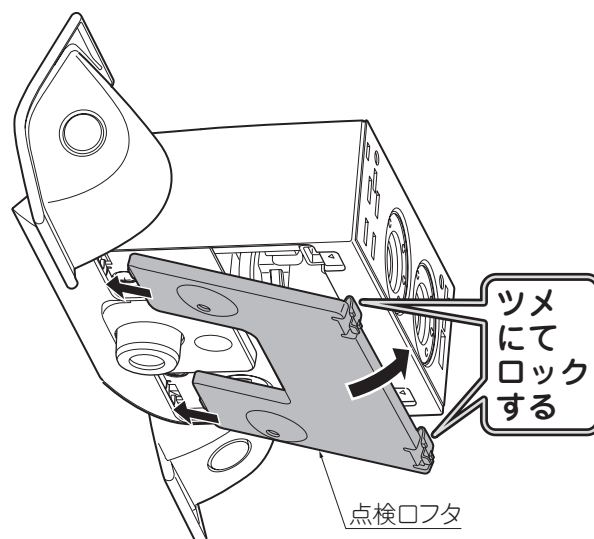


ボディカバー

トラスねじM4×8 (2本)

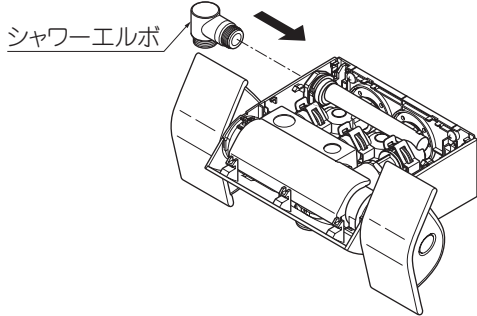
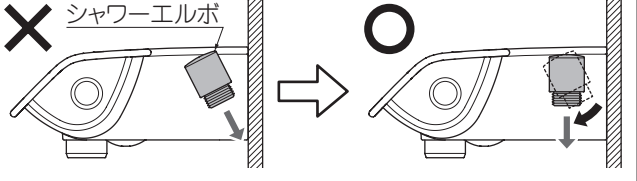
⑮ 点検口フタを取り付ける。

・スライドさせながらはめ込んでください。



点検口フタ

⑩ シャワーエルボを取り付ける。

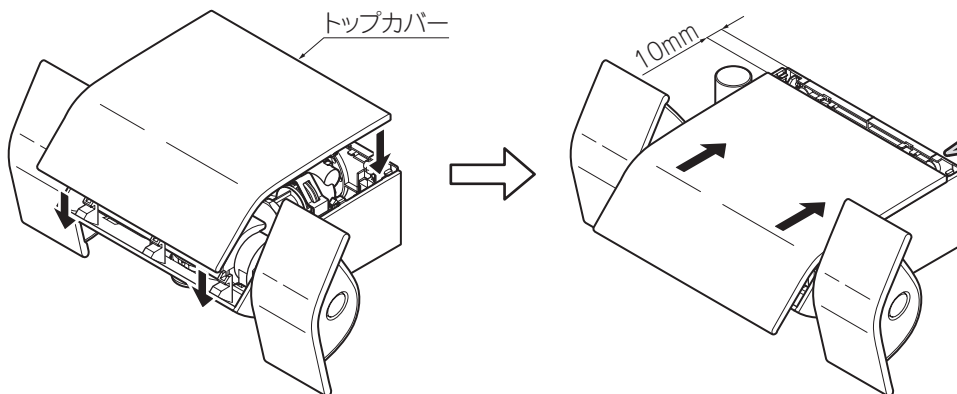
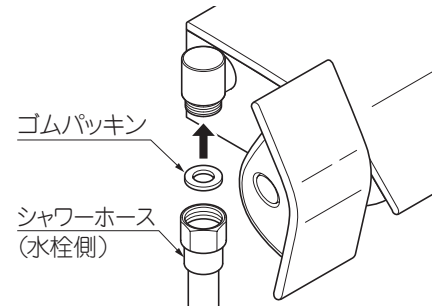
R勝手の場合	L勝手の場合
・シャワーエルボをシャワーエルボ配管にしめ込み、シャワーホース口が下に向くように戻してください。 	・シャワーエルボをシャワーエルボ配管に最後までしめ込み、シャワーホース口を下方向で固定してください。しめ込む際、シャワーエルボが途中で止まりますが、シャワーホース口が下方向になるようにさらにしめ込んでください。  ※下方向で固定しないと、ハンドルとホースが干渉します。

⑪ シャワーホース、シャワーヘッドをシャワーエルボに取り付ける。

⑫ トップカバーを前側からスライドさせて固定する。

取付設置上のお願い

- ・トップカバーの取り付けは全ての部材取り付け後に行ってください。



トップカバーを壁から10mm程度手前で水栓全体に載せてスライドする。

〈トップカバーのはずし方〉

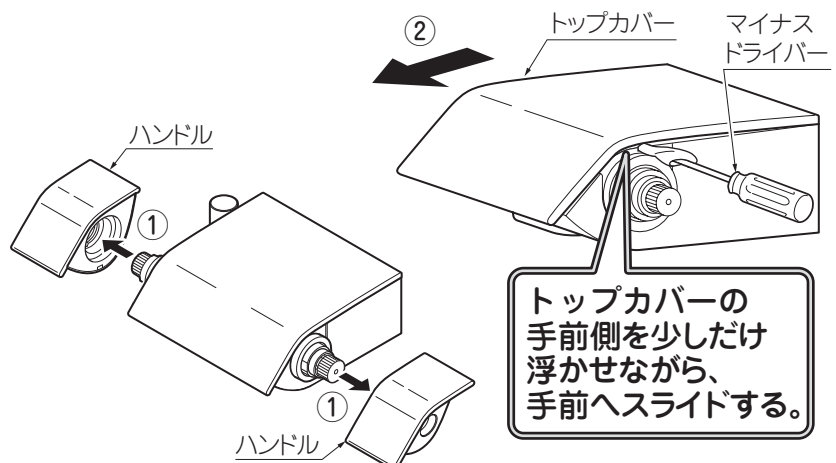
① ハンドルをはずす。

- ・ハンドルの角度は正規位置ではずしてください。

② トップカバーのツメをはずす。

- ・ウエスなどで巻いたマイナスドライバーを差し込みトップカバーを少し浮かしててください。

③ 手前にひっぱる。



トップカバーの手前側を少しだけ浮かせながら、手前へスライドする。

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

2 メタルワイドスクエアサーモ水栓の取り付け

1 メタルワイドスクエアサーモ水栓の取り付け

①ソケットのねじ部にシールテープを巻き、配管に垂直にねじ込む。

②ソケットと本体を接続する。

取付設置上のお願い

- 図のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。
(シールテープの巻き数にて調節してください。)
- 図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。

注意



必ず守る

- 締め付けは、六角の二面幅に合わせてモンキーレンチなどで確実に行ってください。
(しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。)

③ソケットカバーを湯側ソケットに取り付ける。

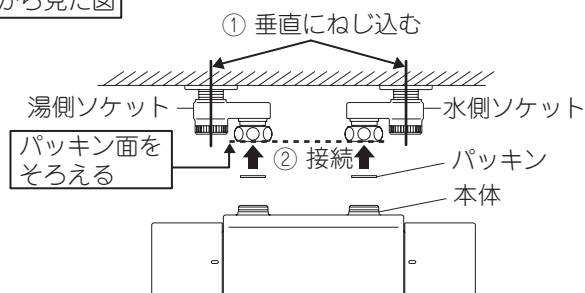
④止水弁の位置にはめ込み、時計回りに回す。

- ・この時、ソケットカバーのツメがナットの後ろにくるようにはめ込んでください。

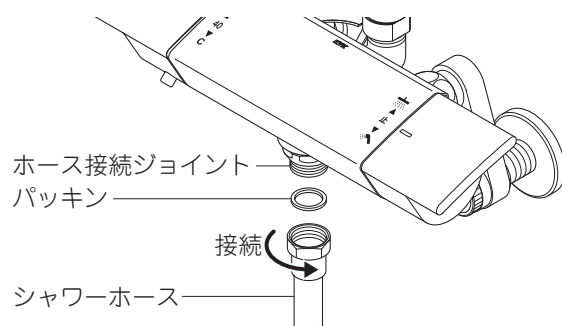
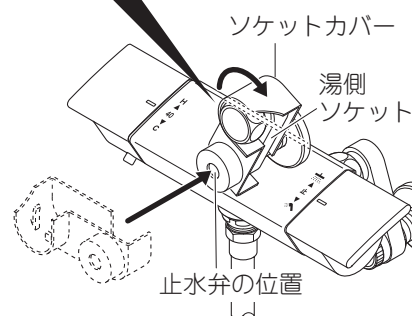
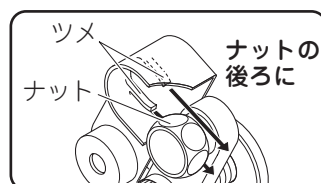
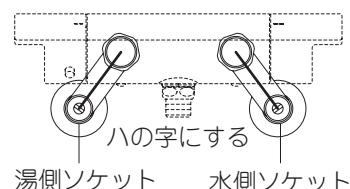
⑤シャワーホースをホース接続ジョイントに接続する。

⑥使用方法ステッカーを見やすい位置にはりつける。

上から見た図



前から見た図



11. ドアの取り付け

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 2枚折りドア

1 ドア本体の取り付け

① つり元が逆の場合は、つり元の交換をする。

・商品出荷時、部品は浴室側から見て左つり元にセットされています。

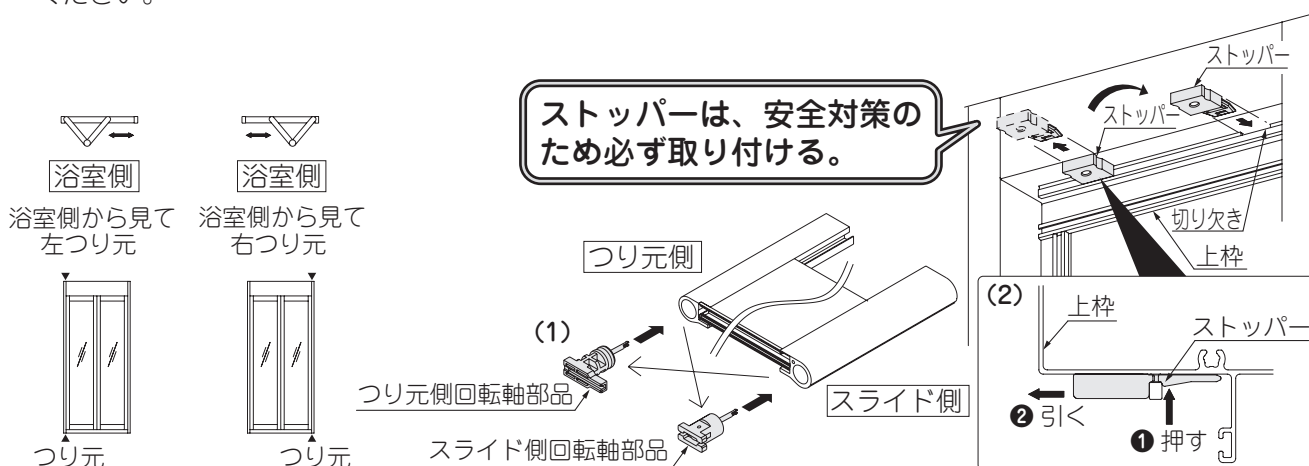
右つり元で使用する場合は、つり元交換作業を行ってください。

(1) 上枠に取付いているストッパーを引き抜き、反対側の切欠きにはめ込んでください。

(2) 障子下部の戸車を引き抜き、吊元側と可動側の差替えを行ってください。

取付設置上のお願

- ・ストッパーは安全対策のため必ず取付けてください。



② ドア本体のつり込み前の確認をする。

・上部ラッチの向きを必ず確認してください。

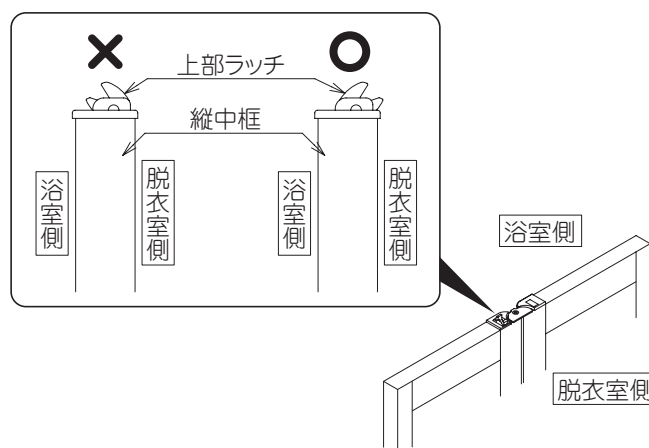
・上部ラッチ(つめ部分)が浴室側に向いている場合は、脱衣室側に向きを直してください。

⚠ 注意



必ず守る

- ・上部ラッチは正しい向きで取り付ける
(上部ラッチ(つめ部分)が浴室側に向いているまま使用すると、ドア本体が閉まりきらない場合があります。)

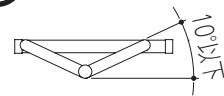


③ドア本体をつり込む。

- ・浴室側から見て左側がつり元のときの説明図です。
右側がつり元のときは、左右逆でつり込んでください。

取付設置上のお願い

- ・10°以下に開いた状態で
行ってください。

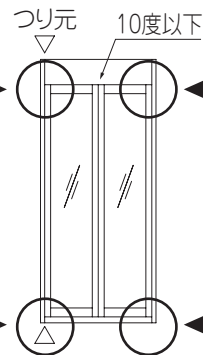
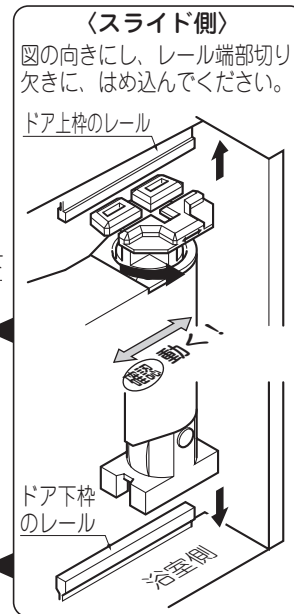
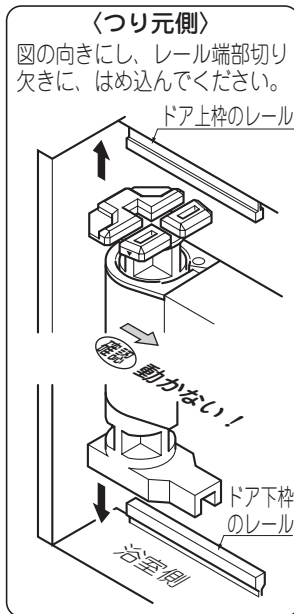


⚠ 注意



必ず守る

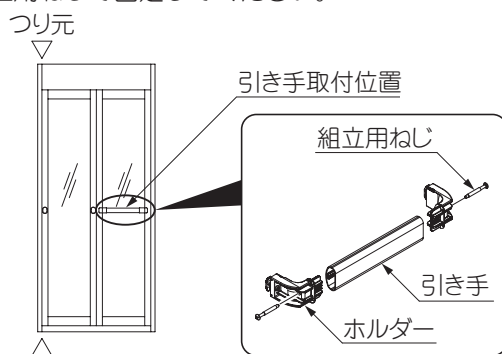
- ・ドア本体のつり込みは、
上下の戸車を正しく
セットする
(ドア本体が外れるおそれ
があります。)
- ・上戸車はめ込むときは、
向きに注意して取り付
ける
(上戸車を90°回転させ
ると、つり元側とスライド側
の使い分けができます。)



2 引き手の取り付け

①引き手とホルダーを固定する。

- ・引き手組立用ねじで固定してください。



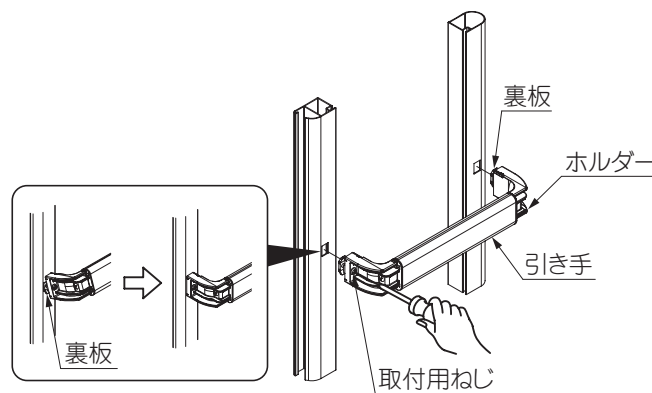
②引き手を取り付けなかった穴にビスカバーを取り付ける。

つり元側の縦框には、
ビスカバーを取り付け
てください。



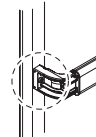
③浴室側引き手を取り付ける。

- ・ホルダーに付いている裏板を、縦框の加工穴に入れて
てください。
- ・引き手全体を軽く手前に引きながら、ホルダーに組み
込まれている取り付け用ねじを回し固定してください。



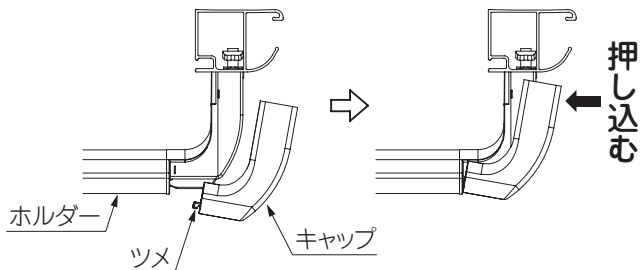
取付設置上のお願い

- ・縦框に取り付け後、すき間・がたつき
が無いことを確認してください。



④ホルダーにキャップを取り付ける。

- ・キャップのツメをホルダーに差し込み、キャップ根元側を押し込んでください。

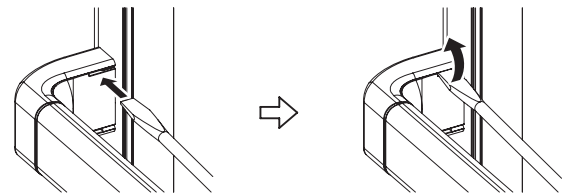


取付設置上のお願い

- キャップ取り付け後、がたつきが無いことを確認してください。

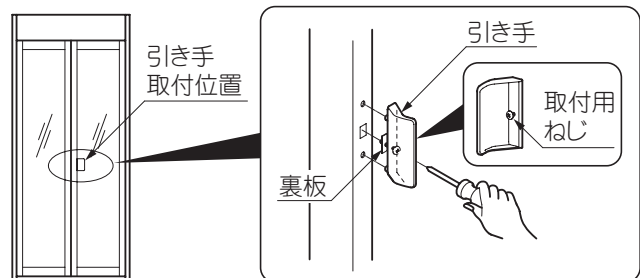
〈キャップの取り外し方〉

ホルダーの内側の溝にマイナスドライバーなどを差し込み、キャップの根元側を広げるように、マイナスドライバーなどを回転させる。



⑤脱衣室側引手を取り付ける。

- ・引き手を右側の縦中框に取り付けてください。

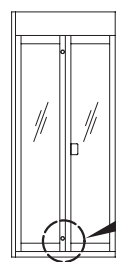


※裏板は、浴室側引手と同様に縦中框に入れてください。

3 可動ラッチの調整

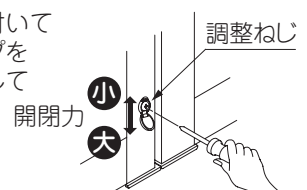
①開閉の確認をし、先に下部ラッチが開く場合は、下部ラッチとレールのかかり代を調整する。

- ・下部ラッチは、上部ラッチと同じタイミングで開閉ができるように、ドア本体を開いた状態で下部ラッチを開閉力 **大** の方へ調整してください。



●下部ラッチ

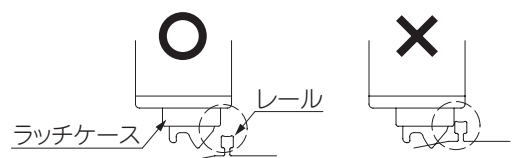
開閉ねじに付いているキャップをあけて調整してください。



開閉が重い場合→ねじ位置を上へ
開閉が軽い場合→ねじ位置を下へ

取付設置上のお願い

- 開閉に支障が出る場合がありますので、ラッチケースがレールに干渉しないことを確認してください。
- レールとのかかり代が大きすぎると開閉が重くなります。開閉が重い場合は再度調整してください。



取付設置上のお願い

- ドア額縁固定用の皿木ねじ (3.1×20) は、必ず大工さんへお引き渡しください。直接手渡しできない場合は、マスキングテープでドア外側の引き手などにはり付け、すぐ見つけれられるようにしてください。

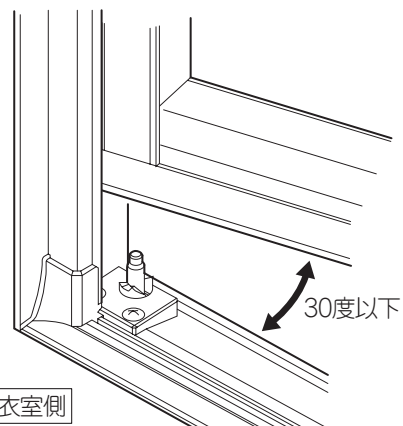
2 スイングドア

1 ドア本体の取り付け

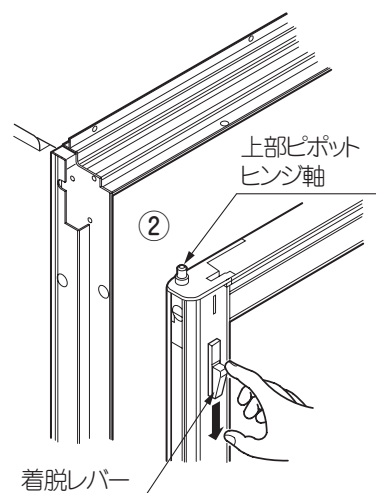
- ①ドア本体は必ず開いた状態で、下枠ピボットヒンジの軸を下枠ピボット受けの穴にはめ込む。
- ・吊り元側下部のみ、フラップ起こしを破損させないように注意してください。

取付設置上のごお願い

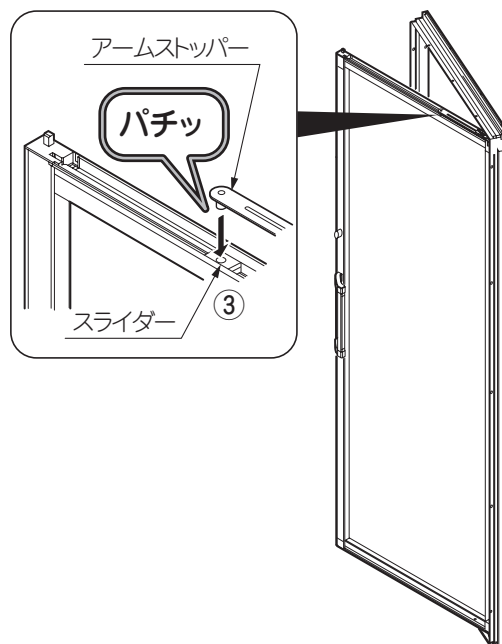
- ・グラビティーヒンジを使用しているため、ドアを30度以上開いた状態では枠に取り付けることはできません。



- ②ドア上部をドア枠に取り付ける。
- ・着脱レバーを押し下げながら、上部ピボットヒンジ軸をドア枠にはめ込む。

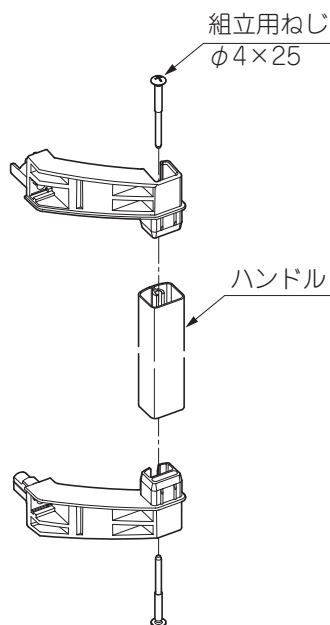


- ③アームストッパーをスライダーに差し込む。
- ・パチッと音がするまで押し込んでください。



2 ハンドルの取り付け

①ハンドルを組み立てる。



②ハンドルをドアに取り付ける。

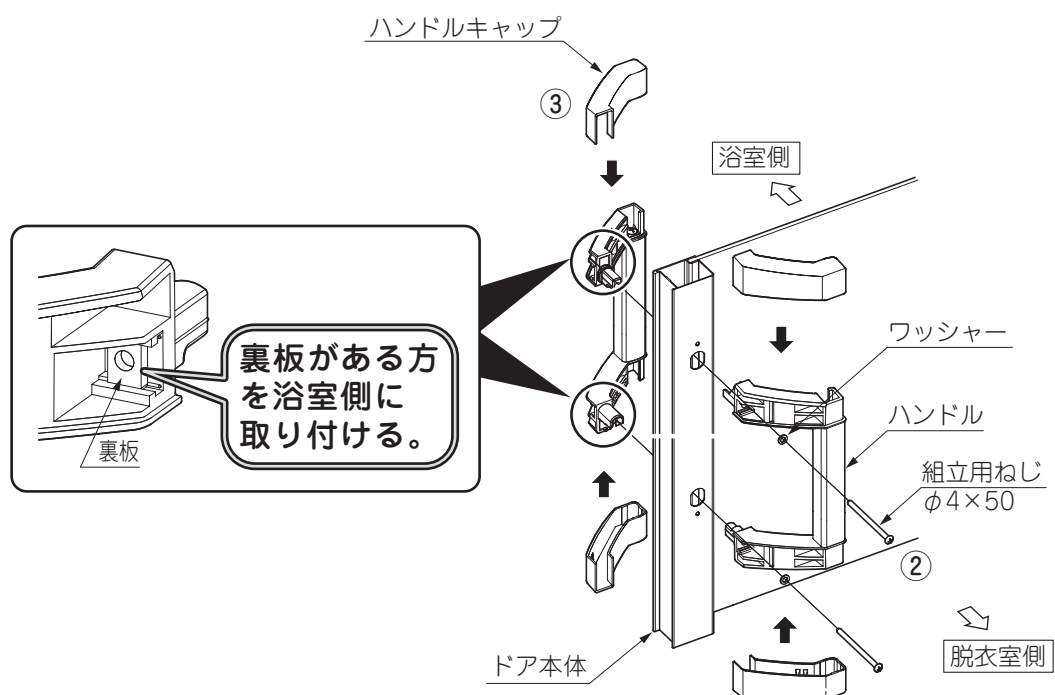
- ⊕手回しドライバーでねじを脱衣室側からしっかりと締め付け、ハンドルを固定してください。

取付設置上のお願い

- 電動ドライバーは使用しないでください。頭がつぶれるおそれがあります。



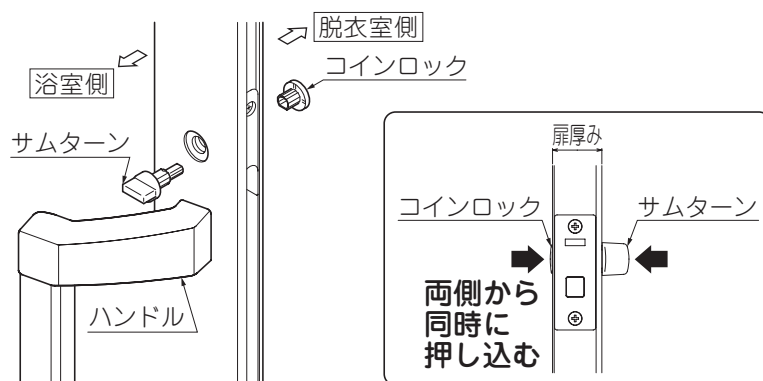
③ハンドルキャップを取り付ける。



3 サムターンとコインロックの取り付け

①サムターンとコインロックを内外から挟み込むように取り付ける。

- ・サムターンが浴室側になるように取り付けてください。
- ・パチンと音がするまではめ込み、サムターンをつまんで、しっかりはまっていることをご確認ください。



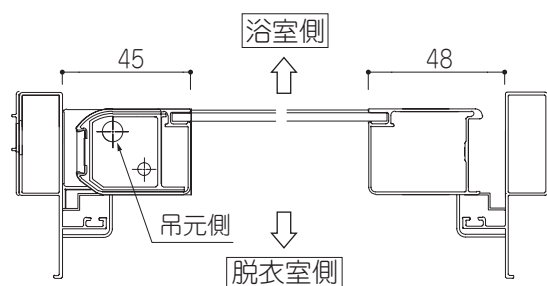
4 枠の取り付け確認

①ドア枠は、はらみ、つずみ状態、対角ずれのないように取り付ける。

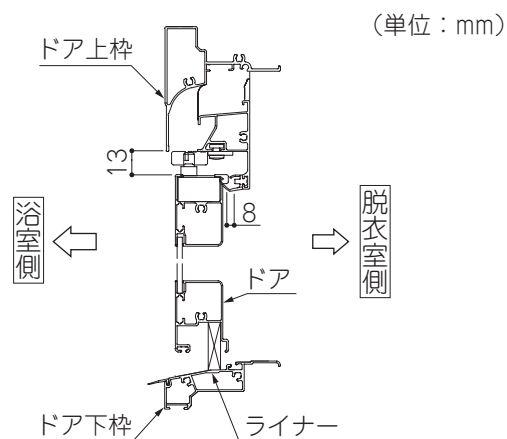
②図のように障子を基準に枠の取り付けをチェックする。

- ・障子錠側下部にはり付けてあるライナーを取り付けたままで枠につり込むと、下部のチリは確保されます。

〈横断面〉



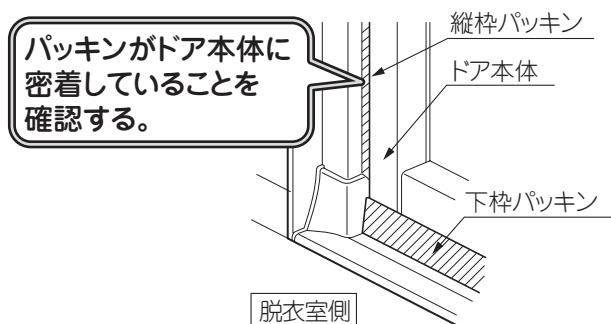
〈縦断面〉



5 ラッチ受けの調整

① ラッチ受けの前後調整を行う。

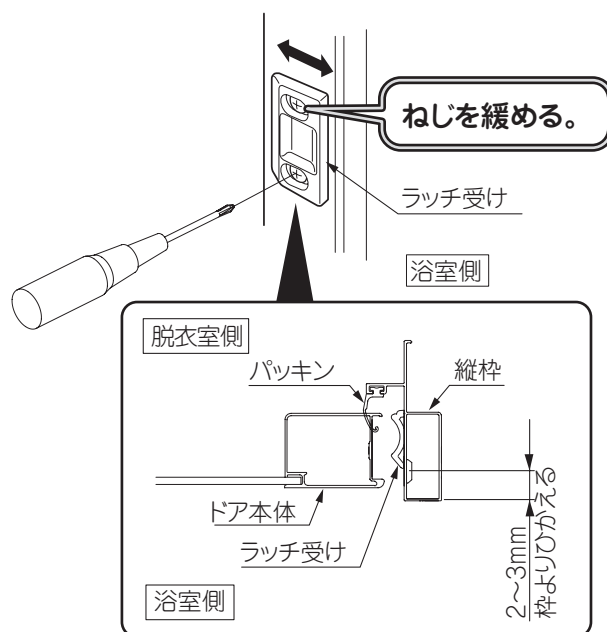
- 縦枠パッキンと下枠パッキンがドア本体と密着するように、ラッチ受けを前後調整してください。



⚠ 注意



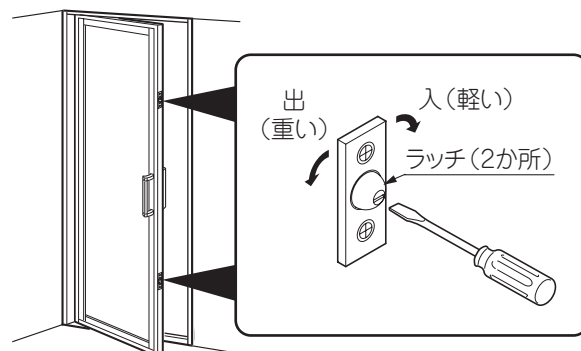
- ラッチの確認・調整は必ず行う
(ラッチがずれたまま使用すると、水漏れの原因となります。)



6 ローラーの調整

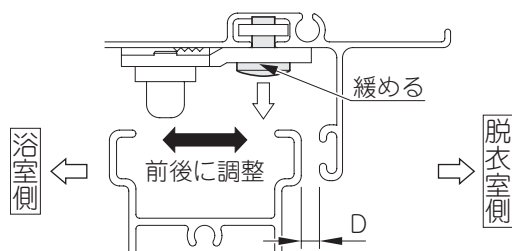
① ドアの開閉力調整が必要な場合、マイナスドライバなどを使用して調整を行う。

- ・ ラッチを回してください。

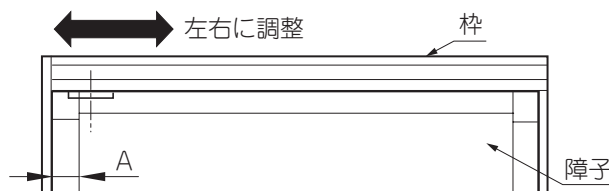


7 ピボットヒンジの調整

- ①パッキンの当たりが強いときは浴室側へ、すき間があるときは脱衣室側に前後方向の調整をする。
- ・見込みチリ寸法Dを8～10mmの範囲で調整できます。(初期設定は8mm)



- ②枠と障子のチリがくるっているときなどは、左右方向の調整を行う。
- ・縦のチリ寸法Aを2～7mmの範囲で調整できます。



取付設置上のお願い

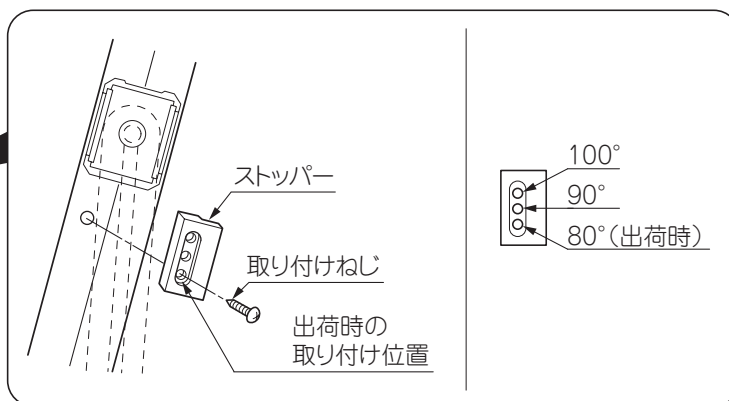
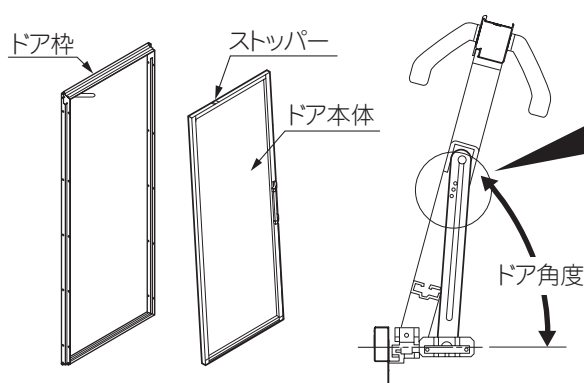
- A寸法を小さくなるよう調整すると、パッキンの当たりが大きくなり、異音が発生したり、開閉に支障が出たりするので注意してください。

8 アームストッパーの調整

- ・出荷時のドア角度は、80度開きです。
- ・ドア角度を変更したい場合は、以下の作業を行ってください。

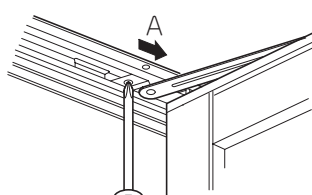
- ①ドア本体の上にあるストッパーの取り付けねじを外す。
- ・ドア本体を外すと、上からストッパーを確認することができます。

- ②部品をスライドさせて、任意の穴位置で固定する。



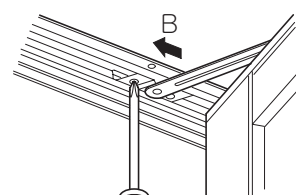
- ・ドアを全開にすると、壁やタオル掛けなどの部材に干渉する場合は、右図の作業を行ってください。

〈開き角度を大きくする〉



アームストッパー取り付けねじを2個緩め、Aの方向にずらす。

〈開き角度を小さくする〉



アームストッパー取り付けねじを2個緩め、Bの方向にずらす。

9 開閉の確認

- ①開閉を確認して異常があった場合は、前述の調整を繰り返し、場合によっては取り付け開口部の垂直度、水平度を確認する。

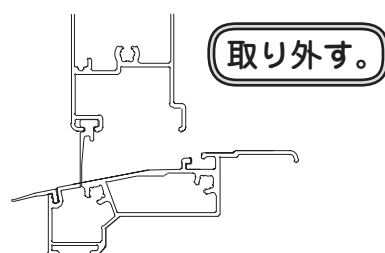
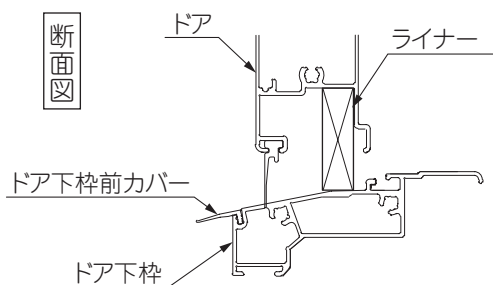
⚠ 注意



必ず守る

- 下枠パッキンが、正しく取り付けられていることを確認する
(パッキンが外れていると、水漏れの原因となります。)

断面図



取付設置上のお願い

- ドア額縁固定用の皿木ねじ (3.1×20) は、必ず大工さんへお引き渡しください。直接手渡しできない場合は、マスキングテープでドア外側の引き手などにはり付け、すぐ見つけれられるようにしてください。

3 3枚引き戸

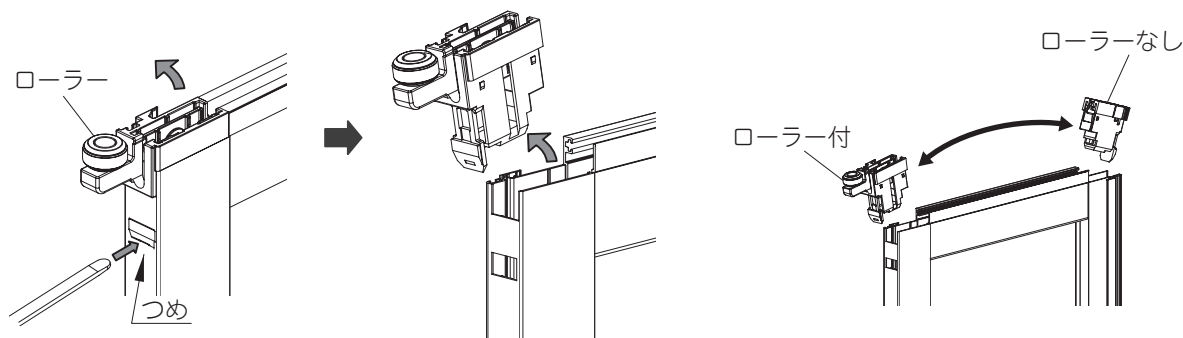
1 中間障子のローラー位置の交換

AR・BL勝手の場合

※AL・BR勝手の場合、この作業は不要です。

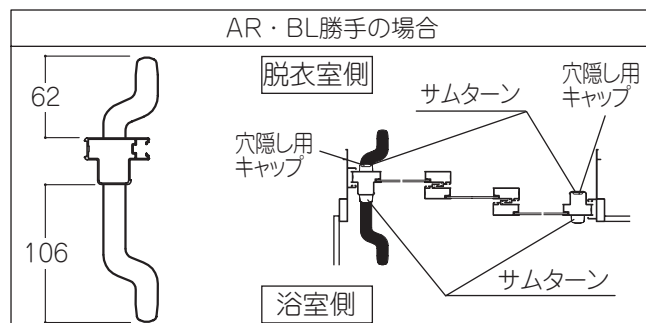
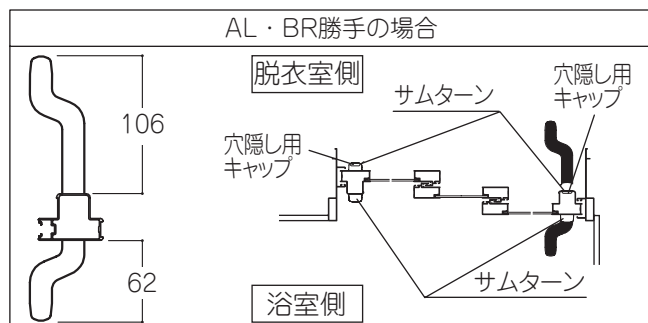
①ローラー付部材の取付位置を変更する。

・木べらなどでつめを押し込み、斜め方向に外してください。



※取っ手位置を変更する場合も、ローラー付部材の取付位置を変更してください。

2 取っ手・サムターンの取り付け



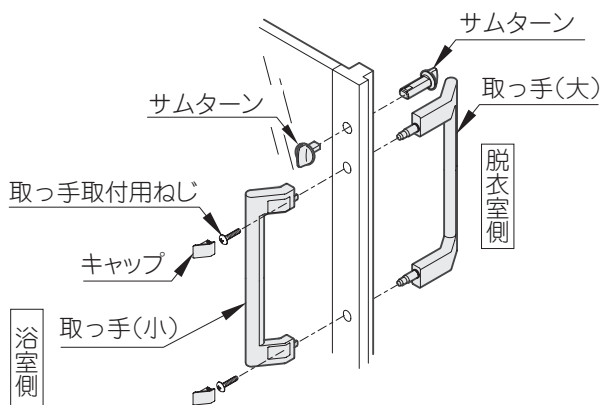
①取っ手を取り付け、キャップをはめる。

・取っ手取り付けねじで固定してください。

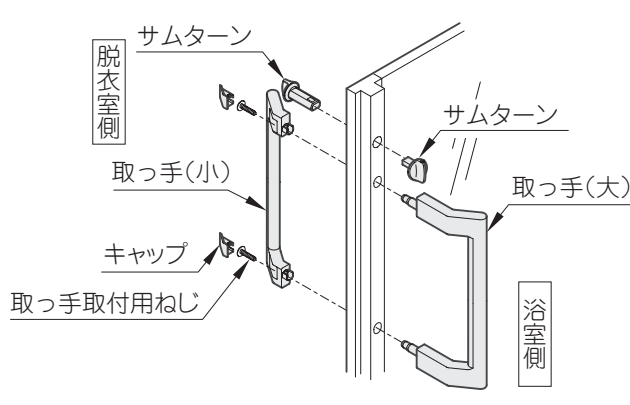
②サムターンを取り付ける。

・サムターンの大小は、どちらを浴室側へ取り付けても構いません。

〈AL・BR勝手の場合〉



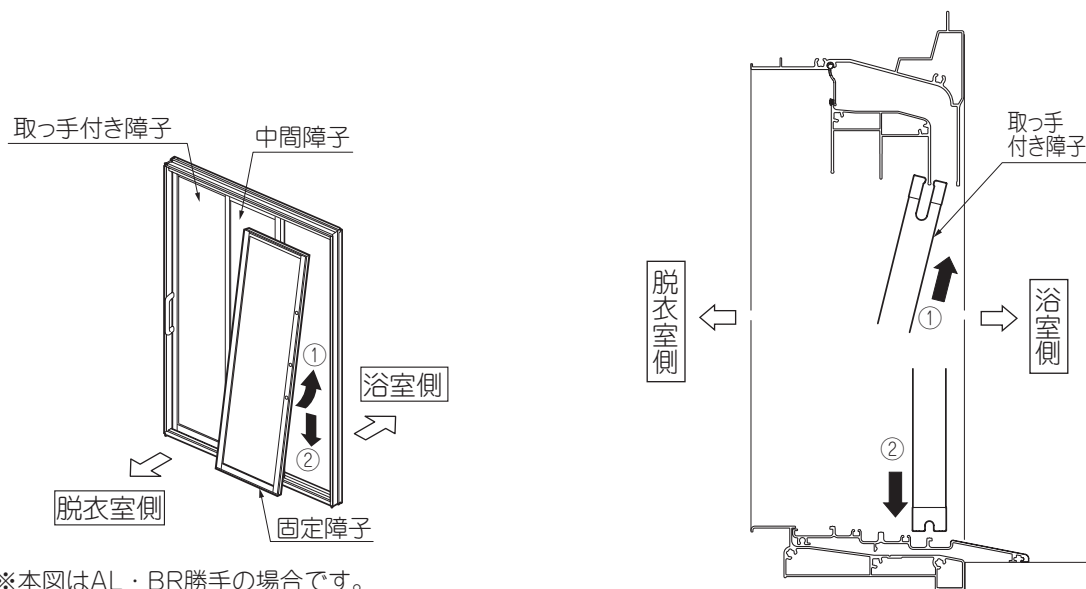
〈AR・BL勝手の場合〉



3 障子のつり込み

①脱衣室側から障子をつり込む場合、浴室側の障子から順番につり込む。

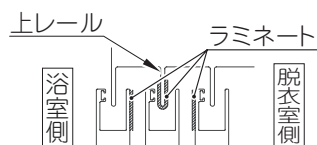
- ・AL・BR勝手の場合は、取っ手付き障子 → 中間障子 → 固定障子の順につり込んでください。
- ・AR・BL勝手の場合は、固定障子 → 中間障子 → 取っ手付き障子の順につり込んでください。



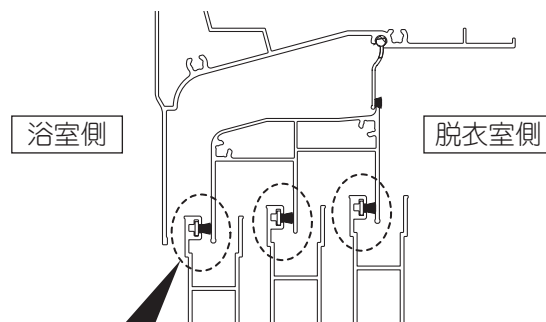
※本図はAL・BR勝手の場合です。

取付設置上のお願い

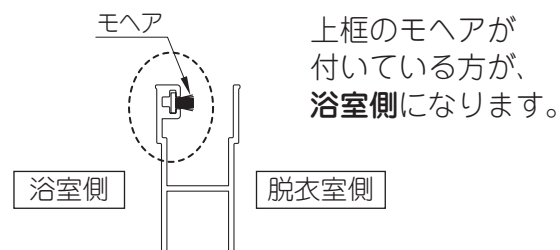
- 上枠、上レールのラミネートは、はがさない。
ラミネートはローラーズリップ防止のために貼ってあります。はがしてしまうと、開閉不良の原因となります。



- 障子の向きは、上框のモヘアが浴室側に来ていることを確認する。



■障子の向きについて



4 建て付け調整

①建て付けが悪い場合は、戸車を上下に調整する。

- ・⊕手回しドライバーで戸車調整ねじを時計回りに回すと障子が上がります。
(3.5mmまで調整可能)

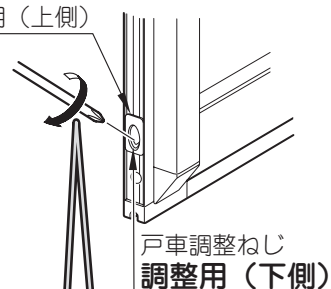
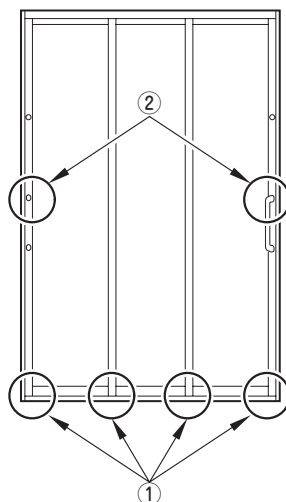
取付設置上のお願

- 電動ドライバーは使用しないでください。頭がつぶれ、戸車調整ができなくなります。



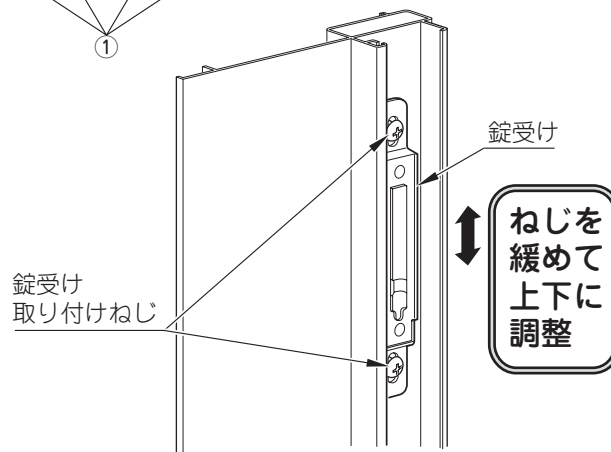
- 調整は下側の穴を確認してから行ってください。
(上側の穴は障子組み立て用ねじなので、回さないでください。)

障子組み立て用（上側）



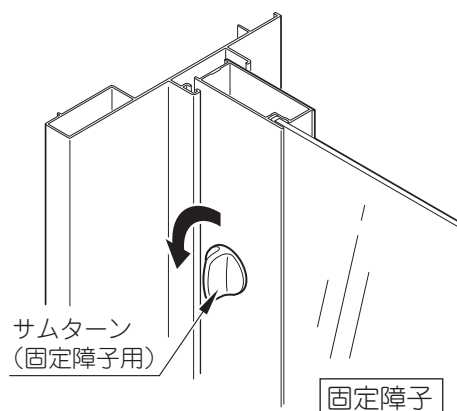
時計回りに回すと、
障子が上がる。

②錠のかかりが悪い場合は、錠受け取り付けねじを緩めて上下方向に調整し、再度ねじを締め直す。



5 障子の固定

①固定障子側のサムターンを回し、固定障子を固定する。



取付設置上のお願

- ドア額縁固定用の皿木ねじ（3.5×20）は、必ず大工さんへお引き渡しください。直接手渡しできない場合は、マスキングテープでドア外側の引き手などにはり付け、すぐ見つけれられるようにしてください。

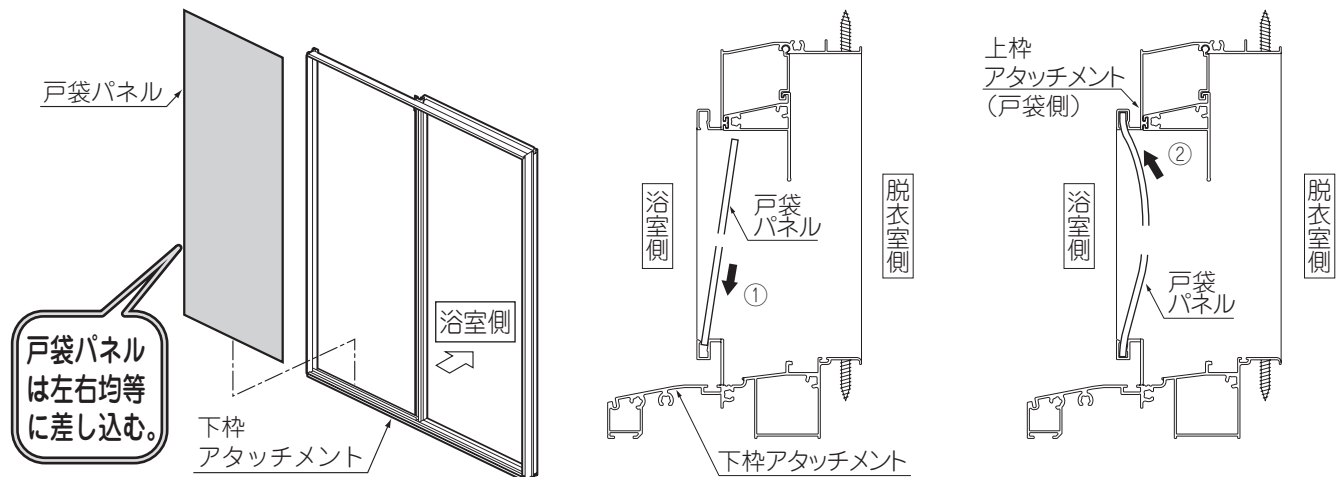
4 片引き戸

1 戸袋パネルの取り付け

- ①戸袋パネルを脱衣室側から、下枠アタッチメントへ差し込む。
- ②戸袋パネルの中央部を脱衣室側へ反らし、パネル上部を上枠アタッチメント（戸袋側）に差し込む。

取付設置上のお願ひ

- 戸袋パネル取り付け前に養生シートをはがしてください。

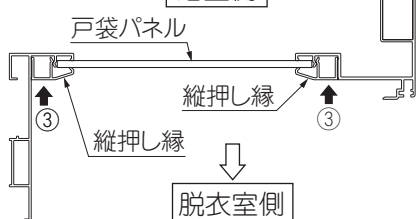


- ③縦押し縁を脱衣室側からはめ込む。

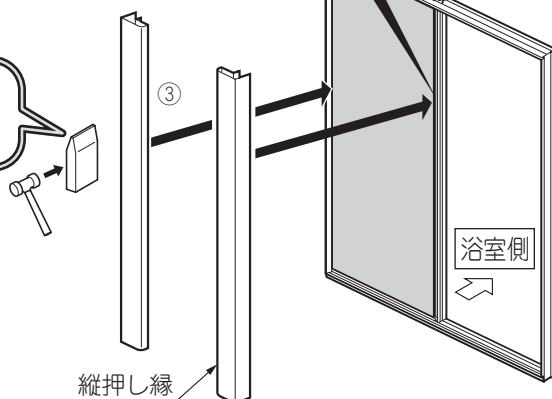
・縦押し縁の取り付けが固い場合は天井回し縁打ち込み治具を使用してください。

※治具を使用する場合は、表面についた異物をふき取り、治具をまっすぐ当てて打ち込んでください。（傷や塗装はがれの原因になります。）

〈横断面図〉



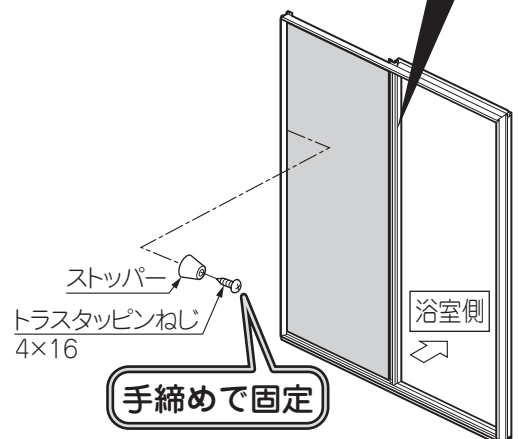
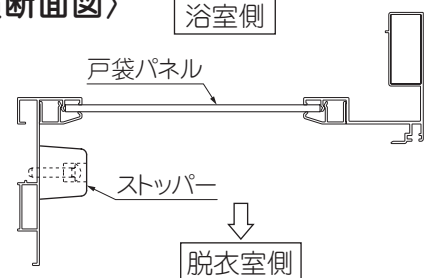
平面側で打ち込む。



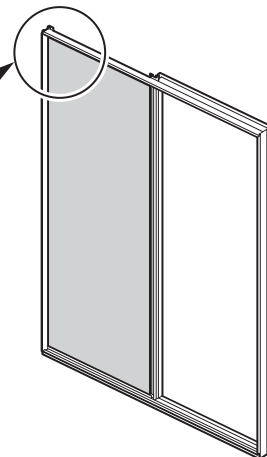
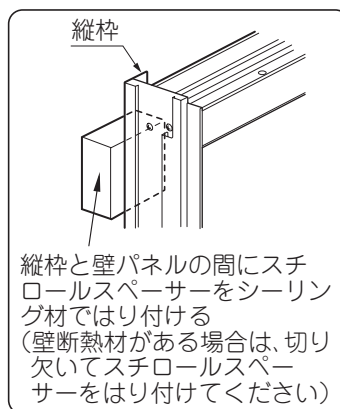
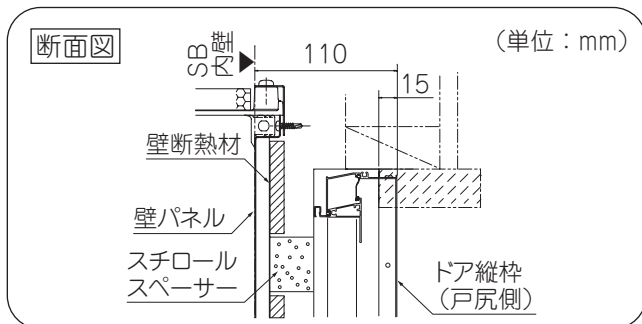
- ④縦枠にストッパーを取り付ける。

・ストッパーが変形しない程度にねじ留めしてください。

〈横断面図〉



- ⑤戸尻側の縦枠上部にスチロールスペーサーをはり付ける。
・スチロールスペーサーのサイズは、厚さ30mm程度としてください。

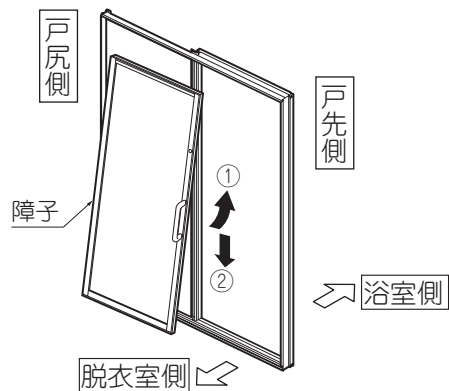


2 取っ手・サムターンの取り付け

184ページを参照ください。

3 障子のつり込み

- ①下図のように障子を脱衣室側からつり込む。



4 建て付け調整

186ページを参照ください。

取付設置上のお願い

- ドア額縁固定用の皿木ねじ (3.1×20) は、必ず大工さんへお引き渡しください。直接手渡しできない場合は、マスキングテープでドア外側の引き手などにはり付け、すぐ見つけれられるようにしてください。

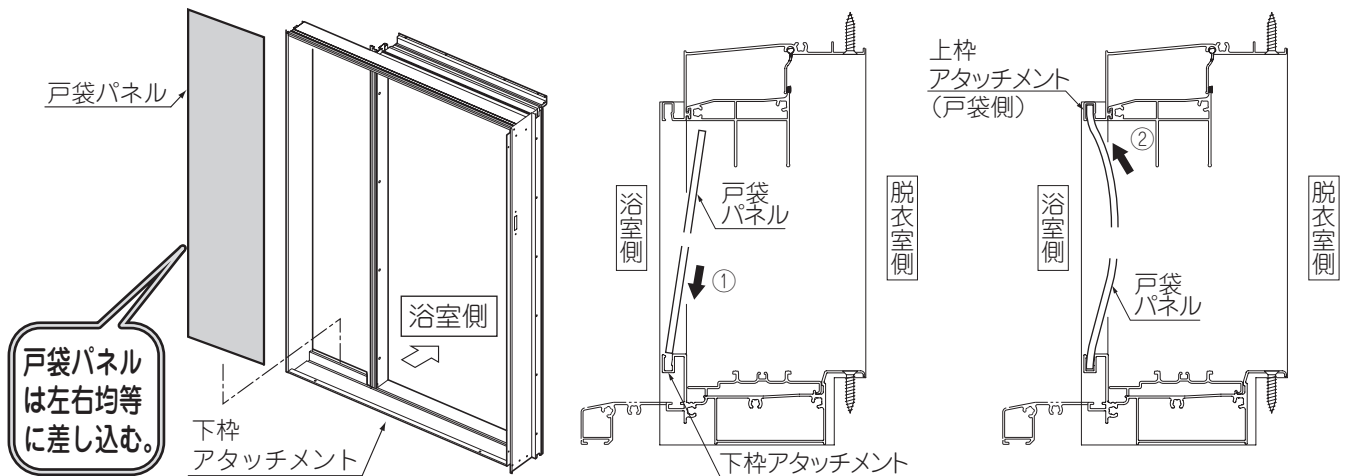
5 2枚引き込戸

1 戸袋パネルの取り付け

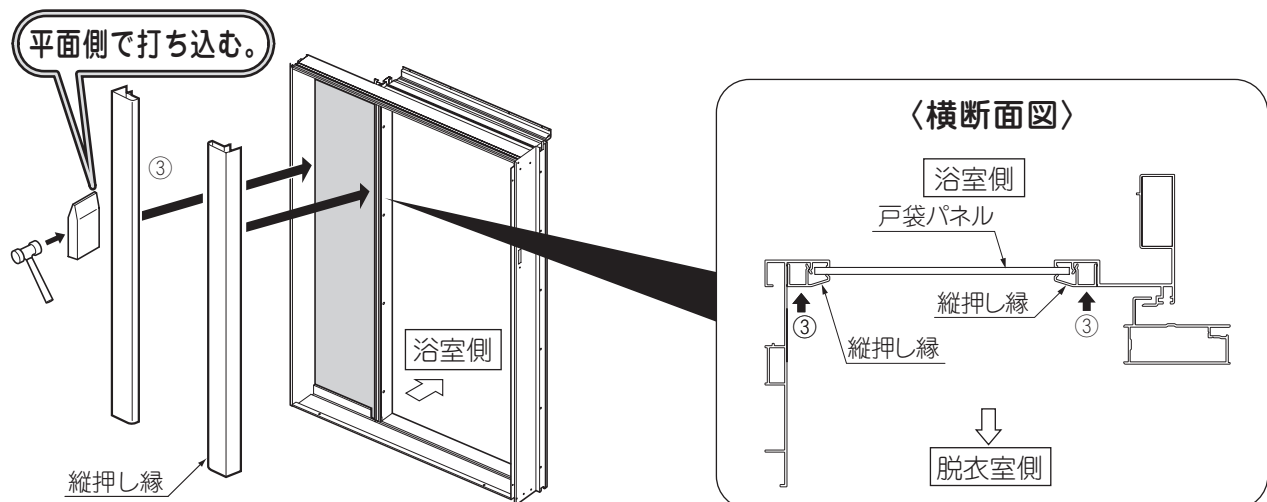
- ①戸袋パネルを脱衣室側から、下枠アタッチメントへ差し込む。
- ②戸袋パネルの中央部を脱衣室側へ反らし、パネル上部を上枠アタッチメント（戸袋側）に差し込む。

取付設置上のお願ひ

- 戸袋パネル取り付け前に養生シートをはがしてください。

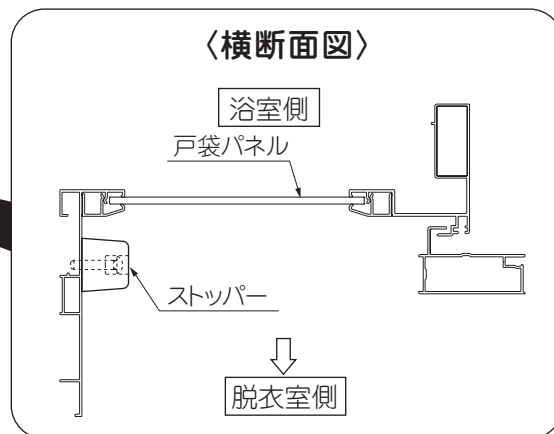
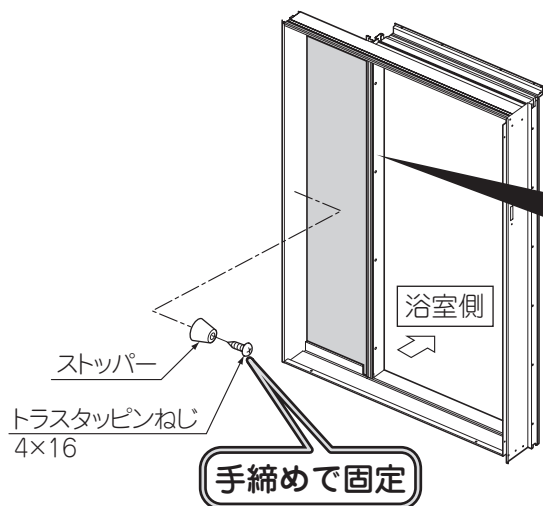


- ③縦押し縁を脱衣室側からはめ込む。
・縦押し縁の取り付けが固い場合は目地打ち込み治具を使用してください。



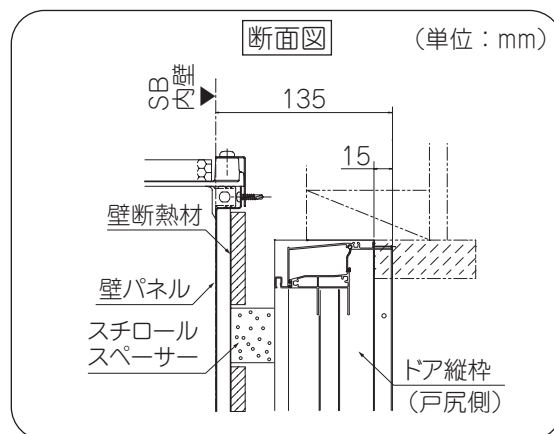
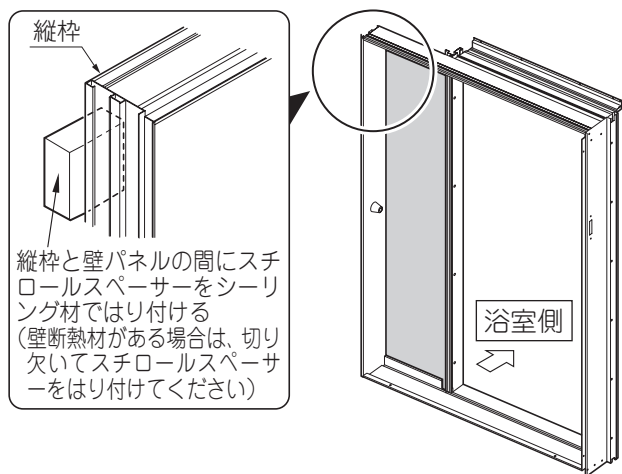
④縦枠にストッパーを取り付ける。

- ・ストッパーが変形しない程度にねじ留めしてください。



⑤戸尻側の縦枠上部にスチロールスペーサーをはり付ける。

- ・スチロールスペーサーのサイズは、厚さ30mm程度としてください。



2 取っ手・サムターンの取り付け

184ページを参照ください。

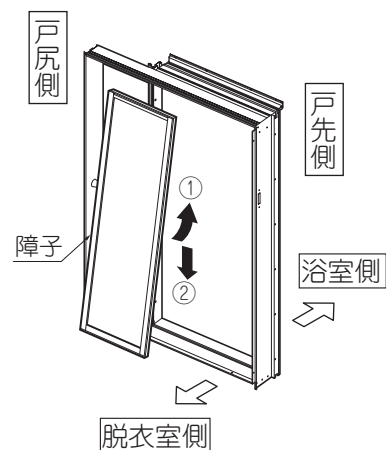
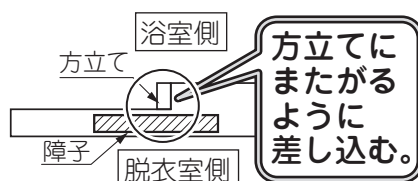
3 障子のつり込み

①下図のように障子を脱衣室側からつり込む。

・2枚引き込戸の場合は、戸尻側の障子を先につり込んでください。

取付設置上のお願い

- 2枚引き込戸の戸尻側の障子は、方立てをまたぐように障子をつり込んでください。



4 建て付け調整

186ページを参照ください。

取付設置上のお願い

- ドア額縁固定用の皿木ねじ (3.1×20) は、必ず大工さんへお引き渡しください。直接手渡しできない場合は、マスキングテープでドア外側の引き手などにはり付け、すぐ見つけれられるようにしてください。

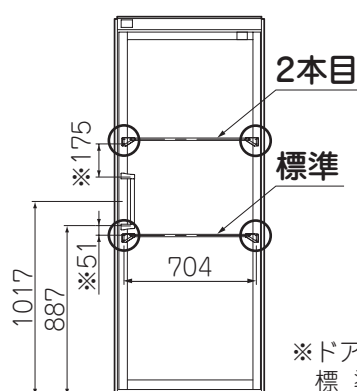
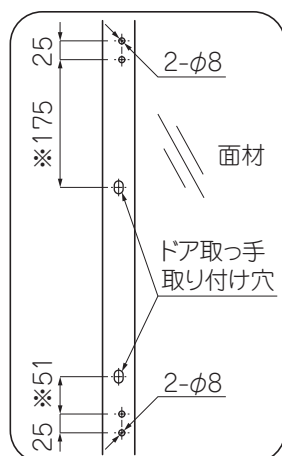
6 ドア外タオル掛けの取り付け

1 ドア外タオル掛けの取り付け

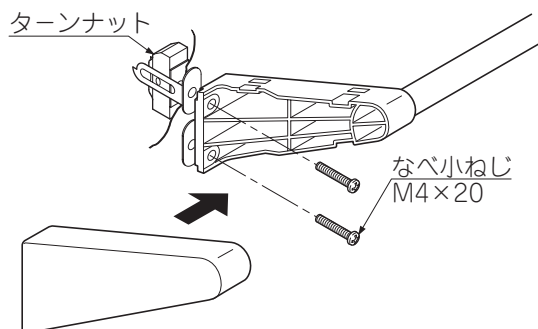
・脱衣室側にタオル掛けを取り付ける場合は、以下の作業を行ってください。

(単位：mm)

〈スイングドア〉



※ドア取り付け穴より
標準：下側の穴から下へ51mm
2本目：上側の穴から上へ175mm



⚠ 注意



必ず守る

●ターンナットは重量物を固定しない
(落下によるけがの原因になります。)

①ドア本体の脱衣室側にタオル掛けの取り付け穴を現物合わせでけがき、開口を行う。

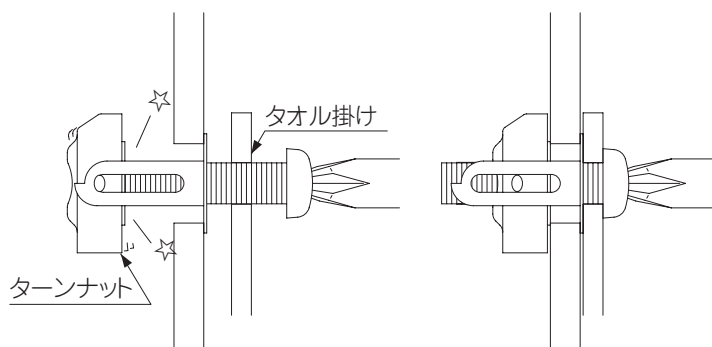
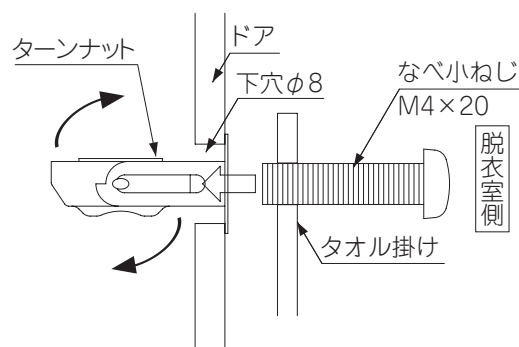
②ターンナットを穴に差し込む。

③脱衣室側にタオル掛けを取り付け、なべ小ねじを差し込む。

・なべ小ねじを軽く押すと、ターンナットが矢印の方向に回転します。

④ターンナットとタオル掛けをねじで固定する。

・手回しドライバーでなべ小ねじを押しながら1～2回左に回し、そのまますぐに2～3回右に回して軽くねじ込み、そのまま締め付けます。



12. エプロン・排水口の取り付け

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

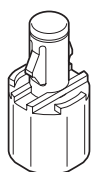
1 化粧エプロン・排水口部品の取り付け

1 エプロン下端スペーサー・ブラッシュクリップの取り付け

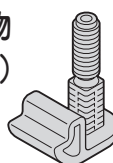
①エプロン裏面の下端部2か所に、エプロン下端スペーサーを取り付ける。

②ブラッシュクリップを取り付ける。

エプロン下端スペーサー(白)
(エプロン小物セットに付属)



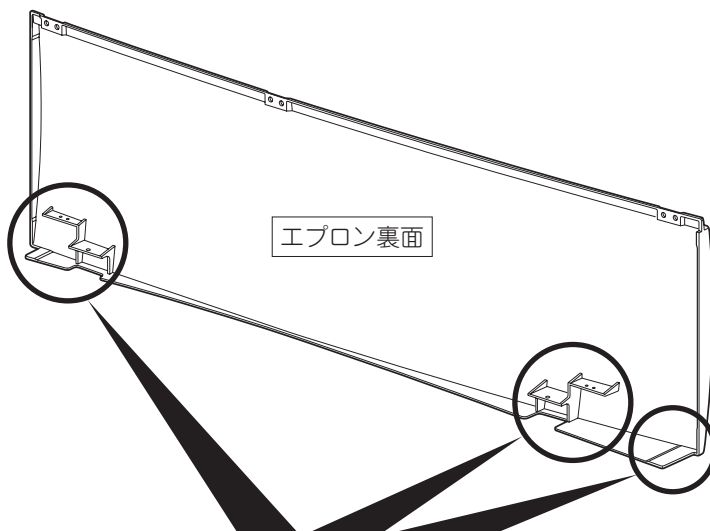
ブラッシュクリップ(黒)
(エプロン小物
セットに付属)



スペーサー



ブラッシュ
クリップ用ナット



① エプロン下端スペーサーを取り付ける。

「カチッ」となるまで
差し込む。
外れないことを
確認する。

エプロン下端スペーサー(白)
(エプロン小物セットに付属)



② ブラッシュクリップを取り付ける。

- ①スペーサーを増減させて調節する。
- ②ブラッシュクリップを差し込む。
- ③ブラッシュクリップ用ナットで固定する。
強く締め付けると、空回りしますので、ご注意ください。

ブラッシュクリップ用ナット

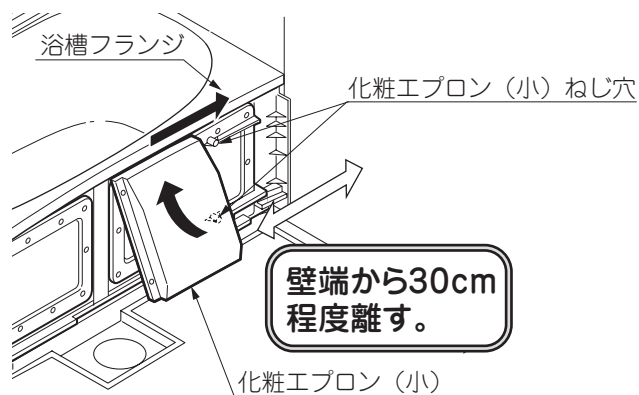
高さ調整後に、
取り付け。

高さ調整用スペーサー
(ブラッシュクリップに付属)

ブラッシュクリップ(黒)
(エプロン小物セットに付属)

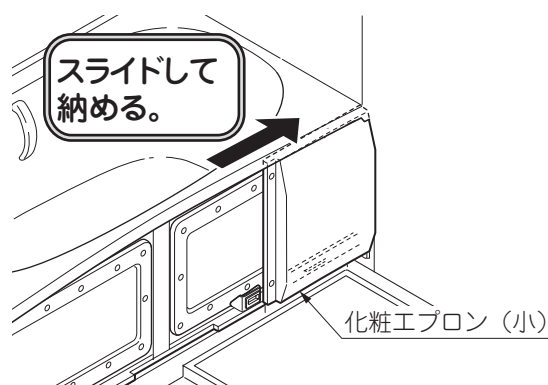
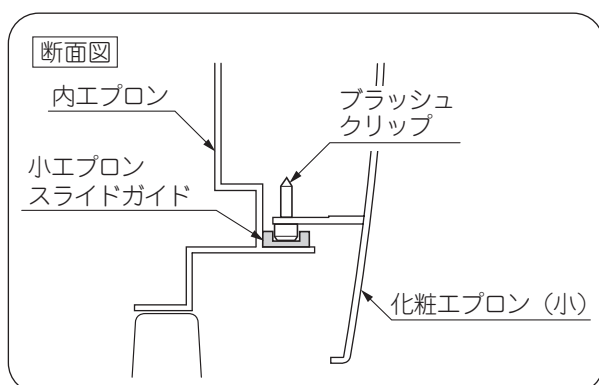
2 化粧エプロンの取り付け

- ①混合水栓側の壁から30cm程度離れた位置から、化粧エプロン（小）上端を浴槽フランジ裏側に差し込む。

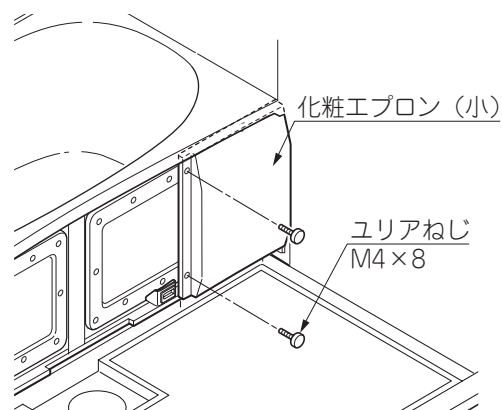


※図はパイザーカウンターの場合を表します。
（カウンターにより化粧エプロン（小）の形状が異なります。）

- ②化粧エプロン（小）を壁側へスライドさせる。



- ③化粧エプロン（小）をユリアねじで固定する。

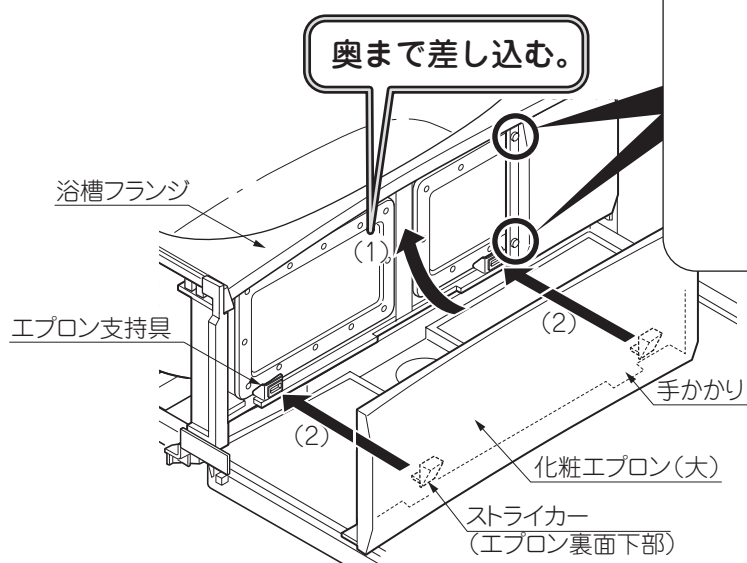
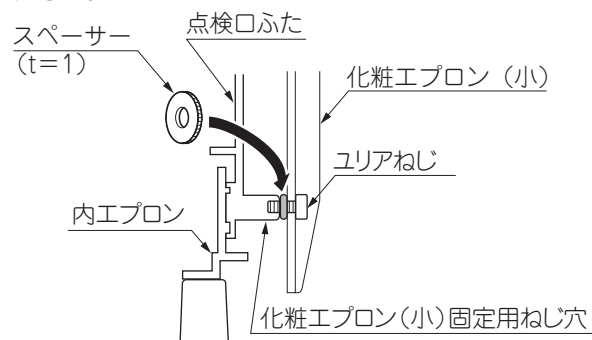


- ④化粧エプロン（大）上端を浴槽フランジ裏側に差し込んでから、下半分を押してはめ込む。

取付設置上のお願い

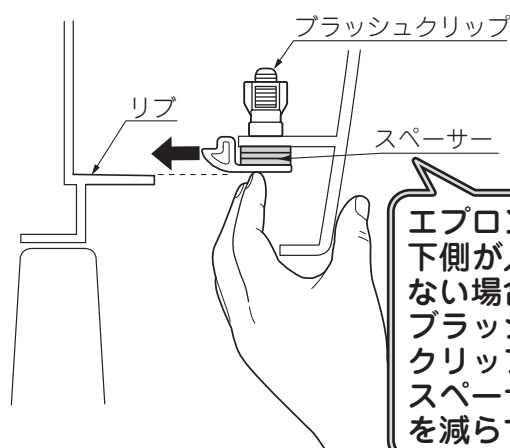
- 化粧エプロン取り付けの際に、先に塗布したシーリング材をこすらないよう注意してください。

化粧エプロン（大）を取り付けた際に面段差が生じた場合、化粧エプロン（小）と点検口ふたの間にスペーサーを挟んでください。

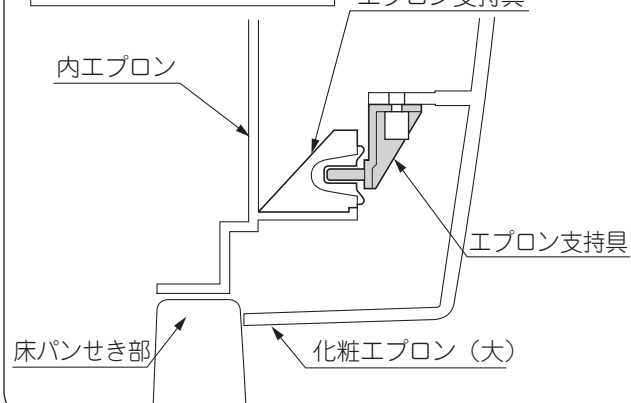


取付設置上のお願い

- ブラッシュクリップの頭がリブに乗り上げるよう、指で確認しながら取り付けてください。



エプロン支持具部断面図

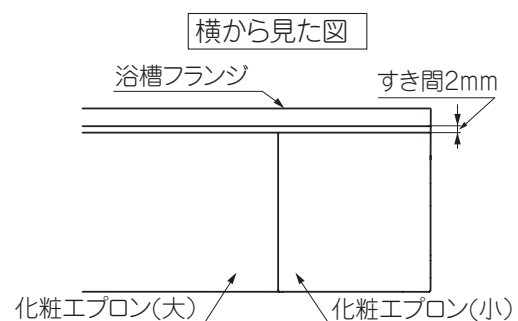


3 化粧エプロンの高さ調整

- ・エプロンが傾いたり、納まり位置の高低に問題がある場合は、以下の作業を行ってください。
- ・調整用予備として、高さ調整用スペーサー16枚が付属しています。

①化粧エプロン裏面の高さ調整用スペーサーを増減させて調節する。

- ・化粧エプロンと浴槽フランジとのすき間が2mmになるよう調整してください。
(場所によってはばらつきのある場合は、2～4mmになるよう調整してください。)



	高さ調整用スペーサー
化粧エプロンと浴槽フランジのすき間が2mmより大きい場合	増やす
化粧エプロンと浴槽フランジのすき間が2mmより小さい場合	減らす

〈化粧エプロン(大)裏面〉

ブラッシュクリップ用ナット

高さ調整用スペーサー
(標準:厚さ1mm3枚)

ブラッシュクリップ(黒)
(エプロン小物セットに付属)

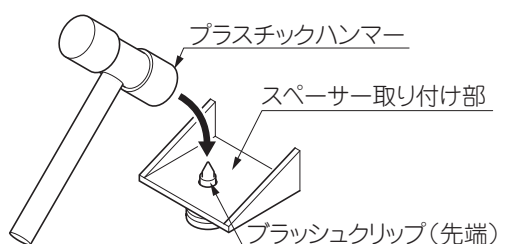
〈化粧エプロン(小)裏面〉

高さ調整用スペーサー
(標準:厚さ1mm3枚)

黒いスペーサー
(厚さ3.5mm1枚)

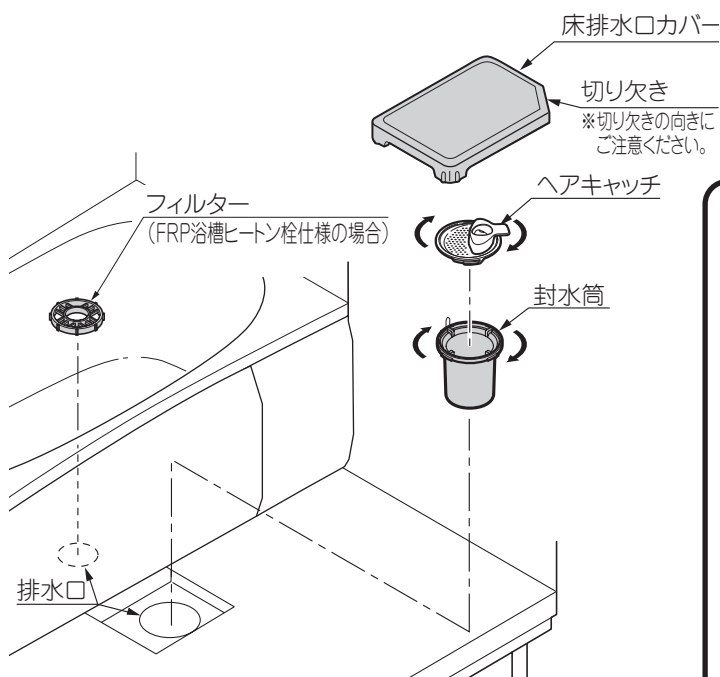
ブラッシュクリップ

- ・厚さ3.5mmの黒いスペーサーは外さないでください。
- ・高さ調整用スペーサーはブラッシュクリップで固定されています。ブラッシュクリップを外す際は、先端をプラスチックハンマーでたたいて、下から頭を引き抜いてください。



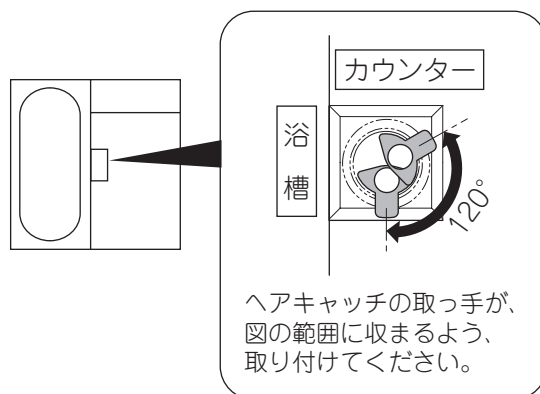
4 排水口部品の取り付け

①洗い場側と浴槽の排水口に各部品を取り付ける。



取付設置上のお願い

- ヘアキャッチ（標準）は、取っ手の向きに注意して取り付けてください。



13. 器具の取り付け

単位：mm

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

- ・鋼板用樹脂アンカー（白）を使用して取り付ける場合は、必ず鋼板用樹脂アンカー（白）挿入後、シーリング材充てんしてください。

⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）
- 鋼板用樹脂アンカー（白）を使用して取り付ける
（確実に行わないと、落下事故の原因となります。）

1 ミラー・スライドバー・収納棚

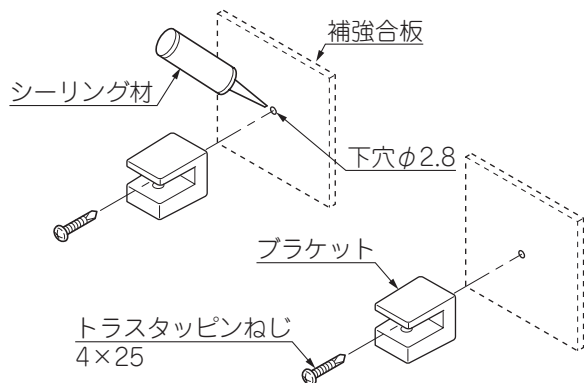
※ミラーシェルフ・シャワーバーは部品同梱の取付設置説明書を参照ください。

1 ガラス調収納棚の取り付け

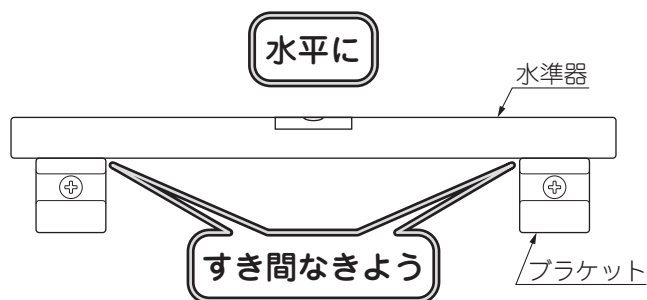
①下穴に直接シーリング材を塗布する。

- ・はみ出したシーリング材はウエスなどでふき取ってください。

②下穴に直接シーリング材を塗布し、ブラケットを仮固定する。（補強合板固定）



③ブラケットのレベルと位置を調整する。



取付設置上のお願

- ブラケットの水平を確認し、レベル調整をする。

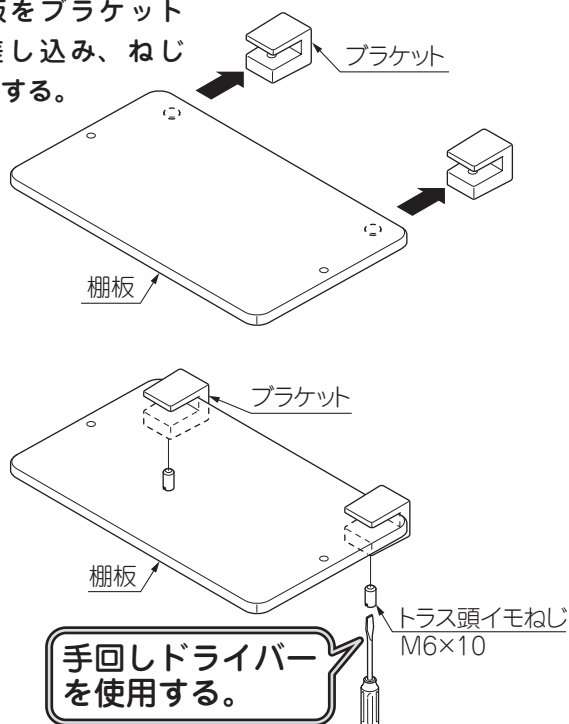
⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
（確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。）

- ④ 棚板をブラケットに差し込み、ねじ固定する。



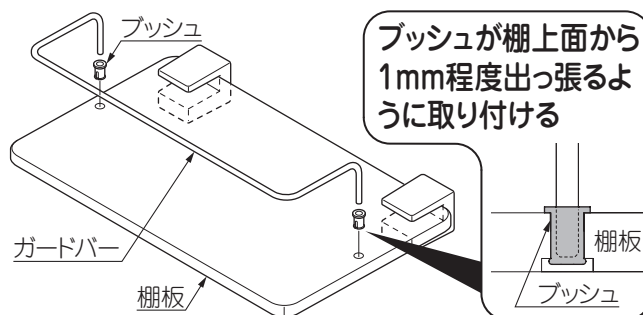
⚠ 注意



必ず守る

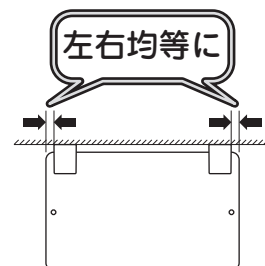
- ねじは、棚板の座縁りの穴の中に固定する
(破損のおそれがあります。)

- ⑤ 棚板にブッシュとガードバーを差し込む。



取付設置上のお願い

- 棚板の端とブラケットのすき間を均等にしてください。

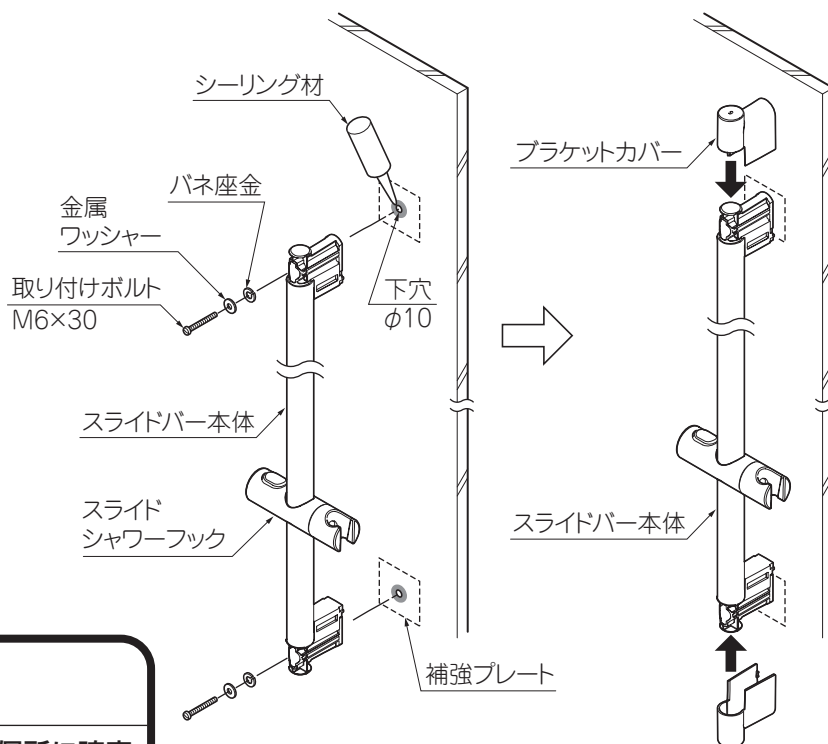


2 握りバー兼用スライドバーの取り付け

①下穴の中と周囲にシーリング材を塗布する。

②スライドバー本体を取り付ける。
・シーリング材が乾く前に、手早く行ってください。

③ブラケットカバーをはめ込む。



⚠ 注意



必ず守る

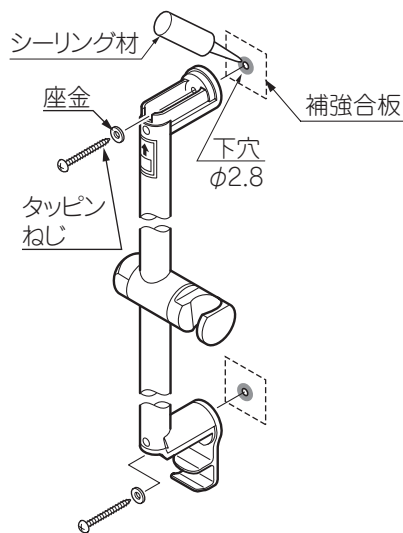
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水
漏れの原因となります。)

3 シャワースライドバーの取り付け

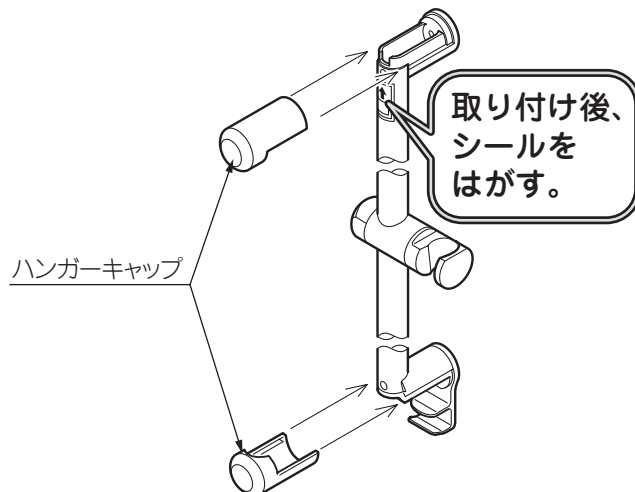
①下穴の中と周囲にシーリング材を塗布する。

②スライドシャワーフック本体を取り付ける。

・シーリング材が乾く前に、手早く行ってください。



③ハンガーキャップをスライドさせながらはめ込む。



⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。)

4 シャワーフックの取り付け

①下穴に鋼板用樹脂アンカー（白）を挿入し、シーリ
ング材を塗布する。

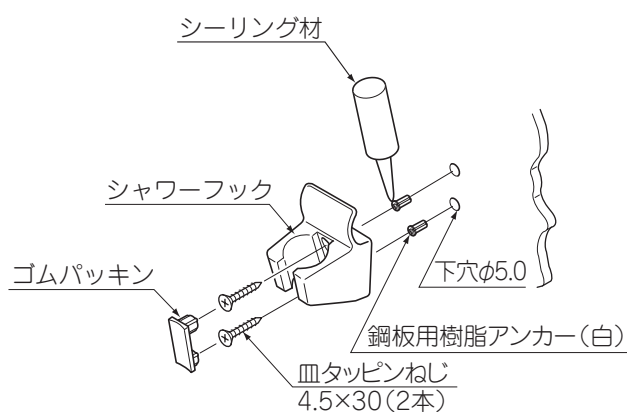
②シャワーフックを取り付ける。

⚠ 注意



必ず守る

- シーリング材充てんは指定個所に確実に
に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水
漏れの原因となります。)
- 鋼板用樹脂アンカー（白）を使用して
取り付け
(確実に行わないと、落下事故の原因とな
ります。)



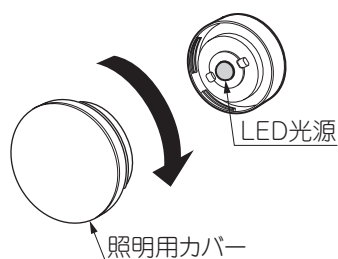
※図は樹脂シャワーフック（下側）の場合

2 天井周辺器具

1 照明用カバーの取り付け

①照明用カバーを取り付ける。

〈サークルLED照明〉

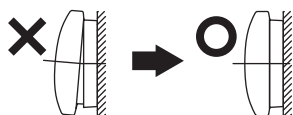


⚠ 注意



必ず守る

- 照明カバーは確実に取り付ける
(守らないと落下し、けがをするおそれがあります。)



取付設置上のお願い

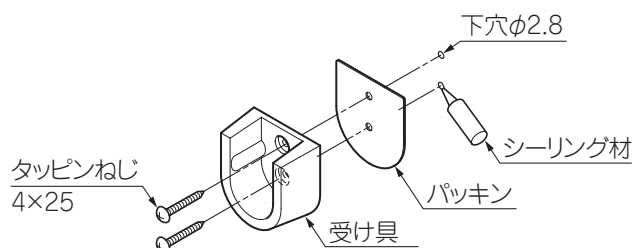
- サークルLED照明の場合、LED光源に触れたり傷つかないように注意してください。(傷がつき、光むらの原因となります。)
- 照明カバーは最後まで締め切って使用してください。(カバー内部に水が浸入して故障の原因となります。)

本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

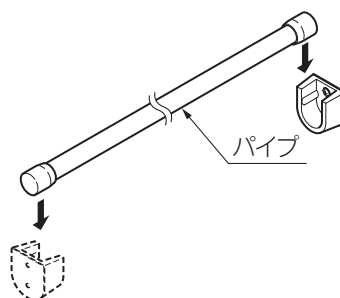
2 物干しバー（オプション）の取り付け

①壁パネルに受け具を取り付ける。

・下穴にシーリング材を充てんしてください。



②パイプを壁に取り付ける。



3 天井点検口ふたの取り付け

①天井点検口ふたに天井点検口クリップを取り付ける。(2か所)



②天井点検口ふたを取り付け、クリップを回してふたが浮かないように止める。



3 その他器具

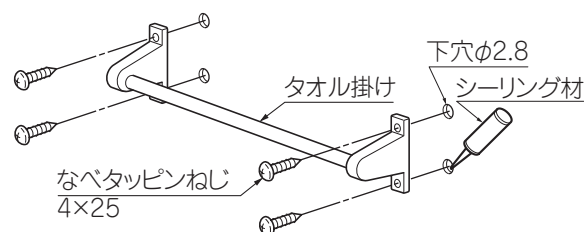
1 タオル掛けA・Bの取り付け

①下穴にシーリング材を塗布し、取り付ける。

⚠ 注意



●シーリング材充てんは指定個所に確実に
（確実にシーリング材充てんしないと、水漏
れの原因となります。）



※図はタオル掛けAの場合

2 タオル掛け Bの取り付け

【2024年10月2日発売以降仕様】

①下穴にシーリング材を塗布し、取り付ける。

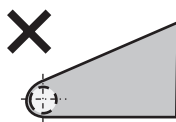
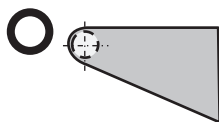
注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

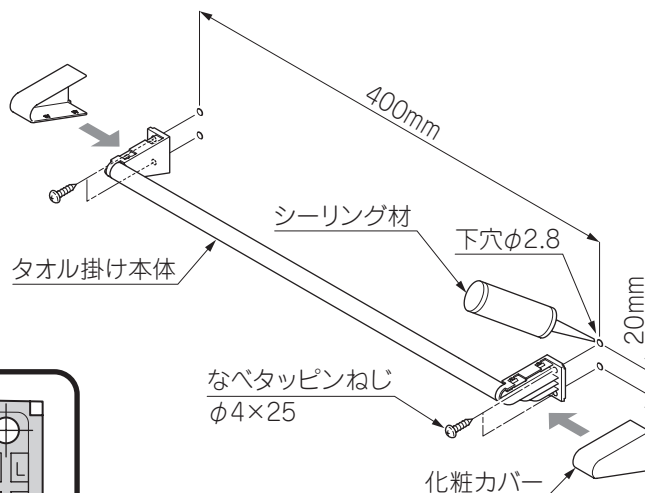
取付設置上のお願い

- 上下の向きにご注意ください。



ブラケット
取付面

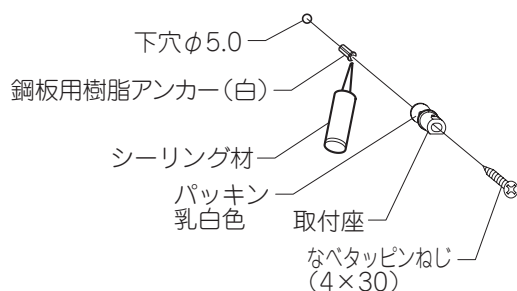
ブラケットの取付面の **上** マークの向きを確認



3 タオル掛け Cタイプの取り付け

①壁に取付座を取り付ける。

- ・取付座を仮固定し、パイプが差し込めるように調整してねじを増し締めしてください。



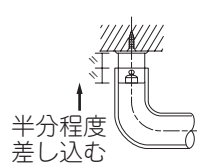
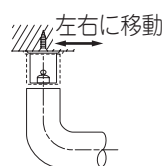
調整方法

取付座をパイプ
ピッチに調整

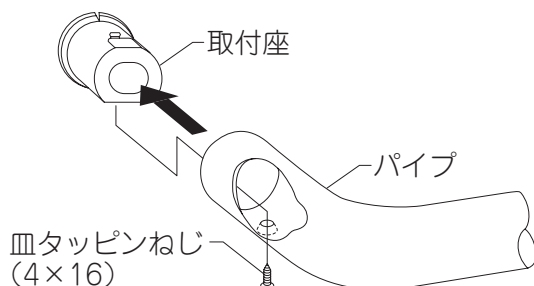
取付座の方向性
を調整

確認

パイプを実際に
差し込んで確認



②取付座にパイプを差し込み固定する。



取付設置上のお願い

- 取付座は樹脂製品のため、ねじを締め込む際にはご注意ください。(無理やり締め込んだり、斜めに入れたりするとねじ部が破損します。)
- パイプは水平にして同時に差し込んでください。(左右傾いて差し込むと、パイプの変形および取付座の破損の原因となります。)

4 組みフタフックの取り付け

- ①下穴を開け、補強木を取り付ける。
・ $\phi 2.8$ で穴開けしてください。
- ②フック本体とキャップを、それぞれ図のように組み立てる。
- ③取り付け用下穴に直接シーリング材を充てんし、スリーブをトラスタッピンねじで固定する。

⚠ 注意



- シーリング材充てんは指定個所に確実に行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)

- ④スリーブにフック本体を差し込む。
※フック本体が確実に固定されたことを確認してください。



5 3点フックの取り付け

①図のように壁に取り付ける。

取付設置上のお願い

- 3点フックは回転しません。
取り付け方向にご注意ください。

● 上側

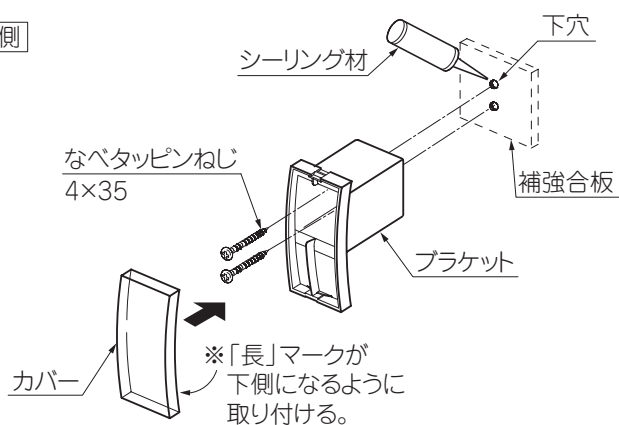


● 下側

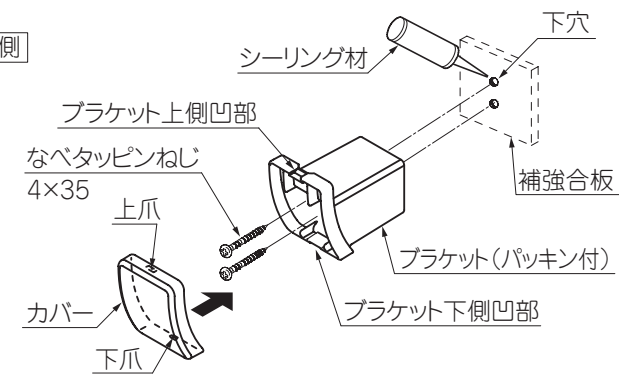


〈標準仕様の場合〉

上側

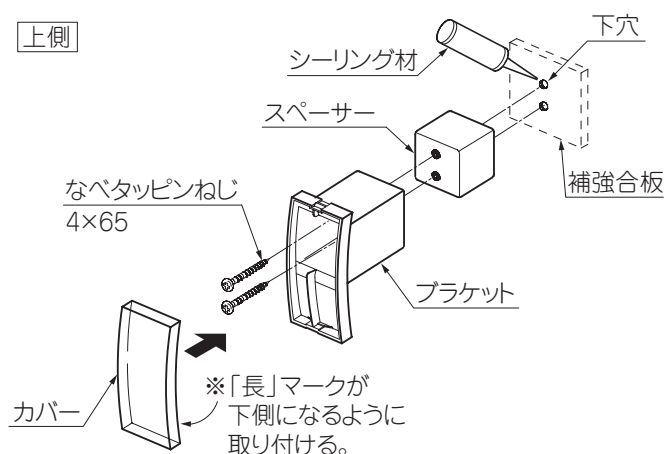


下側

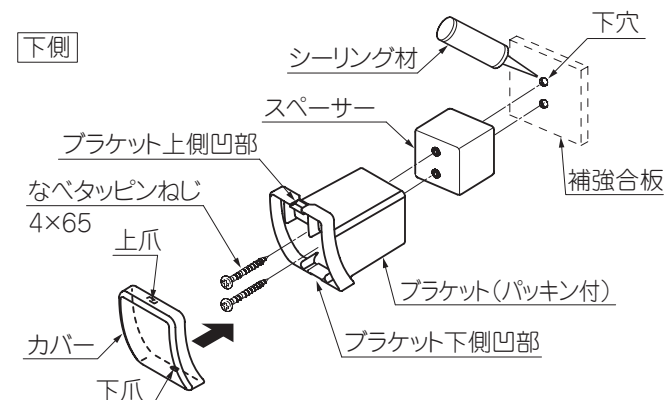


〈スペーサーがある場合〉

上側



下側



※風呂フタにラベルをはり付けてください。

14. 仕上げ・清掃・検査

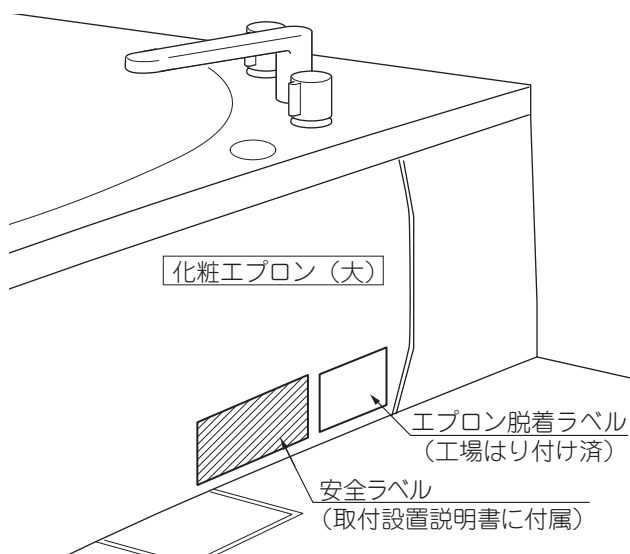
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 最終仕上げ

1 ラベル類のはり付け

- ①化粧エプロン（大）右下にはり付けてあるエプロン脱着ラベルの端に合わせて、安全ラベルをはり付ける。

・  の位置にはり付けてください。



2 シーリング材充てん

- ①取り付け作業がひととおり終了したら、シーリング材を塗布する。

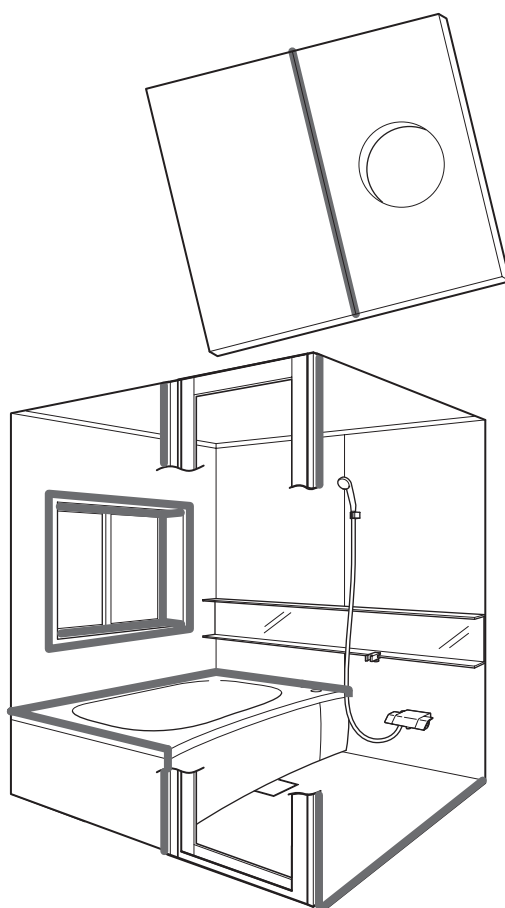
・ 床パン～壁パネル、浴槽～壁パネル、天井パネル～天井パネル、窓枠～壁パネル、ドア枠～壁パネルのジョイント部には、すべてシーリング材充てんしてください。

⚠ 注意



必ず守る

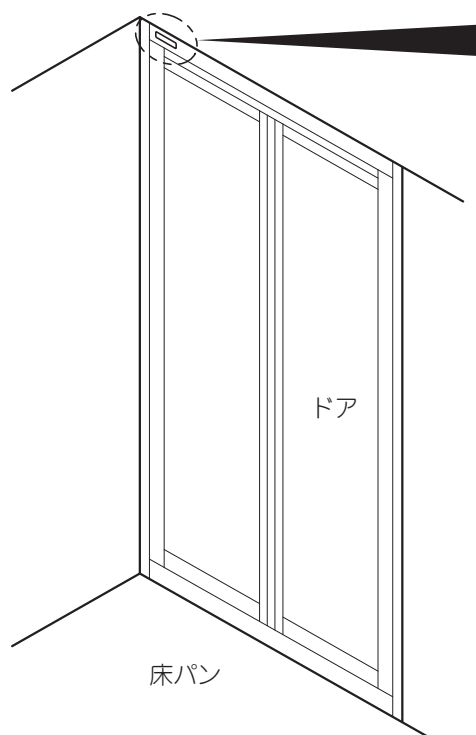
- シーリング材充てんは指定個所に確実に
行う
(確実にシーリング材充てんしないと、水漏れの原因となります。)



3 社名ラベルのはり付け

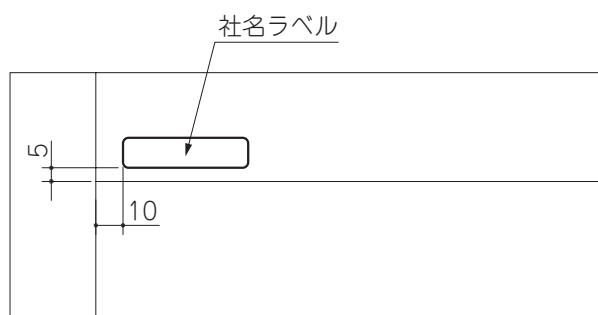
①社名ラベルはり付け

下記の位置に、社名ラベルをはり付けます。



はり付け位置
・ 浴室内から見てドア枠左上

(はり付け位置目安)



【例－社名ラベル】

miratap

2 最終チェック

①巻末に記載されている「取付設置後のチェック」の項目をチェックし、問題がなければチェック印を記入する。

3 清掃と後片付け

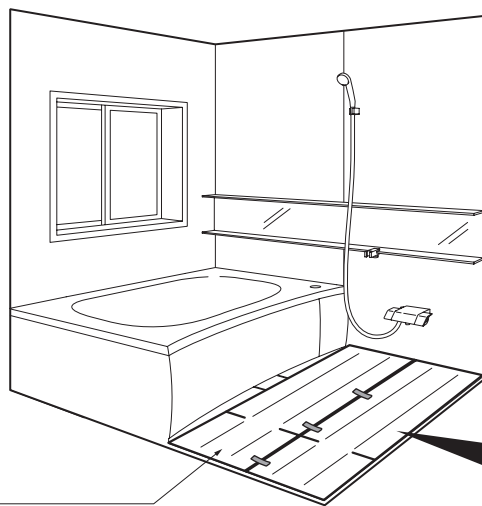
①清掃と後片付けを行う。

清掃仕上げは通水、通電その他現場の仕上げ状況を確認、打ち合わせのうえ行ってください。

養生材や残材などは前もって搬出し、各部の清掃と併せて混合水栓の止水状態、床、壁、天井、建具、器具類の損傷の有無も点検してください。

- ・床～排水トラップ、浴槽などは工事中のごみ、砂などがたまる場合があります。必ず点検してください。
- ・床パン、浴槽部は水洗いしてください。（各目地部のシーリング材塗布完了まで水洗いは厳禁）水洗いで落ちない汚れは中性洗剤とやわらかいスポンジで軽くこすってください。（メラミンフォームや研磨剤入りクリーナー、中性洗剤以外の洗剤は使用しないでください。）
- ・壁、天井部は隅々まで布ふきしてください。
- ・水洗い時に器具類にかかった水滴は、乾いたきれいな布でふき取ってください。
- ・床排水口（トラップ）に床排水口カバーをセットしてください。

②床養生ダンボールを床に敷く。



養生ダンボール
（小物が入っていたダンボールを使用）

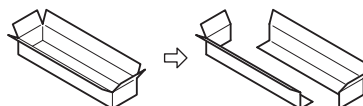
⚠ 注意



必ず守る

- 養生テープはガラス面（ドア・FIX窓・ミラー）に直接はらない（テープのノリ残りが発生する可能性があります。）

小物（タオル掛け、収納棚など）が入っていたダンボールを下記の様にカットして床養生する

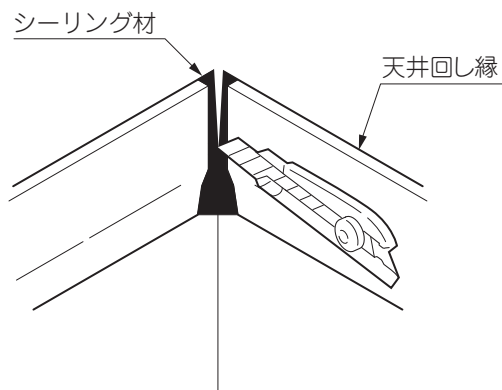


15. 付録

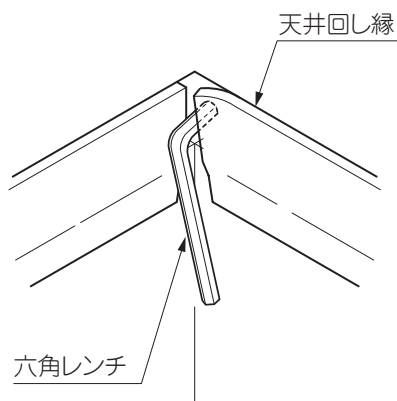
本文中の図で記載のないものは、すべてR勝手の例です。L勝手は本図と対称になります。

1 天井回し縁の取り外し方

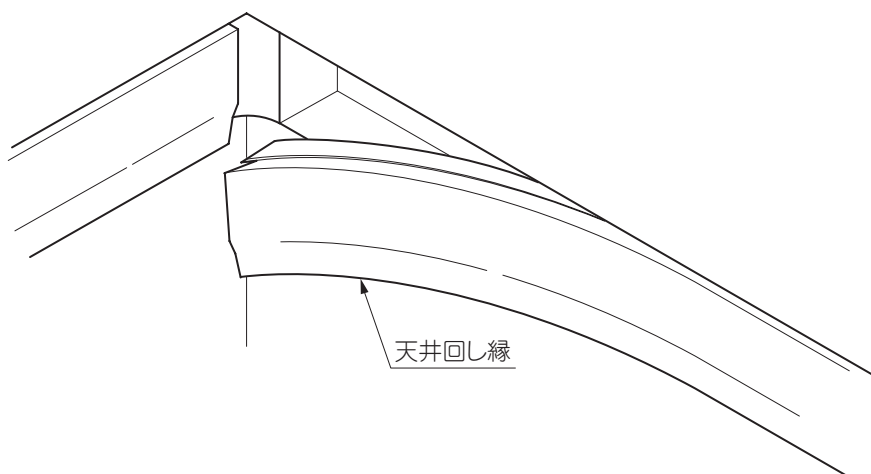
①コーナー部のシーリング材をカットする。



②六角レンチなどを差し込んで浮かせる。



③天井回し縁を取り外す。



2 目地の取り外し方

⚠ 注意



禁止

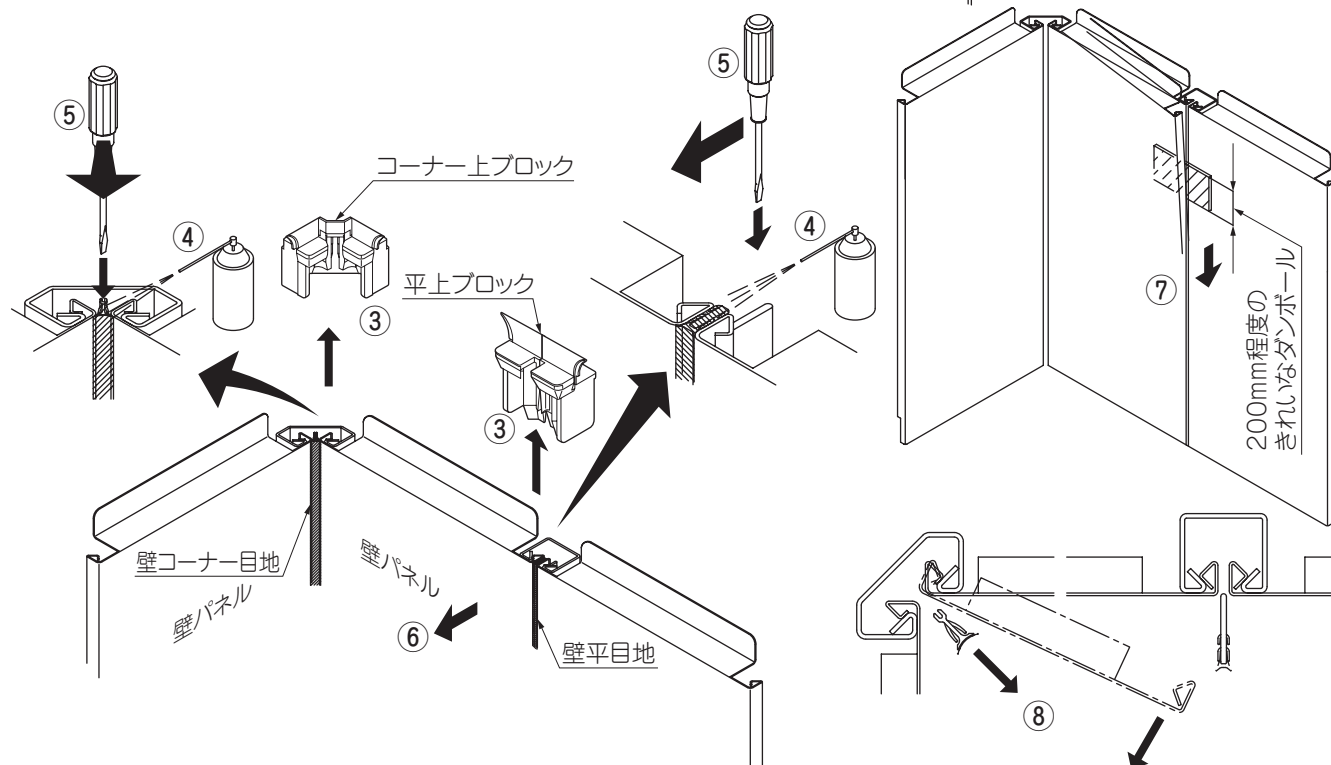
- 目地の再利用は絶対にしない
(破損や潤滑剤の付着などにより、水漏れの原因となります。)



必ず守る

- 目地を取り外した後、新しい目地を挿入する場合は、壁パネルに付着した潤滑剤を、十分にふき取る
(目地に潤滑剤が付着すると、目地が破損し、水漏れのおそれがあります。)

- ① 天井回し縁を取り外す。
- ② 天井固定ねじ取り外し、天井パネルを取り除く。
- ③ コーナー上・平上ブロックを取り外す。
- ④ 潤滑剤を壁コーナー・平目地のひれ部に、噴きつける。
シリコンスプレー KURE 1046 (HTRC21)
- ⑤ マイナスドライバーなどで、目地を引っ掛け、先端部を引き抜く。
- ⑥ 平目地側の壁の上部を持って、引っ張って外す。
- ⑦ 壁とのすき間に、きれいなダンボールをはさんで下にスライドし、壁と平目地を外す。
・ 壁および目地を折らないように少しずつ慎重に外してください。
- ⑧ コーナー目地は一方の壁を外して折りたたむようにすると簡単に外せる。



取付設置後のチェック

項 目	チェック
各部材およびオプション機器などに傷や欠け、クラックなどはないか？	
各付属品およびオプション機器は指定位置に正しく、確実に取り付けられているか？ （がたつき、傾きなどはないか？）	
各付属品の取り付け忘れはないか？	
床パンの音鳴りはないか？	
洗い場の排水トラップは緩みなく締め付けられ、完了シールが正しくはり付けられているか？	
グロメットは確実に取り付けられたか？（火災や感電の原因となります。）	
壁パネルの目地および天井回し縁に、浮き、すき間はないか？	
壁パネルに段差や横目地のずれはないか？	
天井点検口は浮きがなく、確実に固定されているか？	
ドア・窓などは問題なく開閉するか？	
ドアの施錠・解錠は確実にできるか？	
ドア枠と障子のすき間は均一になっているか？	
ドアの緊急救出用のつめは確実に固定されているか？	
2枚折れ戸、スイングドアの下枠パッキンに、破れ、裂け目はないか？	
ドア額縁固定用の皿木ねじを大工さんに渡したか？ あるいはドアの外側にマスキングテープではったか？	
エプロンのエプロン下端スペーサーは正しく取り付けられているか？	
混合水栓、配管、シャワーホースなどの接続部からの水漏れはないか？（通水可能な場合）	
混合水栓から湯・水が出るか？また、温度調節、吐水・シャワー切り換えに問題はないか？（通水可能な場合）	
シーリング材切れや、シーリング材の打ち忘れはないか？	
電気機器および機能商品は操作どおりに動作するか？	
風呂フタは風呂フタフックに正しく収納できるか？また、問題なく取り出せるか？	
各種ラベルは忘れず、指定位置にはり付けられているか？（はがれ、浮き、傾きなどはないか？）	
認定店ナンバーラベルは指定位置にはり付けられているか？	
清掃と後片付けは行ったか？	
保証書に販売店名、または工事店名、お引き渡し日を記入したか？	
お施主様（または建築工事責任者）に渡す取扱説明書類、保証書などは揃っているか？	
電気、設備工事に関する取付設置説明書類を、電気、設備工事業者様へ渡したか？ （裏配管アダプター+ちらし）	

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

●お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。

<https://www.miratap.co.jp>

TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

03-NMP01S-03
GVN6158
Di1020-40724



取付設置業者様へのお願い

- 取付設置後、設備業者様による配管の接続がある場合は、このページを切り取って化粧エプロン（大）にはっておいてください。



設備業者様へのお願い

- 化粧エプロンおよび点検口ふたを取り外した後は、以下のようにして取り付けてください。

①点検口ふたを固定する。

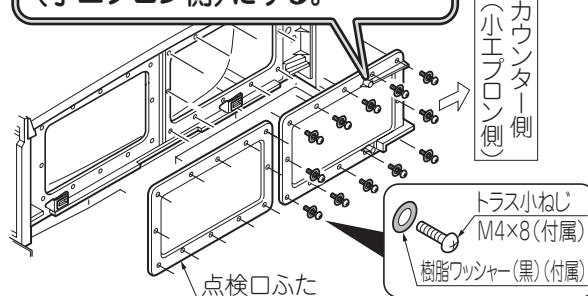
⚠ 注意



必ず守る

- 内エプロンの点検口ふたのねじは、必ず手回しドライバーで固定する（電動ドライバーでねじを固定するとねじが空回りして確実に取り付けができなくなり、水漏れの原因となります。）

突起形状のある方をカウンター側（小エプロン側）にする。



②混合水栓側の壁から30cm程度離れた位置から、化粧エプロン（小）上端を浴槽フランジ裏側に差し込む。

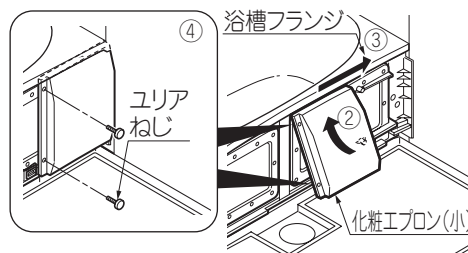
③化粧エプロン（小）を壁側へスライドさせる。

④化粧エプロン（小）をユリアねじで固定する。

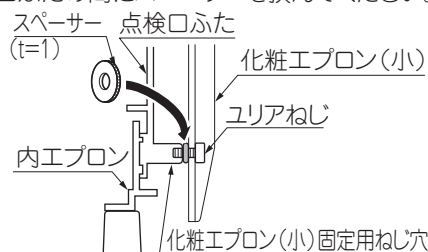
- ・ スペースが入っていた場合は、スペースも入れてください。

⑤化粧エプロン（大）上端を浴槽フランジ裏側に差し込む。

⑥下半分を押してはめ込む。

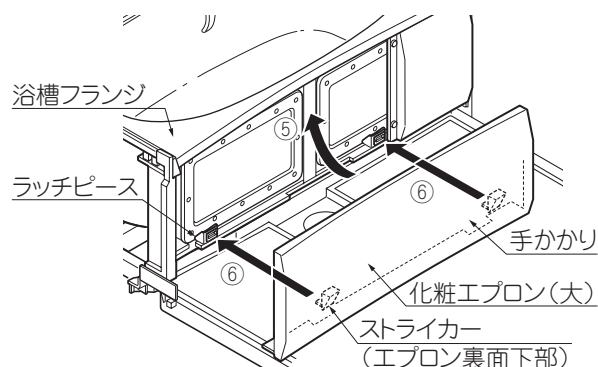
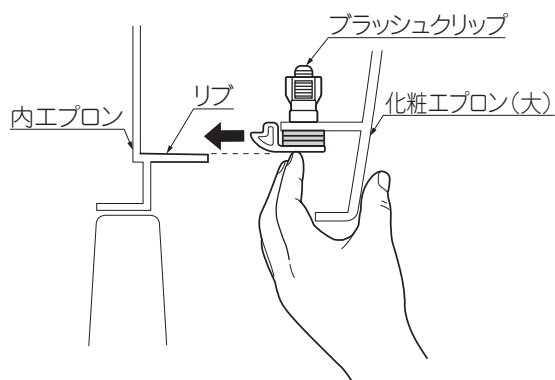


化粧エプロン(大)を取り付けた際に面差が生じた場合、化粧エプロン(小)と点検口ふたの間にスペーサーを挟んでください。



取付設置上のおお願い

- ブラッシュクリップの頭がリブに乗り上げるよう、指で確認しながら取り付けてください。



取付設置業者様へのお願い

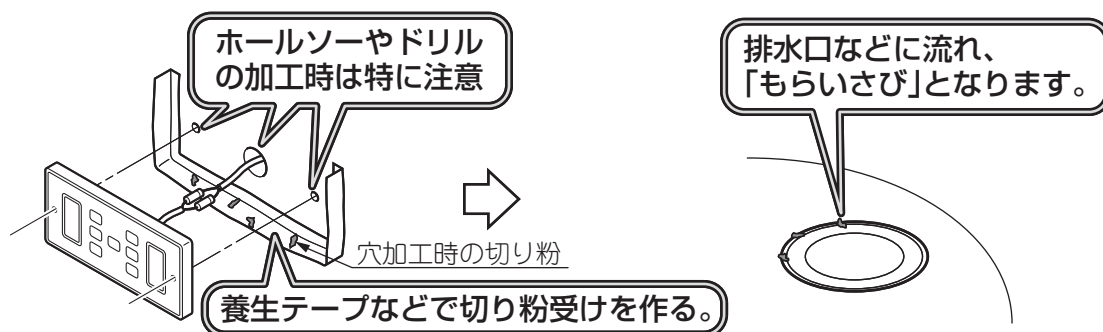
- 取付設置後、設備業者様によるリモコンの取り付けがある場合は、このページを切り取ってリモコン取り付け予定位置にはっておいてください。

設備業者様へのお願い

もらいさび・傷注意！

バスルーム内の清掃は完了しています。

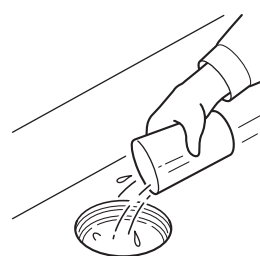
壁パネルなどへリモコンを取り付ける際に出る切り粉は、「もらいさび」の**原因**となります。浴槽内（床面）へ落下させないように養生テープなどで切り粉を受けてください。万が一落下した場合は、必ず清掃をお願いいたします。



塩素剤に注意！

塩素系の成分は殺菌などに効果がありますが、金属をさびさせたり、ゴムを劣化させたりします。

合併浄化槽に取り付ける場合などで、塩素剤を使用する場合は、必ず水を通水し、トラップに水をためてください。長期間放置する場合は、ウエスなどで排水口にふたをしてください。



給湯機の交換が無い場合！

給湯機を買い換えず、リフォームなどで弊社バスルームを新たに設置された場合、給湯機の試運転が必要になります。給湯機の工事説明書に従って行ってください。

miratap

株式会社 ミラタップ miratap inc.

- お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratap.co.jp>
TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

03-NMP01S-03
GVN6158
Di1020-40724

